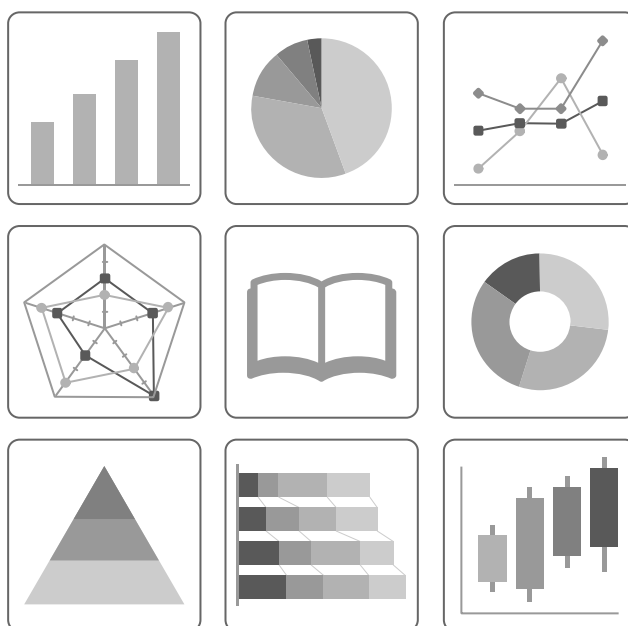


名張市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
調査結果報告書



令和2年3月

名 張 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	家族や生活状況について	3
2	からだを動かすことについて	11
3	食べることについて	26
4	毎日の生活について	37
5	地域での活動について	68
6	たすけあいについて	78
7	健康について	95
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	112
9	介護等について	114
III	生活機能評価等に関する分析	134
1	機能別リスク該当者割合の分析	134
2	日常生活	148
3	社会参加	150

I 調査の概要

1 調査の目的

令和3年からの第8期介護保険事業計画（計画期間：令和3年度～5年度）策定に向け、高齢者の方の生活状況や介護保険サービス等への意向を把握し、計画の見直しと今後の高齢者福祉施策及び介護保険事業の推進に反映させるため、調査を実施するものです。

2 調査対象

名張市在住の65歳以上で要介護1～5の認定を受けていない方を無作為抽出

3 調査期間

令和2年1月10日から令和2年1月31日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,030通	2,291通	75.6%

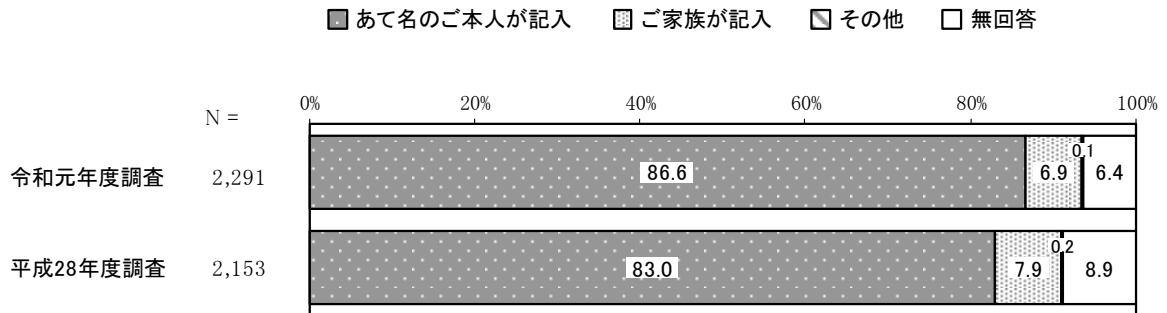
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

「あて名のご本人が記入」の割合が 86.6%、「ご家族が記入」の割合が 6.9%となっています。
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

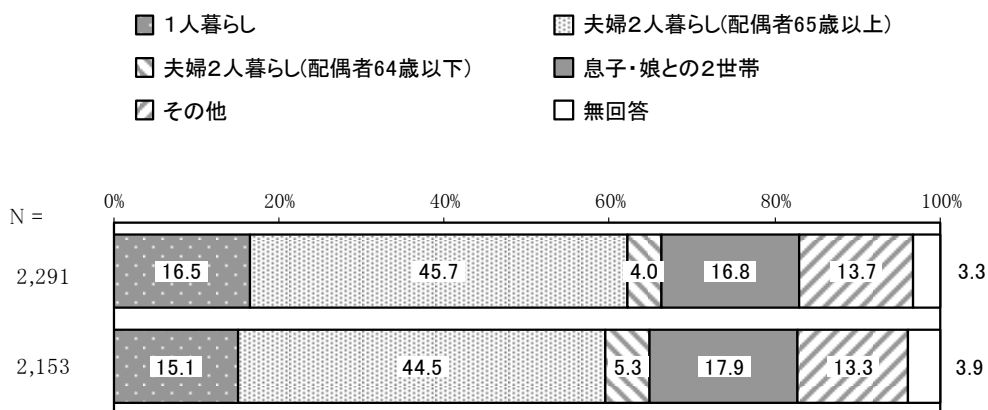


1 家族や生活状況について

問1 (1) 家族構成をお教えてください

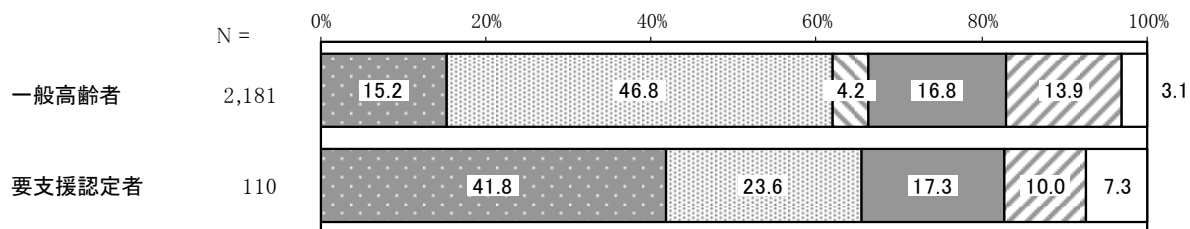
「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が45.7%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」の割合が16.8%、「1人暮らし」の割合が16.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



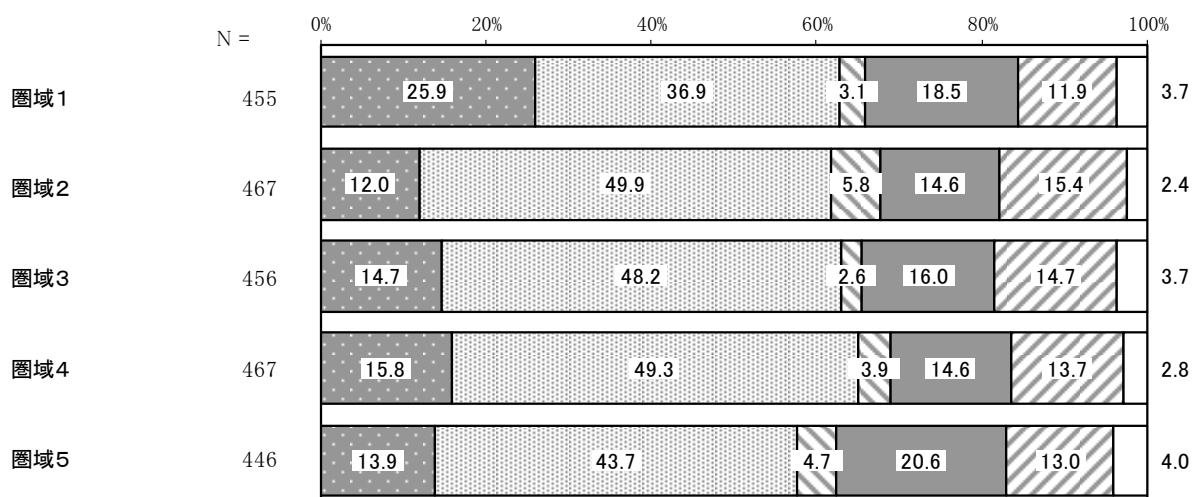
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1人暮らし」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

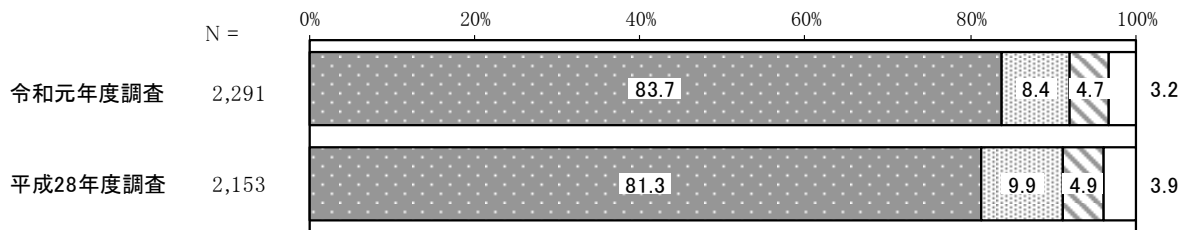
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「1人暮らし」の割合が、圏域5で「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。



問1(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

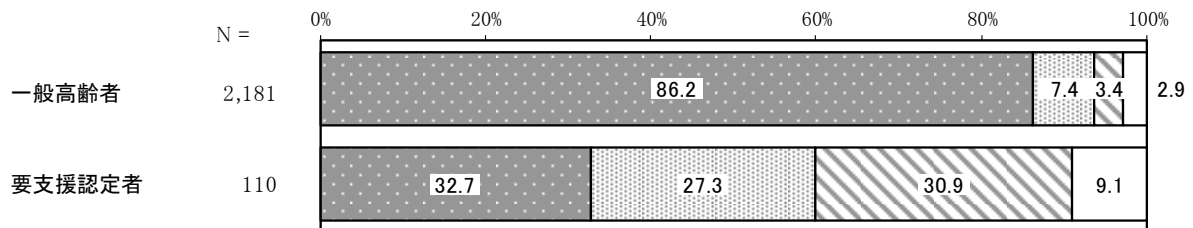
「介護・介助は必要ない」の割合が83.7%と最も高くなっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 介護・介助は必要ない
- ▨ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- ▩ 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
- 無回答



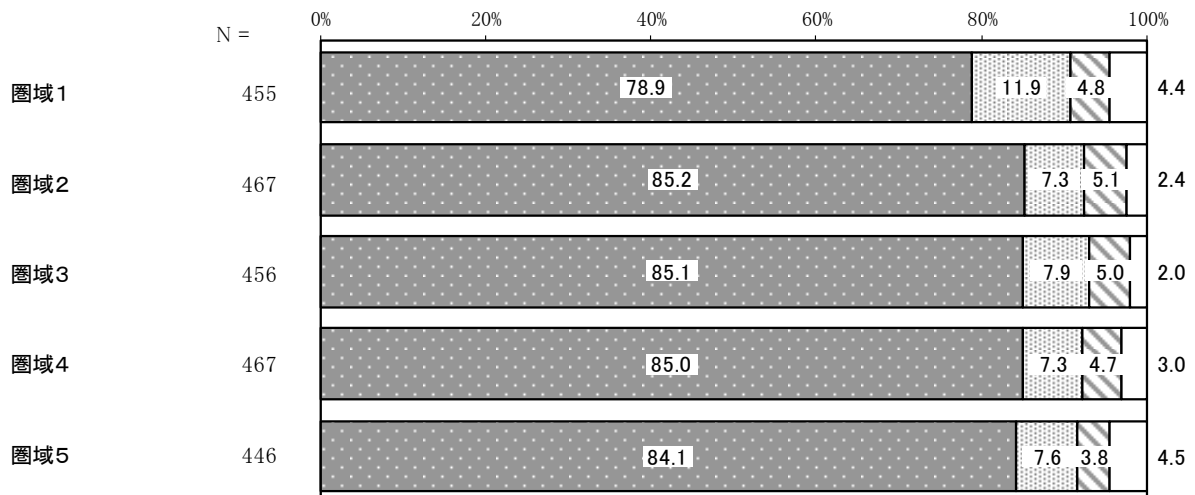
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高くなっています。

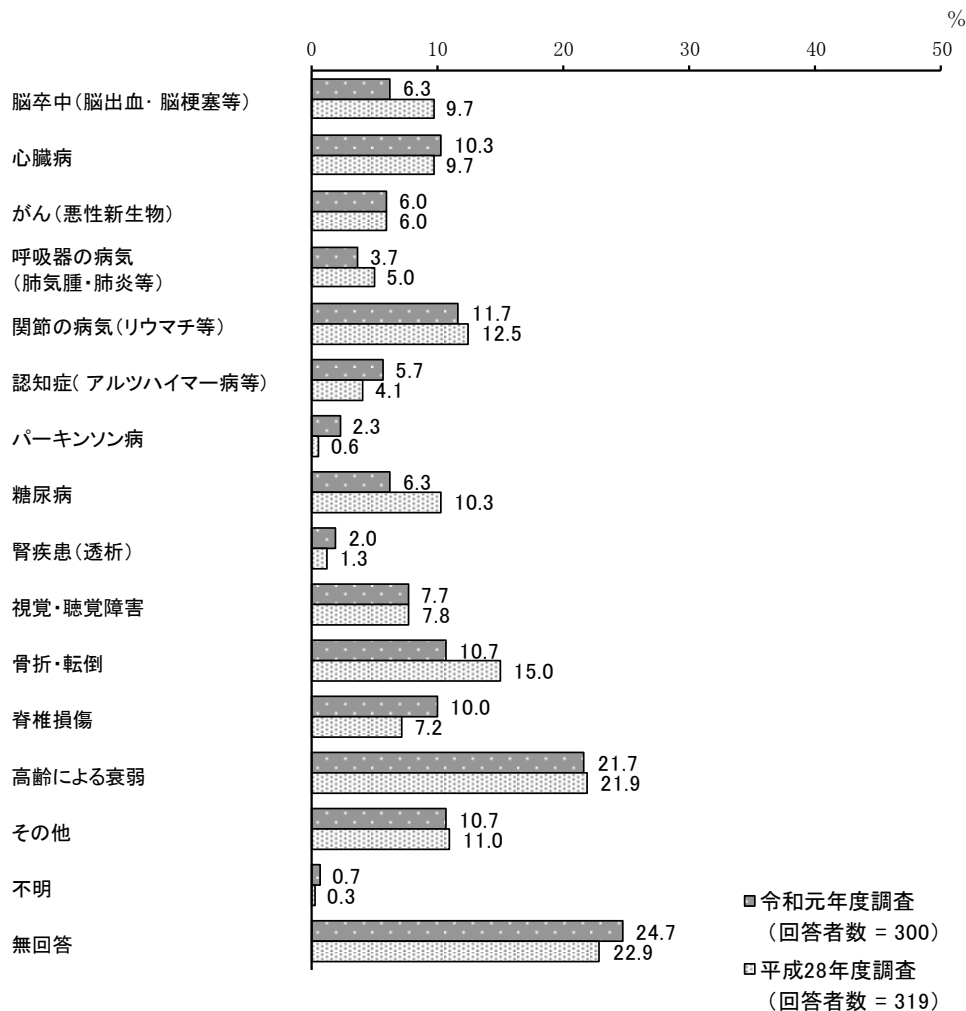


問1 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

「高齢による衰弱」の割合が21.7%と最も高く、次いで「関節の病気 (リウマチ等)」の割合が11.7%、「骨折・転倒」の割合が10.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「認知症(アルツハイマー病等)」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「心臓病」「骨折・転倒」「脊椎損傷」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
一般高齢者	236	7.2	8.9	5.9	3.8	12.3	7.2	1.7	5.9	1.7	7.6	8.5	8.1	20.8	8.9	0.8	27.1
要支援認定者	64	3.1	15.6	6.3	3.1	9.4	—	4.7	7.8	3.1	7.8	18.8	17.2	25.0	17.2	—	15.6

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3で「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。また、圏域1で「心臓病」の割合が、圏域4で「関節の病気(リウマチ等)」の割合が高くなっています。

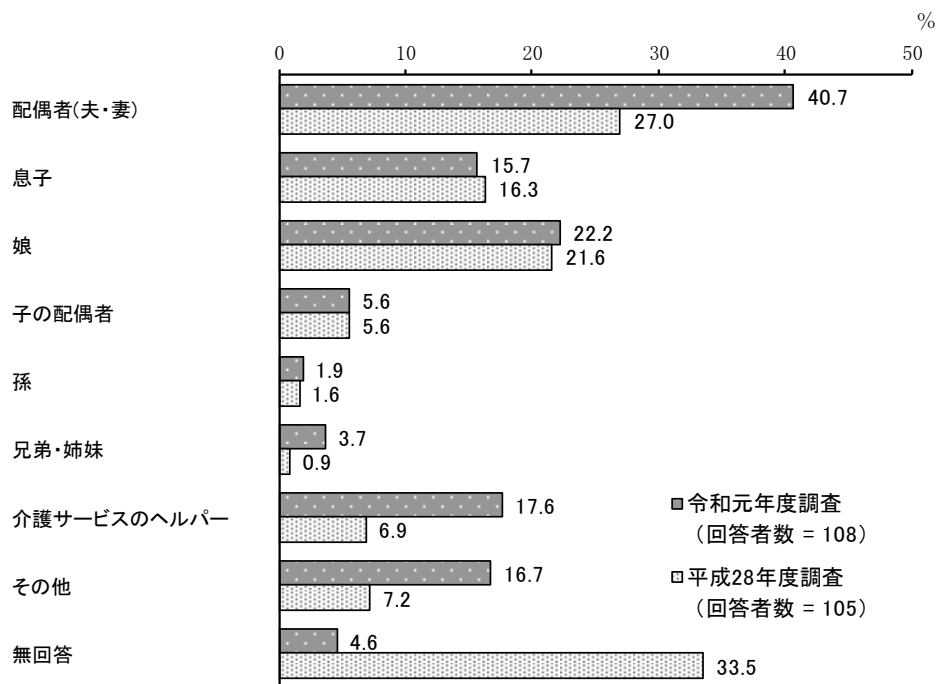
単位：％

区分	回答者数(件)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	関節の病気(リウマチ等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患(透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
圏域1	76	5.3	17.1	3.9	2.6	11.8	2.6	—	5.3	1.3	10.5	7.9	11.8	21.1	10.5	1.3	25.0
圏域2	58	10.3	10.3	5.2	—	6.9	10.3	5.2	10.3	1.7	6.9	12.1	12.1	19.0	12.1	—	24.1
圏域3	59	1.7	3.4	10.2	3.4	13.6	6.8	5.1	3.4	1.7	8.5	13.6	10.2	28.8	8.5	1.7	18.6
圏域4	56	7.1	8.9	8.9	8.9	16.1	7.1	1.8	7.1	3.6	7.1	12.5	10.7	19.6	5.4	—	26.8
圏域5	51	7.8	9.8	2.0	3.9	9.8	2.0	—	5.9	2.0	3.9	7.8	3.9	19.6	17.6	—	29.4

問1 【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】
②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

「配偶者(夫・妻)」の割合が40.7%と最も高く、次いで「娘」の割合が22.2%、「介護サービスのヘルパー」の割合が17.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「配偶者(夫・妻)」「介護サービスのヘルパー」の割合が増加しています。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者(夫・妻)」「息子」「子の配偶者」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「娘」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
一般高齢者	74	50.0	18.9	20.3	8.1	1.4	4.1	6.8	13.5	5.4
要支援認定者	34	20.6	8.8	26.5	—	2.9	2.9	41.2	23.5	2.9

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3で「娘」「子の配偶者」の割合が高くなっています。また、圏域3、圏域5で「息子」の割合が、圏域1、圏域4で「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
圏域1	22	40.9	4.5	18.2	4.5	4.5	4.5	27.3	—	4.5
圏域2	24	45.8	16.7	20.8	—	4.2	—	12.5	33.3	4.2
圏域3	23	43.5	21.7	30.4	13.0	—	4.3	8.7	8.7	—
圏域4	22	40.9	13.6	22.7	—	—	4.5	27.3	22.7	9.1
圏域5	17	29.4	23.5	17.6	11.8	—	5.9	11.8	17.6	5.9

【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「配偶者(夫・妻)」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「娘」の割合が高くなっています。

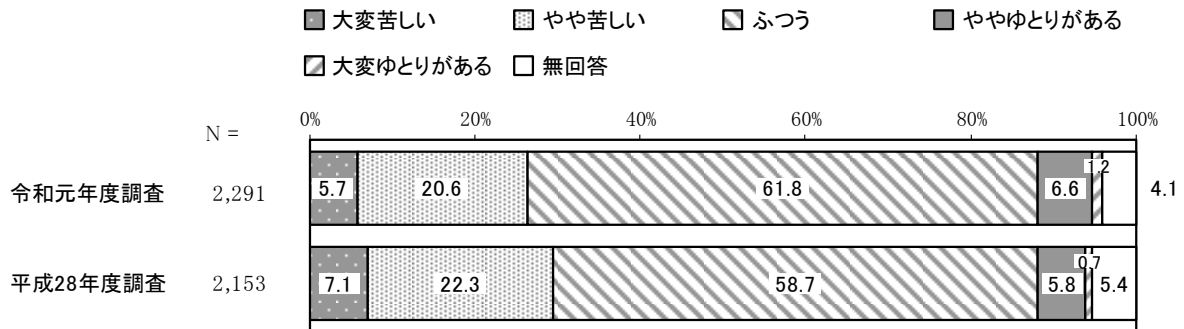
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービスの ヘルパー	その他	無回 答
男性	38	60.5	13.2	15.8	2.6	2.6	5.3	15.8	23.7	—
女性	70	30.0	17.1	25.7	7.1	1.4	2.9	18.6	12.9	7.1

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

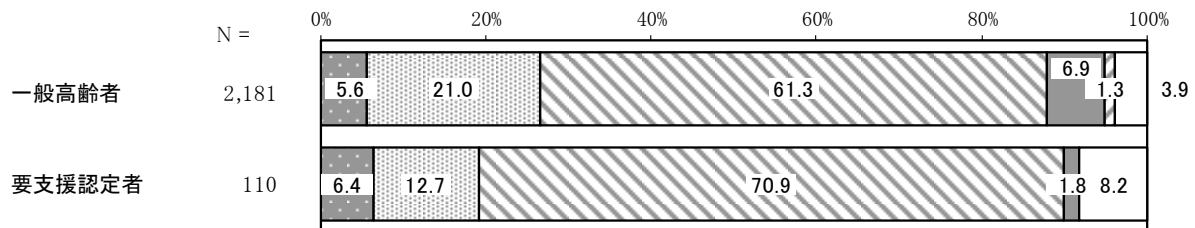
「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”の割合が26.3%、「ふつう」の割合が61.8%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”の割合が7.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



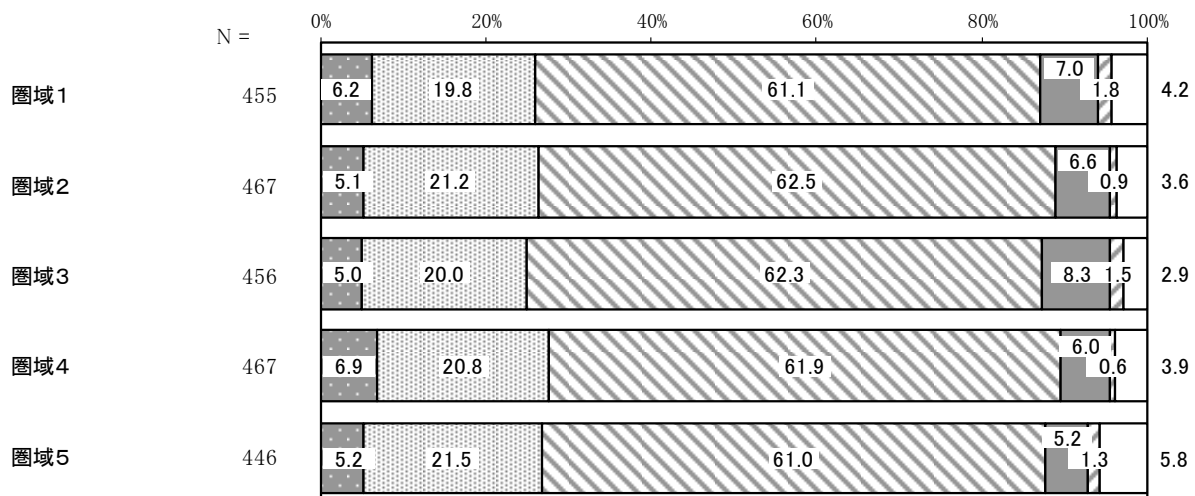
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で“苦しい”“ゆとりがある”の割合がともに高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ふつう」の割合が高くなっています。



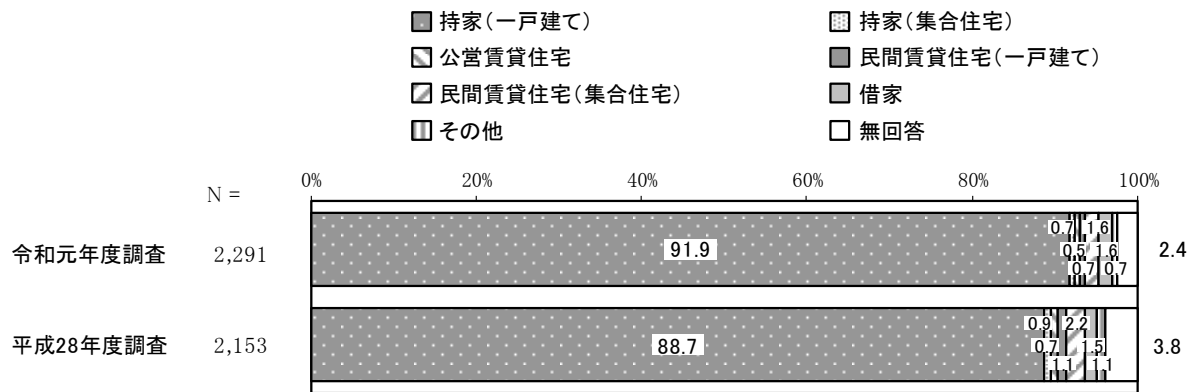
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



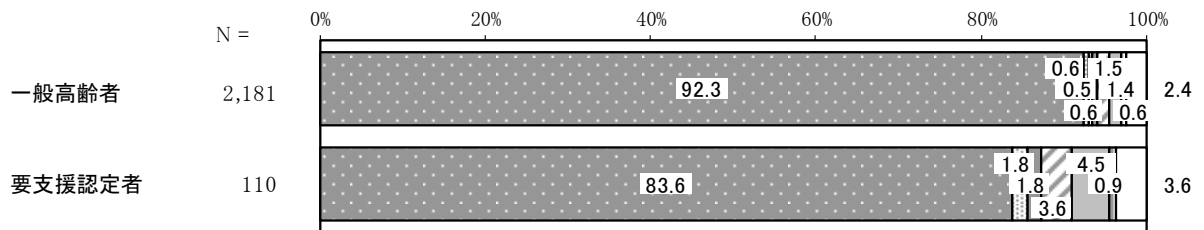
問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家（一戸建て）」の割合が91.9%と最も高くなっています。
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



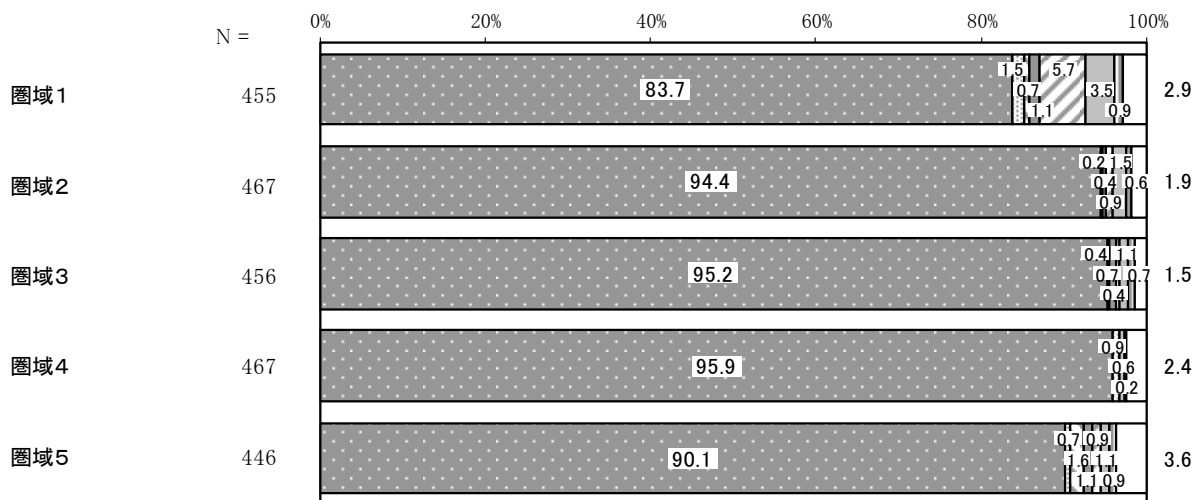
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他に比べ、圏域2、圏域3、圏域4で「持家（一戸建て）」の割合が高くなっています。

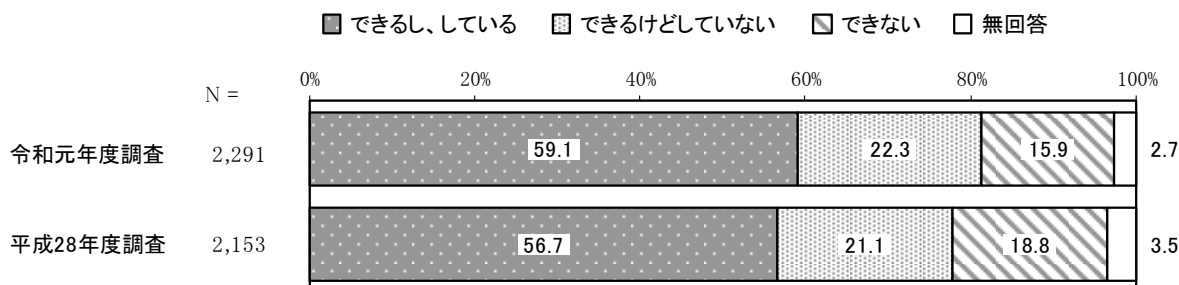


2 からだを動かすことについて

問2（1）階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

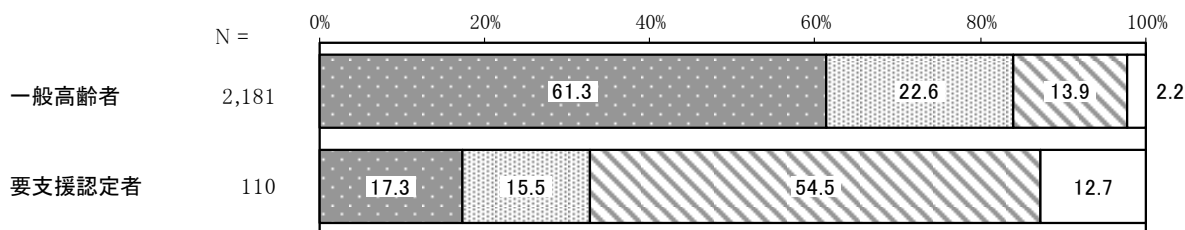
「できるし、している」の割合が59.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が22.3%、「できない」の割合が15.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



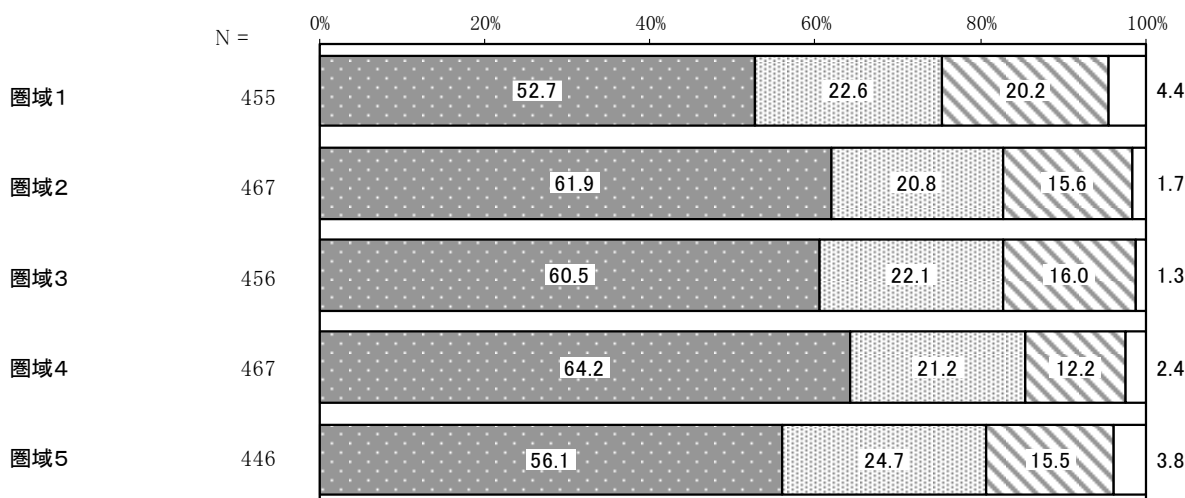
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」「できるけどしていない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

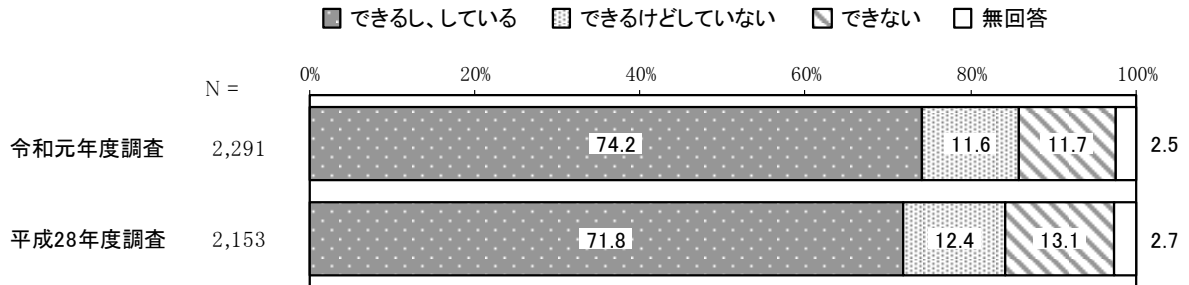
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、圏域1で「できない」の割合が高くなっています。



問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

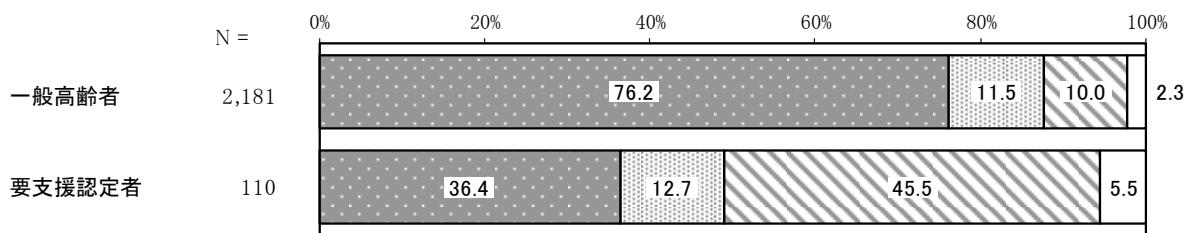
「できるし、している」の割合が74.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が11.7%、「できるけどしていない」の割合が11.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



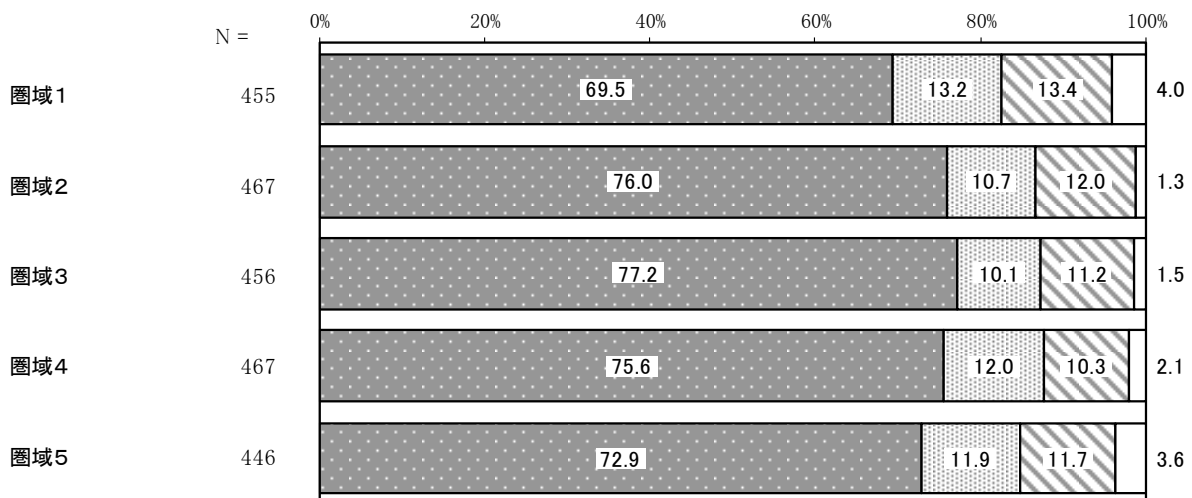
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

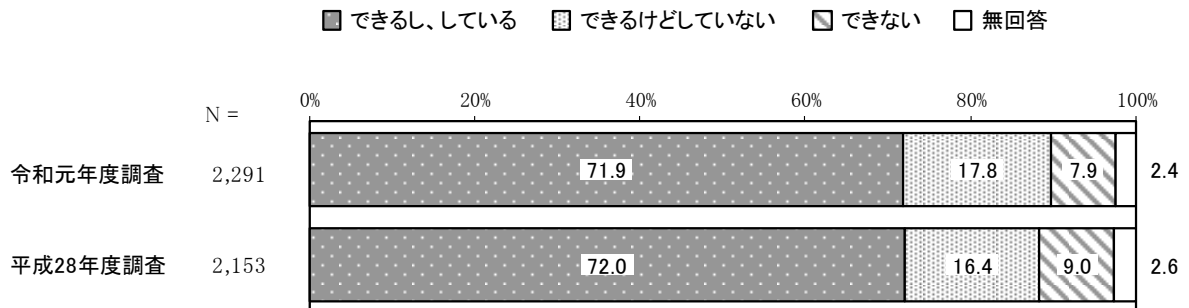
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「できるし、している」の割合が低くなっています。



問2 (3) 15分位続けて歩いていますか

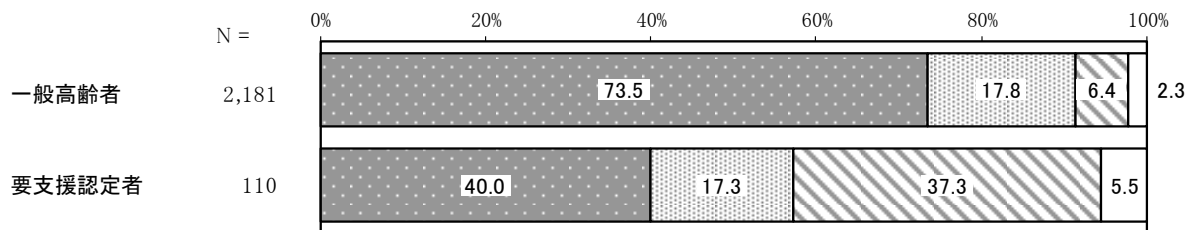
「できるし、している」の割合が71.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が17.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



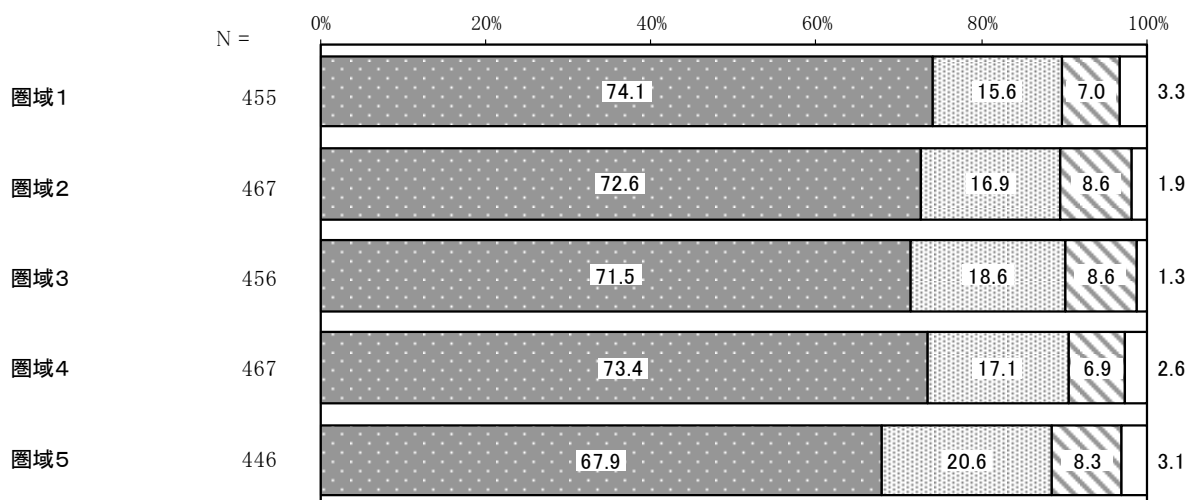
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



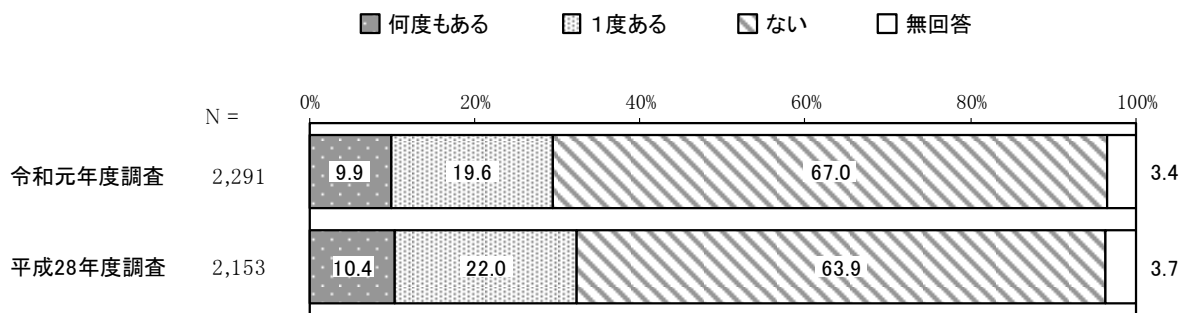
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域5で「できるし、している」の割合が低くなっています。



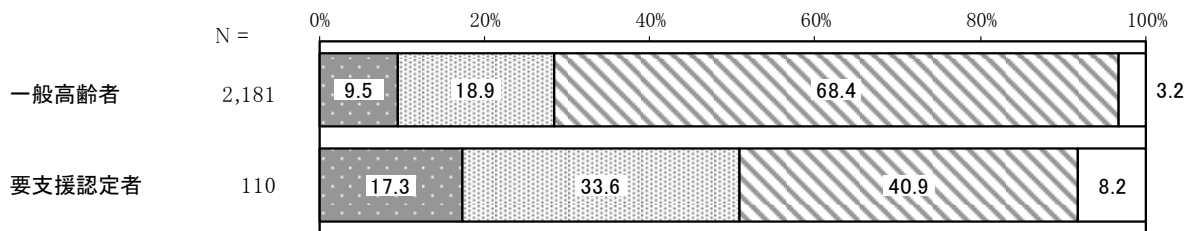
問 2 (4) 過去 1 年間に転んだ経験がありますか

「ない」の割合が 67.0%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が 19.6%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



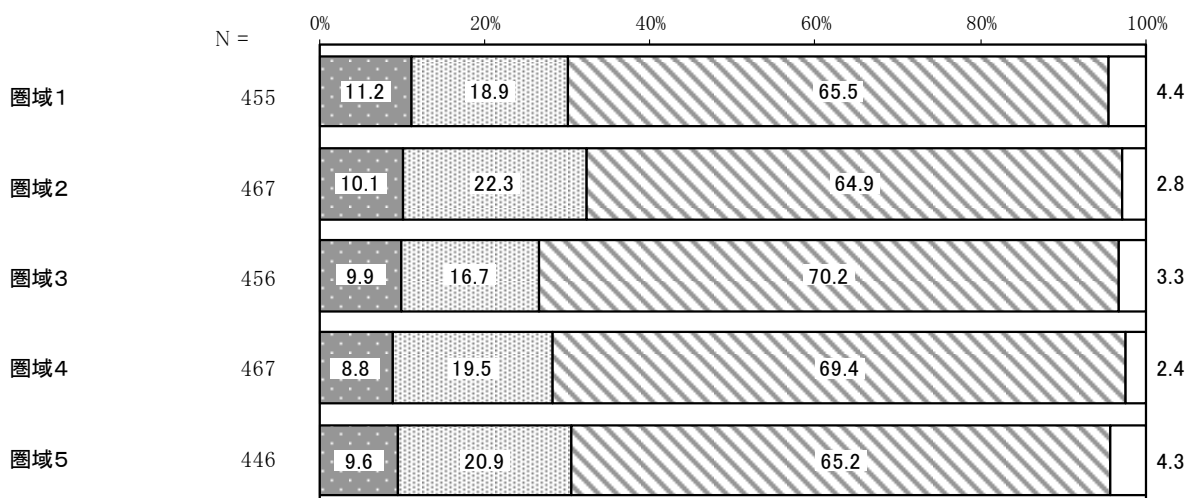
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「何度もある」「1度ある」の割合が高くなっています。



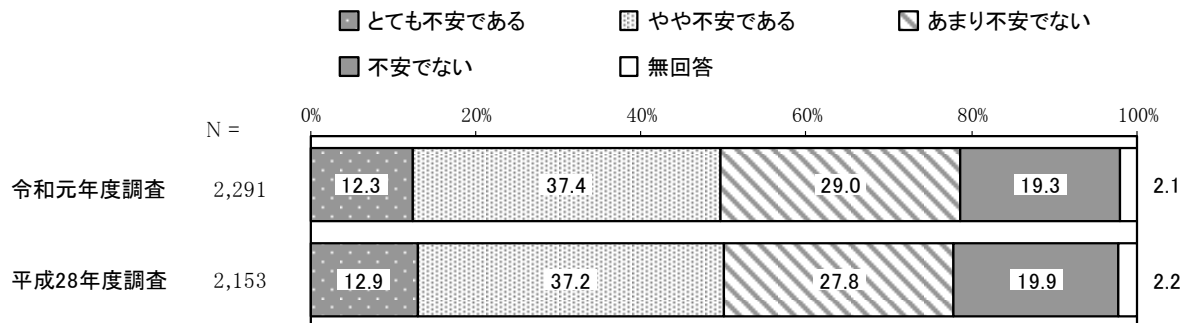
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域 3、圏域 4 で「ない」の割合が高くなっています。



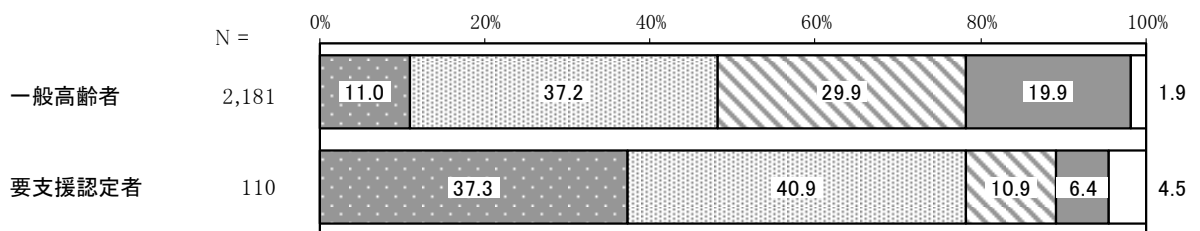
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか

「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が49.7%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”の割合が48.3%となっています。平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



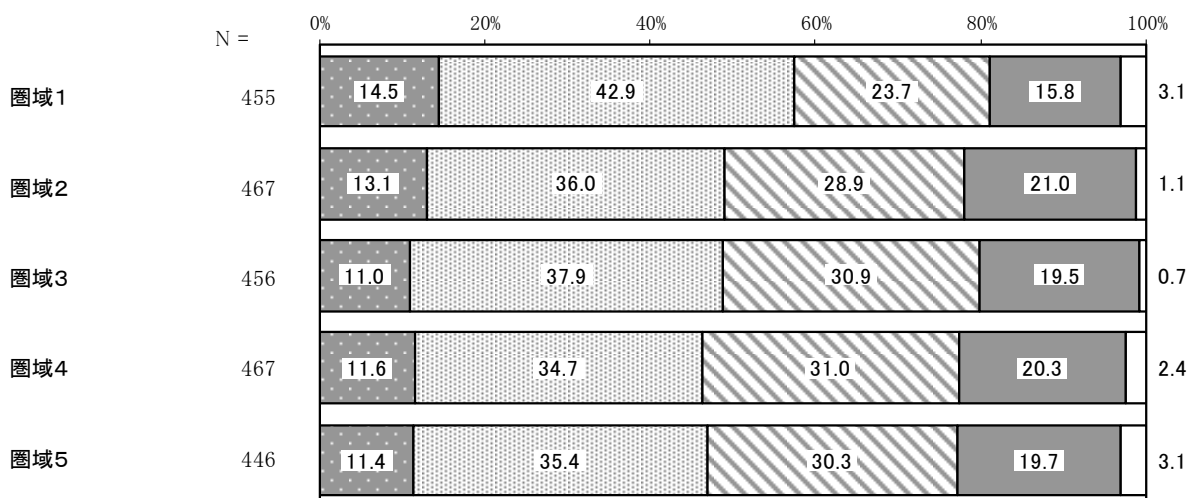
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で“不安である”の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

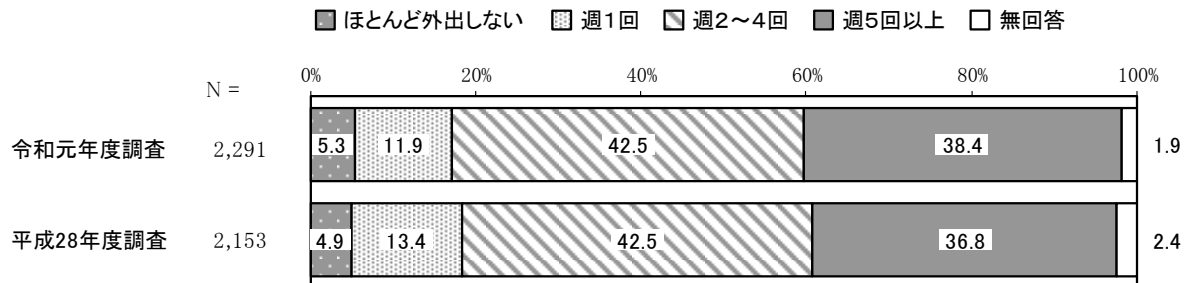
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で“不安である”の割合が高くなっています。



問2（6）週に1回以上は外出していますか

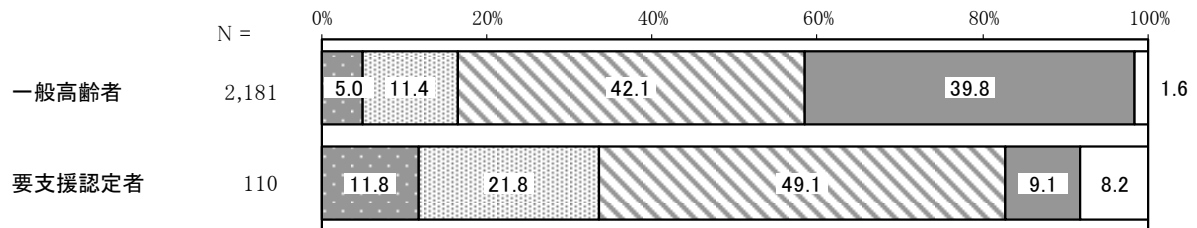
「週2～4回」の割合が42.5%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が38.4%、「週1回」の割合が11.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



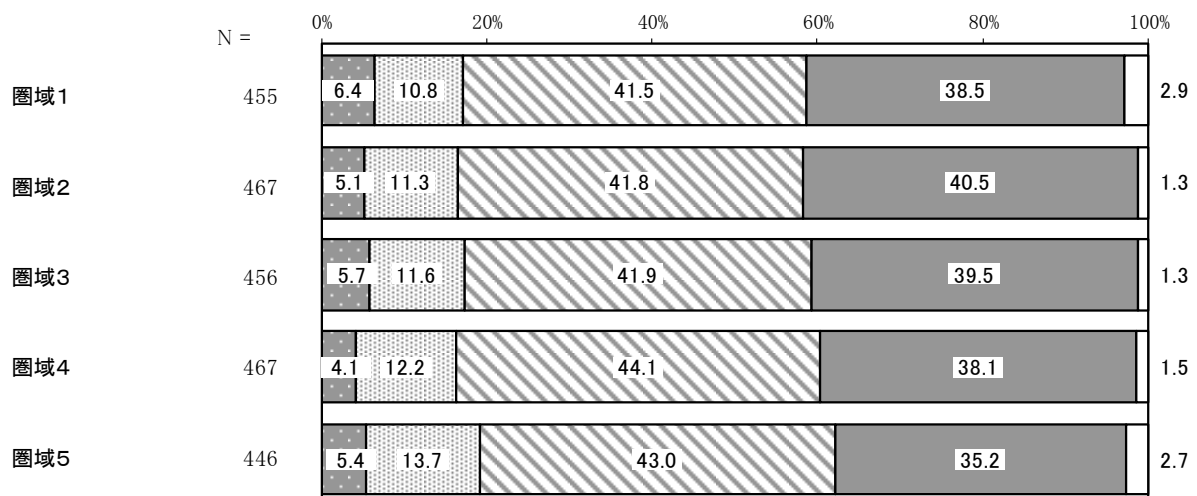
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。



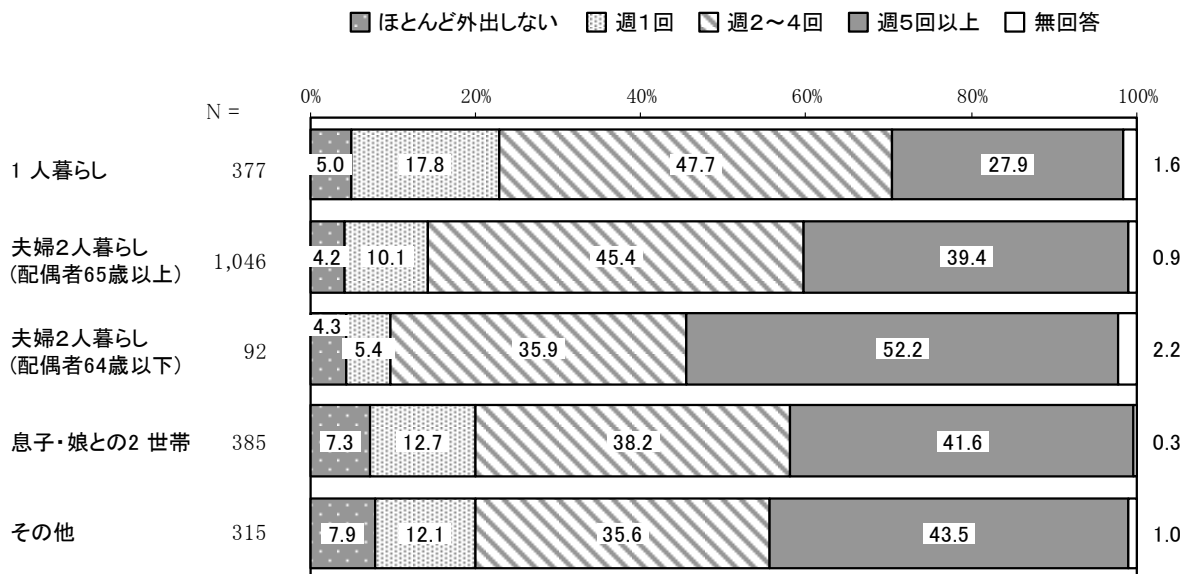
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域5で「週5回以上」の割合が低くなっています。



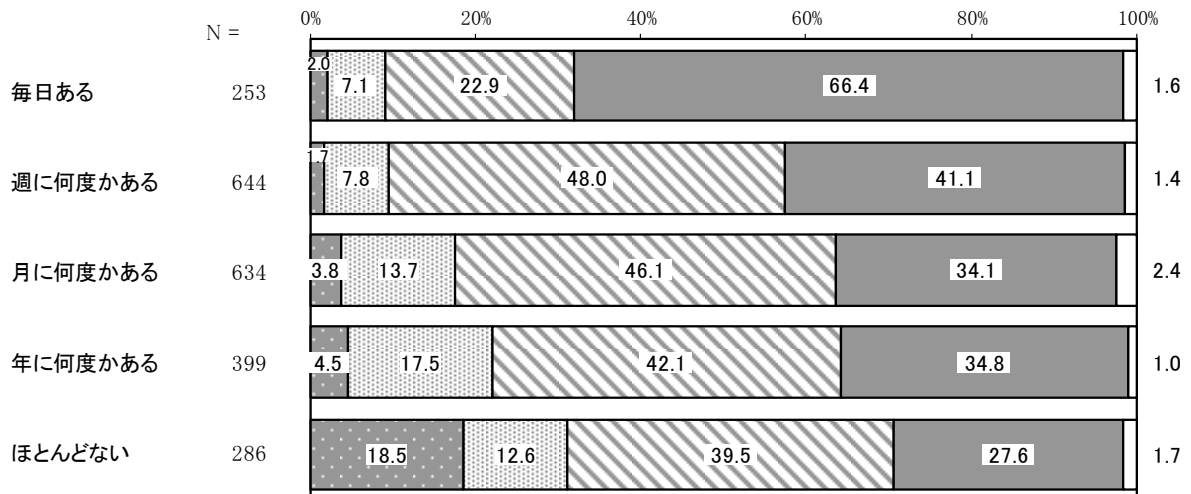
【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、1人暮らしで「週5回以上」の割合が低くなっています。



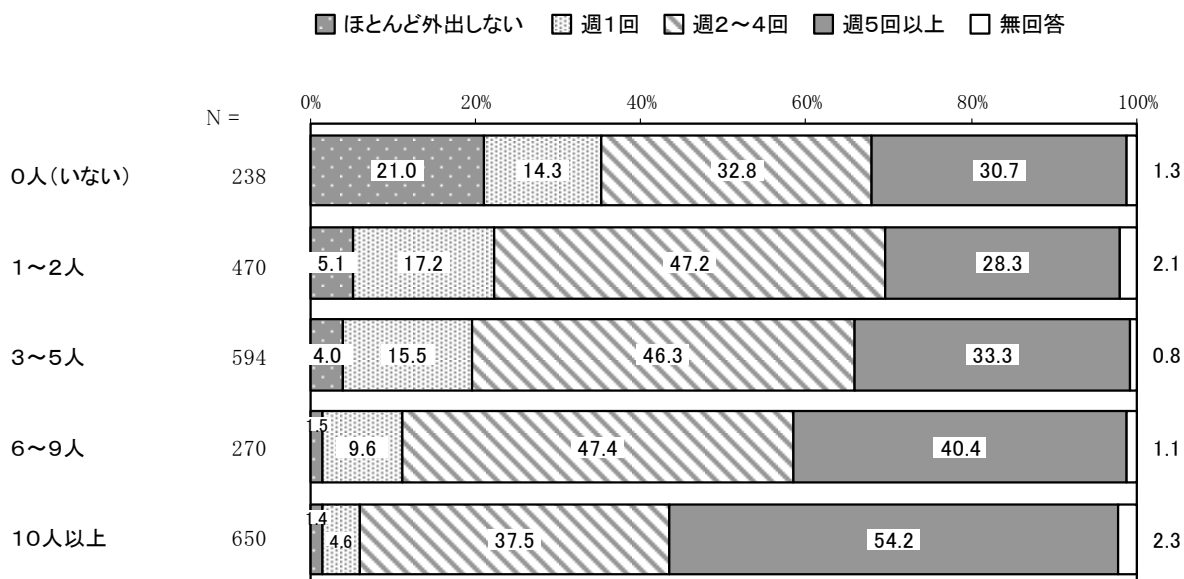
【友人・知人と会う頻度別】

友人・知人と会う頻度別で見ると、会う頻度が少なくなるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



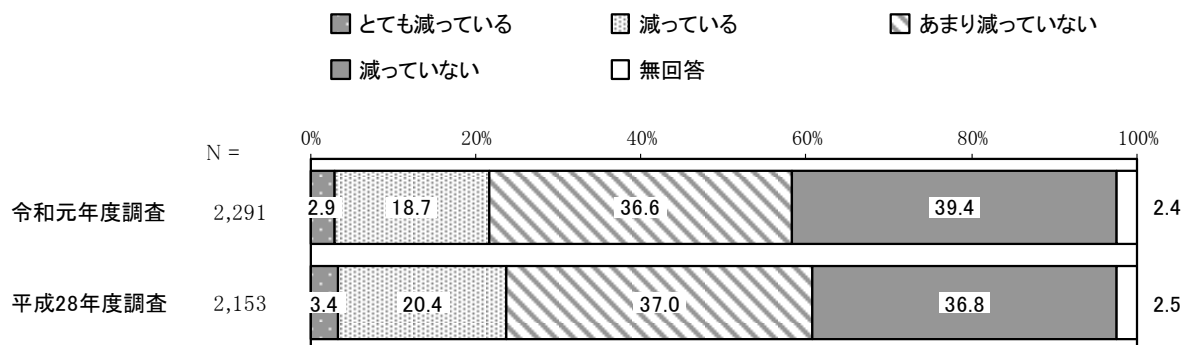
【会った友人・知人の人数別】

会った友人・知人の人数別でみると、会った人数が少ないほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



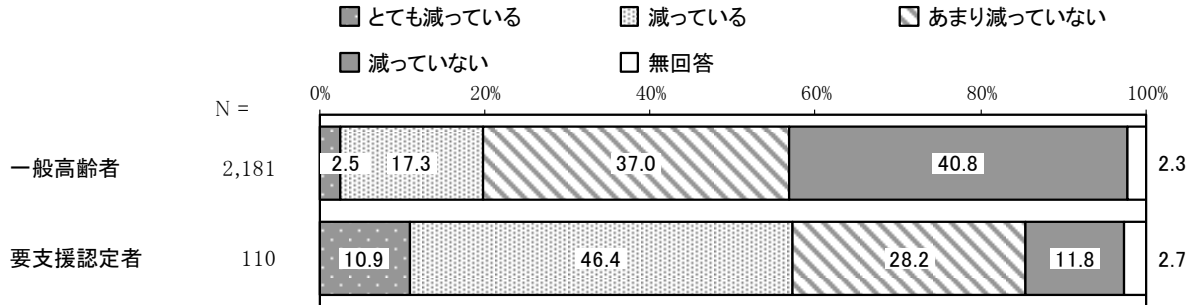
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”の割合が21.6%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”の割合が76.0%となっています。平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



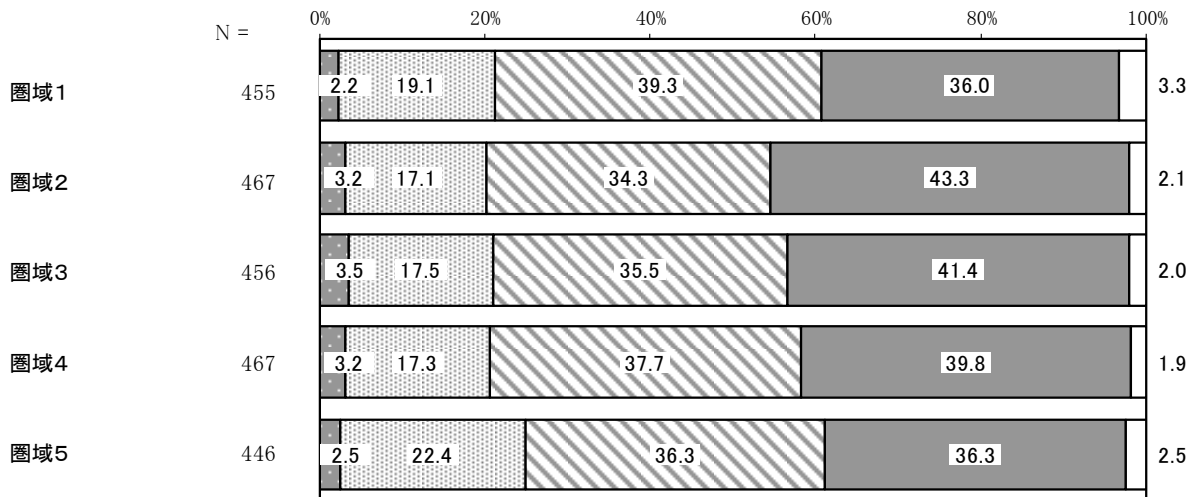
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で“減っていない”の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で“減っている”の割合が高くなっています。



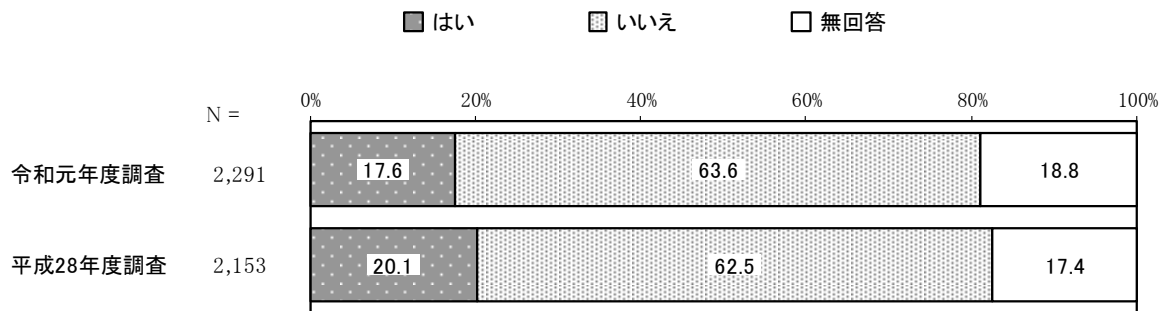
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域5で“減っている”の割合が高くなっています。



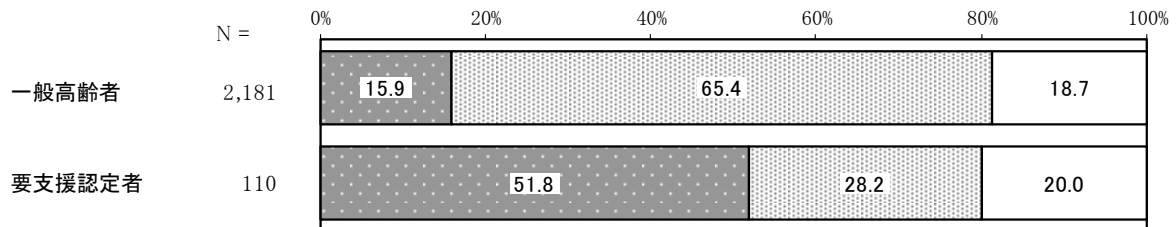
問2（8）外出を控えていますか

「はい」の割合が17.6%、「いいえ」の割合が63.6%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



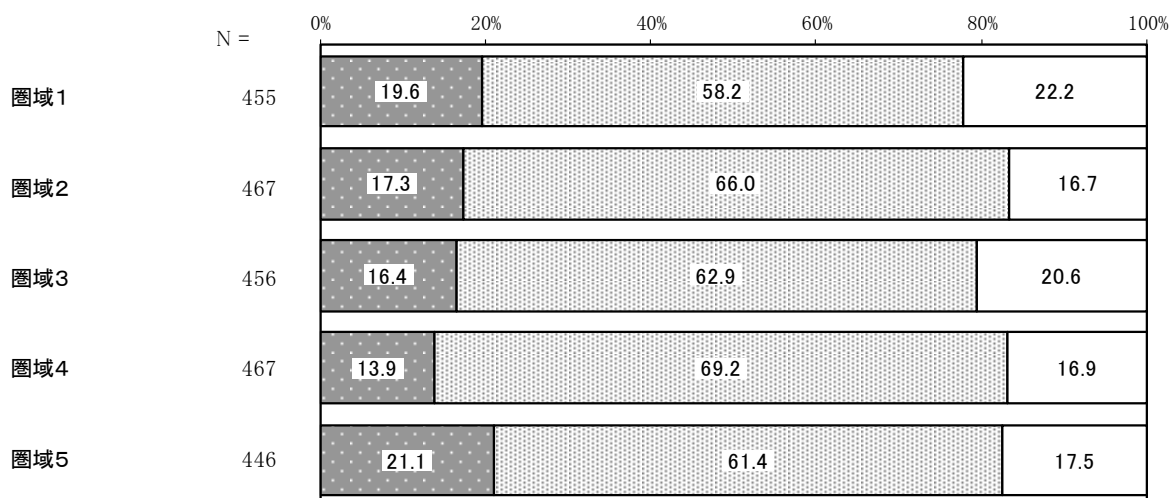
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

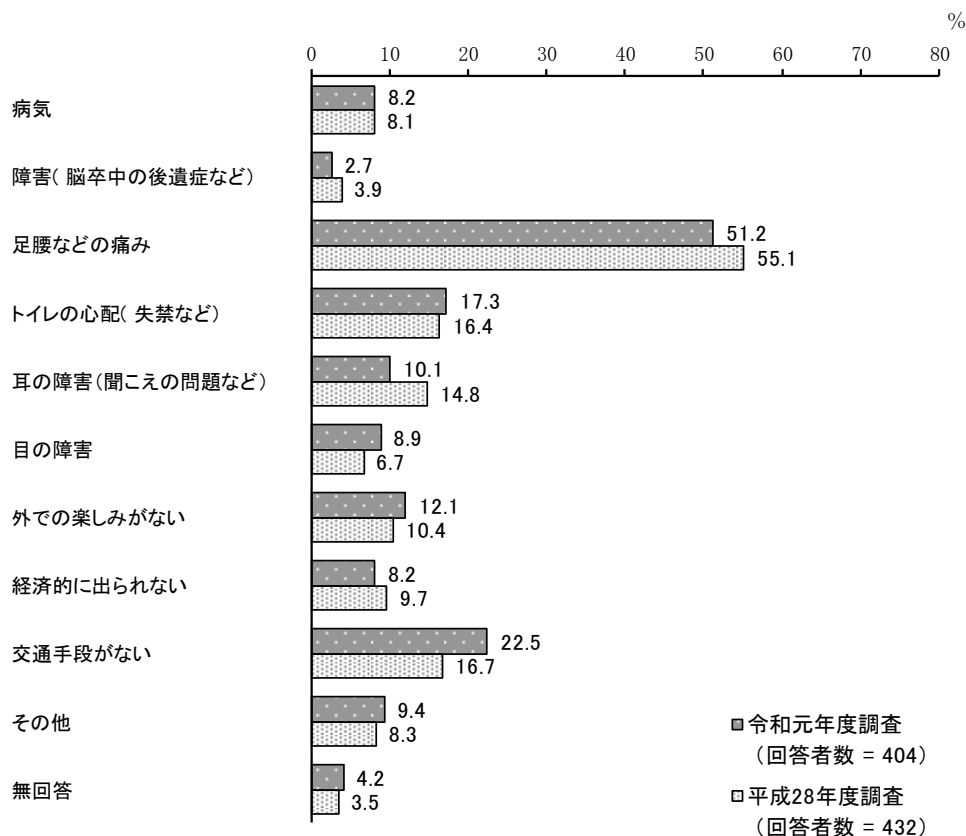
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域5で「はい」の割合が高くなっています。また、圏域4で「いいえ」の割合が高くなっています。



問2【(8)で「はい」(外出を控えている)の方のみ】
外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「足腰などの痛み」の割合が51.2%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が22.5%、「トイレの心配(失禁など)」の割合が17.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「交通手段がない」の割合が増加しています。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「病気」「足腰などの痛み」「耳の障害(聞こえの問題など)」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
一般高齢者	347	6.1	2.3	49.0	17.3	8.9	8.6	12.7	8.4	19.9	9.2	4.9
要支援認定者	57	21.1	5.3	64.9	17.5	17.5	10.5	8.8	7.0	38.6	10.5	—

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。また、圏域4で「病気」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

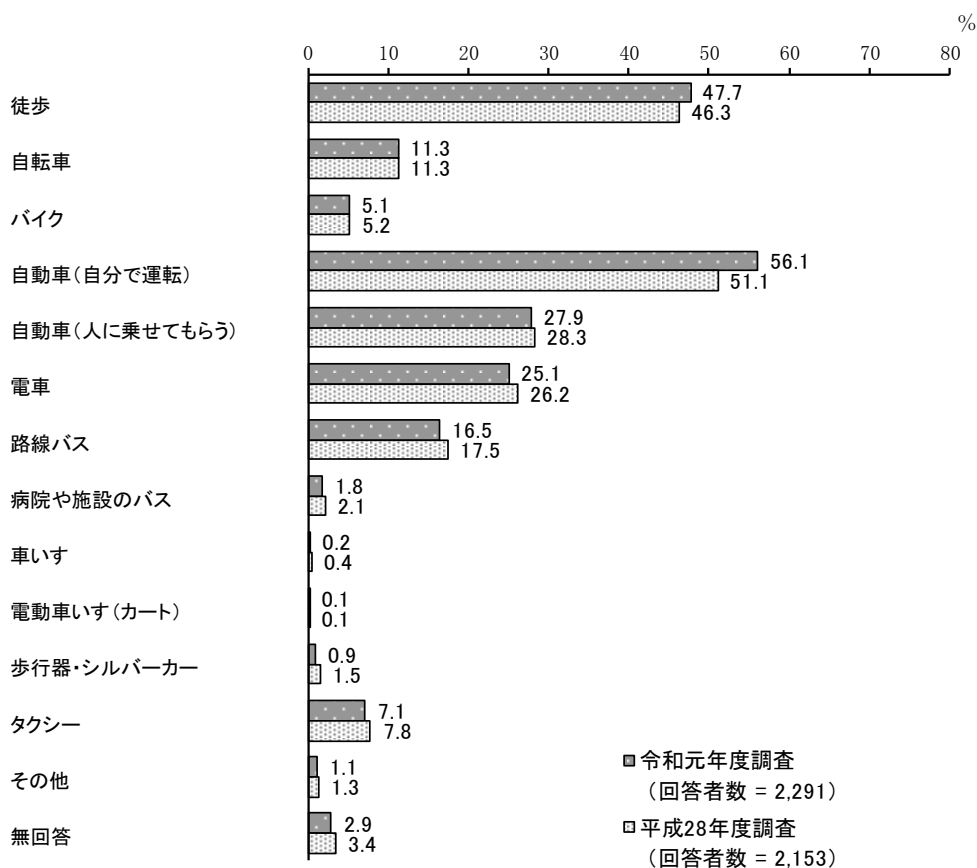
単位：％

区分	回答者数(件)	病気	障害(脳卒中の後遺症など)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	耳の障害(聞こえの問題など)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
圏域1	89	4.5	2.2	57.3	15.7	10.1	13.5	9.0	4.5	23.6	4.5	4.5
圏域2	81	3.7	4.9	49.4	17.3	7.4	7.4	13.6	7.4	24.7	11.1	4.9
圏域3	75	9.3	—	49.3	21.3	9.3	8.0	10.7	9.3	21.3	14.7	5.3
圏域4	65	15.4	3.1	47.7	13.8	13.8	4.6	16.9	10.8	29.2	7.7	1.5
圏域5	94	9.6	3.2	51.1	18.1	10.6	9.6	11.7	9.6	16.0	9.6	4.3

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

「自動車(自分で運転)」の割合が56.1%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が47.7%、「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が27.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
一般高齢者	2,181	48.4	11.6	5.3	58.3	26.5	25.7	16.3	1.2	0.1	0.1	0.6	6.3	1.1	2.9
要支援認定者	110	34.5	4.5	1.8	12.7	54.5	11.8	19.1	12.7	1.8	0.9	7.3	23.6	1.8	2.7

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「徒歩」「自転車」の割合が、圏域3で「電車」の割合が、圏域2、圏域4で「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
圏域1	455	60.7	24.8	5.5	42.6	29.0	27.5	11.4	1.1	0.7	0.4	1.8	11.4	0.4	2.9
圏域2	467	43.3	6.9	5.1	60.2	27.6	24.0	19.3	2.6	0.2	—	1.3	6.6	1.5	2.8
圏域3	456	50.2	9.2	3.5	59.0	29.8	30.7	14.5	0.9	—	0.2	0.7	5.9	0.4	2.4
圏域4	467	41.3	4.1	5.1	60.4	25.9	19.1	22.5	2.8	—	—	0.2	3.9	1.5	3.0
圏域5	446	43.3	11.7	6.3	58.3	27.1	24.2	14.3	1.6	0.2	—	0.4	7.8	1.8	3.6

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自動車（自分で運転）」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「タクシー」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
男性	1,044	50.0	13.2	5.7	75.0	14.4	26.5	13.6	0.7	0.4	0.2	0.2	4.2	0.3	3.0
女性	1,247	45.8	9.6	4.6	40.3	39.2	23.8	18.8	2.7	0.1	0.1	1.4	9.5	1.8	2.9

【年齢階級別】

年齢階級別でみると、年齢階級が上がるにつれて「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合が高く、「自動車（自分で運転）」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
65～69歳	540	47.4	11.3	5.0	74.6	21.7	25.6	10.9	0.2	—	—	—	1.9	0.7	2.6
70～74歳	603	49.1	10.8	6.1	68.0	23.1	28.4	16.6	0.3	0.3	—	—	3.8	0.7	2.8
75～79歳	462	49.4	14.1	6.3	58.7	26.6	28.6	17.5	1.5	—	0.2	0.2	5.8	0.4	1.7
80～84歳	375	47.5	11.5	4.5	37.6	31.2	21.1	22.9	4.0	0.3	—	1.6	13.1	2.4	4.5
85歳以上	311	43.4	7.7	2.3	19.6	46.0	17.4	16.4	5.1	0.6	0.6	4.2	17.4	2.3	3.5

【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「自動車(自分で運転)」「電車」の割合が高くなっています。また、息子・娘との2世帯で「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が、1人暮らしで「路線バス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
1人暮らし	377	49.3	11.1	5.3	44.8	23.3	27.6	26.0	4.8	—	0.3	1.9	17.0	2.9	2.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,046	48.8	11.2	5.1	64.5	25.0	27.2	15.3	1.1	0.1	0.1	0.3	5.1	0.8	2.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	92	54.3	15.2	5.4	75.0	22.8	34.8	15.2	1.1	1.1	—	1.1	2.2	1.1	—
息子・娘との2世帯	385	44.9	11.2	5.2	45.2	39.0	19.0	14.3	1.8	0.8	0.3	1.6	5.2	0.5	2.6
その他	315	48.6	10.8	5.1	55.6	32.1	21.9	14.3	1.0	—	—	0.6	7.0	1.0	1.0

【外出の頻度別】

外出の頻度別でみると、他に比べ、週5回以上で「自動車(自分で運転)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
ほとんど外出しない	122	32.0	1.6	2.5	21.3	45.9	8.2	15.6	1.6	2.5	—	2.5	15.6	3.3	4.9
週1回	273	38.5	8.4	5.1	34.1	44.3	17.2	19.0	5.1	0.4	—	1.5	11.0	1.8	2.6
週2~4回	973	49.3	11.6	5.5	53.6	31.3	27.2	19.2	1.8	0.1	0.2	1.1	8.5	1.2	1.2
週5回以上	879	52.7	13.3	4.9	73.2	16.6	28.2	13.1	0.6	—	0.1	0.1	3.2	0.3	2.5

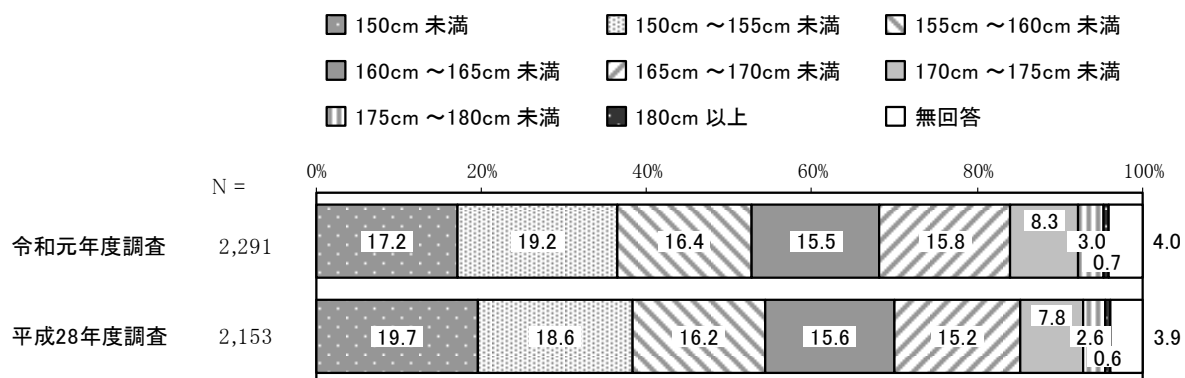
3 食べることについて

問3 (1) 身長・体重

身長

「150cm～155cm 未満」の割合が 19.2%と最も高く、次いで「150cm 未満」の割合が 17.2%、「155cm～160cm 未満」の割合が 16.4%となっています。

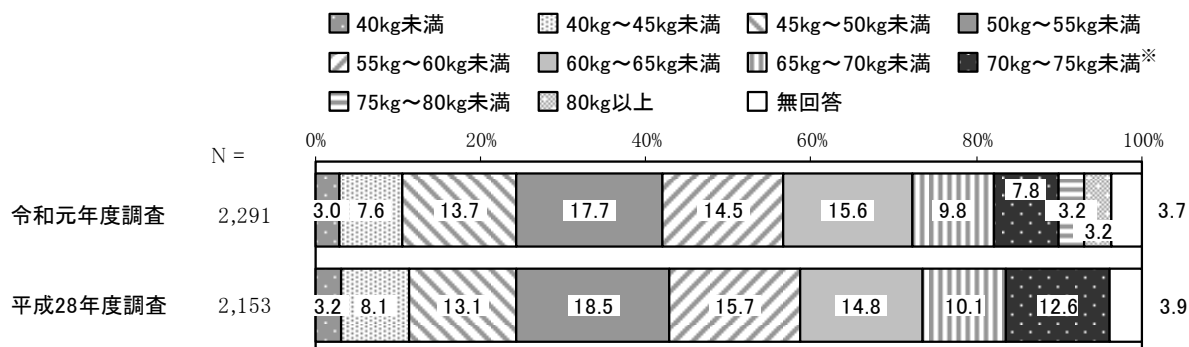
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



体重

「50kg～55kg 未満」の割合が 17.7%と最も高く、次いで「60kg～65kg 未満」の割合が 15.6%、「55kg～60kg 未満」の割合が 14.5%となっています。

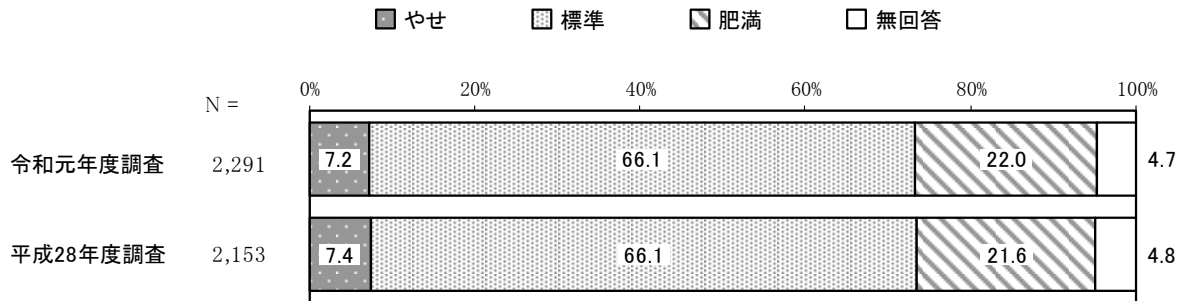
平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※平成 28 年度調査では、「70kg～75kg 未満」「75kg～80kg 未満」「80kg 以上」の選択肢はなく、「70kg～75kg 未満」「75kg～80kg 未満」「80kg 以上」をあわせた“70kg 以上”となっていました。

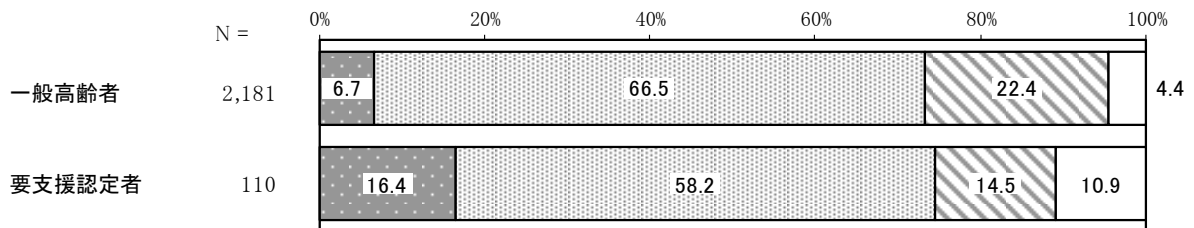
BMI

「標準」の割合が66.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が22.0%となっています。平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



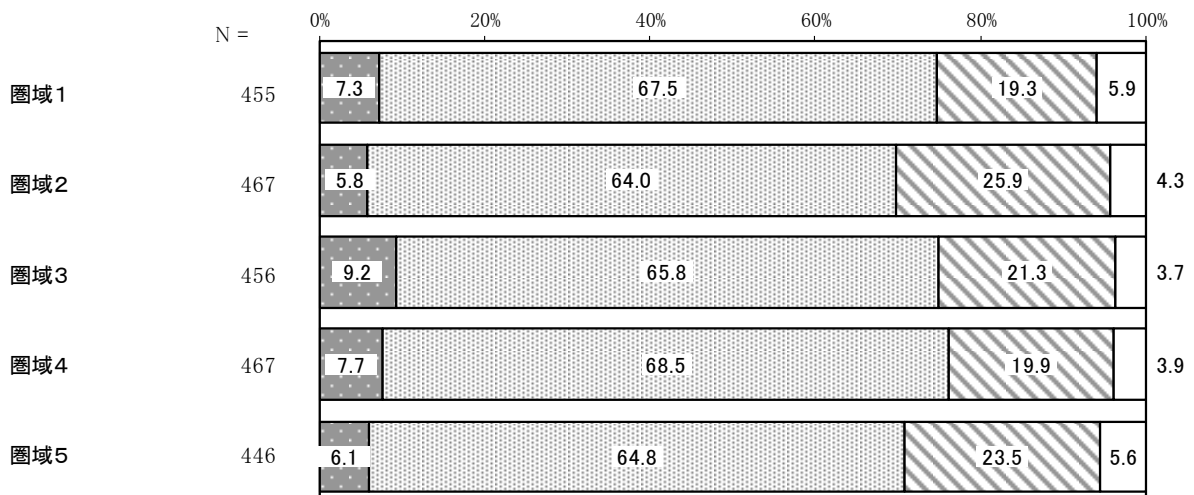
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「標準」「肥満」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「やせ」の割合が高くなっています。



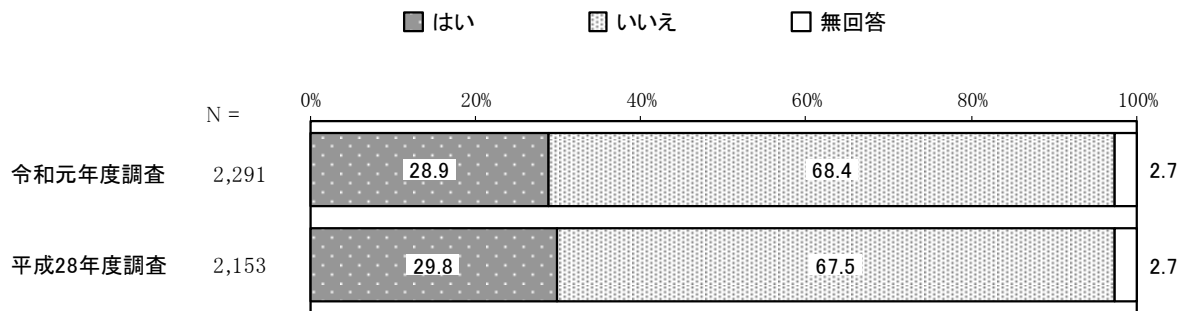
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「肥満」の割合が高くなっています。



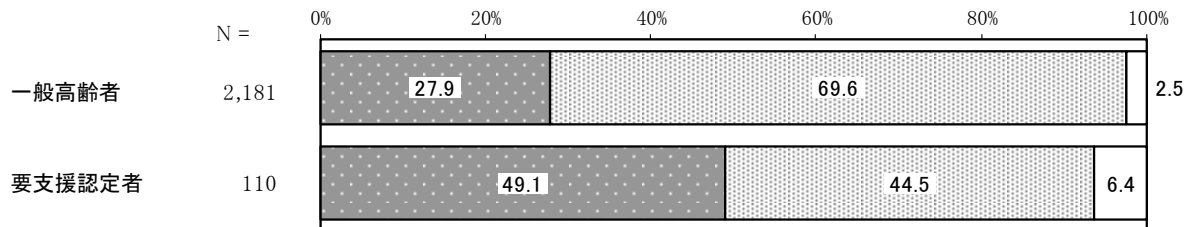
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が28.9%、「いいえ」の割合が68.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



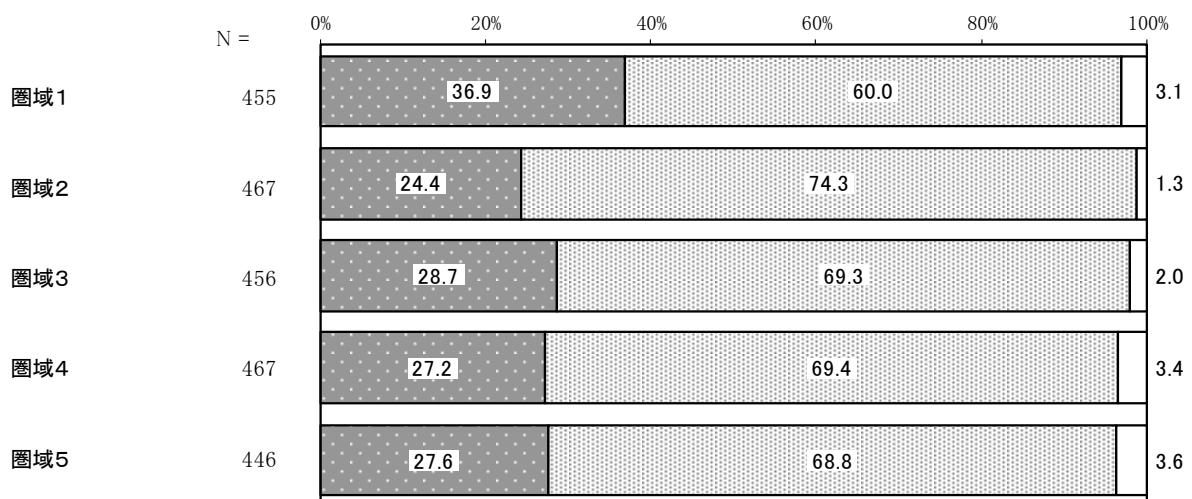
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



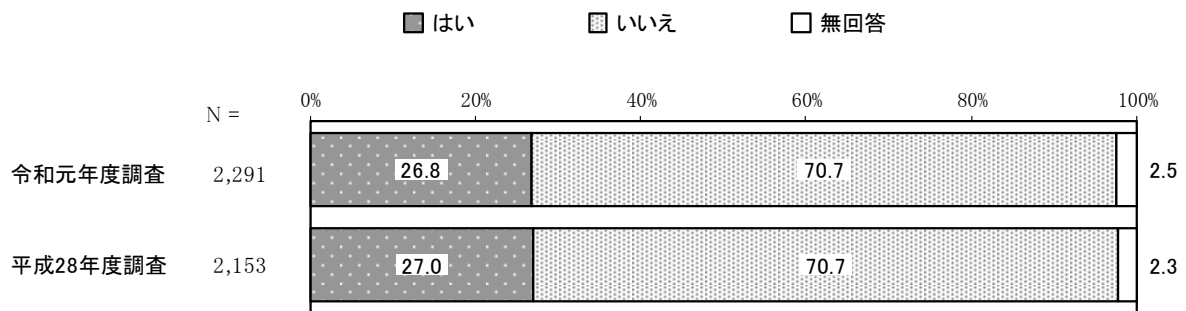
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「はい」の割合が高くなっています。



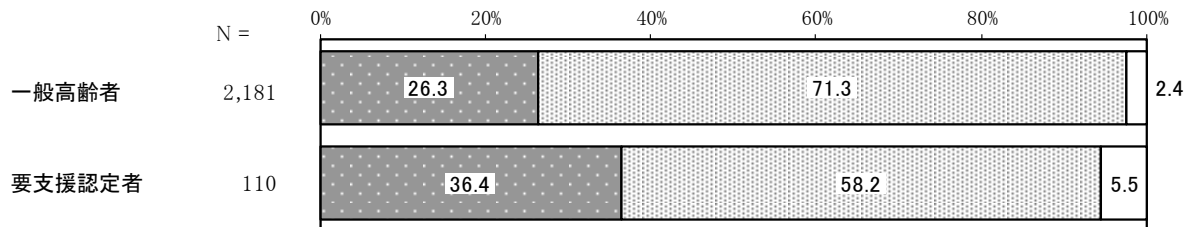
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が26.8%、「いいえ」の割合が70.7%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません



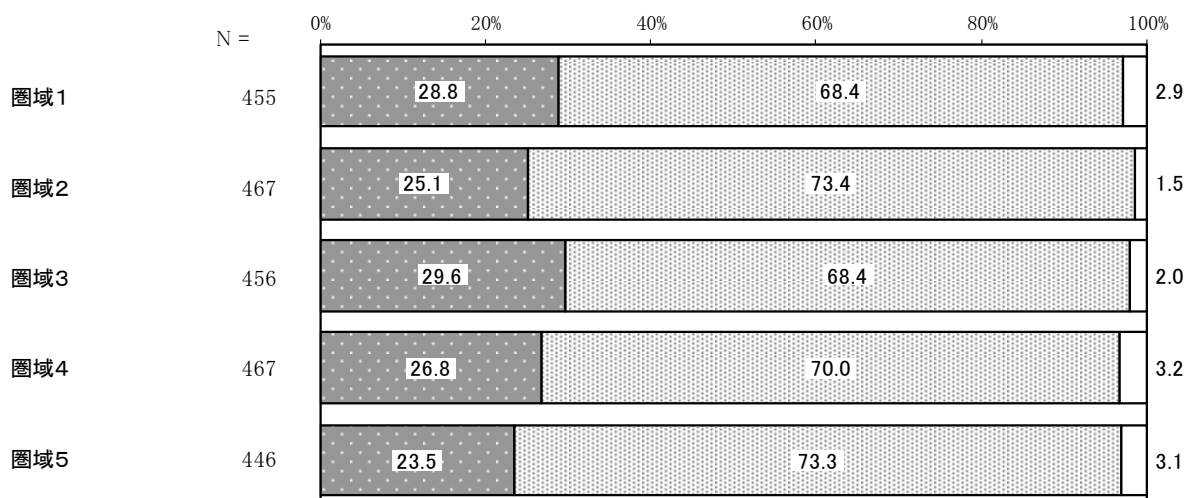
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



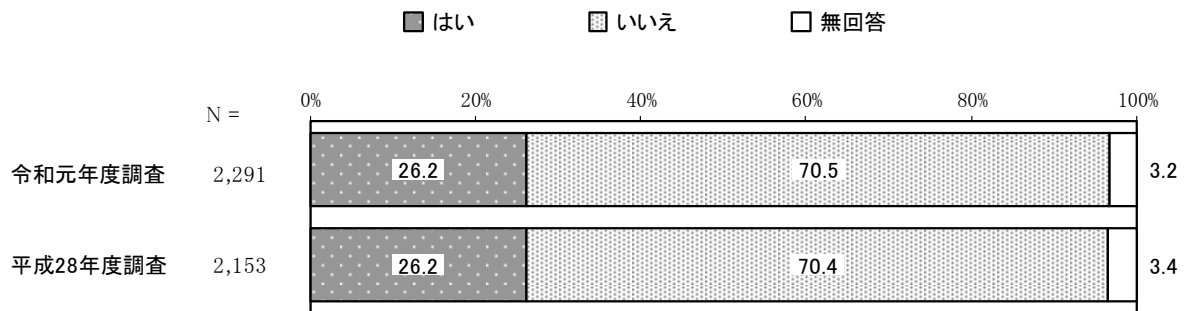
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1、圏域3で「はい」の割合が高くなっています。



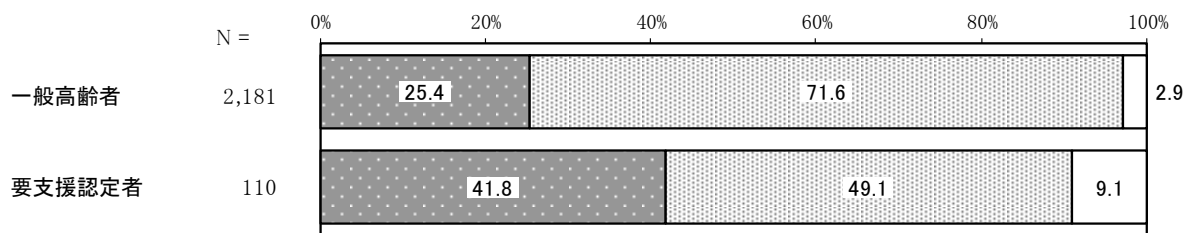
問3（4）口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が26.2%、「いいえ」の割合が70.5%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



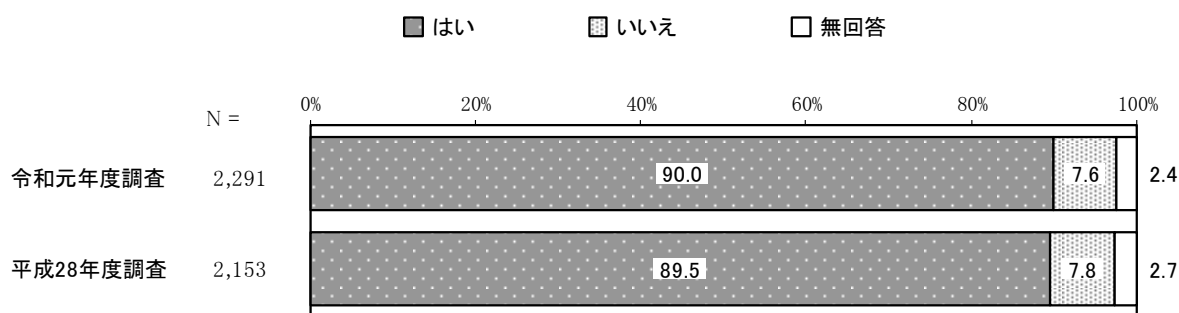
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



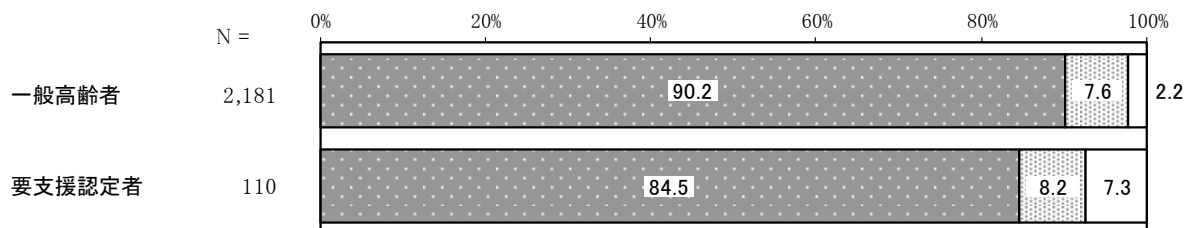
問3 (5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

「はい」の割合が90.0%、「いいえ」の割合が7.6%となっています。
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



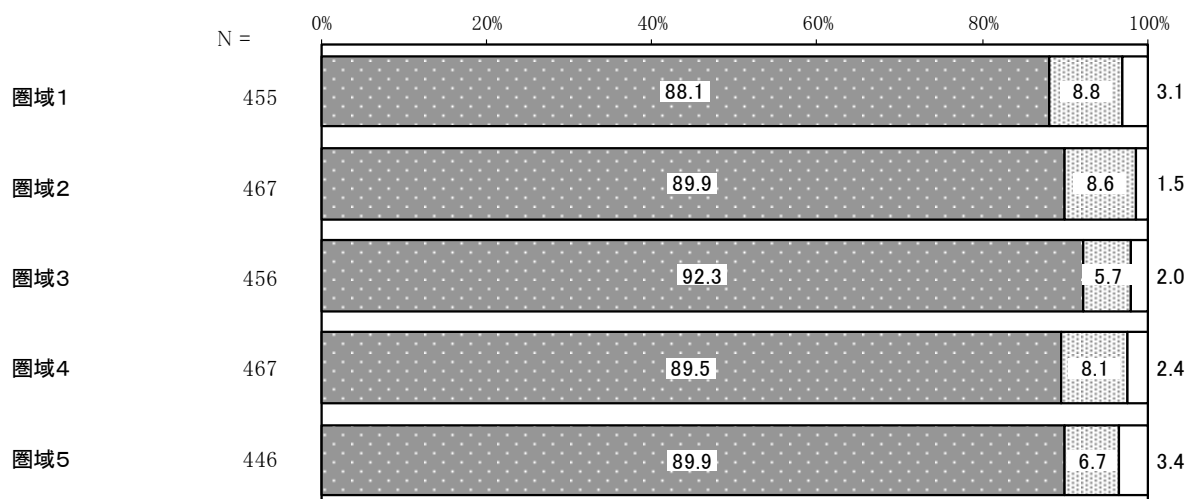
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

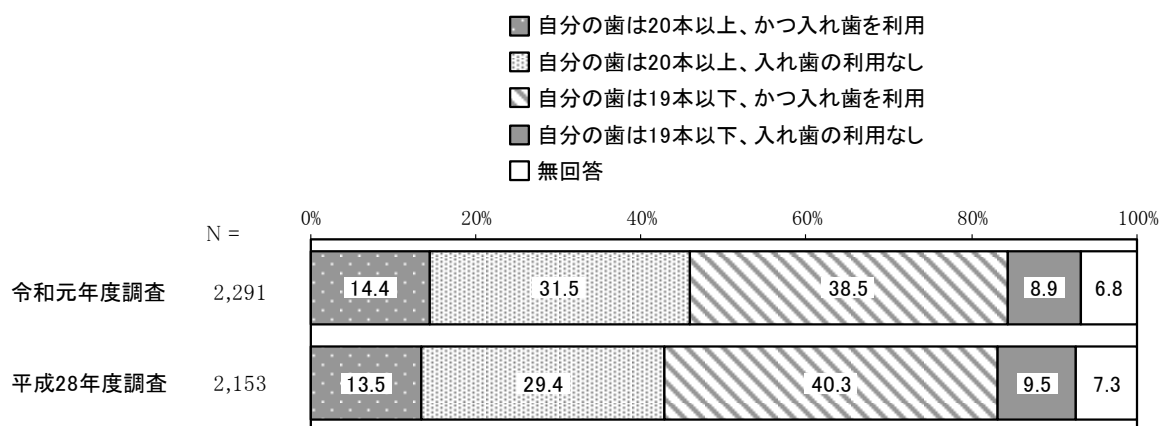
日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

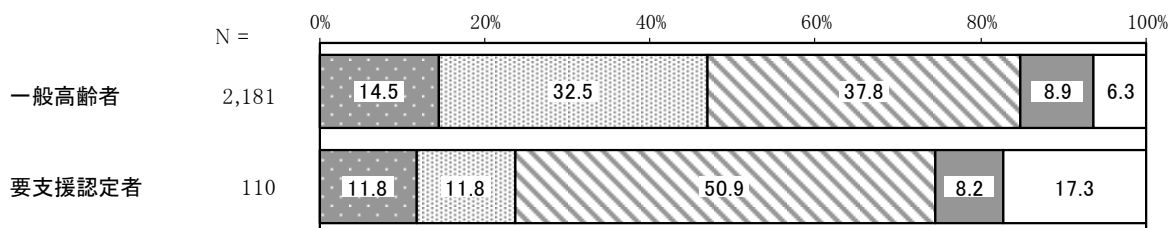
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が38.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が31.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が14.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



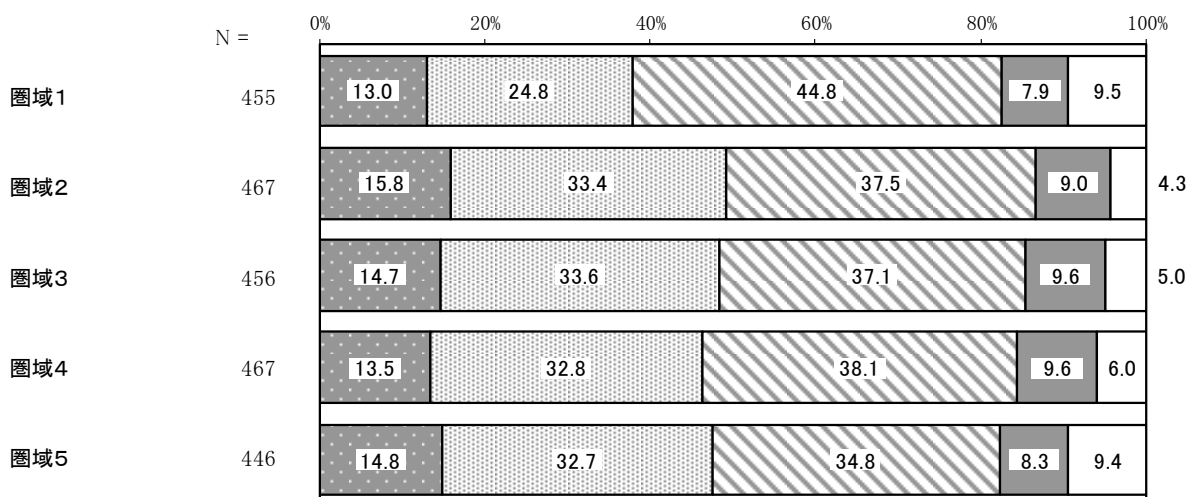
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



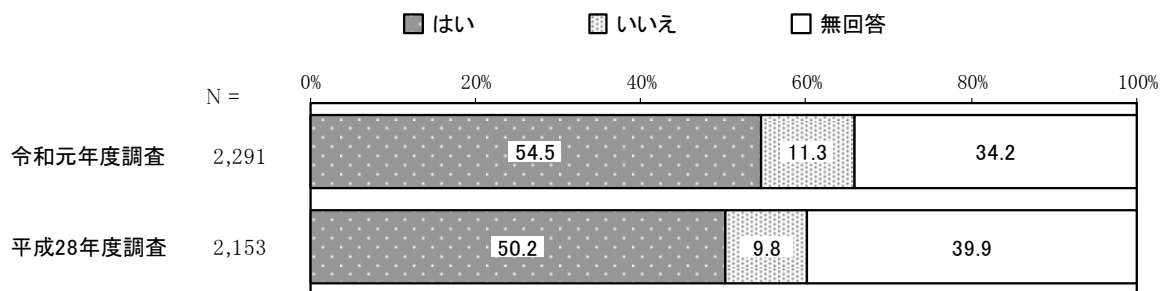
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



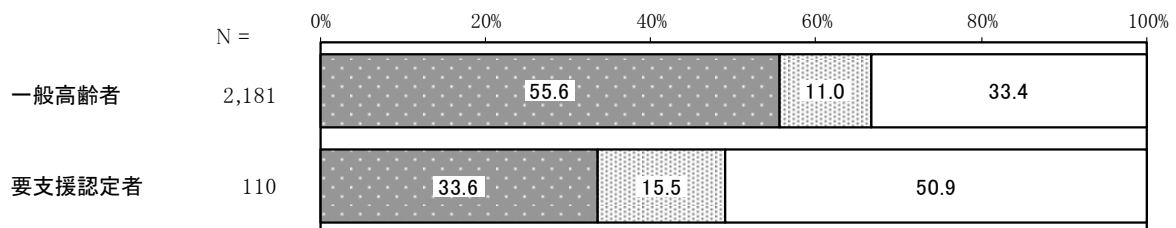
問3 (6) ① 噛み合わせは良いですか

「はい」の割合が54.5%、「いいえ」の割合が11.3%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



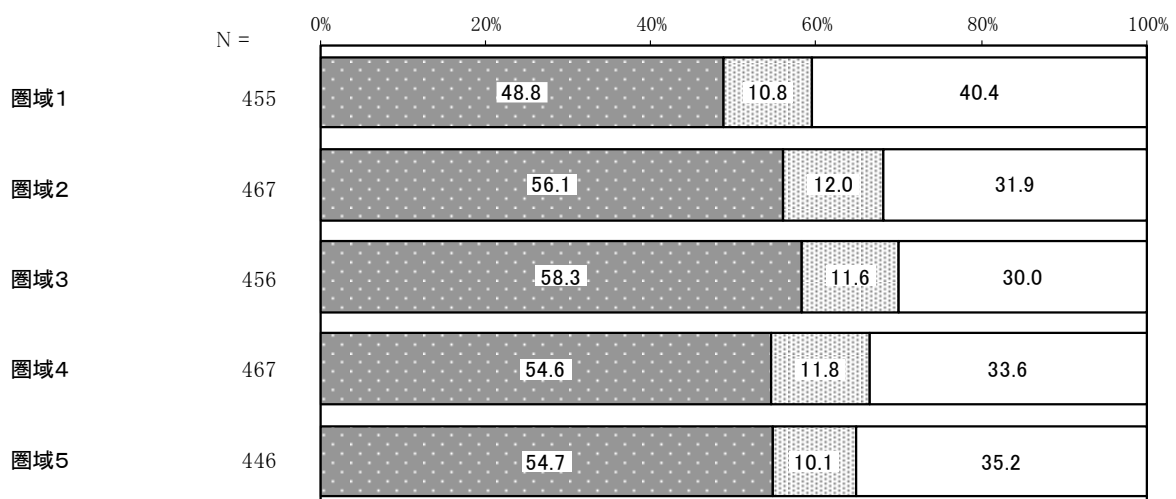
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



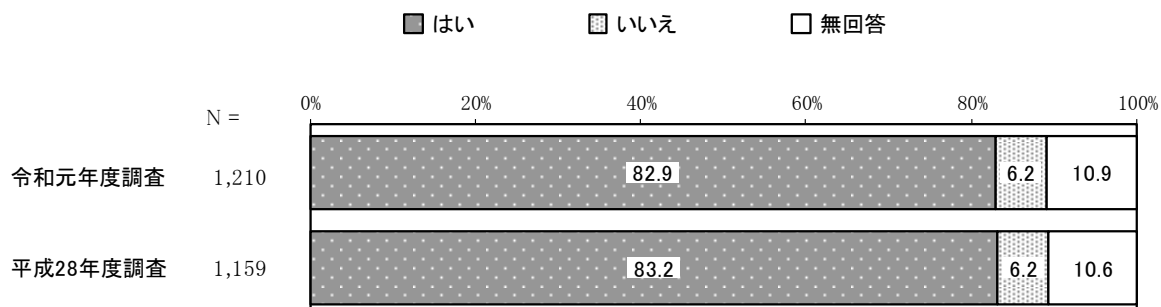
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3で「はい」の割合が高くなっています。また、圏域1で「はい」の割合が低くなっています。



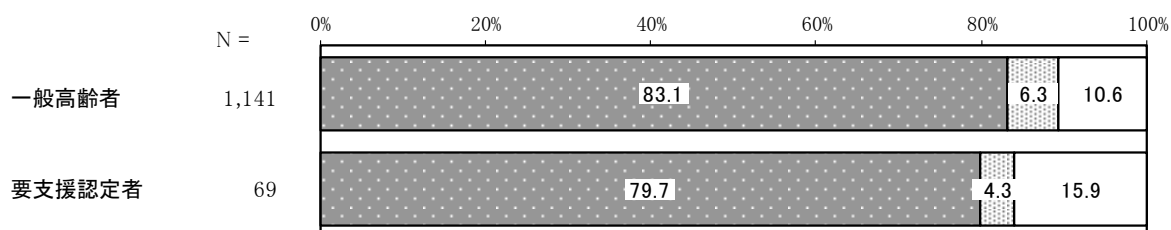
問3 (6) ② 【(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】
毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」の割合が82.9%、「いいえ」の割合が6.2%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



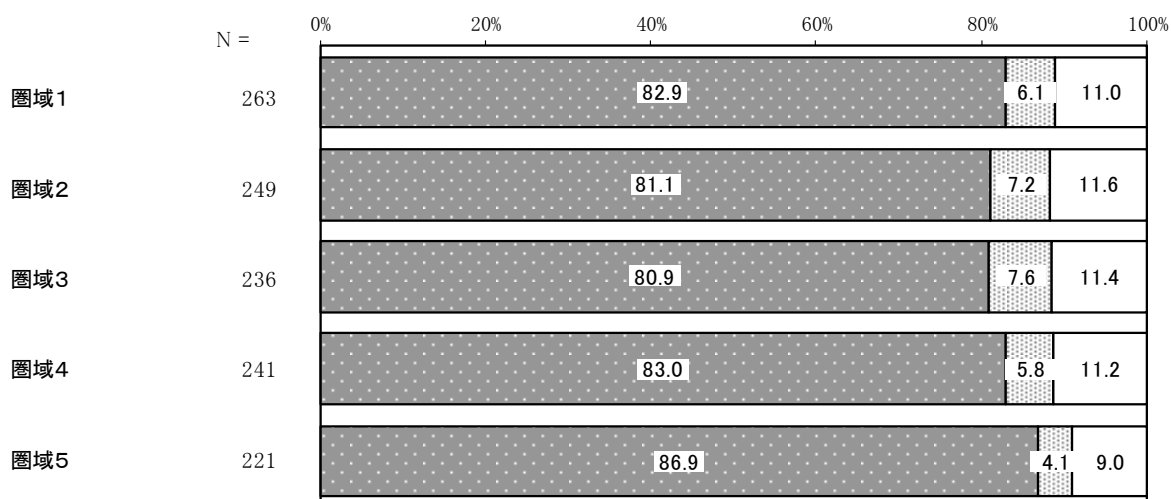
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、大きな差異はみられません。



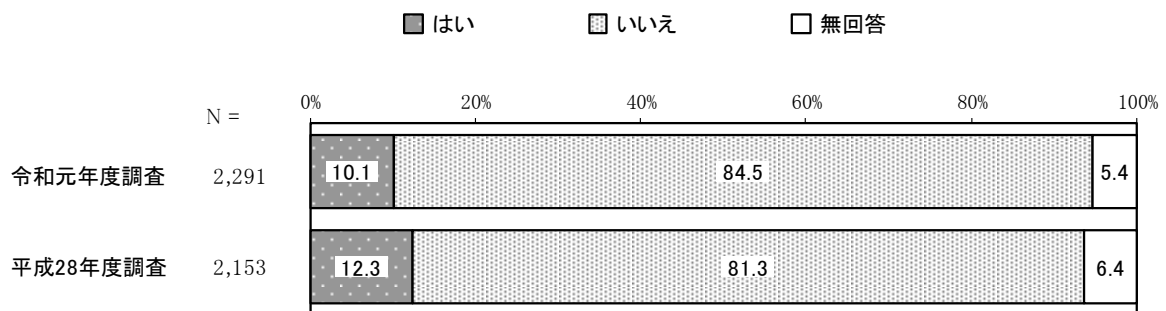
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域5で「はい」の割合が高くなっています。



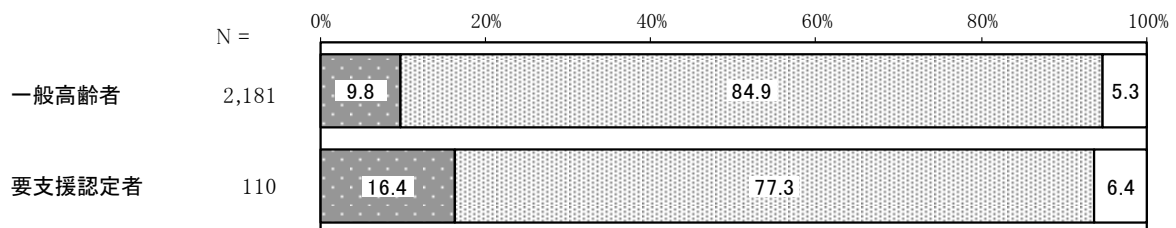
問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が10.1%、「いいえ」の割合が84.5%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



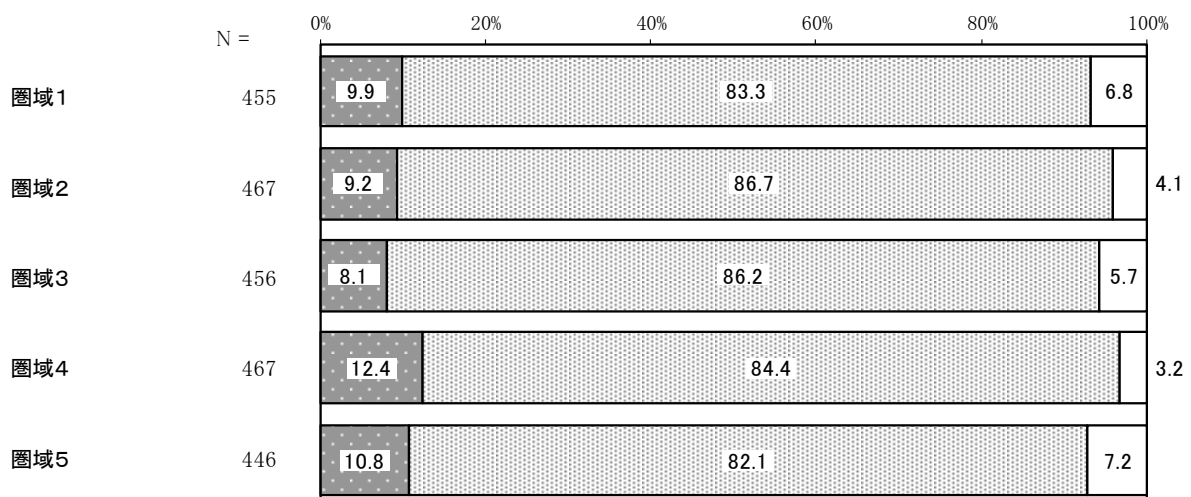
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

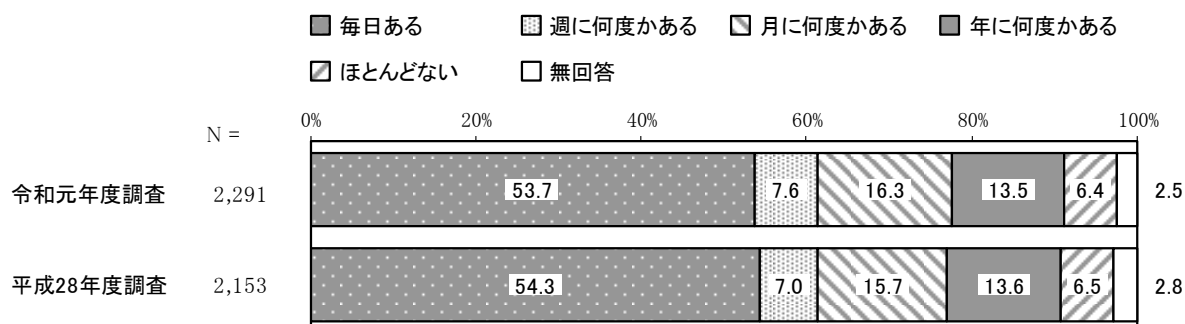
日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



問3（8）どなたかと食事をとにもする機会がありますか

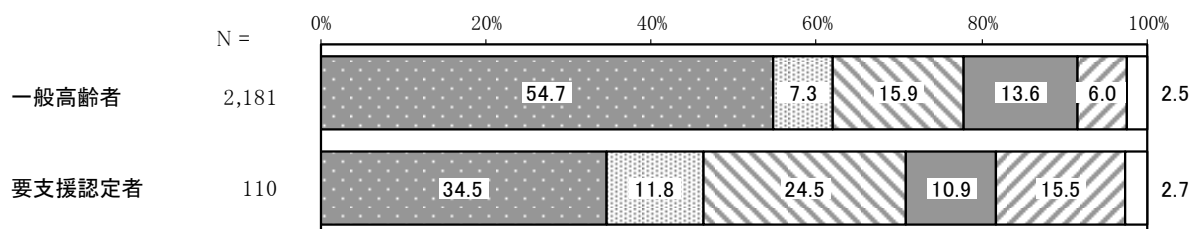
「毎日ある」の割合が53.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が16.3%、「年に何度かある」の割合が13.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



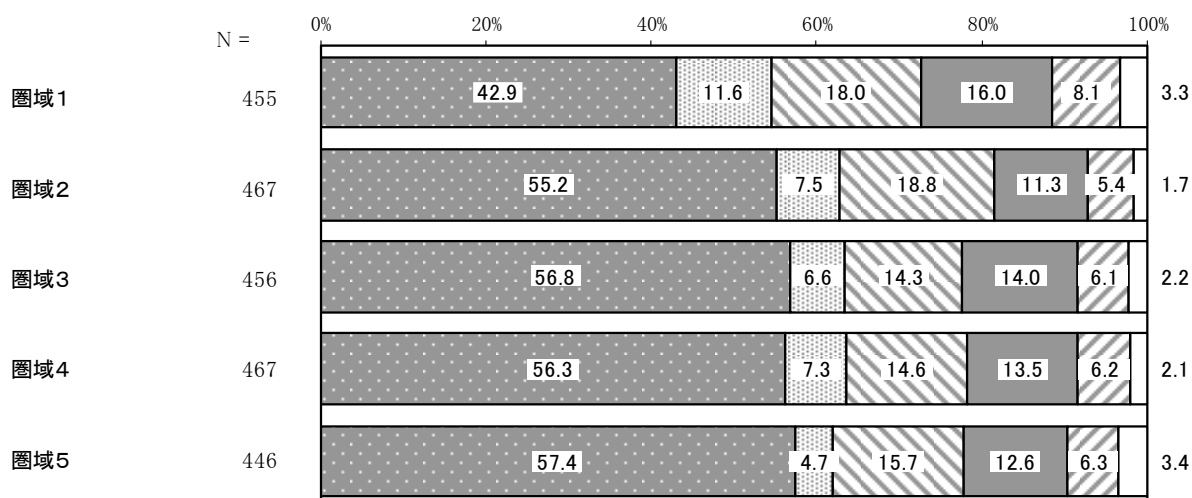
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「月に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

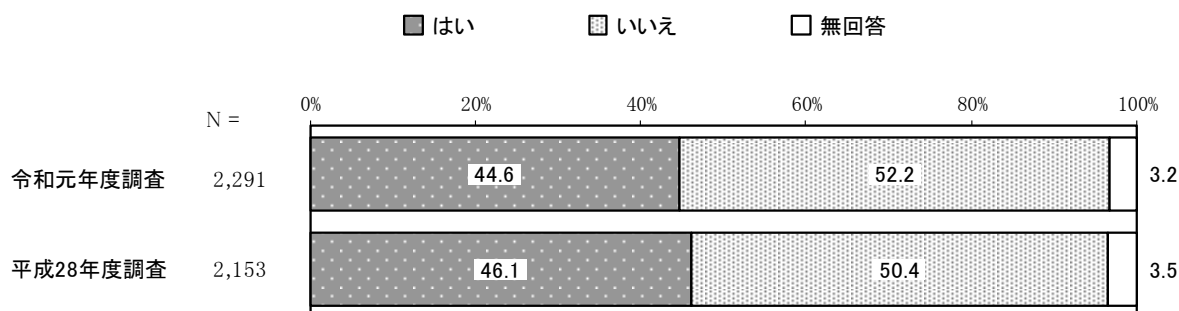
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「週に何度かある」「年に何度かある」の割合が高くなっています。



4 毎日の生活について

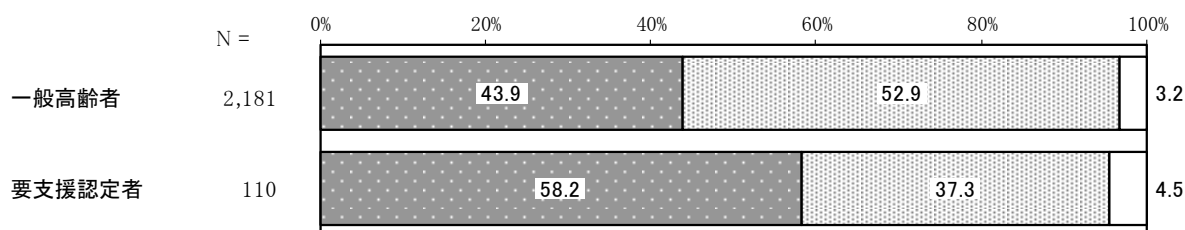
問4（1）物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が44.6%、「いいえ」の割合が52.2%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



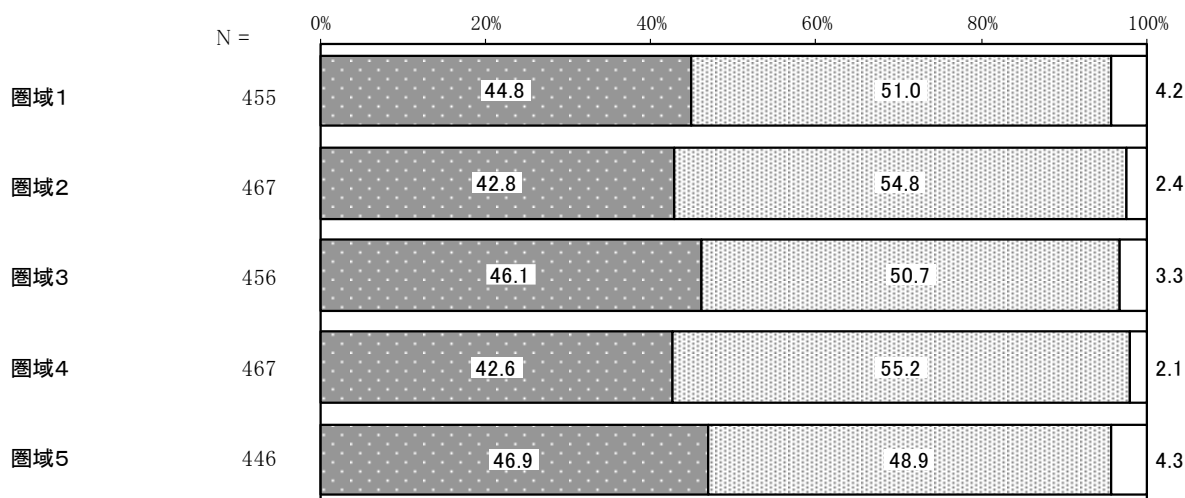
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



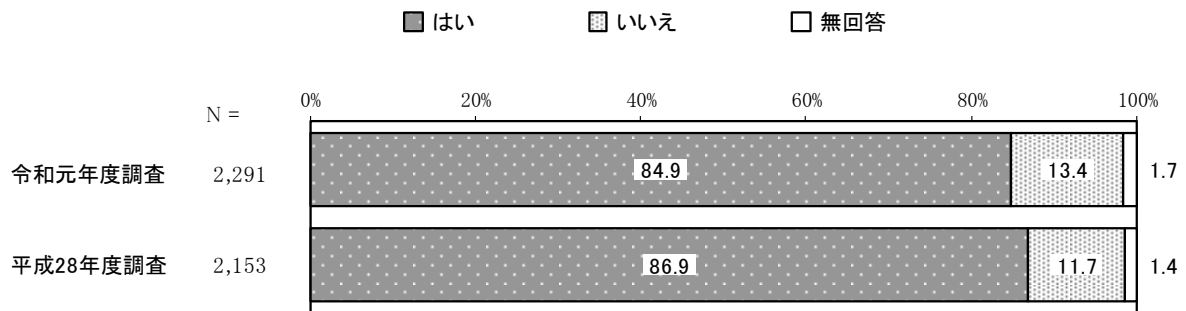
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域2、圏域4で「いいえ」の割合が高くなっています。



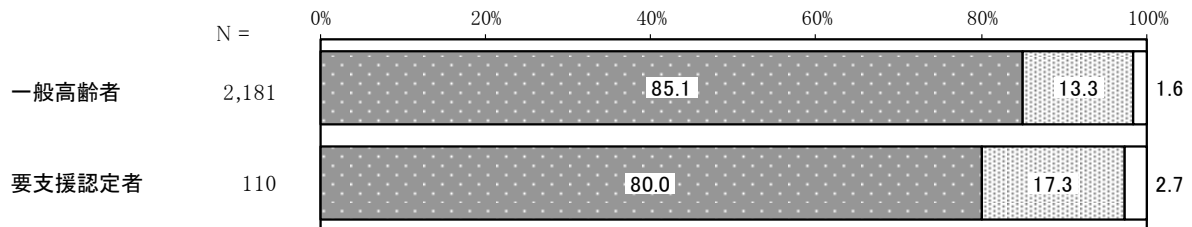
問4（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が84.9%、「いいえ」の割合が13.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



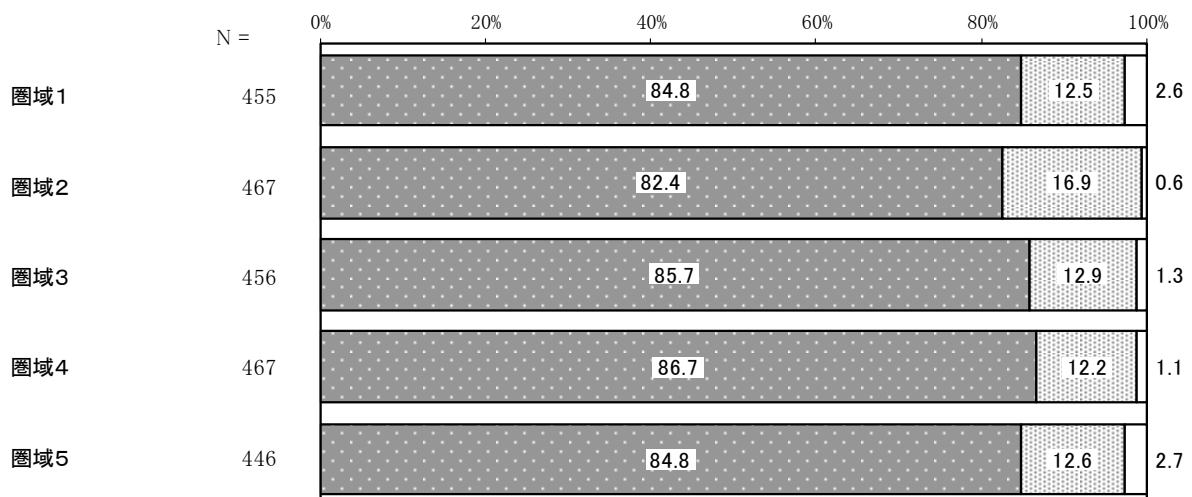
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



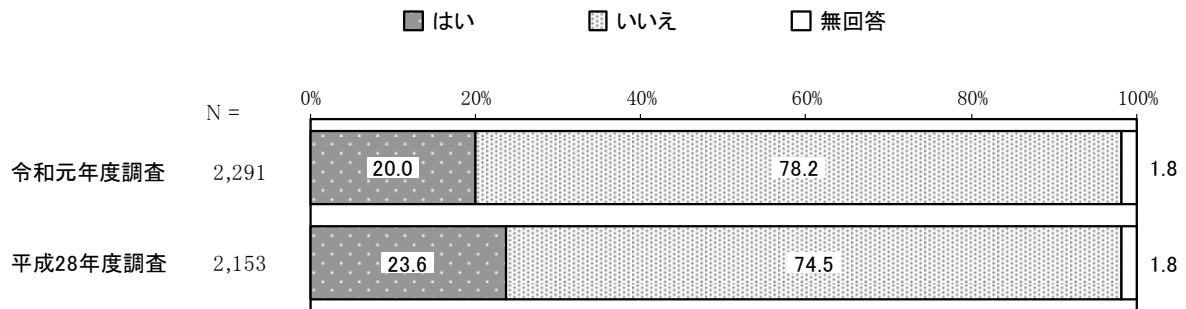
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「いいえ」の割合が高くなっています。



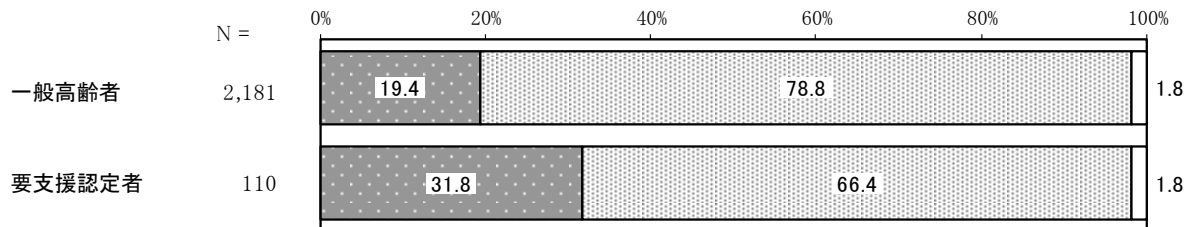
問4（3）今日が何月何日かわからない時がありますか

「はい」の割合が20.0%、「いいえ」の割合が78.2%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



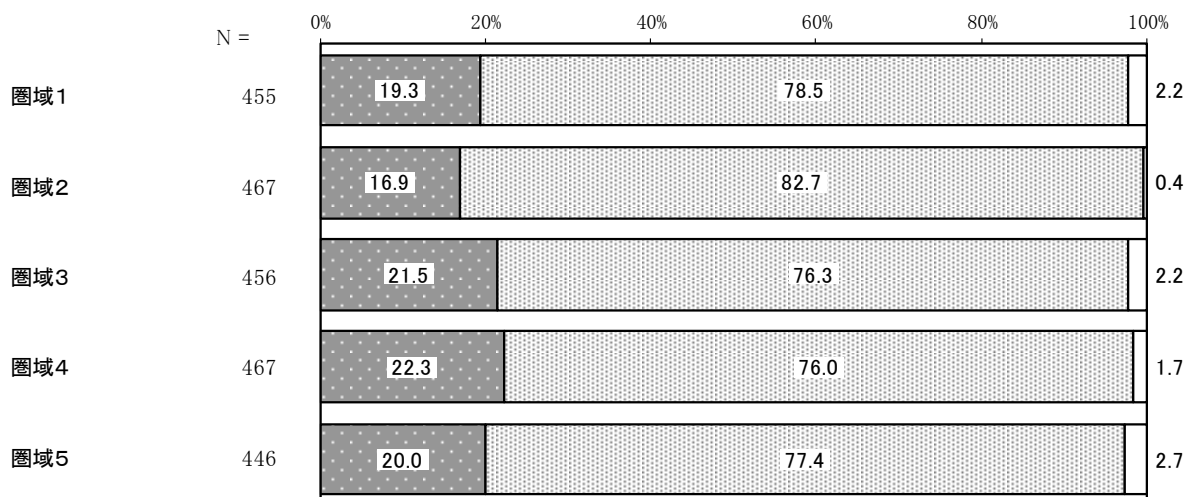
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

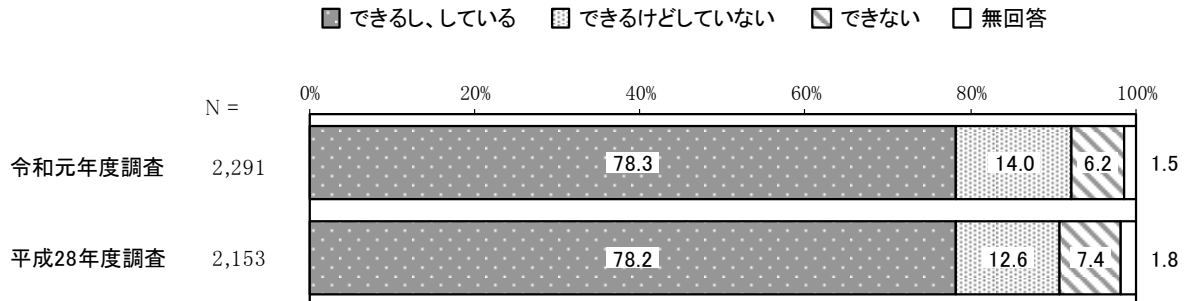
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「いいえ」の割合が高くなっています。



問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

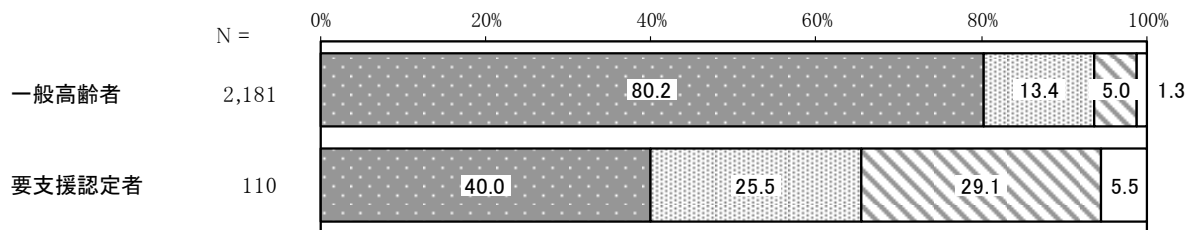
「できるし、している」の割合が78.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



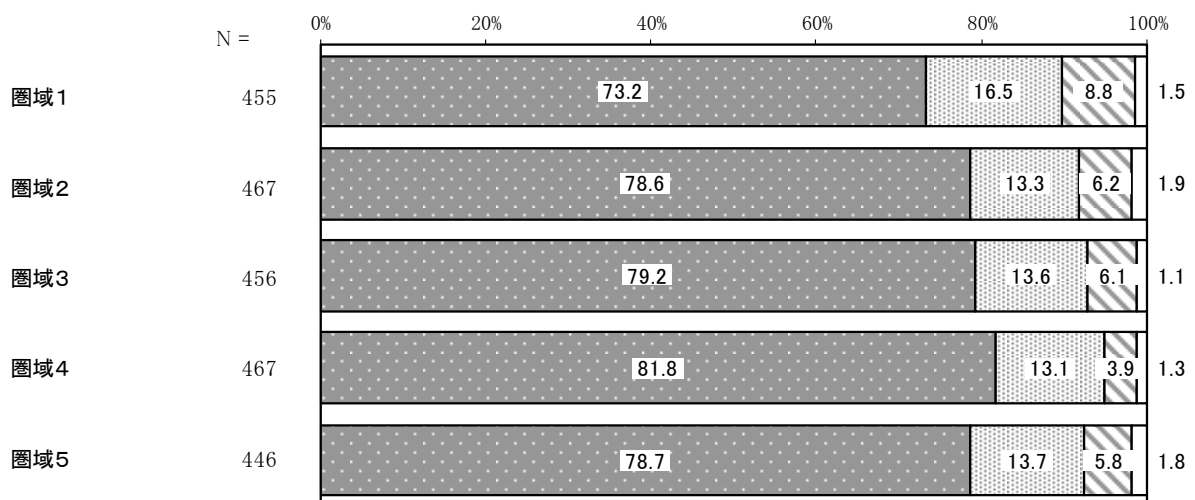
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



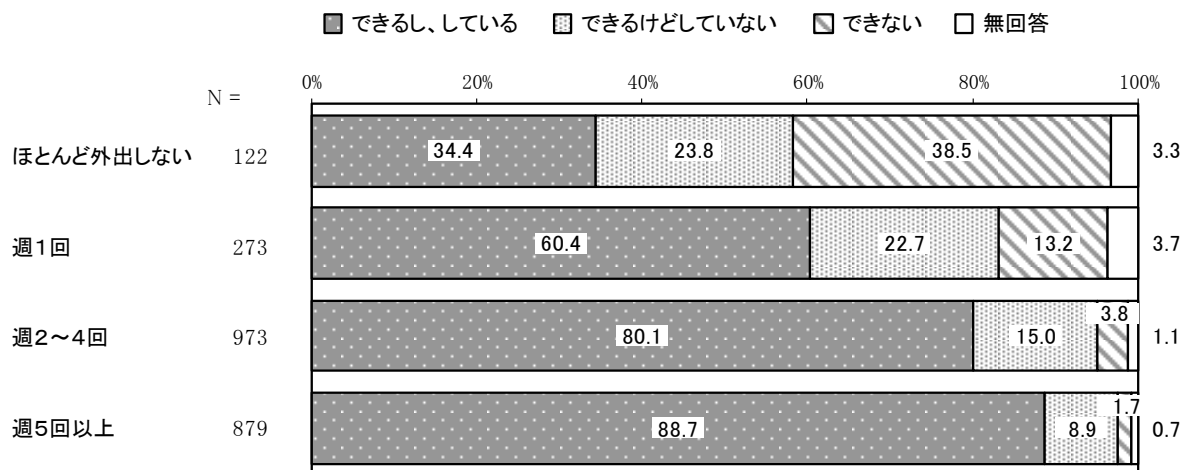
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「できない」の割合が高くなっています。



【外出の頻度別】

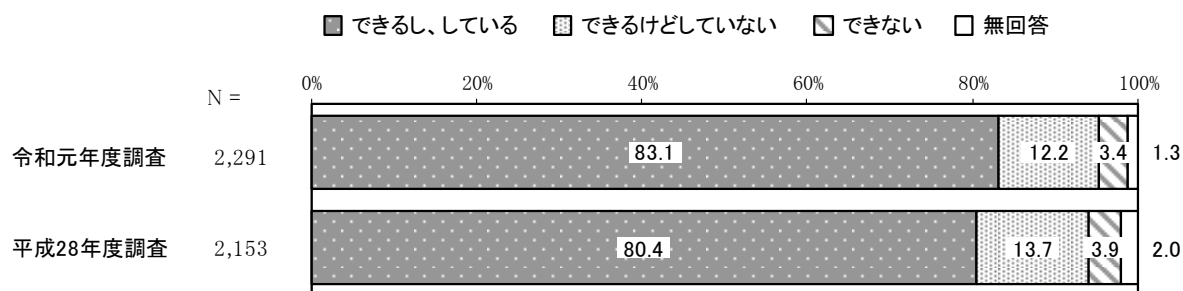
外出の頻度別でみると、外出の頻度が少ないほど「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

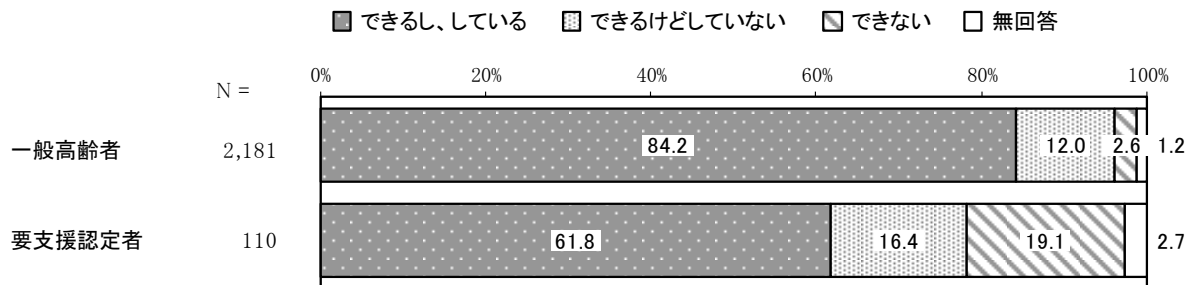
「できるし、している」の割合が83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が12.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



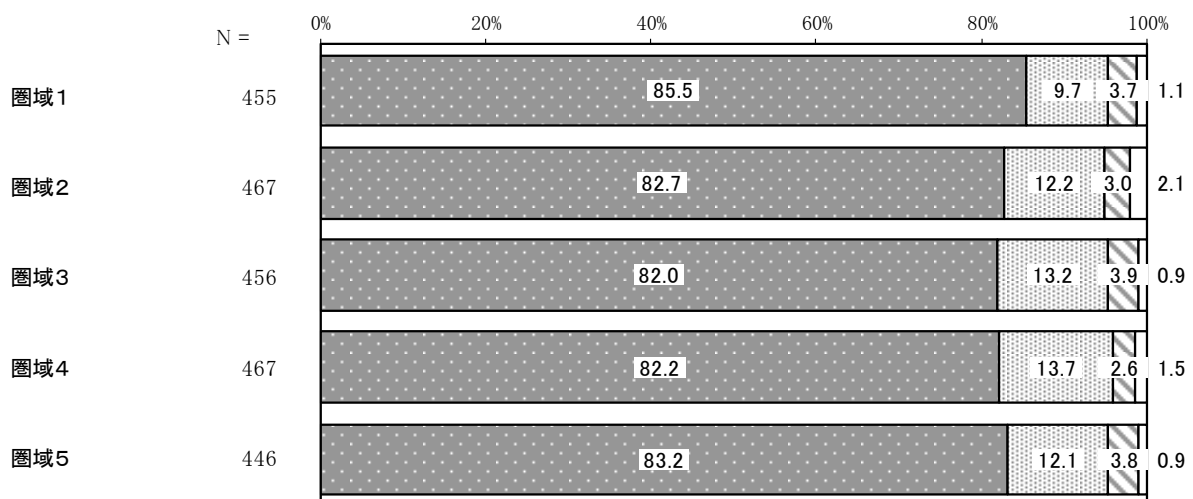
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

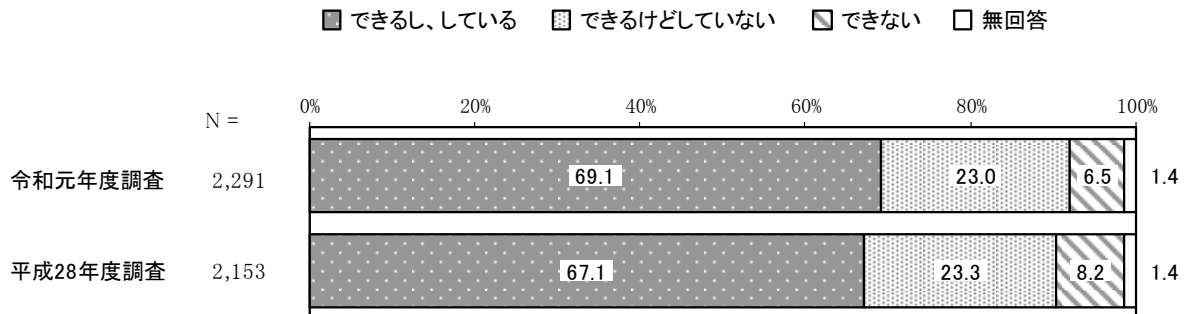
日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか

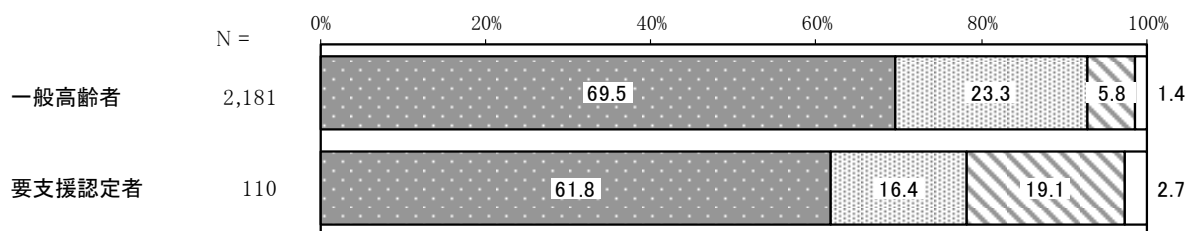
「できるし、している」の割合が69.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が23.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



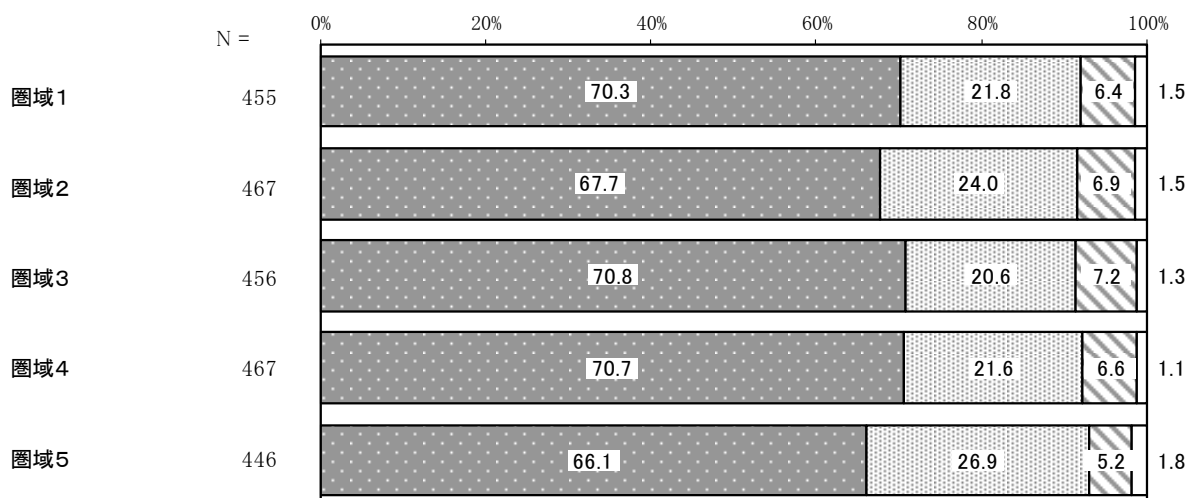
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」「できるけどしていない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

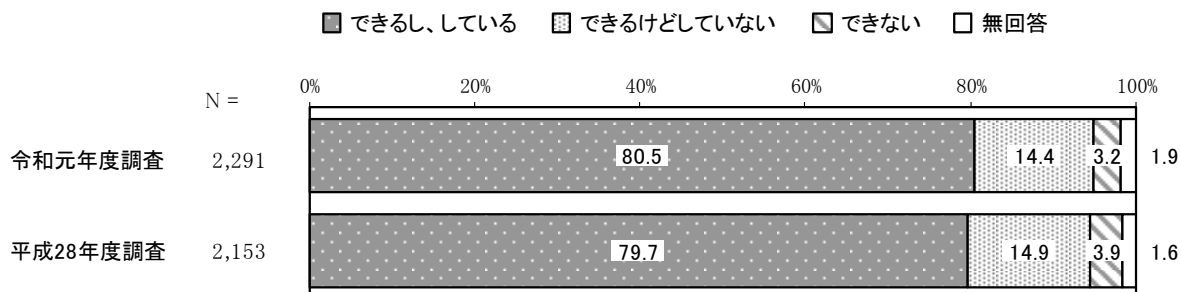
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域5で「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



問4（7）自分で請求書の支払いをしていますか

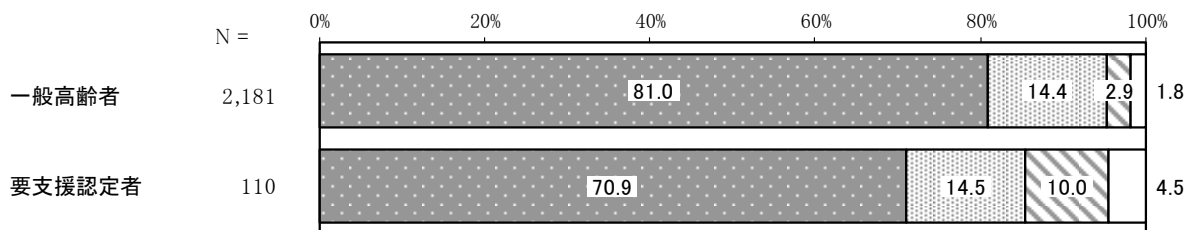
「できるし、している」の割合が80.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が14.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



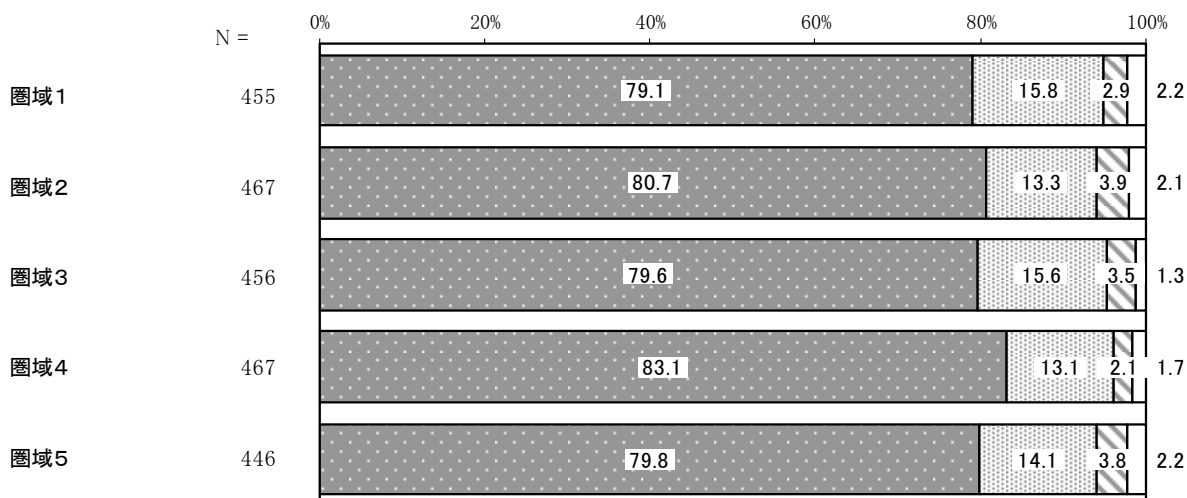
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

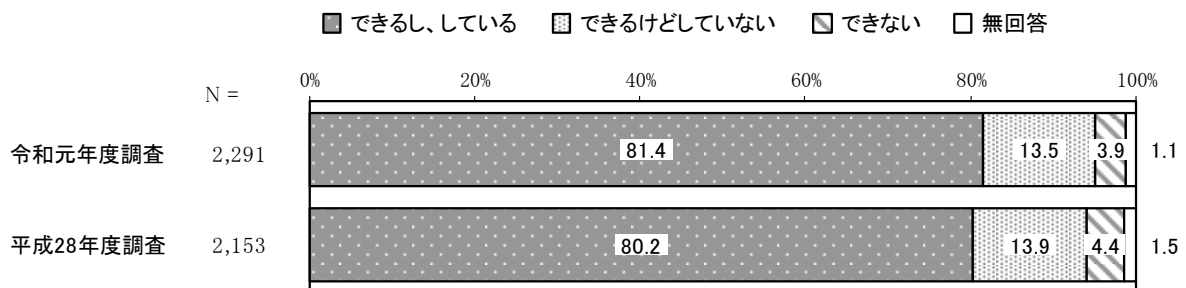
日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



問4（8）自分で預貯金の出し入れをしていますか

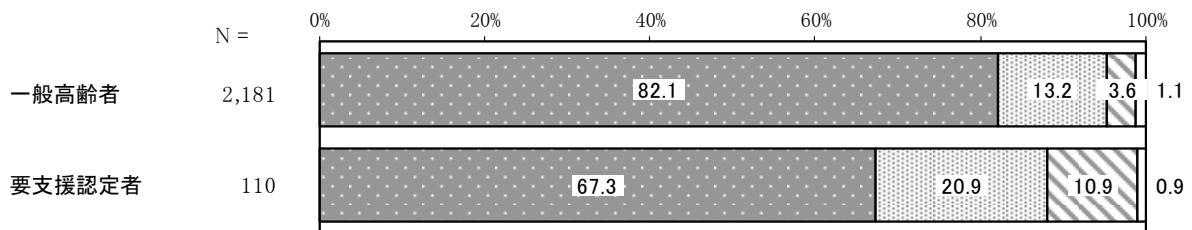
「できるし、している」の割合が81.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」の割合が13.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



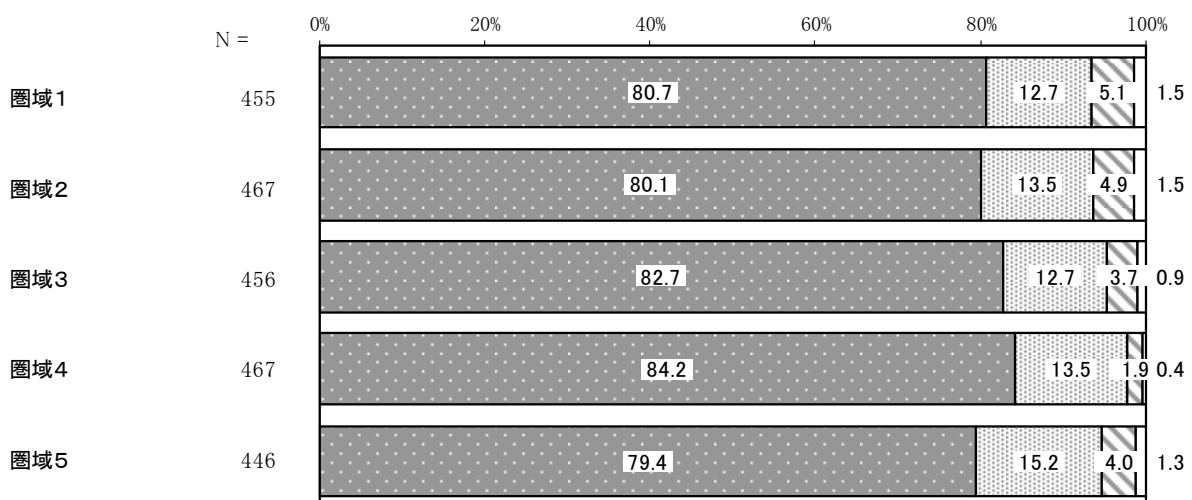
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



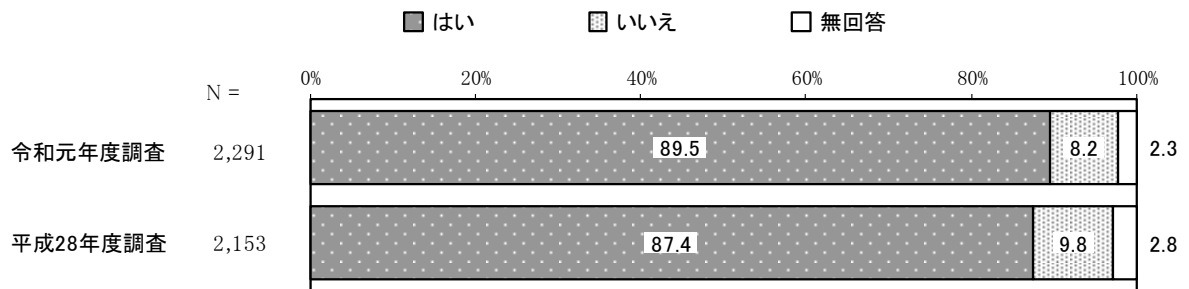
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「できるし、している」の割合が高くなっています。



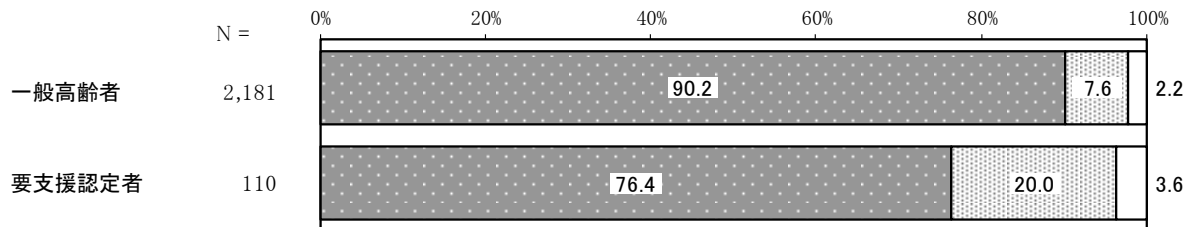
問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が89.5%、「いいえ」の割合が8.2%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



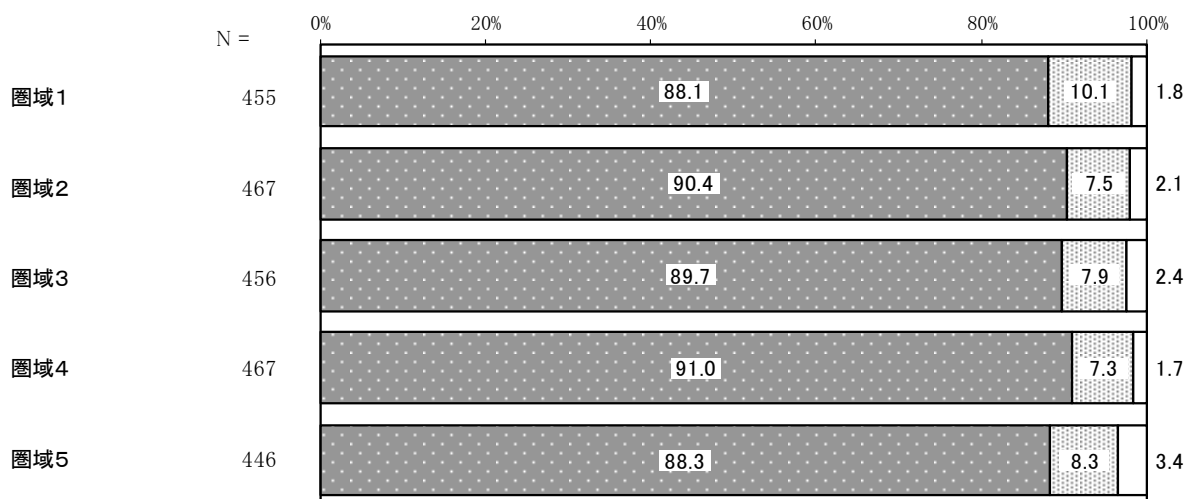
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いいえ」の割合が高くなっています。



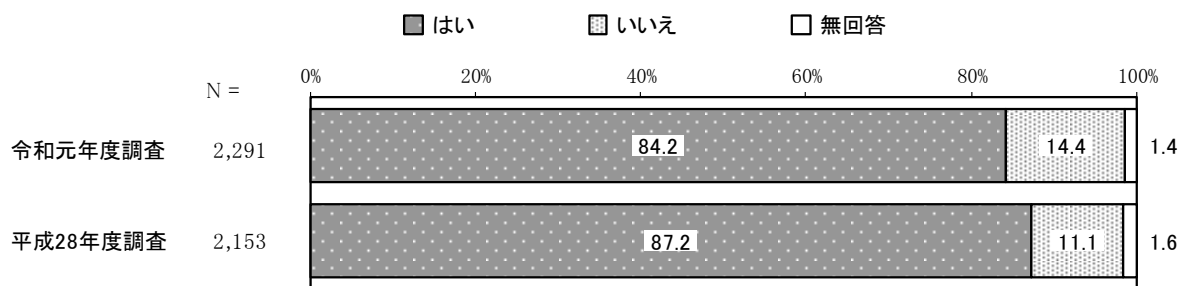
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



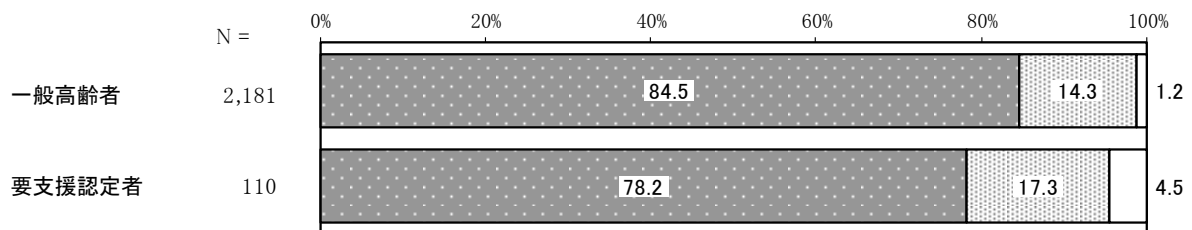
問4（10）新聞を読んでいますか

「はい」の割合が84.2%、「いいえ」の割合が14.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



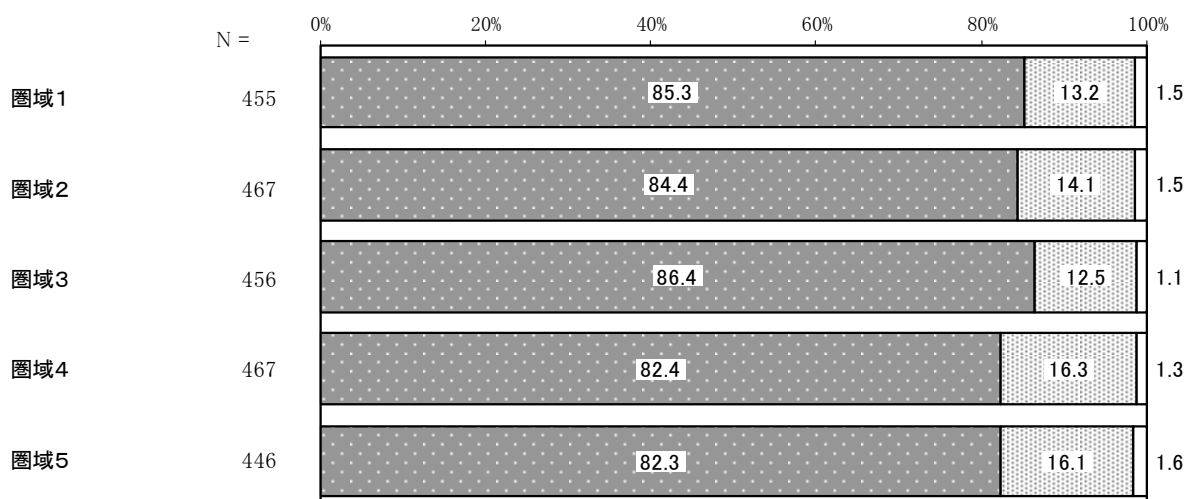
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



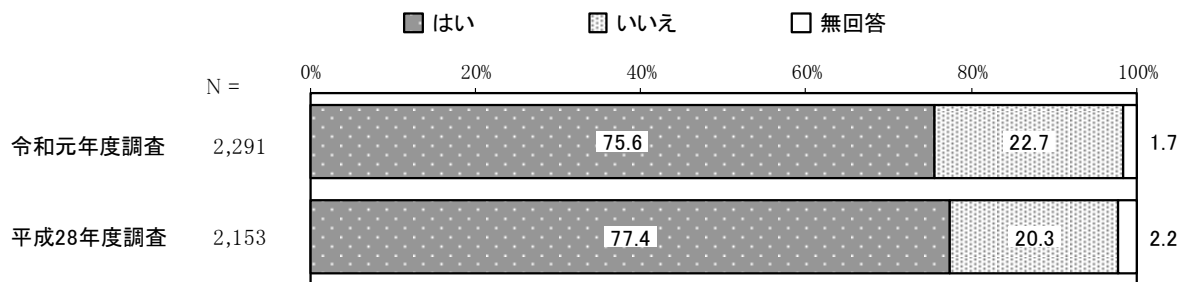
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



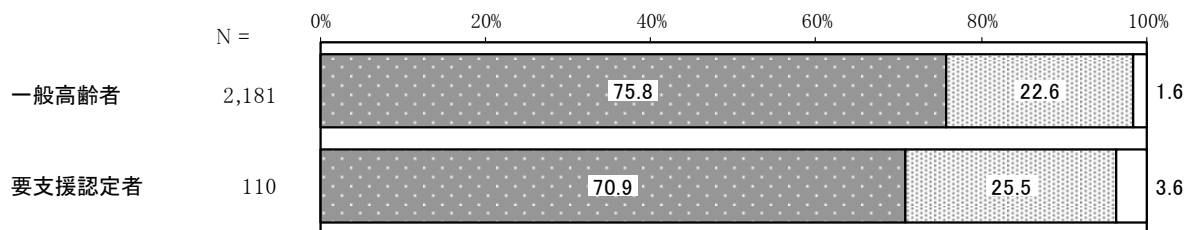
問4（11）本や雑誌を読んでいますか

「はい」の割合が75.6%、「いいえ」の割合が22.7%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



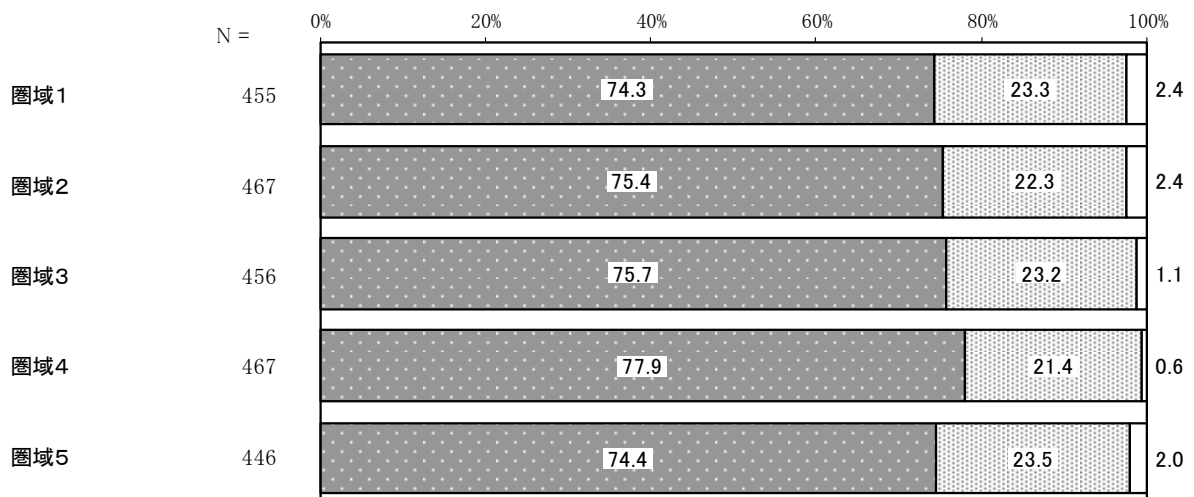
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



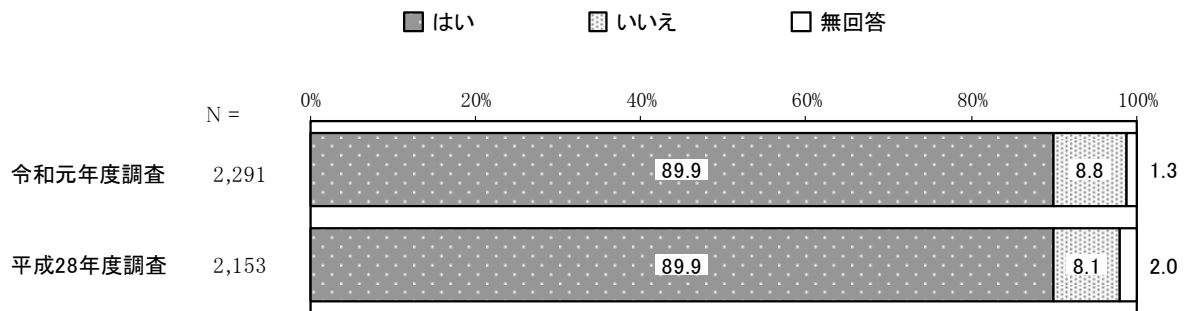
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



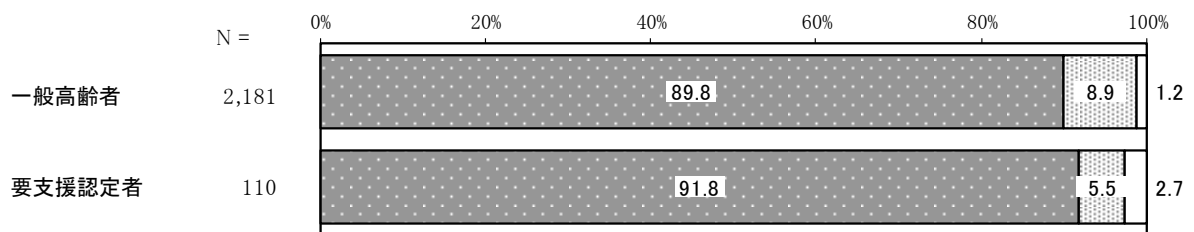
問4（12）健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が89.9%、「いいえ」の割合が8.8%となっています。
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



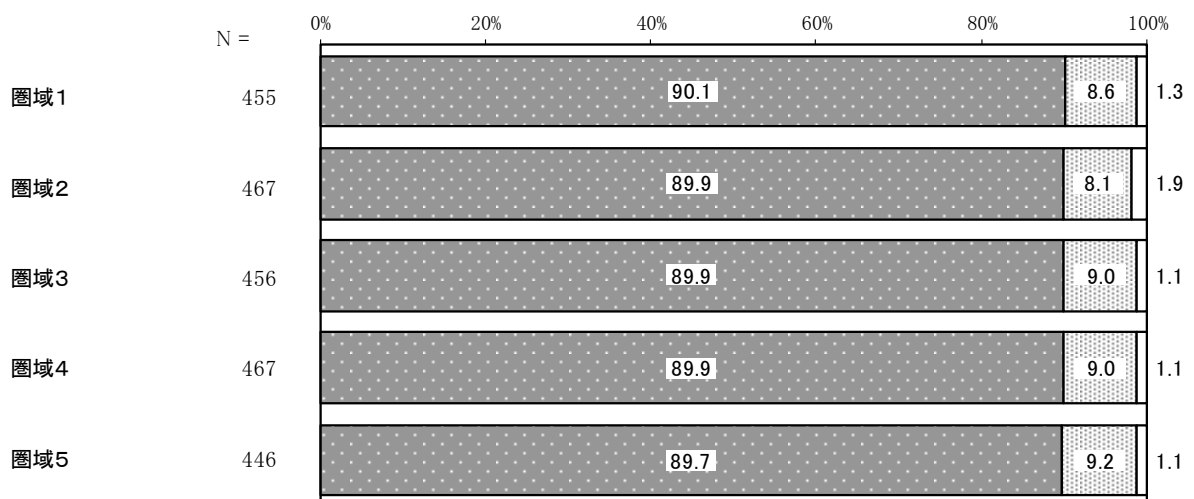
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



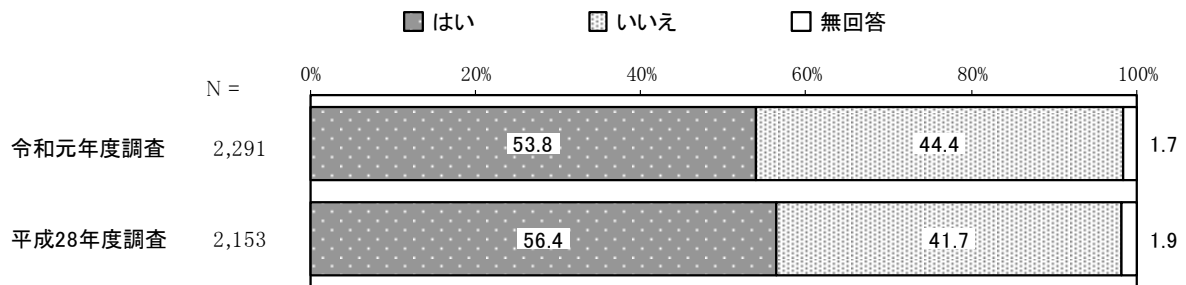
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



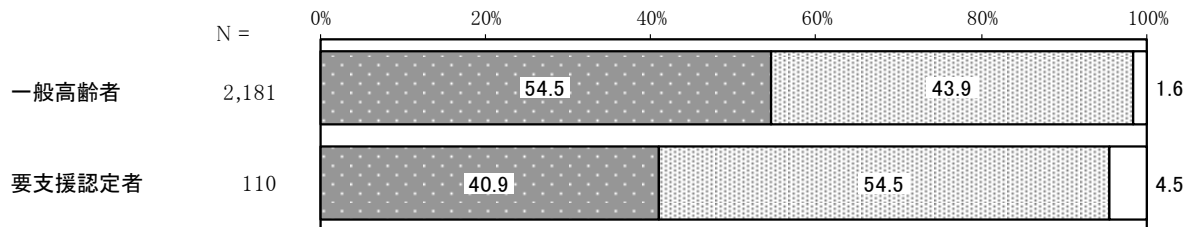
問4（13）友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が53.8%、「いいえ」の割合が44.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



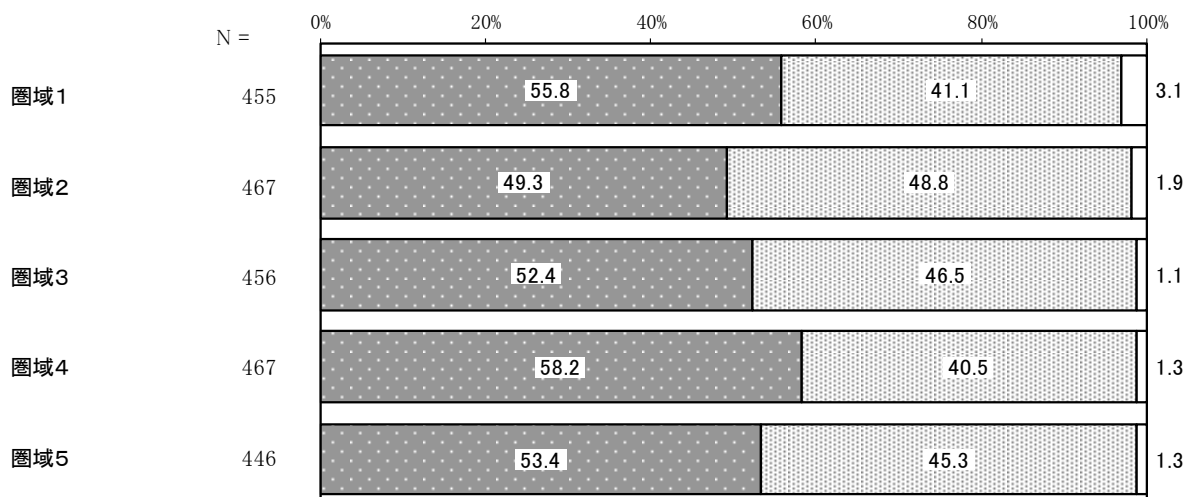
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いいえ」の割合が高くなっています。



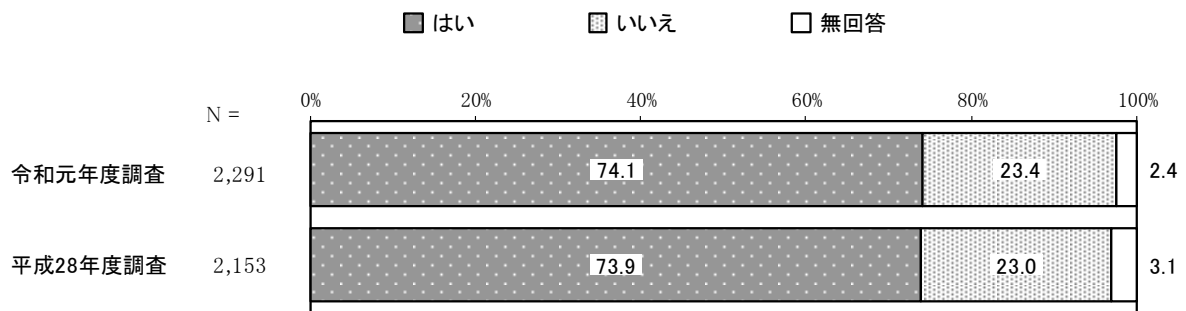
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「いいえ」の割合が高くなっています。



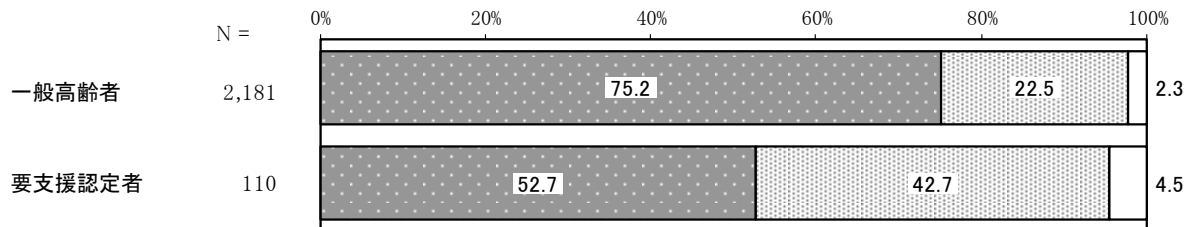
問4（14）家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が74.1%、「いいえ」の割合が23.4%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



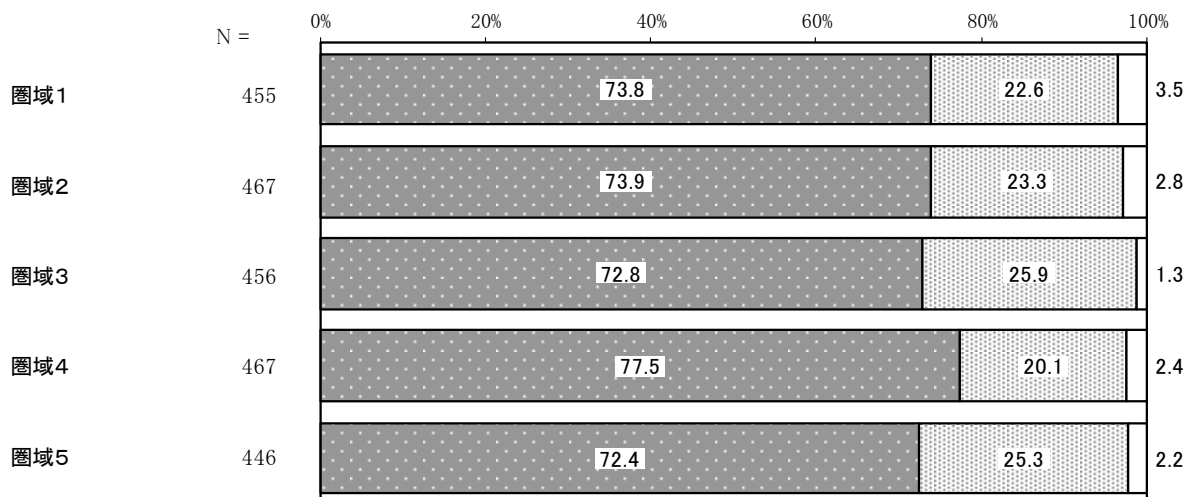
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いいえ」の割合が高くなっています。



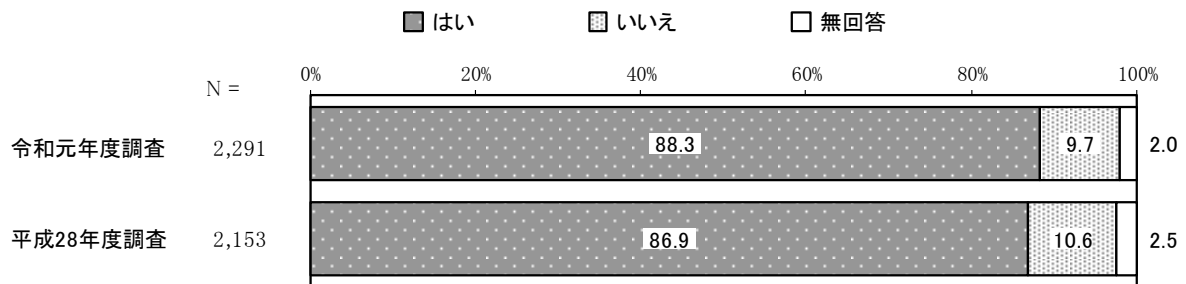
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「はい」の割合が高くなっています。



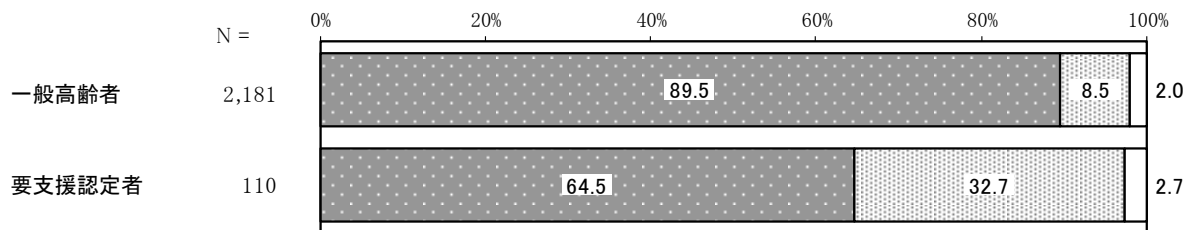
問4（15）病人を見舞うことができますか

「はい」の割合が88.3%、「いいえ」の割合が9.7%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



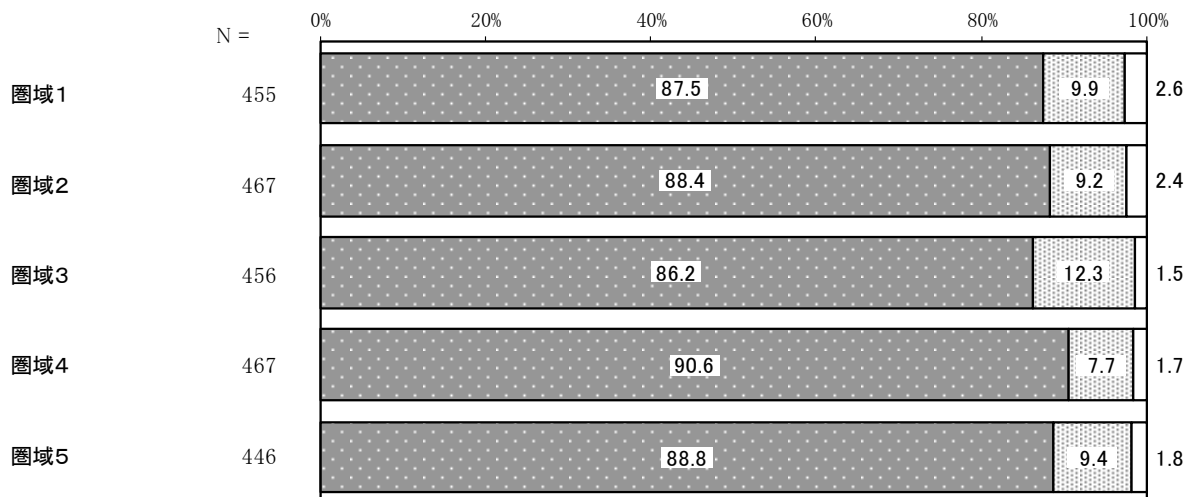
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いいえ」の割合が高くなっています。



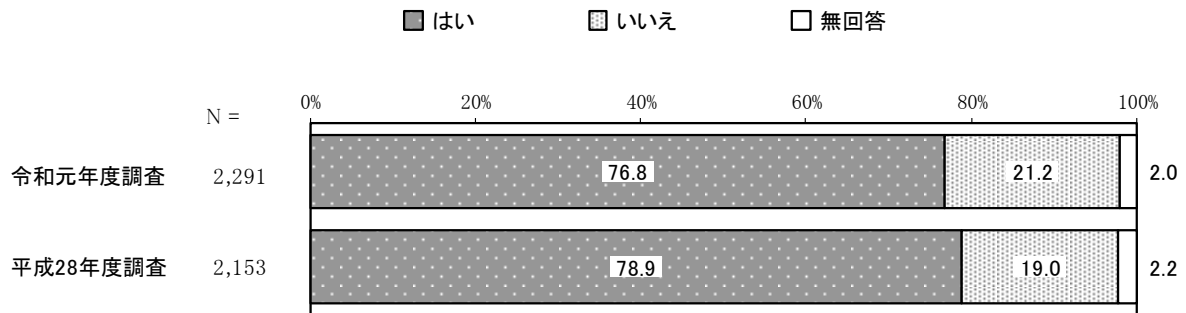
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



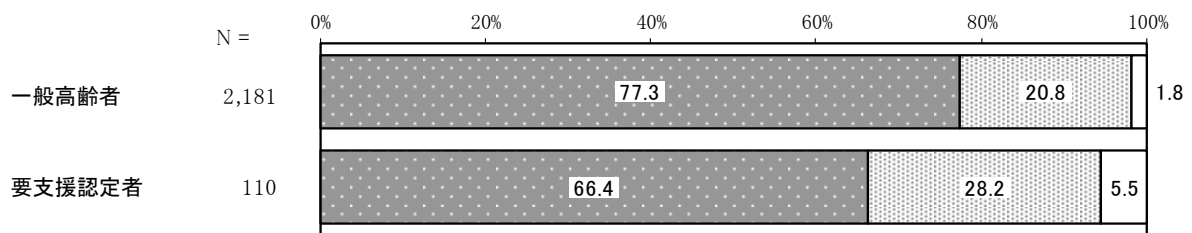
問4（16）若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が76.8%、「いいえ」の割合が21.2%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



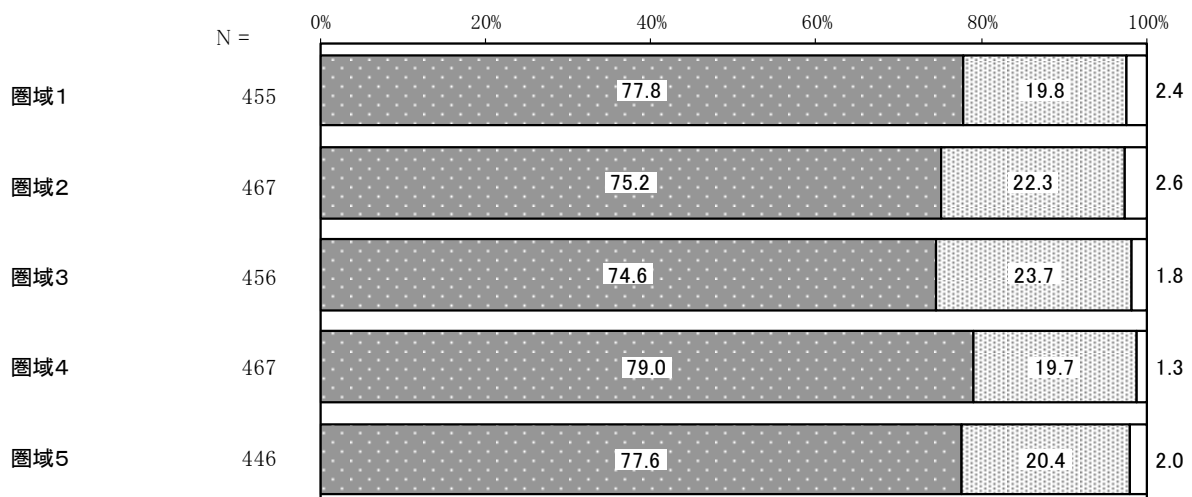
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「いいえ」の割合が高くなっています。



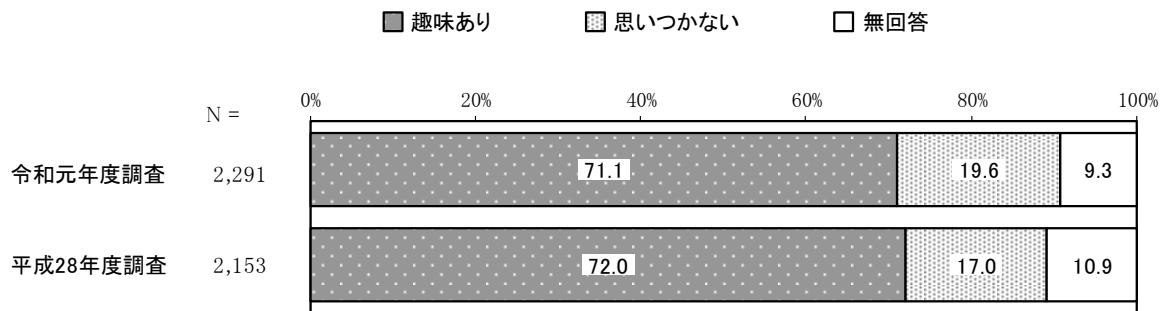
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



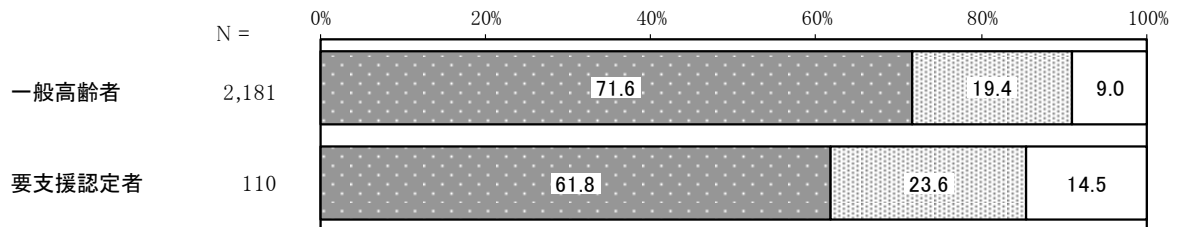
問4（17）趣味はありますか

「趣味あり」の割合が71.1%、「思いつかない」の割合が19.6%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



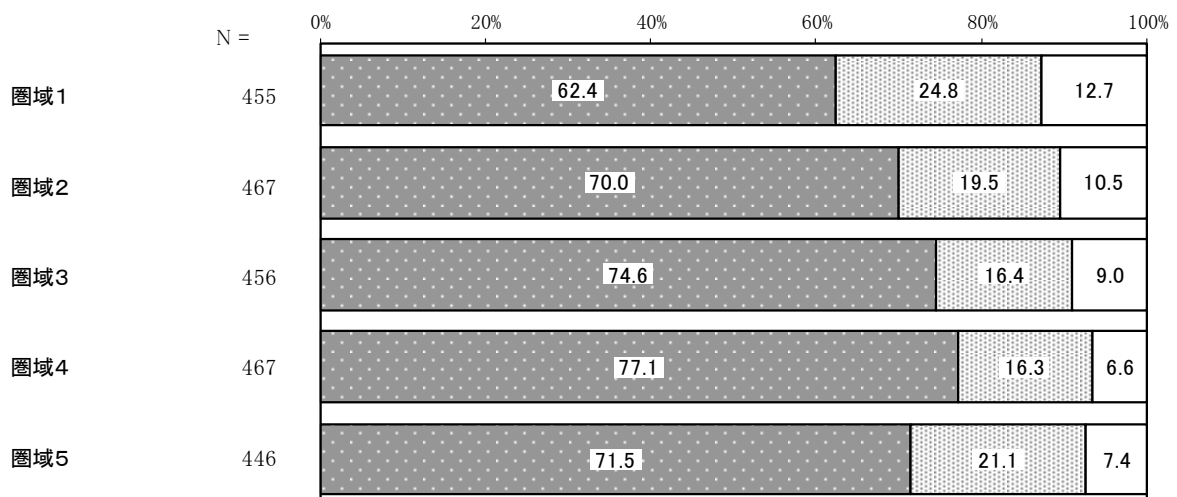
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「趣味あり」の割合が高くなっています。



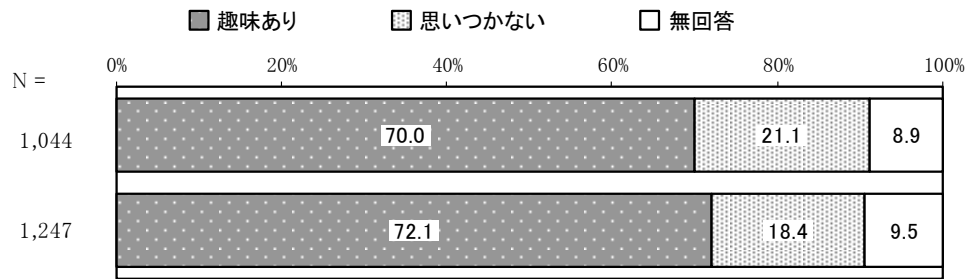
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「趣味あり」の割合が高くなっています。
また、圏域1で「思いつかない」の割合が高くなっています。



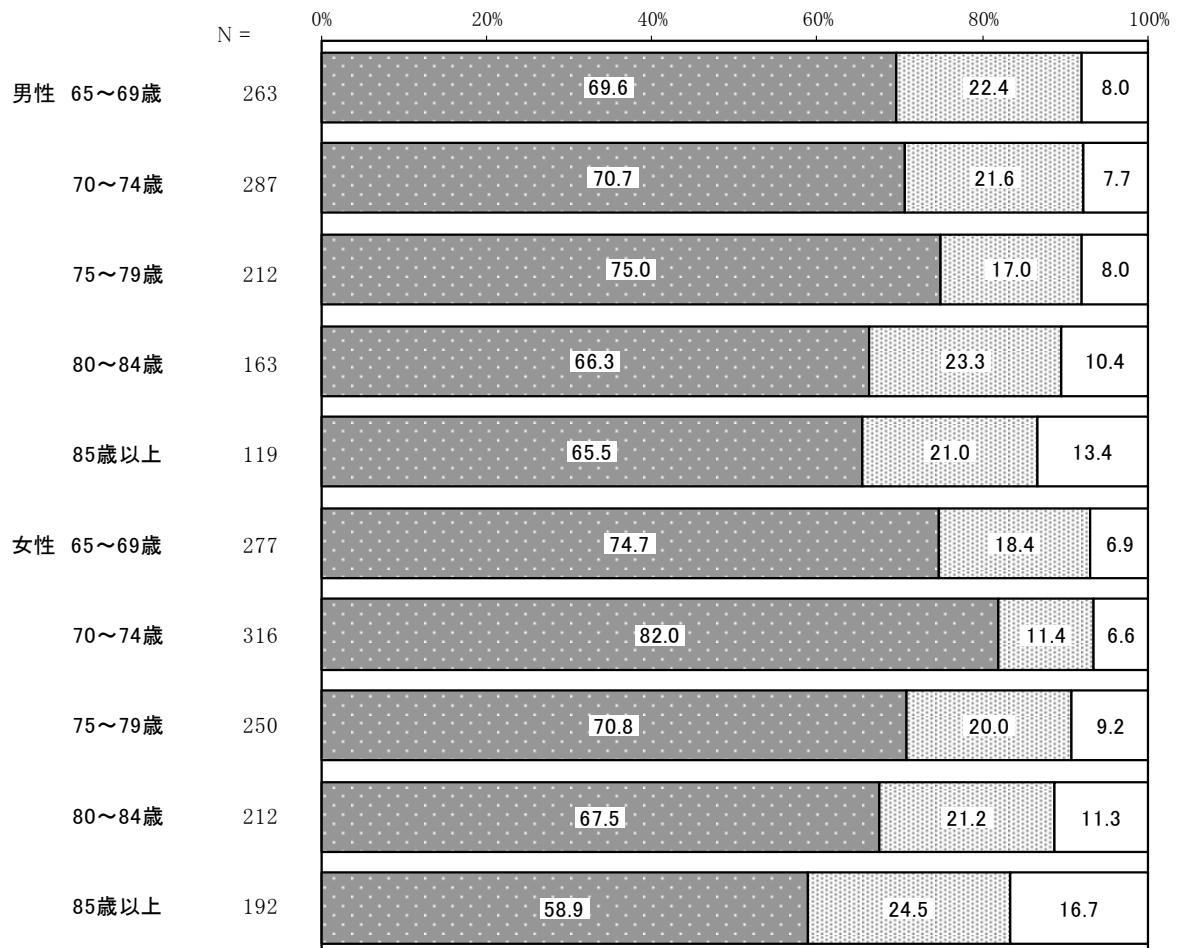
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



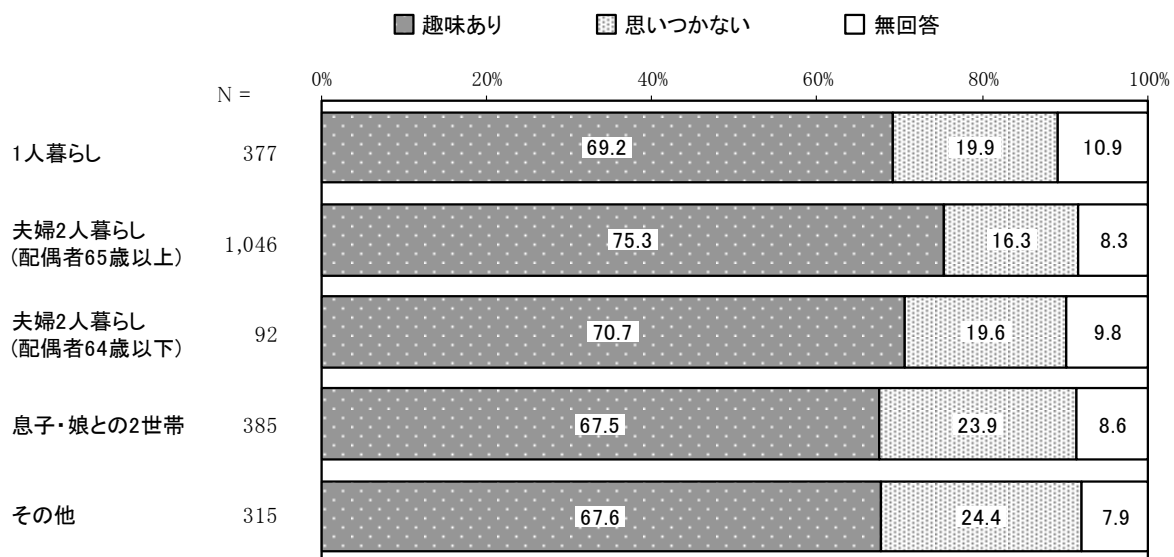
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、他に比べ、女性の70～74歳で「趣味あり」の割合が高くなっています。また、女性の85歳以上で「思いつかない」の割合が高くなっています。



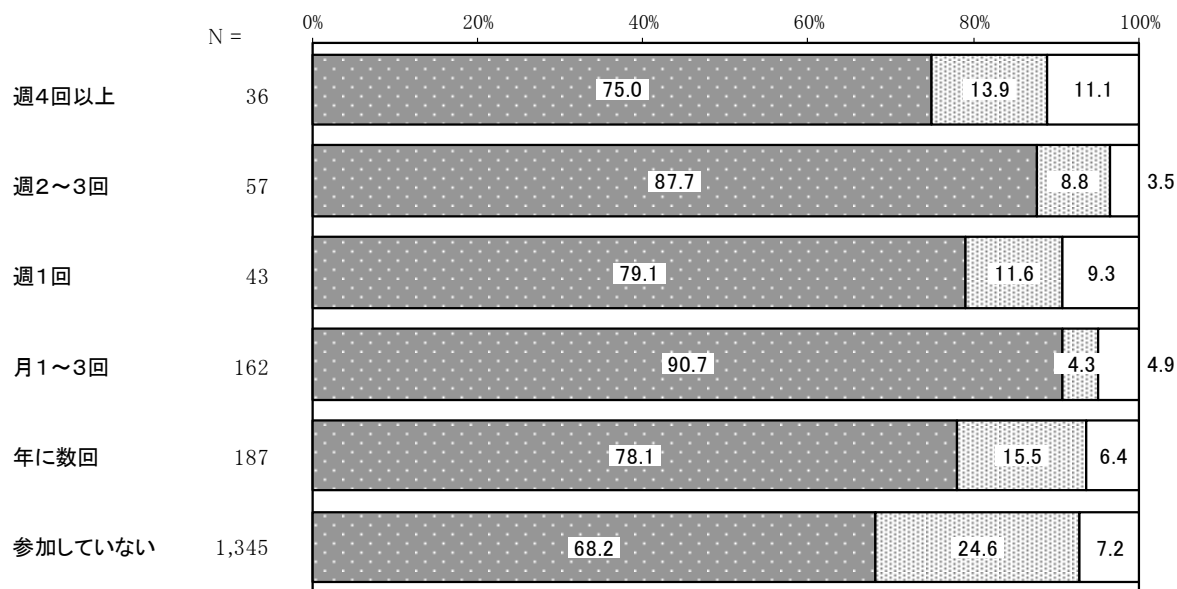
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)で「趣味あり」の割合が高くなっています。また、息子・娘との2世帯で「思いつかない」の割合が高くなっています。



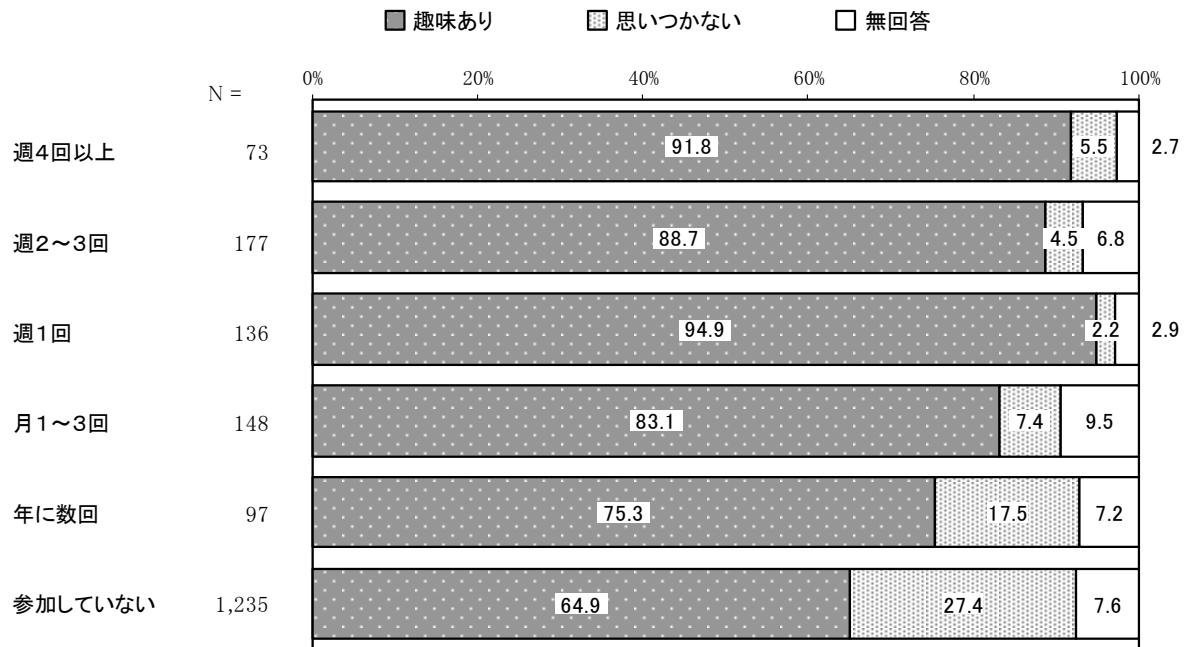
【ボランティアグループへの参加頻度別】

ボランティアグループへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



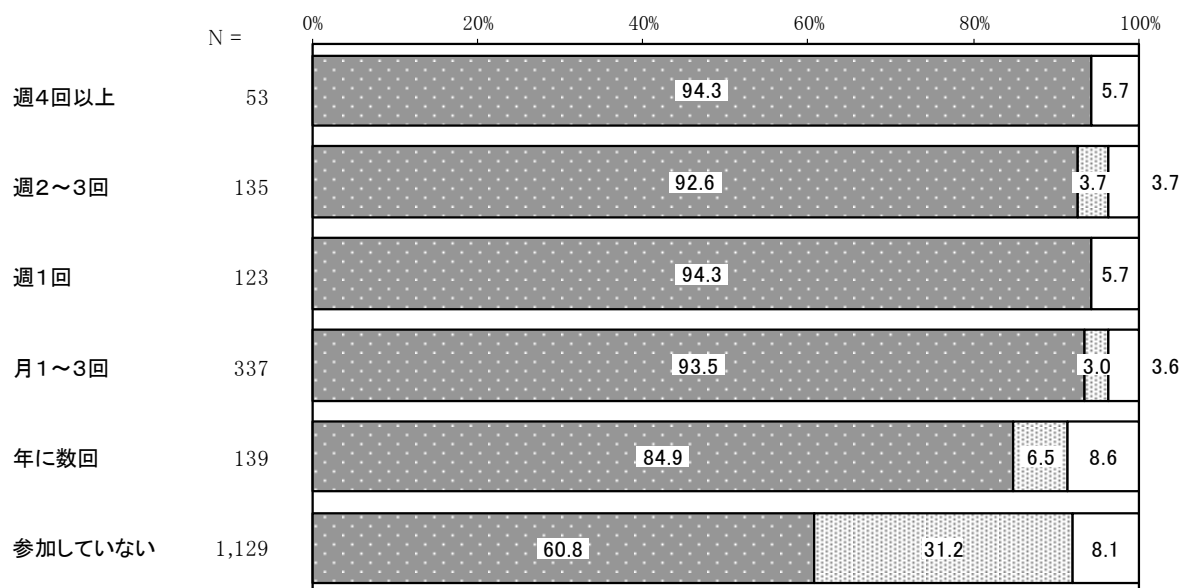
【スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度別】

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



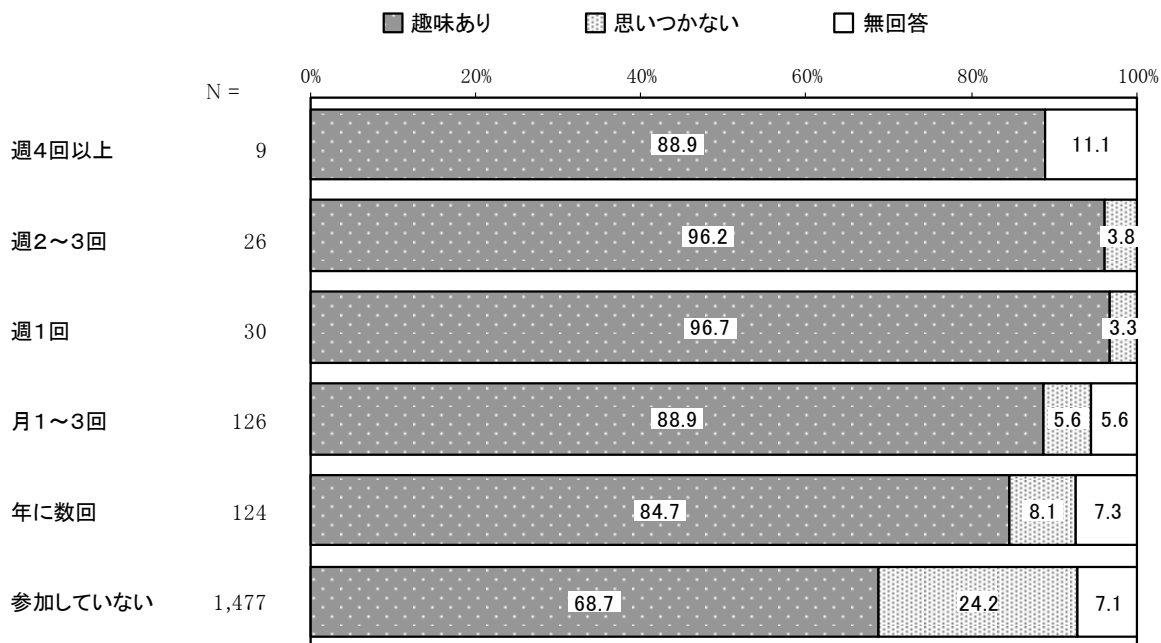
【趣味関係のグループへの参加頻度別】

趣味関係のグループへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



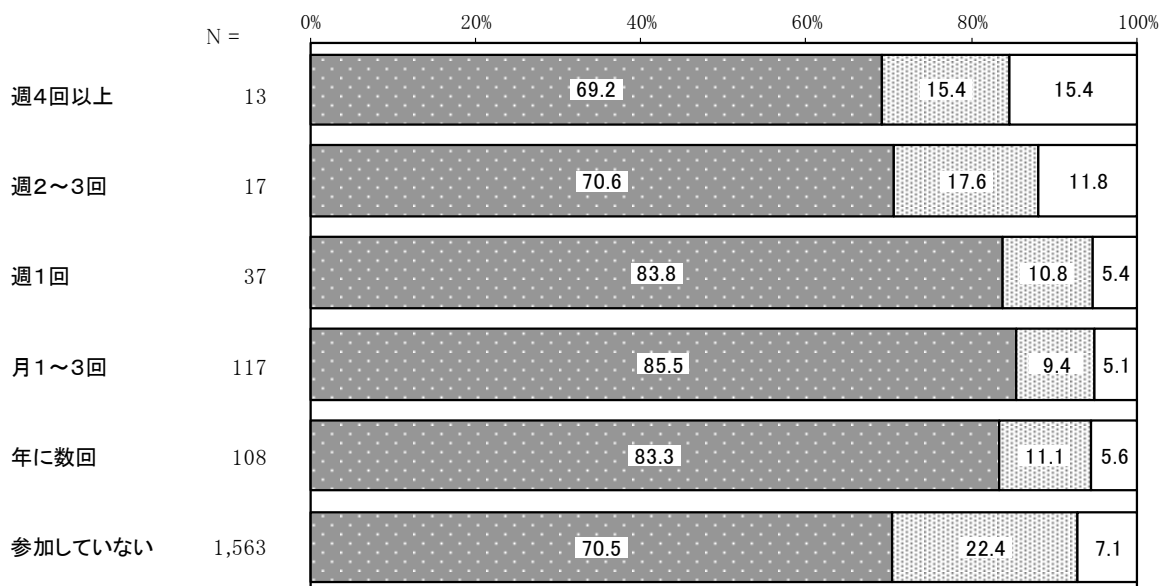
【学習・教養サークルへの参加頻度別】

学習・教養サークルへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



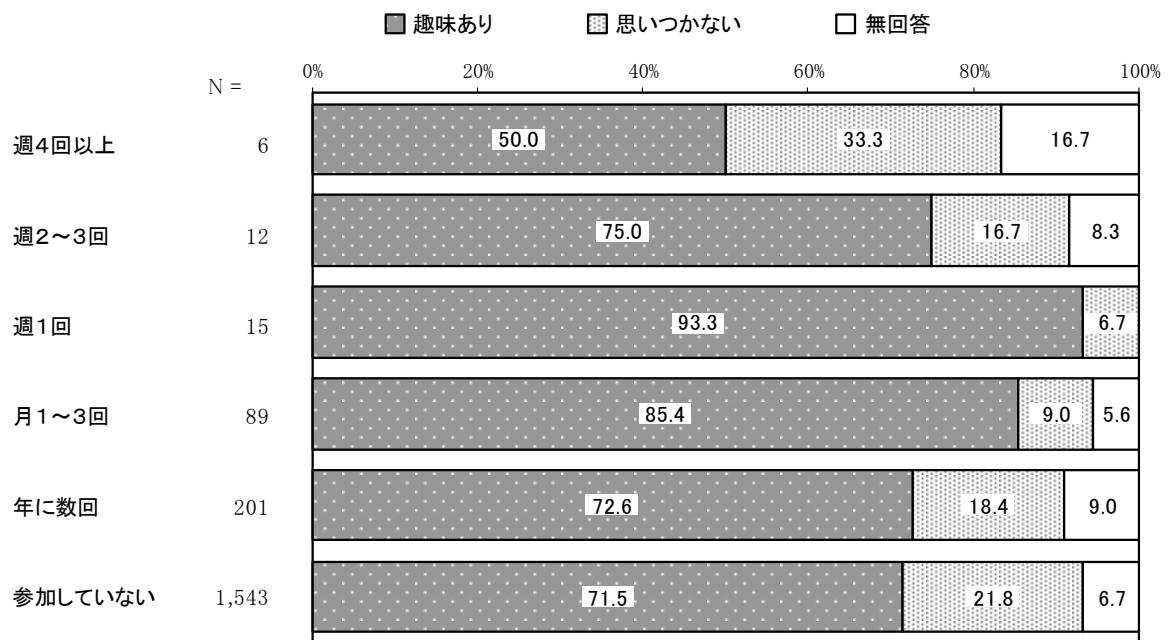
【高齢者サロンや地域の通いの場への参加頻度別】

高齢者サロンや地域の通いの場への参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



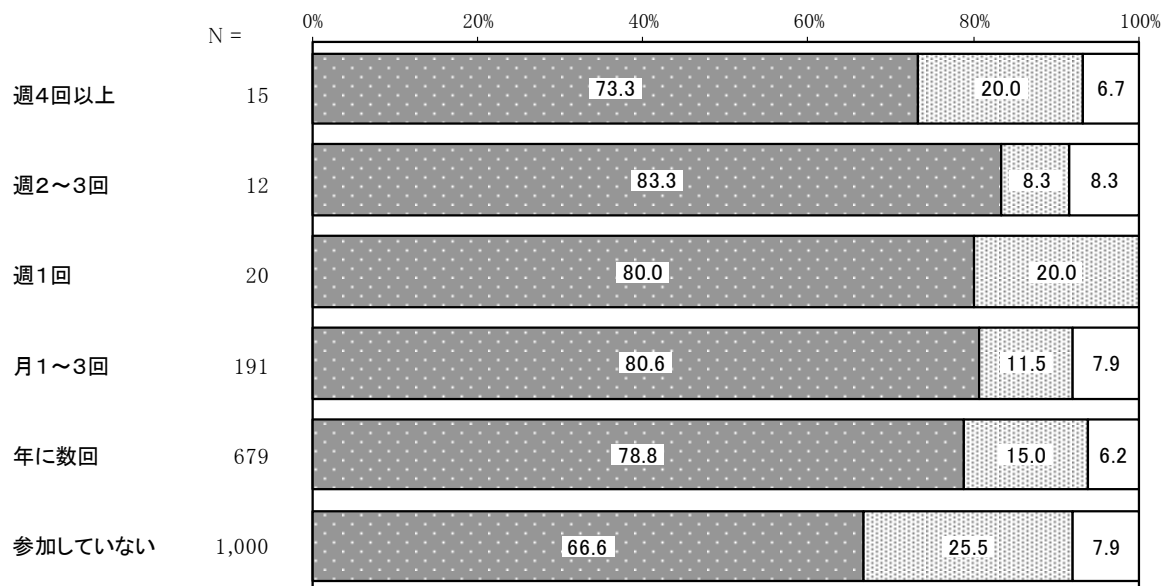
【老人クラブへの参加頻度別】

老人クラブへの参加頻度別でみると、他に比べ、週4回以上、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



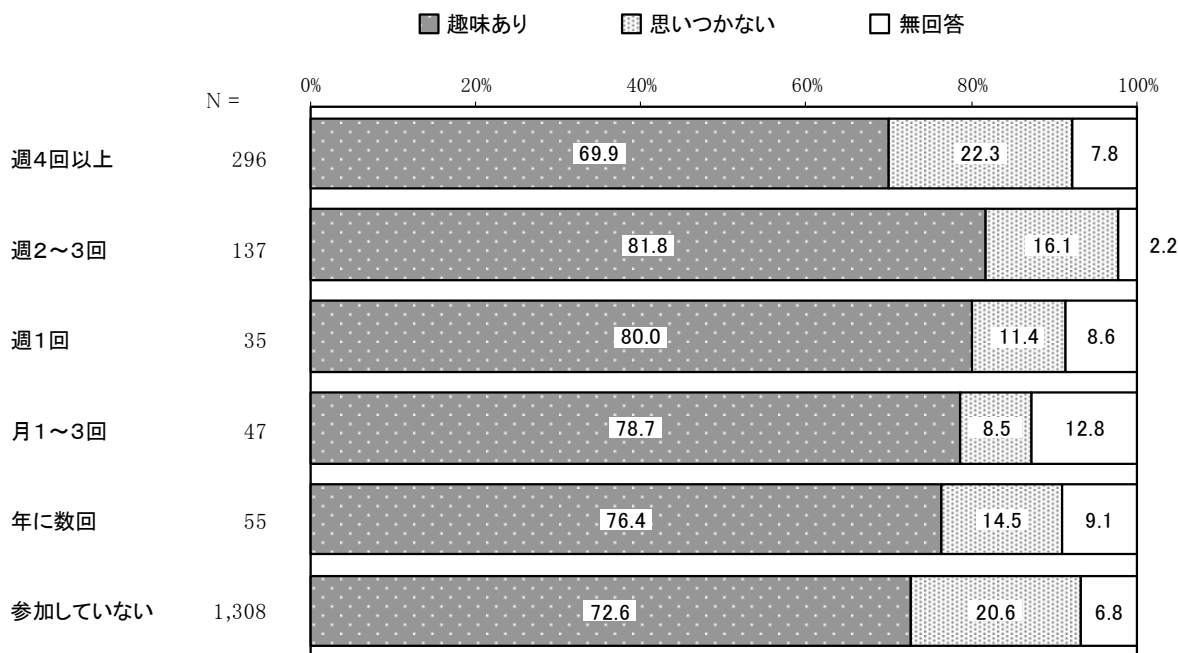
【町内会・自治会への参加頻度別】

町内会・自治会への参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



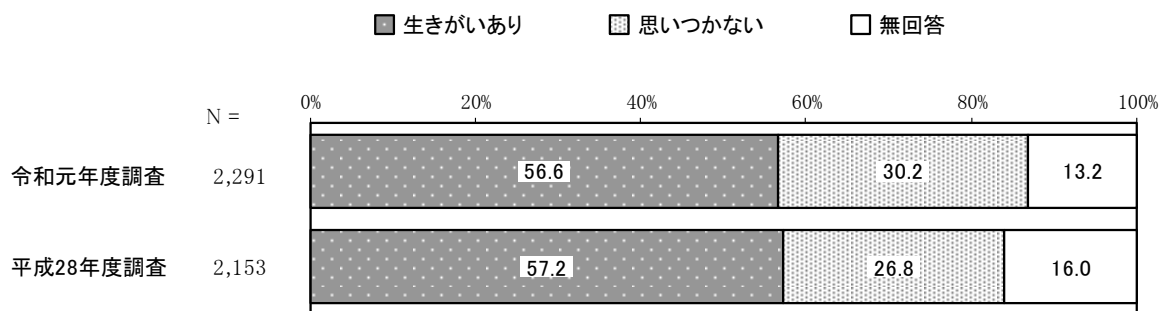
【収入のある仕事への参加頻度別】

収入のある仕事への参加頻度別でみると、他に比べ、週4回以上、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



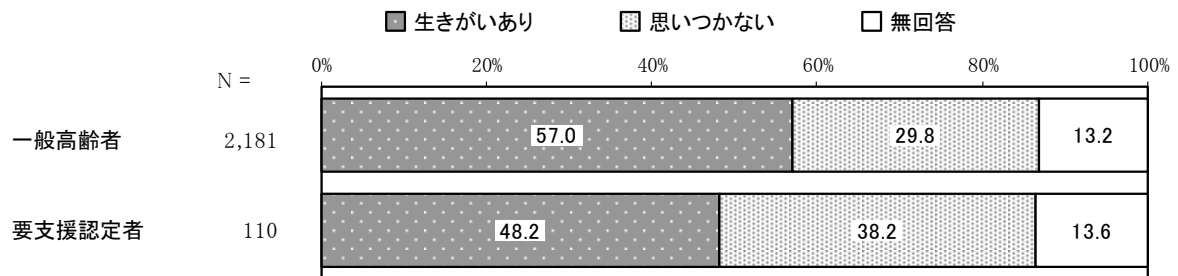
問4（18）生きがいがありますか

「生きがいあり」の割合が56.6%、「思いつかない」の割合が30.2%となっています。平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



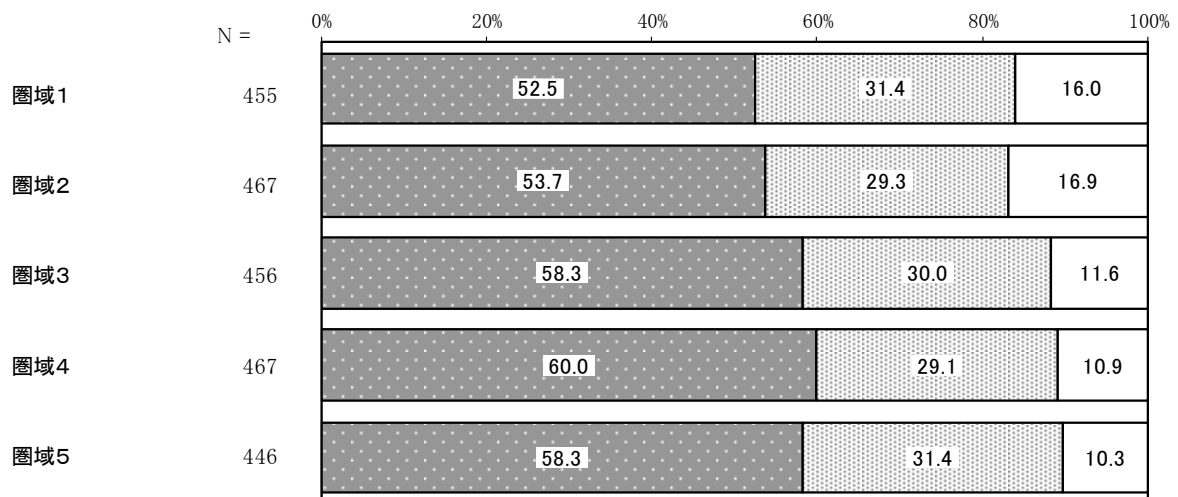
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「思いつかない」の割合が高くなっています。



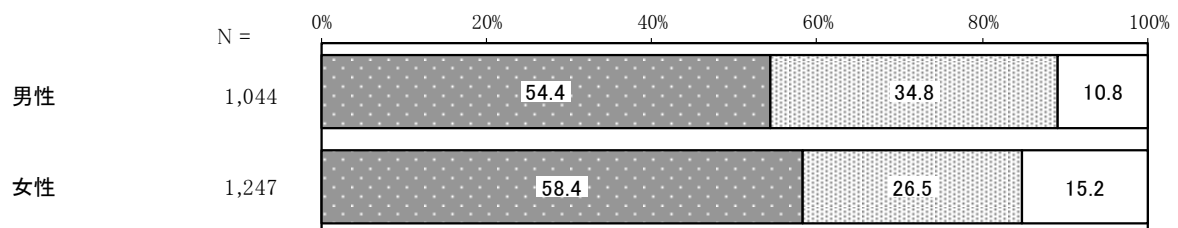
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3、圏域4、圏域5で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



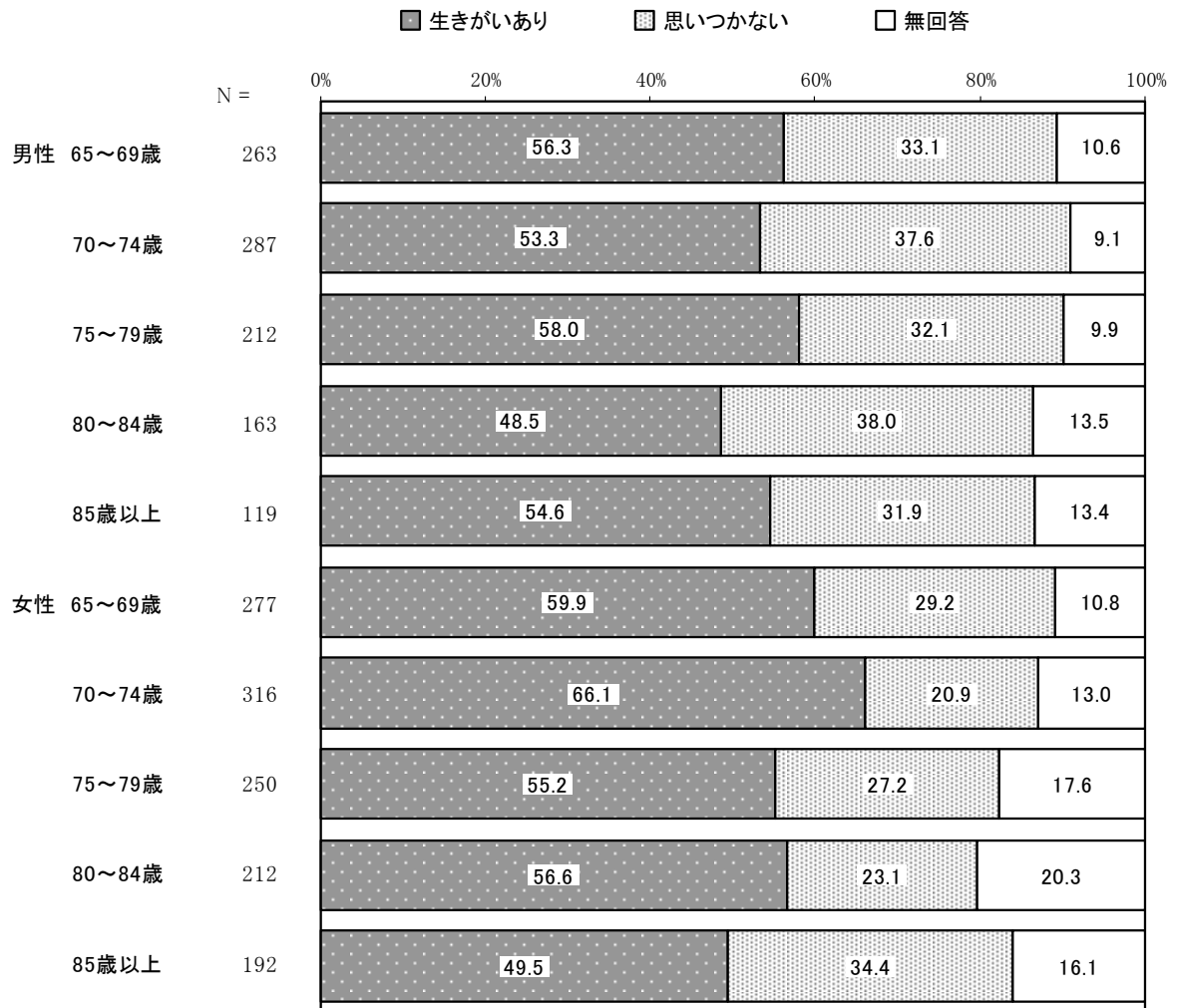
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「思いつかない」の割合が高くなっています。



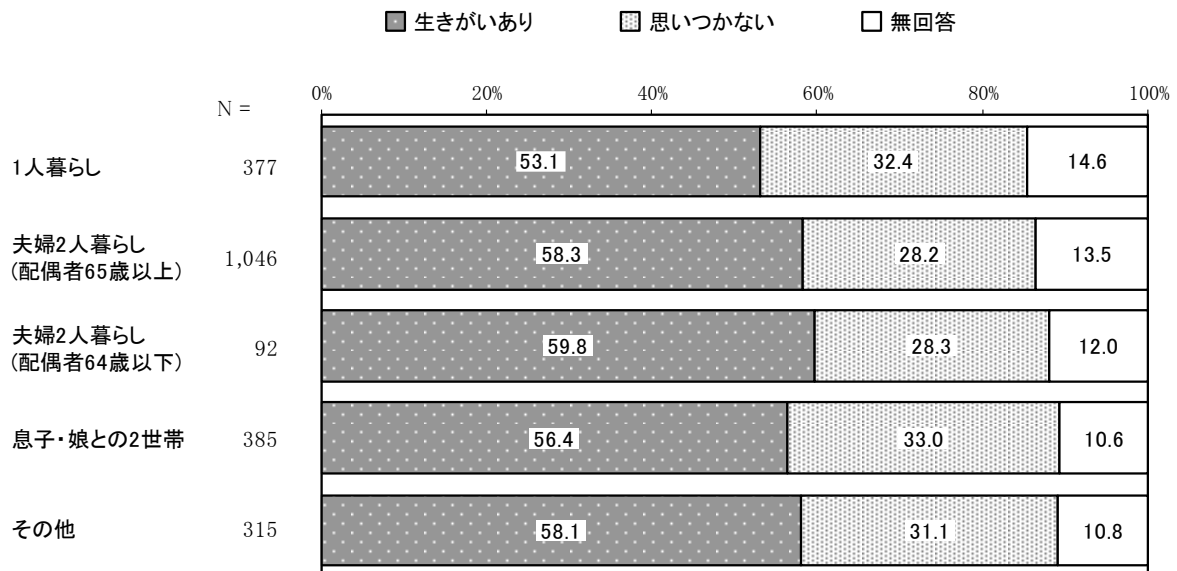
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別で見ると、他に比べ、女性の70～74歳で「生きがいあり」の割合が高くなっています。また、男性の70～74歳、80～84歳で「思いつかない」の割合が高くなっています。



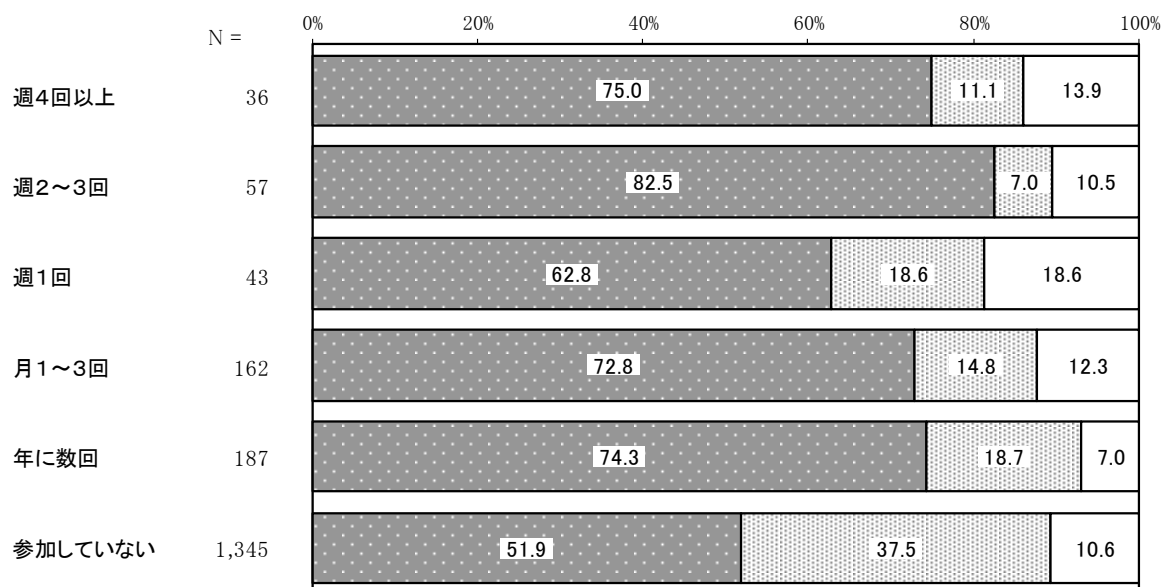
【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「生きがいあり」の割合が高くなっています。



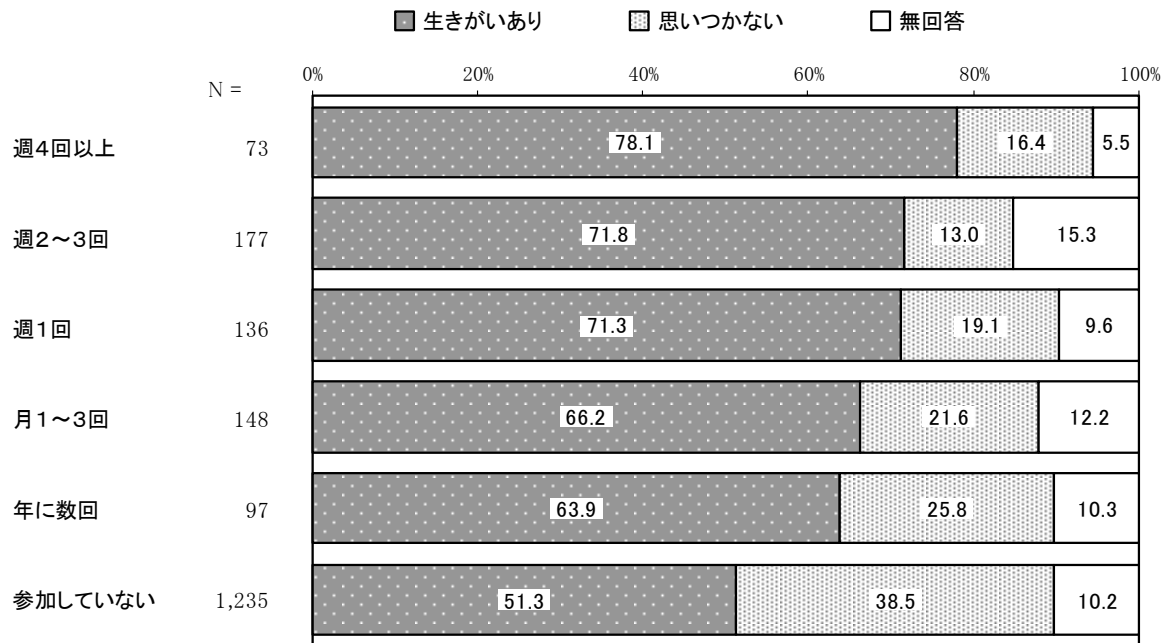
【ボランティアグループへの参加頻度別】

ボランティアグループへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



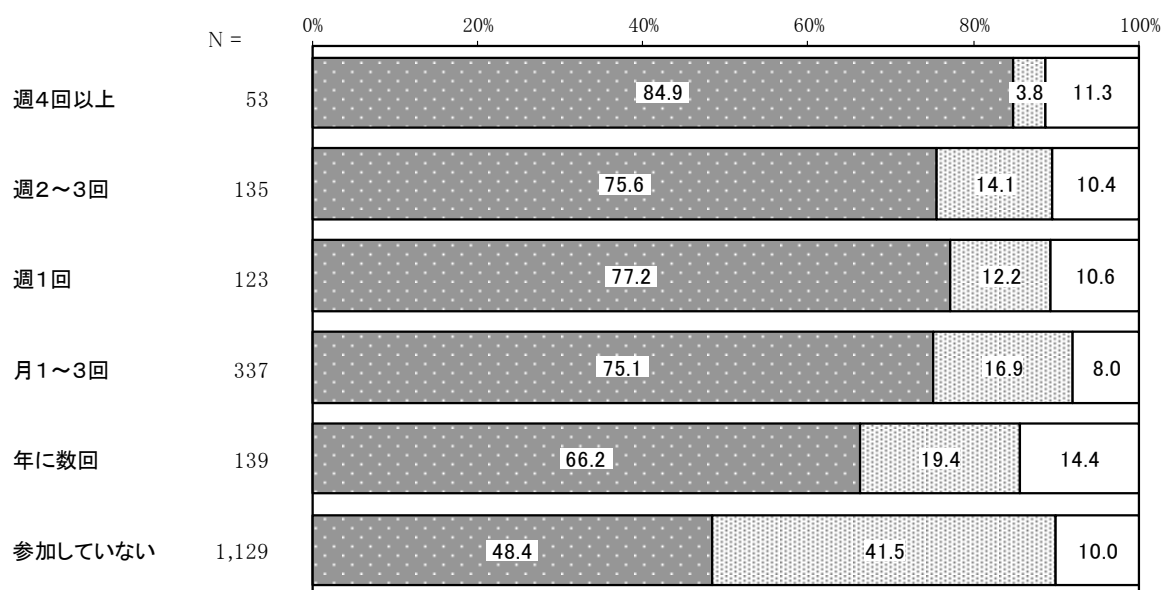
【スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度別】

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



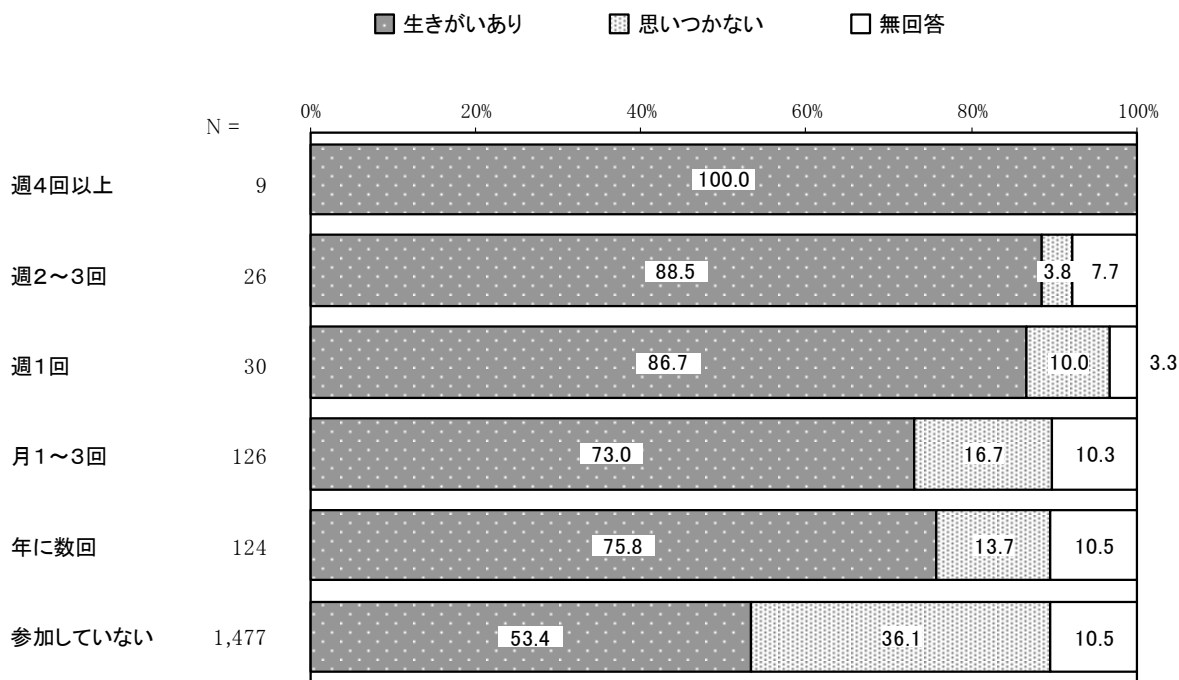
【趣味関係のグループへの参加頻度別】

趣味関係のグループへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



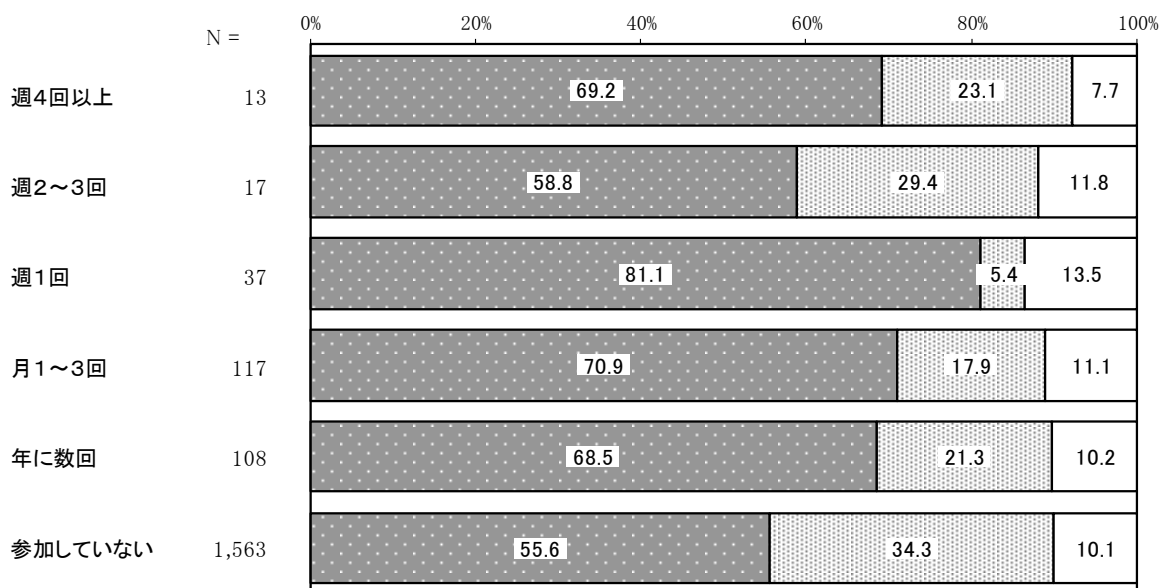
【学習・教養サークルへの参加頻度別】

学習・教養サークルへの参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



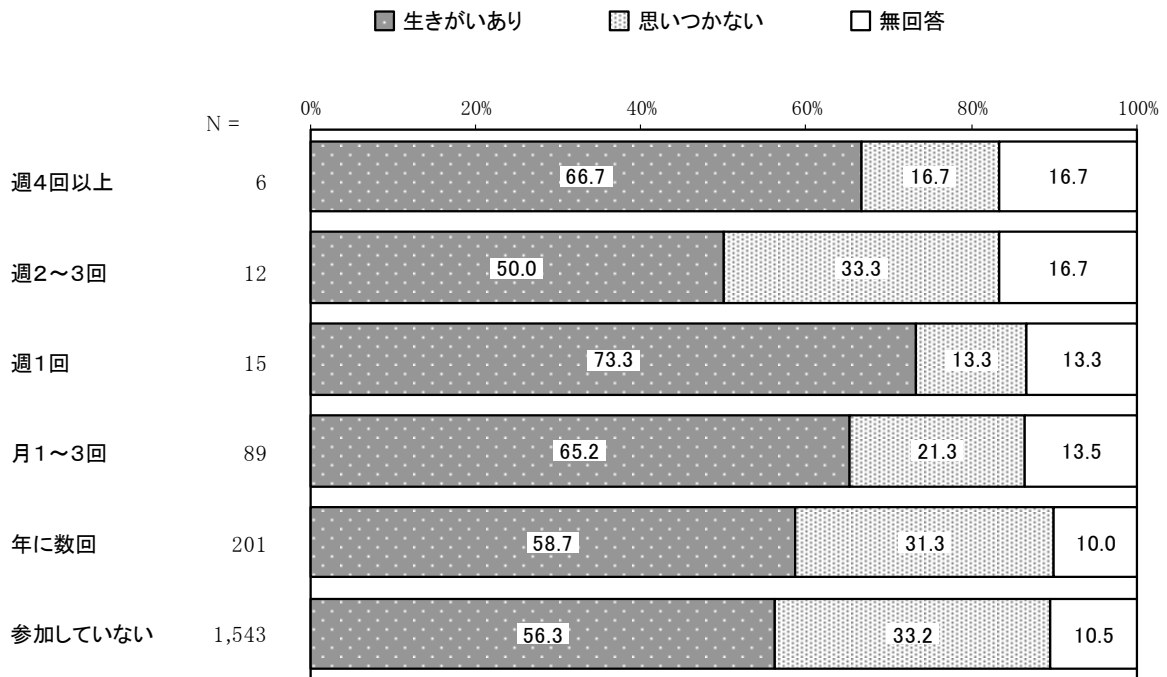
【高齢者サロンや地域の通いの場への参加頻度別】

高齢者サロンや地域の通いの場への参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



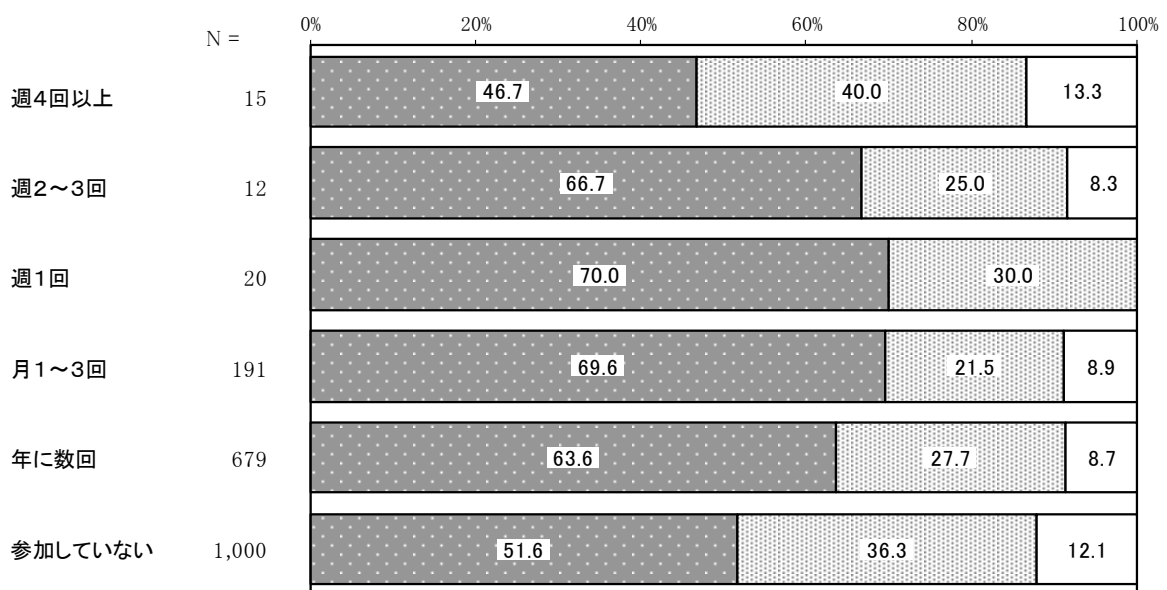
【老人クラブへの参加頻度別】

老人クラブへの参加頻度別でみると、他に比べ、週2～3回、年に数回、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。



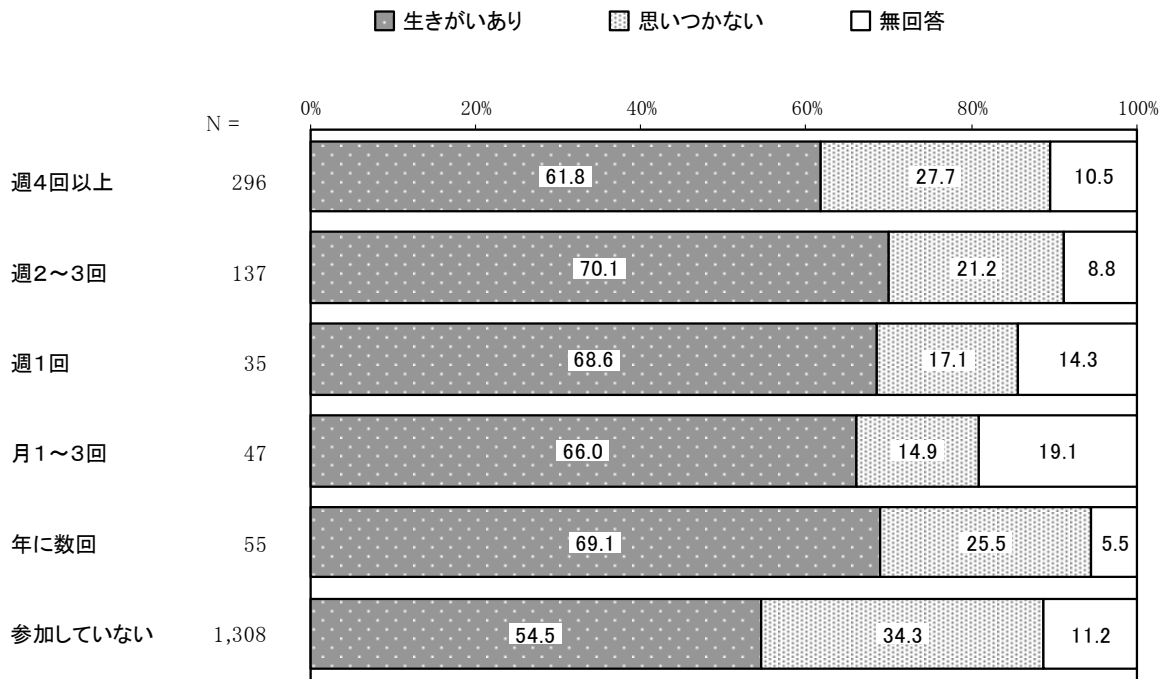
【町内会・自治会への参加頻度別】

町内会・自治会への参加頻度別でみると、他に比べ、週4回以上で「思いつかない」の割合が高くなっています。



【収入のある仕事への参加頻度別】

収入のある仕事への参加頻度別でみると、他に比べ、参加していないで「思いつかない」の割合が高くなっています。

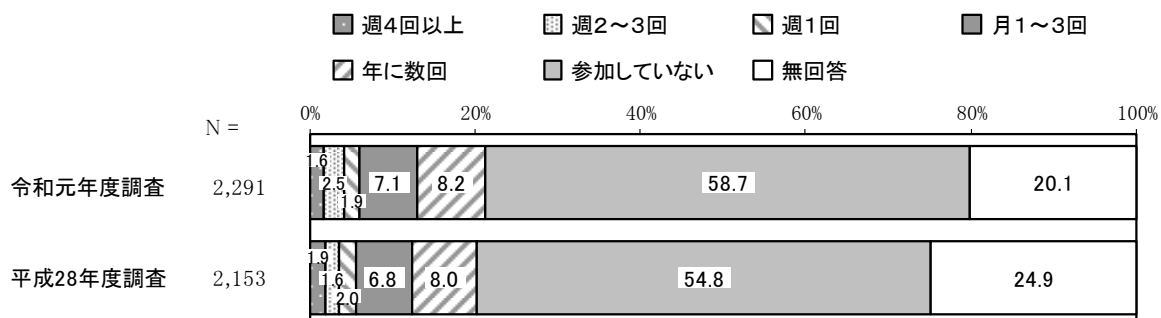


5 地域での活動について

問5（1）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

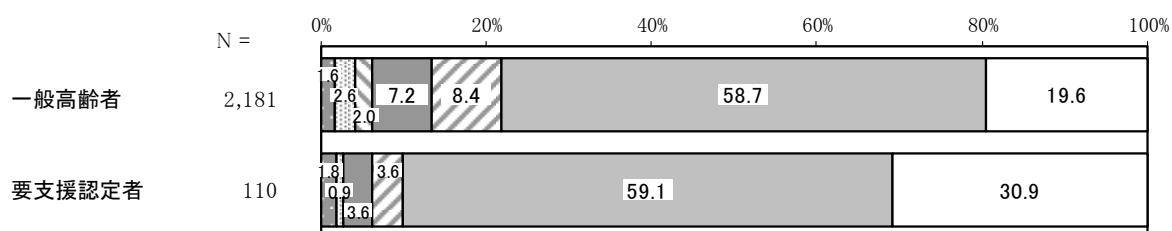
① ボランティアのグループ

「参加していない」の割合が58.7%と最も高くなっています。
 平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



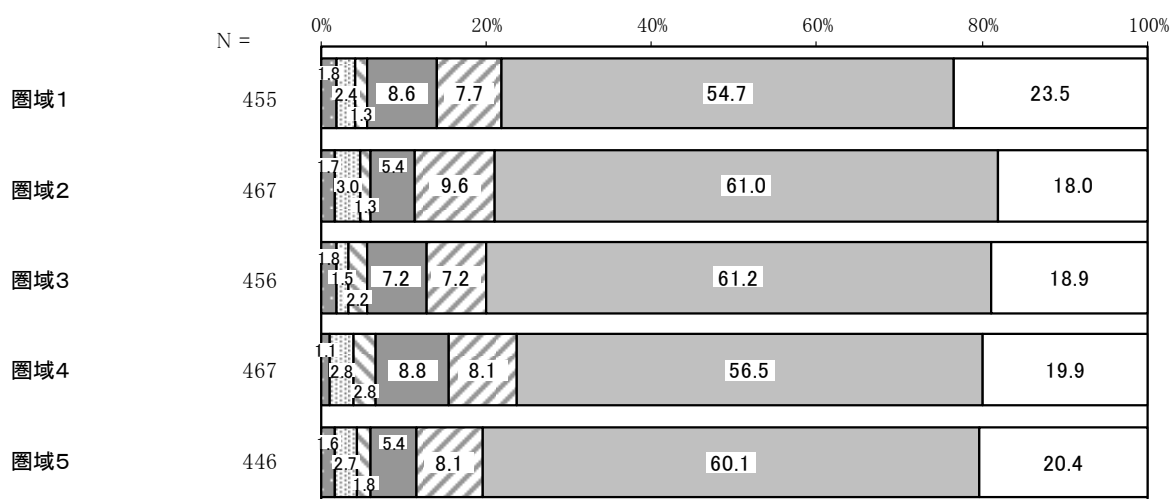
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、大きな差異はみられません。



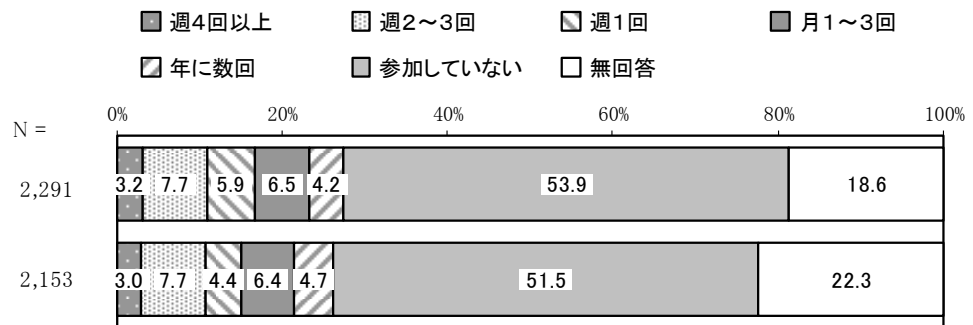
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「参加していない」の割合が低くなっています。



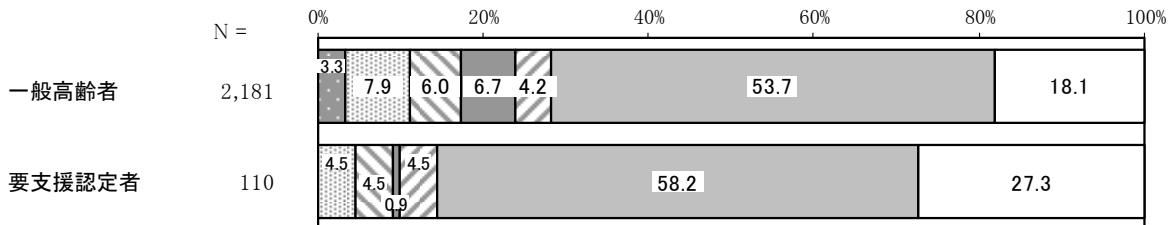
② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」の割合が53.9%と最も高くなっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



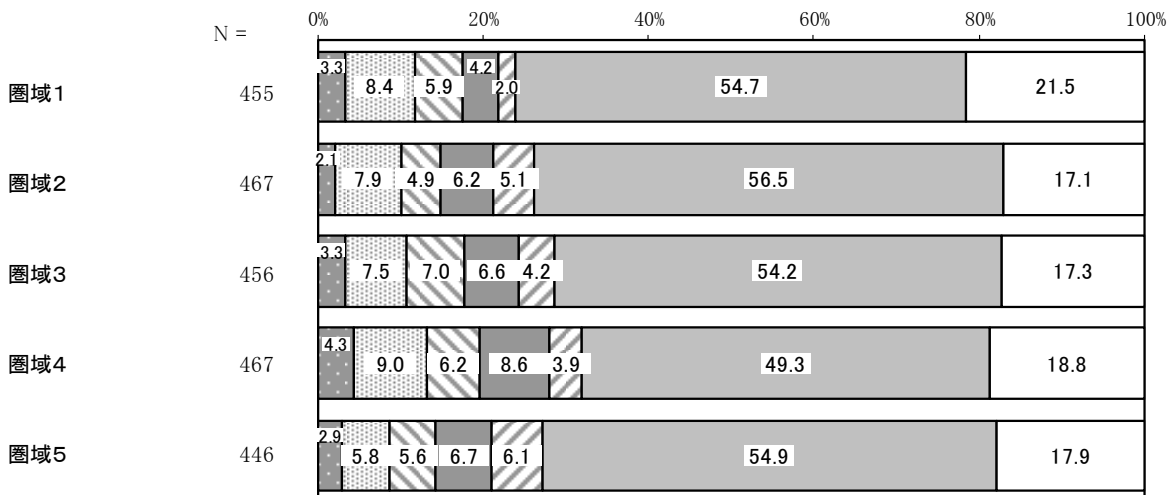
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「月1~3回」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

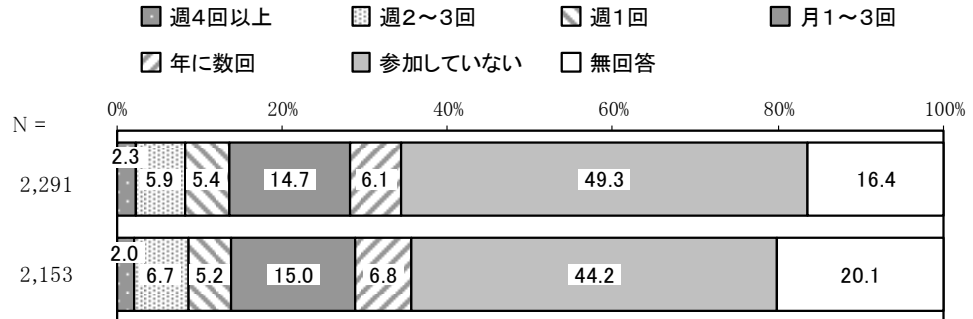
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4で「参加していない」の割合が低くなっています。



③ 趣味関係のグループ

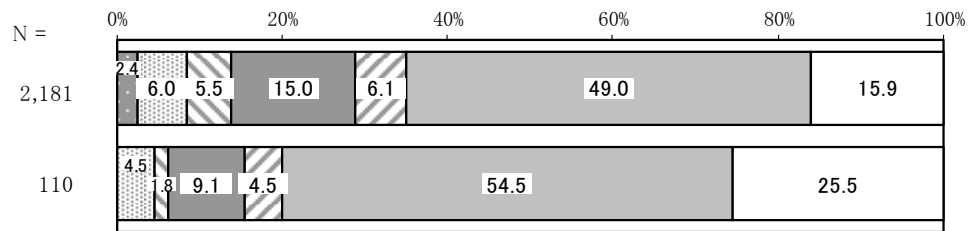
「参加していない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が14.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



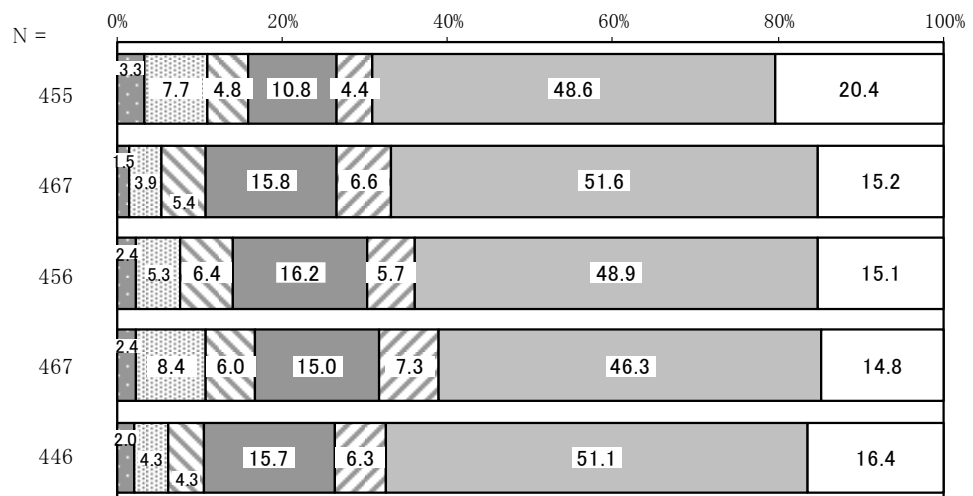
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「月1～3回」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。



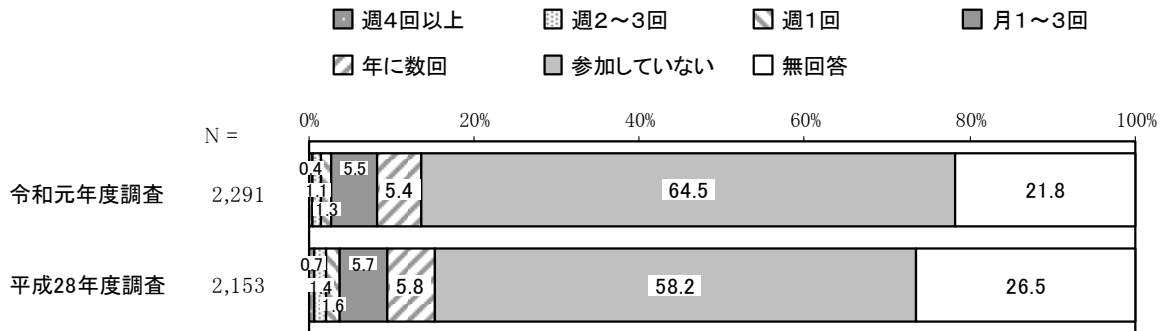
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「月1～3回」の割合が低くなっています。



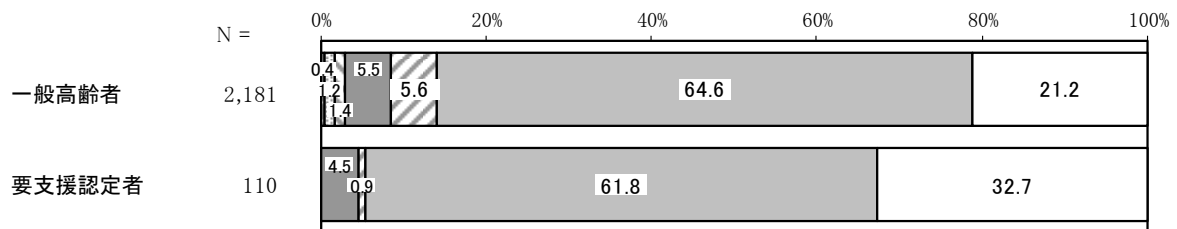
④ 学習・教養サークル

「参加していない」の割合が64.5%と最も高くなっています。
 平成28年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



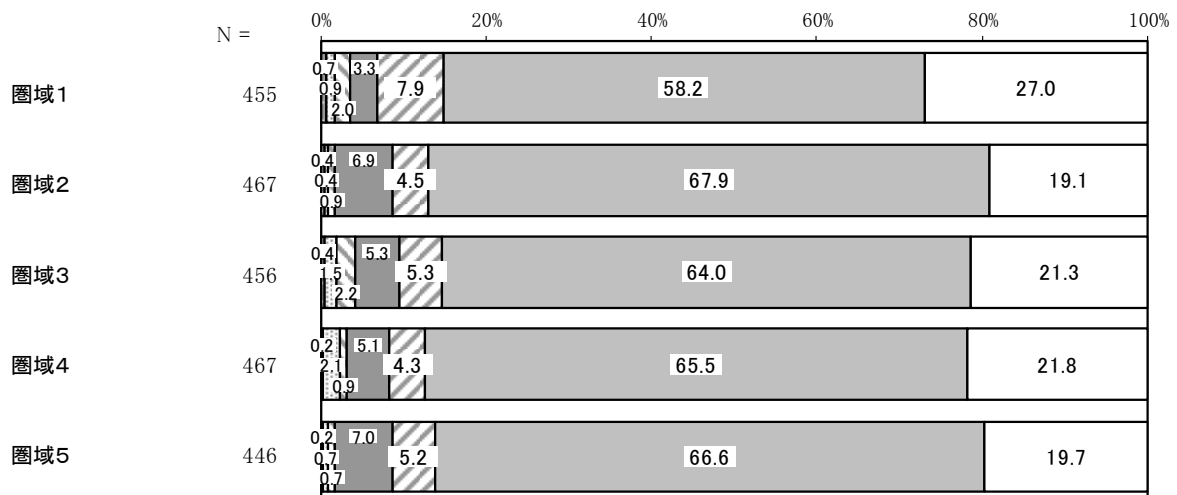
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、大きな差異はみられません。



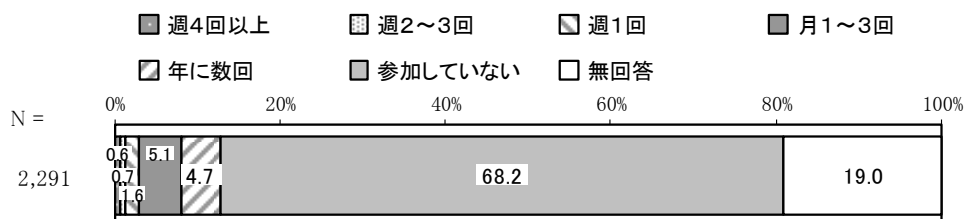
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「参加していない」の割合が低くなっています。



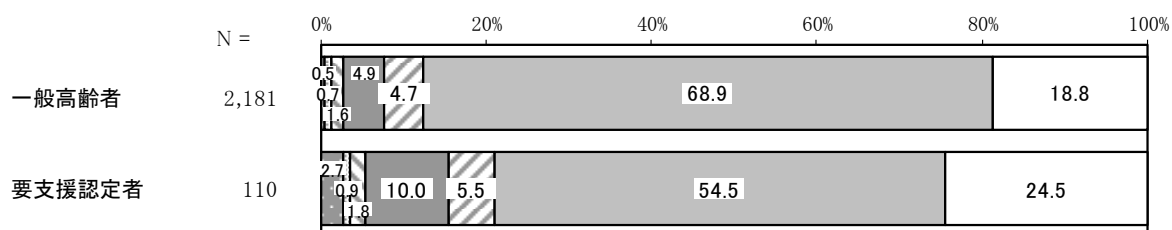
⑤ 高齢者サロンや地域の通いの場（なごみ、きずな、ゆこゆこ等）

「参加していない」の割合が68.2%と最も高くなっています。



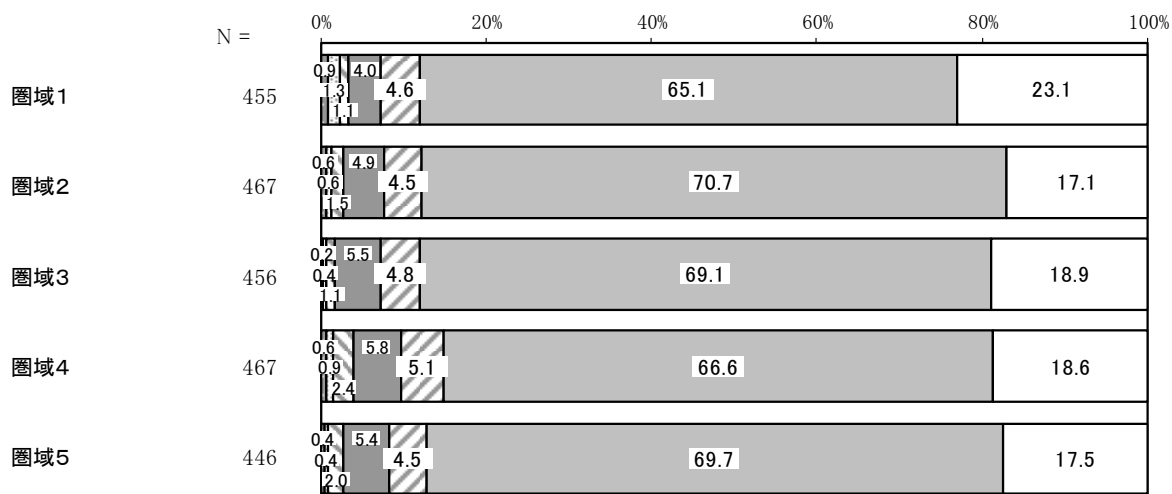
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「月1~3回」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

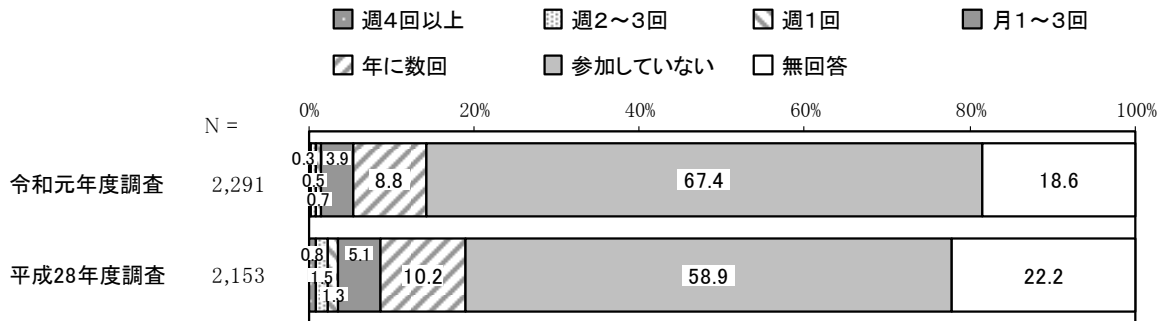
日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



⑥ 老人クラブ

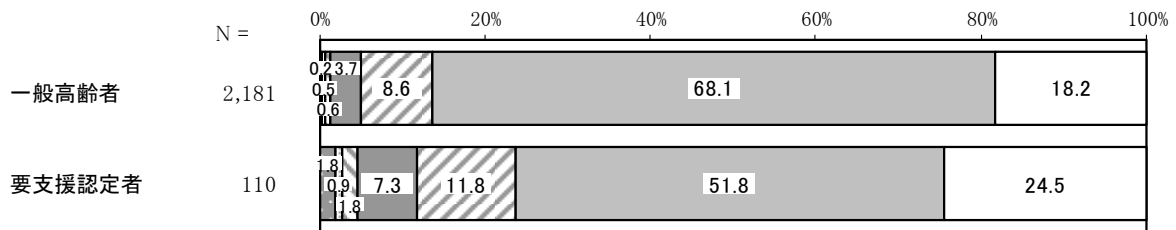
「参加していない」の割合が67.4%と最も高くなっています。

平成28年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が増加しています。



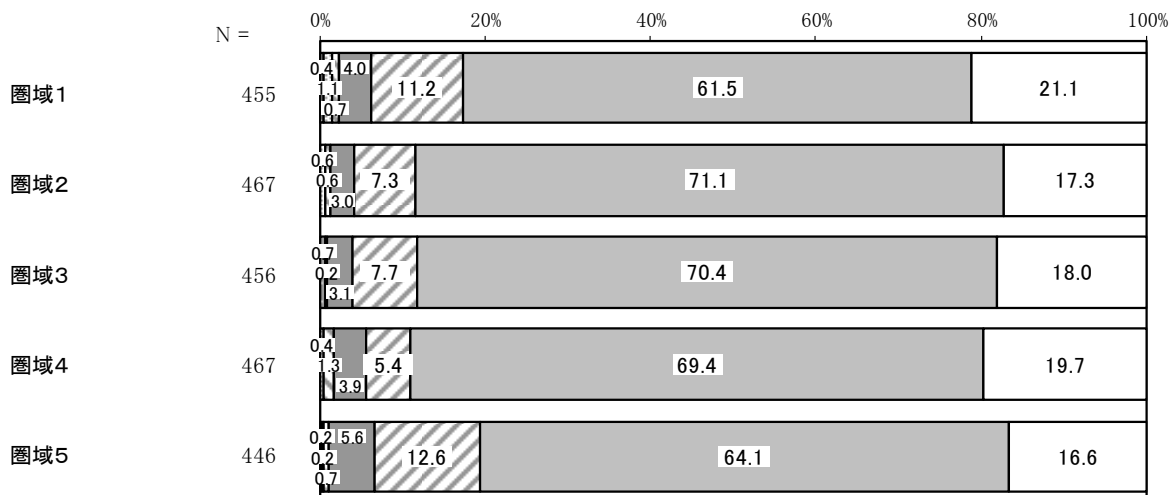
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

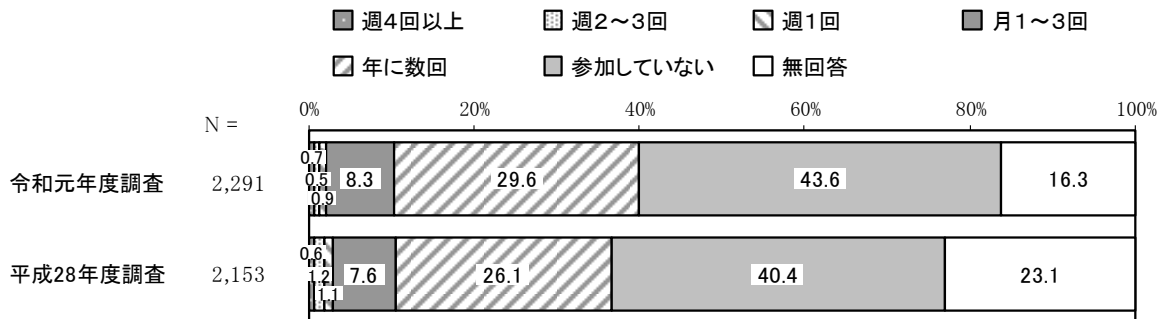
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域5で「年に数回」の割合が高くなっています。また、圏域1で「参加していない」の割合が低くなっています。



⑦ 町内会・自治会

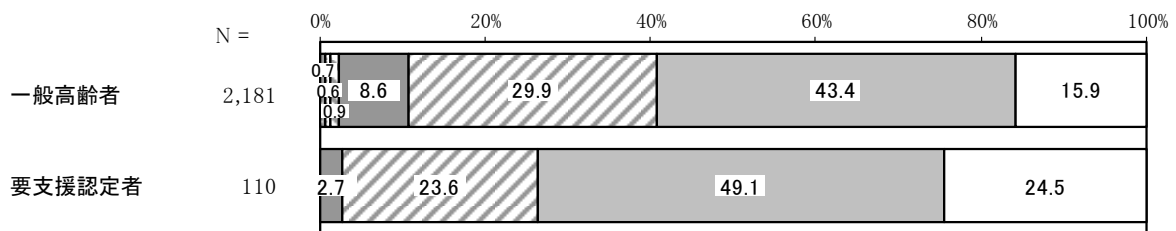
「参加していない」の割合が43.6%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が29.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



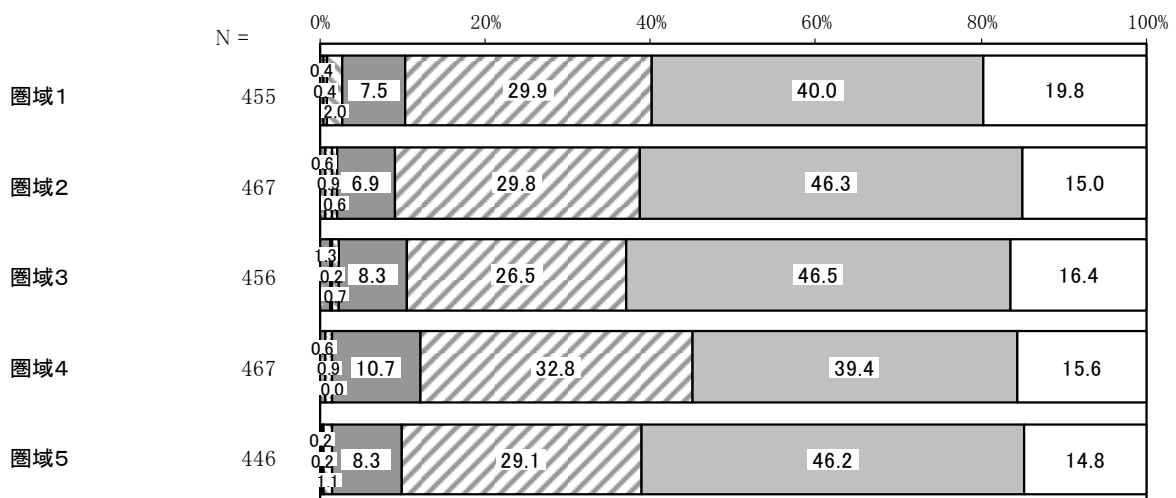
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「月1~3回」「年に数回」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

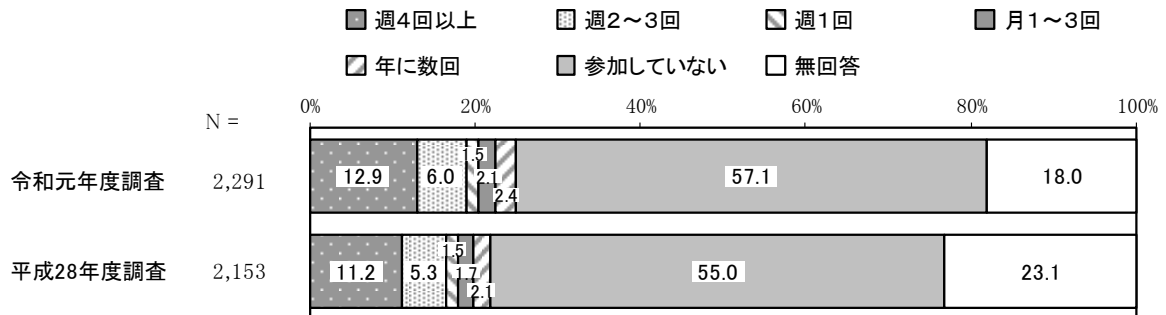
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「年に数回」の割合が高くなっています。また、圏域2、圏域3、圏域5で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑧ 収入のある仕事

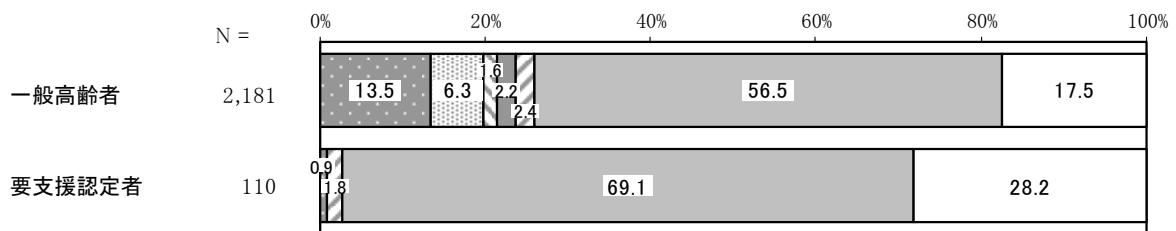
「参加していない」の割合が57.1%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が12.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



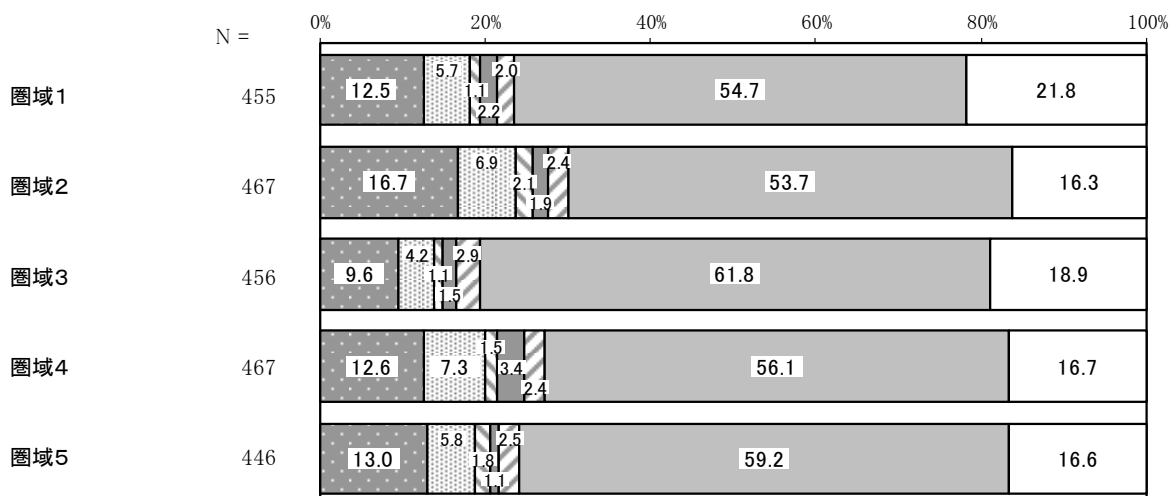
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週4回以上」「週2~3回」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加していない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

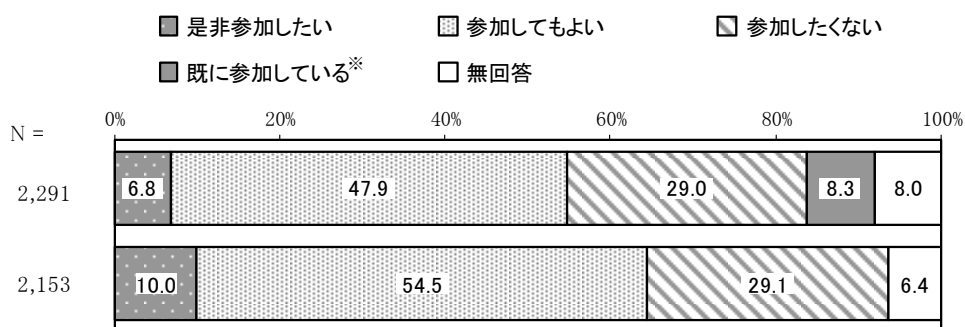
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「週4回以上」の割合が高くなっています。また、圏域3、圏域5で「参加していない」の割合が高くなっています。



問5（2）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」の割合が47.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が29.0%となっています。

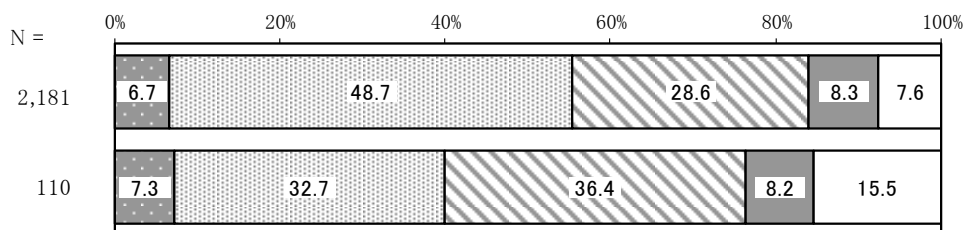
平成28年度調査と比較すると、選択肢は異なるものの、「参加してもよい」の割合が減少しています。



※「既に参加している」の選択肢は平成28年度調査にはありませんでした。

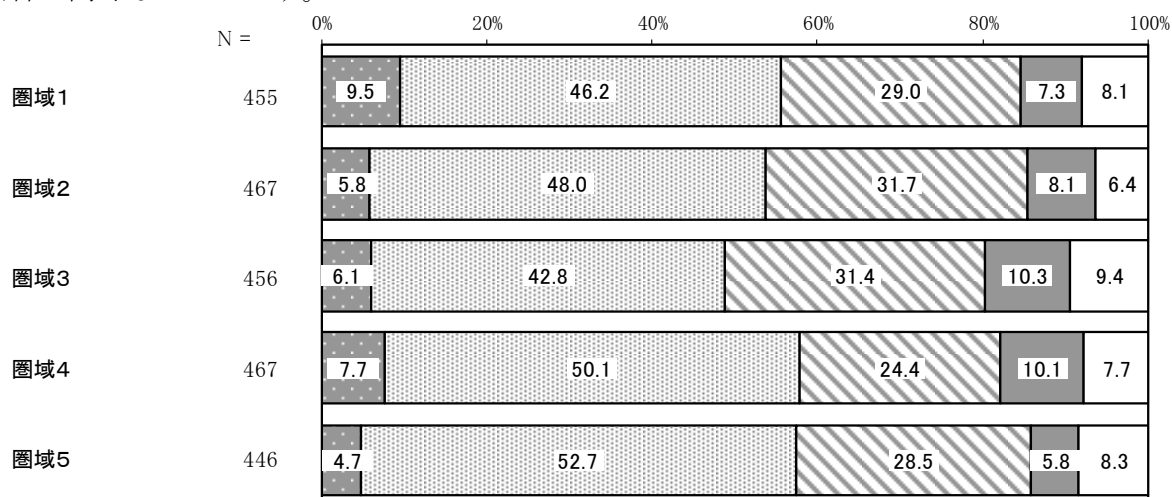
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

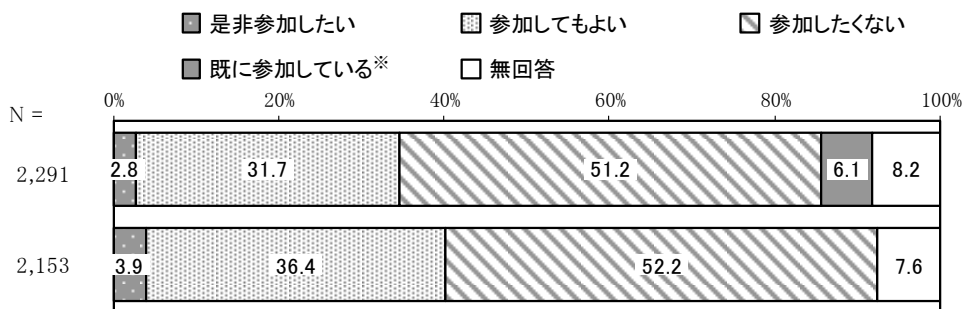
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2、圏域4、圏域5で「参加してもよい」の割合が高くなっています。



問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」の割合が51.2%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が31.7%となっています。

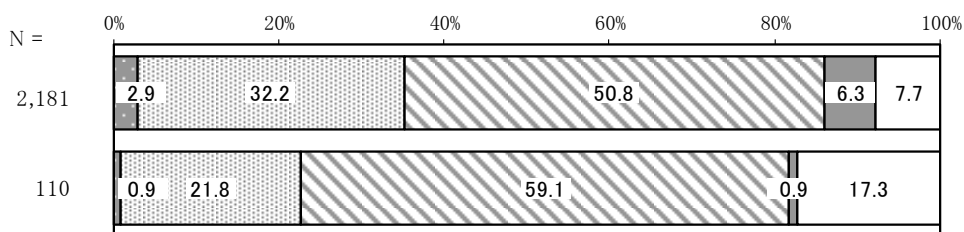
平成28年度調査と比較すると、選択肢は異なるものの、大きな差異はみられません。



※「既に参加している」の選択肢は平成28年度調査にはありませんでした。

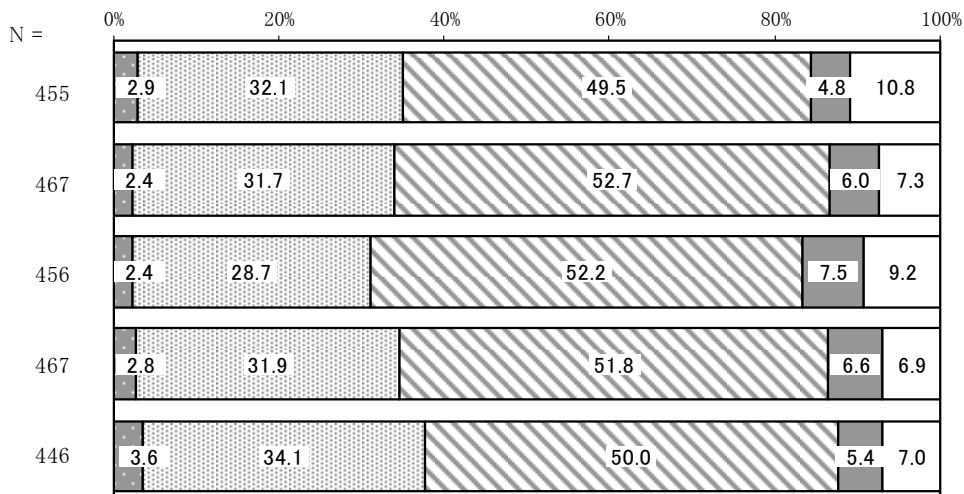
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加してもよい」「既に参加している」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域5で「参加してもよい」の割合が高くなっています。

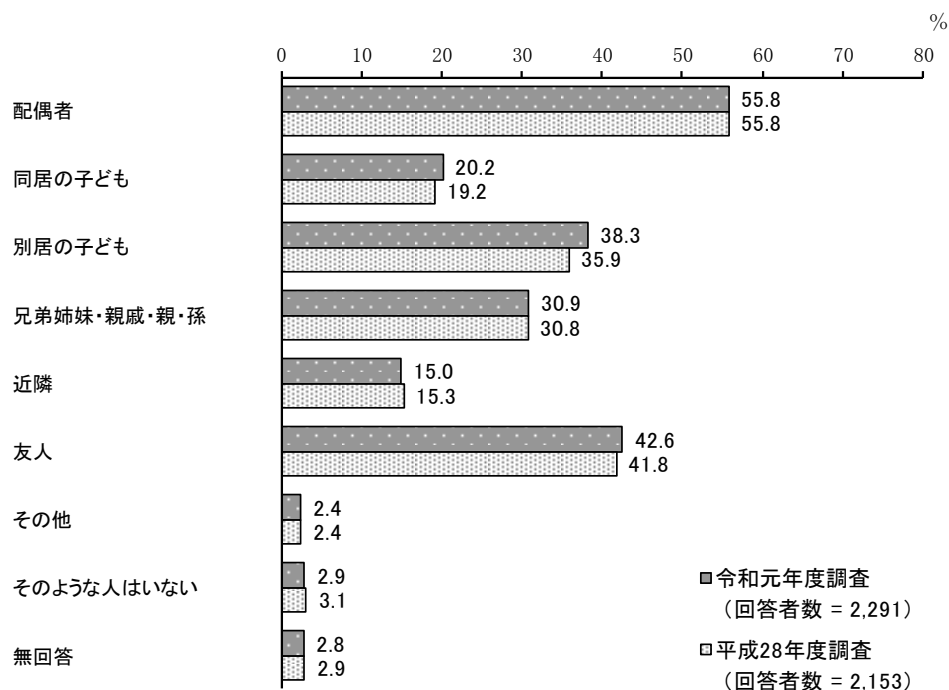


6 たすけあいについて

問6（1）あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が55.8%と最も高く、次いで「友人」の割合が42.6%、「別居の子ども」の割合が38.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	2,181	57.4	20.4	37.9	30.7	14.9	42.9	2.1	2.9	2.8
要支援認定者	110	25.5	15.5	46.4	33.6	16.4	36.4	8.2	2.7	4.5

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が、圏域4で「近隣」の割合が高くなっています。

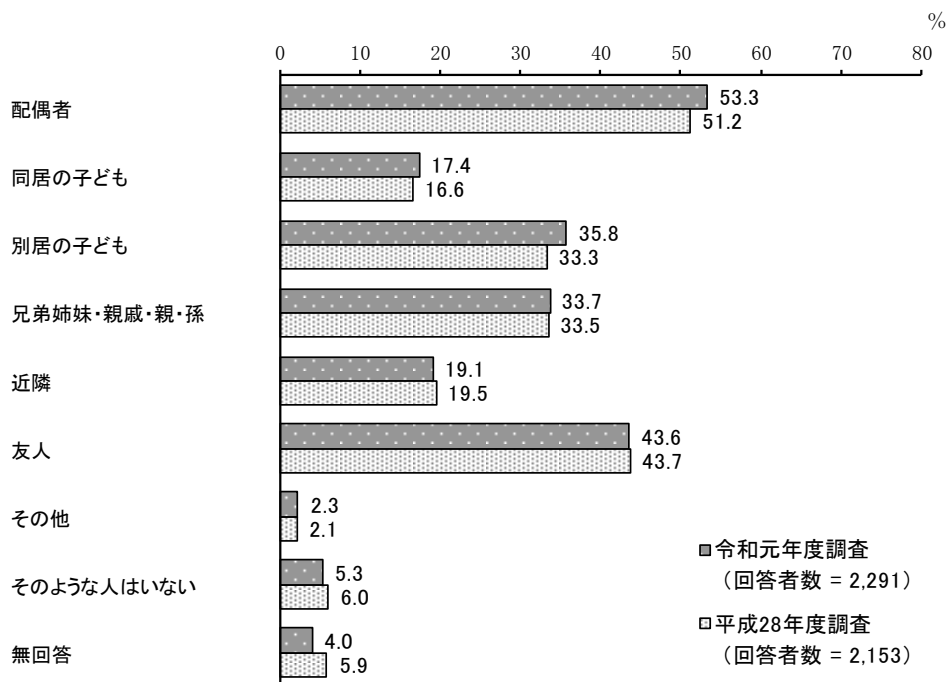
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	そのような人は いない	無回答
圏域1	455	45.7	22.0	37.1	36.3	14.1	42.4	2.2	3.3	3.1
圏域2	467	57.8	21.2	36.4	31.5	13.5	43.5	3.0	1.3	3.2
圏域3	456	60.7	22.1	38.6	28.5	12.1	43.2	2.2	3.5	2.6
圏域4	467	58.2	17.6	39.6	26.1	19.9	45.2	2.6	3.0	2.4
圏域5	446	56.5	18.2	39.7	32.1	15.5	38.6	1.8	3.6	2.9

問6（2）反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が53.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.6%、「別居の子ども」の割合が35.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	その ような人 はいない	無回答
一般高齢者	2,181	55.0	17.7	36.1	33.9	19.1	44.0	2.2	5.0	3.9
要支援認定者	110	20.9	10.9	30.0	30.0	20.0	36.4	5.5	10.0	5.5

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域2、圏域3で「配偶者」の割合が高くなっています。

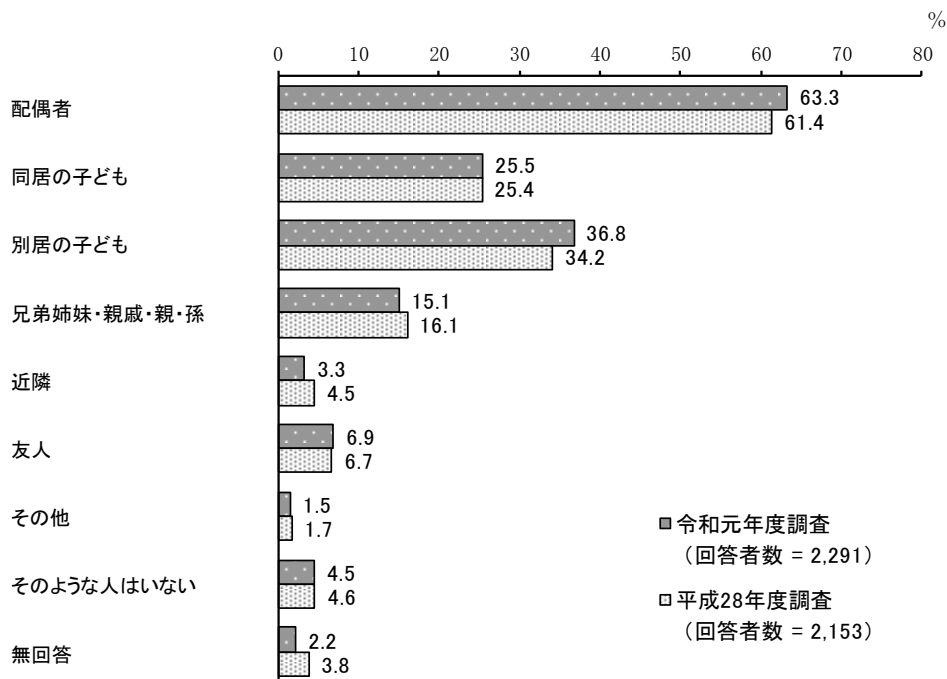
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	その ような人 はいない	無回答
圏域1	455	42.4	19.3	35.4	36.3	20.7	43.3	3.3	6.6	4.8
圏域2	467	57.0	17.6	39.0	34.3	16.1	45.4	2.1	3.9	3.9
圏域3	456	57.5	19.3	34.6	33.6	15.4	42.1	2.0	5.3	3.9
圏域4	467	54.8	16.3	34.0	31.9	23.6	47.5	2.4	5.6	2.1
圏域5	446	54.9	14.3	36.1	32.5	20.0	39.5	1.8	5.2	5.2

問6 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)

「配偶者」の割合が63.3%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が36.8%、「同居の子ども」の割合が25.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「別居の子ども」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	いない そのような人は	無回答
一般高齢者	2,181	65.4	25.6	36.2	14.9	3.3	6.9	1.3	4.3	2.2
要支援認定者	110	21.8	23.6	48.2	17.3	2.7	8.2	5.5	9.1	3.6

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3で「配偶者」の割合が高くなっています。また、圏域1、圏域5で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

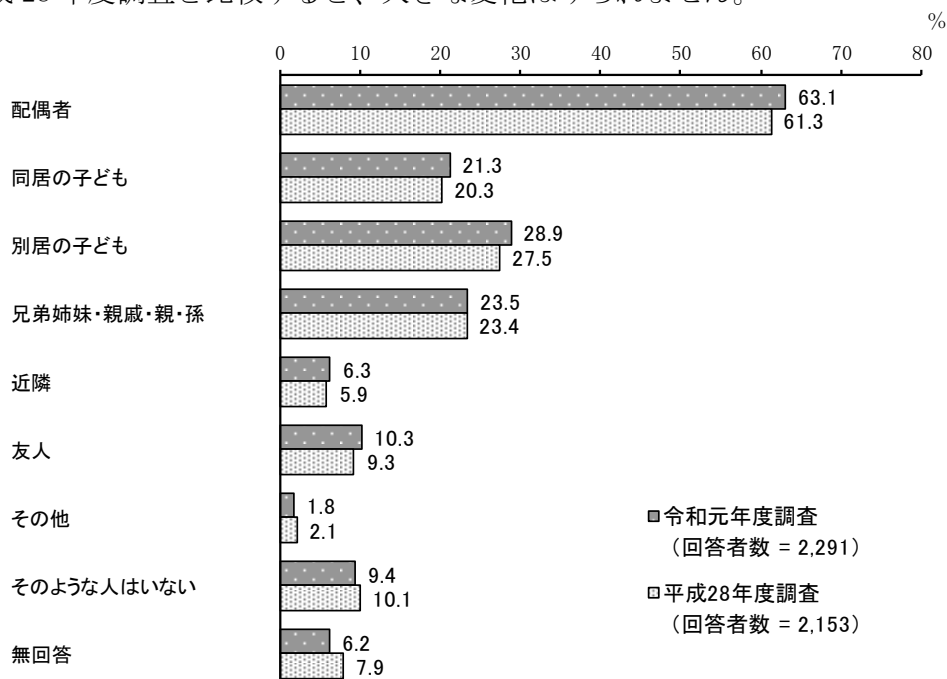
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	その いない のような人は	無回答
圏域1	455	51.4	29.2	39.1	20.4	2.9	7.0	2.4	6.4	2.6
圏域2	467	64.9	24.8	33.4	11.8	2.4	6.0	1.7	4.3	3.6
圏域3	456	68.6	24.1	36.2	13.4	2.6	6.1	1.1	4.6	2.2
圏域4	467	66.8	22.7	38.5	12.6	5.1	8.8	1.5	3.4	1.1
圏域5	446	64.8	26.9	36.5	17.3	3.6	6.7	0.7	3.8	1.6

問6（4）反対に、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が63.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が28.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が23.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	その ような人 はいない	無回答
一般高齢者	2,181	64.9	21.6	29.4	23.9	6.3	10.5	1.6	8.8	5.8
要支援認定者	110	28.2	13.6	19.1	15.5	6.4	5.5	7.3	21.8	14.5

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域3で「配偶者」の割合が高くなっています。また、圏域1で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

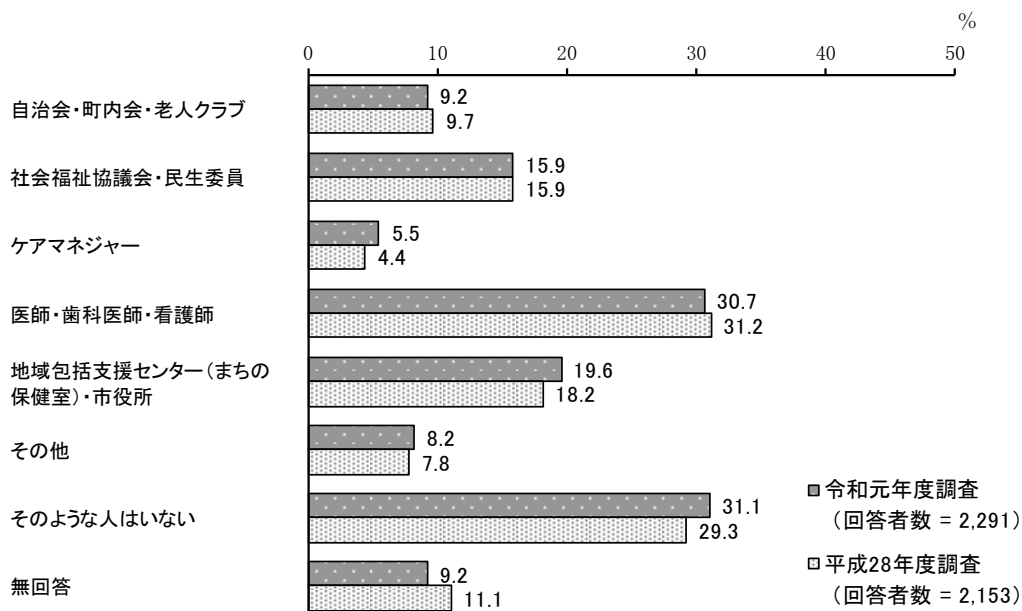
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫 兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他	その ような人 はいない	無回答
圏域1	455	49.7	21.5	24.2	26.4	6.2	9.7	2.6	13.2	7.9
圏域2	467	66.8	20.1	28.7	23.3	5.4	10.5	1.7	7.5	6.4
圏域3	456	70.2	21.3	28.5	23.7	5.5	9.4	1.8	9.0	6.8
圏域4	467	65.7	21.8	33.0	19.7	8.1	12.4	1.5	7.9	4.9
圏域5	446	63.0	21.5	30.0	24.7	6.3	9.4	1.6	9.6	5.2

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

「そのような人はいない」の割合が31.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が30.7%、「地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所」の割合が19.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
一般高齢者	2,181	9.4	15.7	4.4	30.8	18.4	8.2	31.9	9.3
要支援認定者	110	4.5	20.9	28.2	30.0	43.6	9.1	14.5	8.2

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1、圏域5で「医師・歯科医師・看護師」の割合が、圏域1で「社会福祉協議会・民生委員」の割合が高くなっています。また、圏域2で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
圏域1	455	9.9	24.4	6.8	34.3	19.6	8.4	26.8	9.0
圏域2	467	8.4	11.3	4.3	27.4	16.7	10.7	35.8	9.6
圏域3	456	7.7	14.9	4.6	28.7	15.1	6.8	33.8	11.6
圏域4	467	11.1	14.6	5.4	29.8	24.0	8.1	28.5	7.9
圏域5	446	9.0	14.6	6.7	33.6	22.6	7.0	30.5	7.8

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自治会・町内会・老人クラブ」「そのような人はいない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所」の割合が高くなっています。

位：％

区分	回答者数(件)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター(まちの保健室)・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
男性	1,044	13.2	13.3	4.1	32.6	16.1	8.6	35.4	6.0
女性	1,247	5.9	18.1	6.7	29.2	22.5	7.9	27.4	11.9

【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別で見ると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「地域包括支援センター（まちの保健室）・市役所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	老人クラブ 自治会・町内会・	社会福祉協議会・ 民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・ 看護師	地域包括支援センター （まちの保健室） ・ 市役所	その他	そのような人は いない	無回答
男性 65～69 歳	263	14.8	6.1	1.9	30.8	9.9	12.2	41.8	3.4
70～74 歳	287	11.1	7.7	3.8	33.1	14.3	9.1	37.6	5.2
75～79 歳	212	15.6	15.1	4.2	31.1	20.8	8.0	34.0	5.7
80～84 歳	163	9.8	23.9	6.1	33.7	19.6	5.5	30.7	9.2
85 歳以上	119	15.1	25.2	6.7	36.1	21.0	5.0	25.2	10.1
女性 65～69 歳	277	5.4	11.2	4.0	24.5	16.2	11.2	36.8	8.7
70～74 歳	316	4.7	12.7	4.7	29.1	21.8	8.2	33.9	9.8
75～79 歳	250	6.0	20.4	5.6	28.0	22.4	6.8	27.2	12.4
80～84 歳	212	6.6	29.2	9.9	33.5	25.9	7.1	14.6	15.6
85 歳以上	192	7.3	21.9	12.0	32.8	29.2	4.7	17.7	15.1

【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、1人暮らしで「社会福祉協議会・民生委員」「地域包括支援センター（まちの保健室）・市役所」の割合が高くなっています。

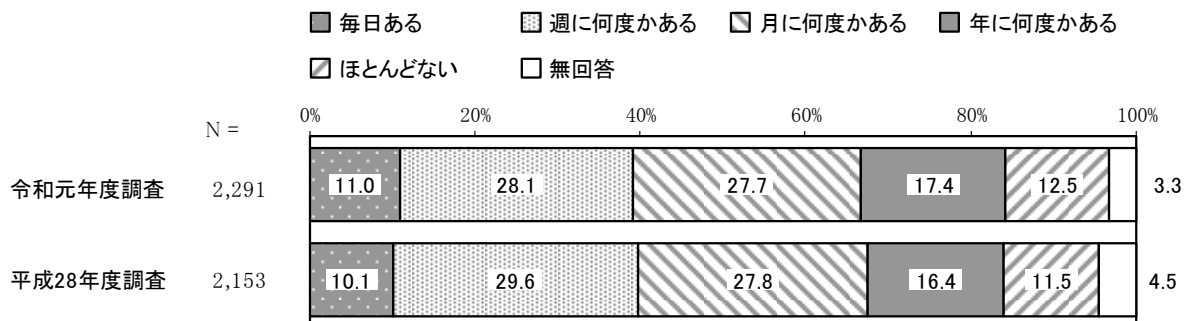
単位：％

区分	回答者数（件）	老人クラブ 自治会・町内会・	社会福祉協議会・ 民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・ 看護師	地域包括支援センター （まちの保健室） ・ 市役所	その他	そのような人は いない	無回答
1人暮らし	377	9.0	27.1	6.1	26.3	27.9	9.0	23.9	9.0
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,046	10.1	16.4	4.7	32.0	18.6	6.9	32.6	9.6
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	92	14.1	10.9	5.4	34.8	12.0	7.6	29.3	7.6
息子・娘との2世帯	385	7.3	12.5	6.5	34.3	17.1	9.4	31.2	7.8
その他	315	7.9	8.3	6.0	26.3	19.0	11.4	35.2	8.3

問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

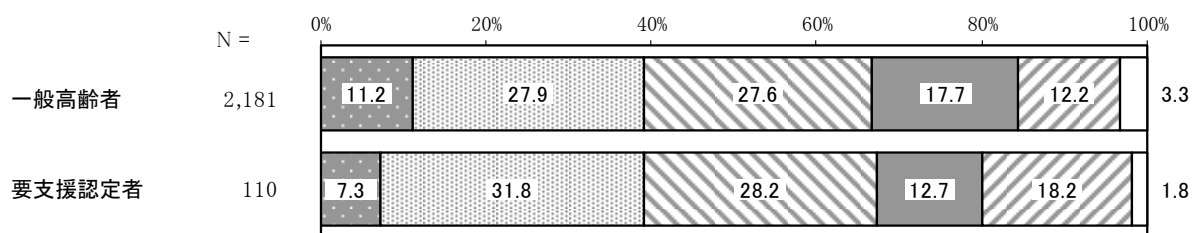
「週に何度かある」の割合が28.1%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が27.7%、「年に何度かある」の割合が17.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



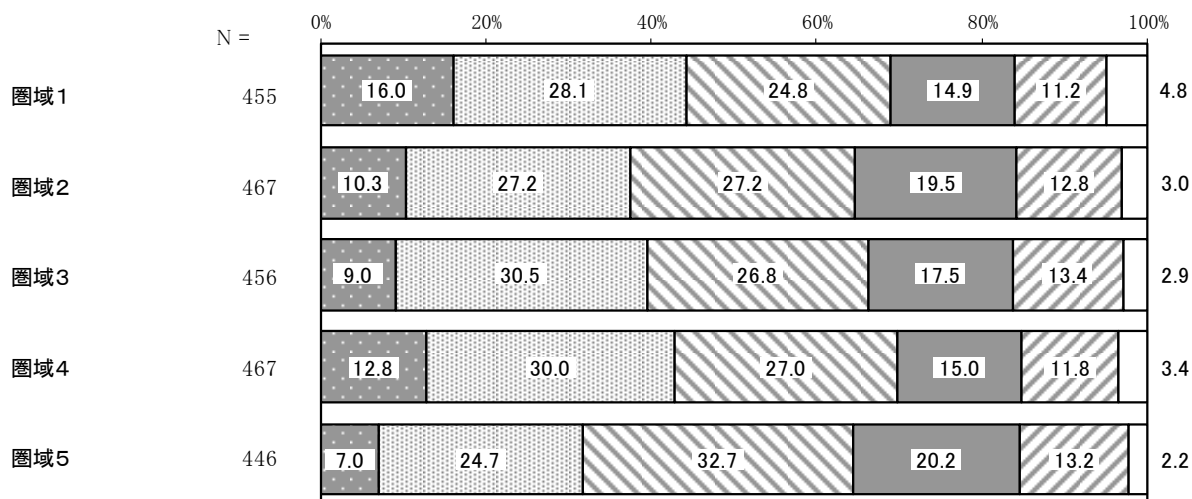
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「年に何度かある」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



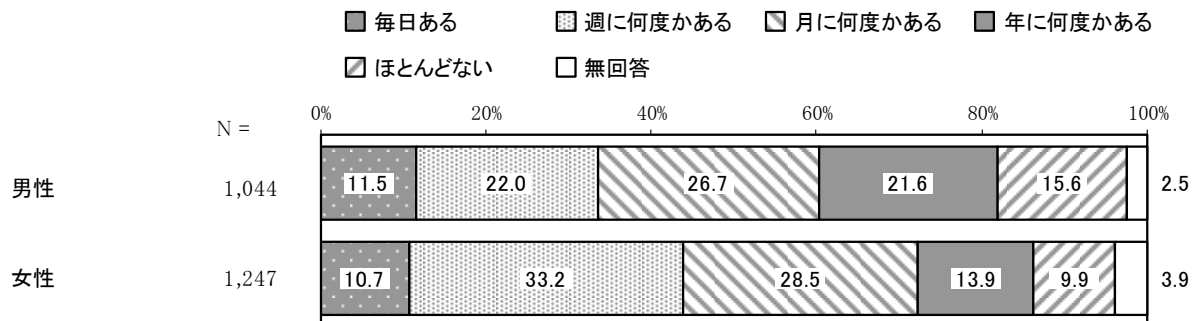
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「毎日ある」の割合が、圏域5で「月に何度かある」の割合が高くなっています。



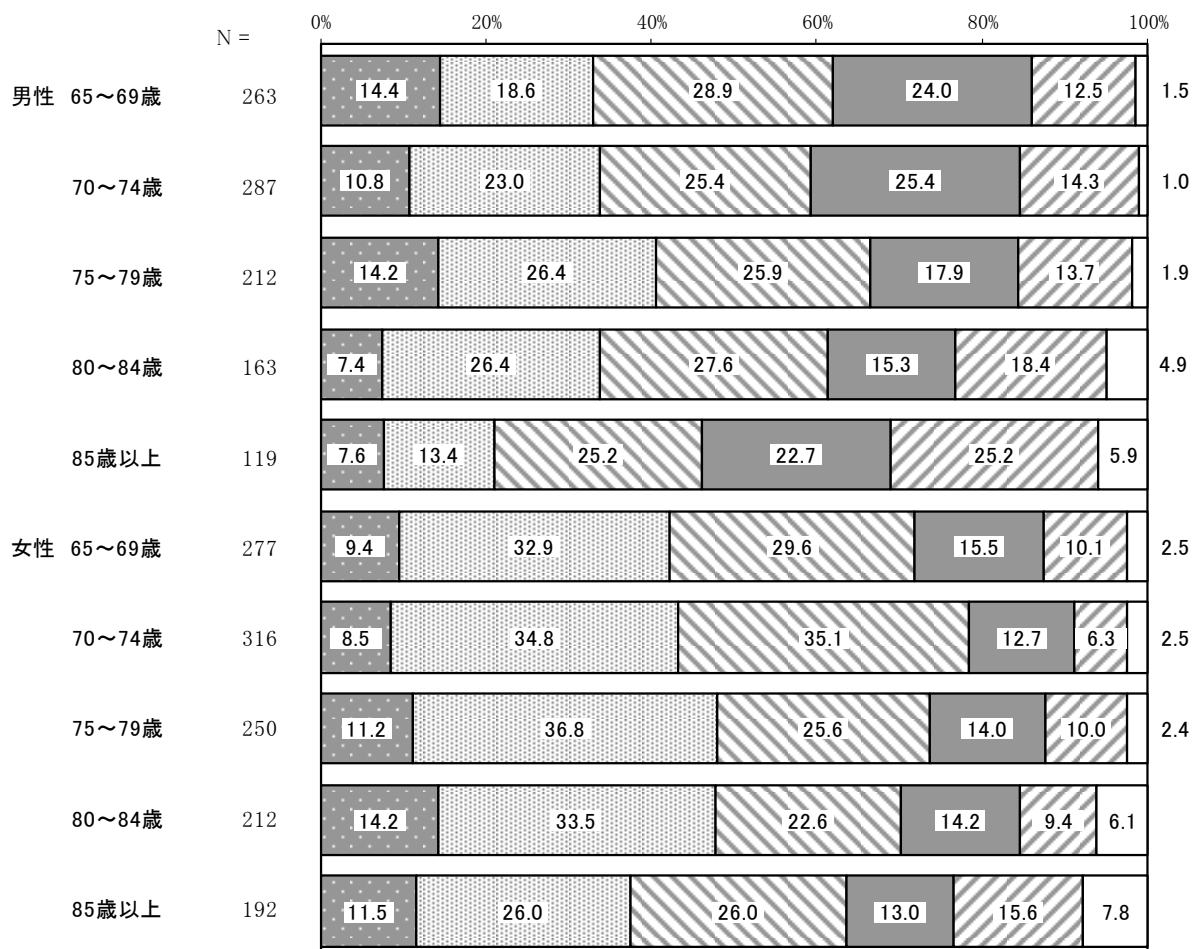
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「年に何度かある」「ほとんどない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「週に何度かある」の割合が高くなっています。



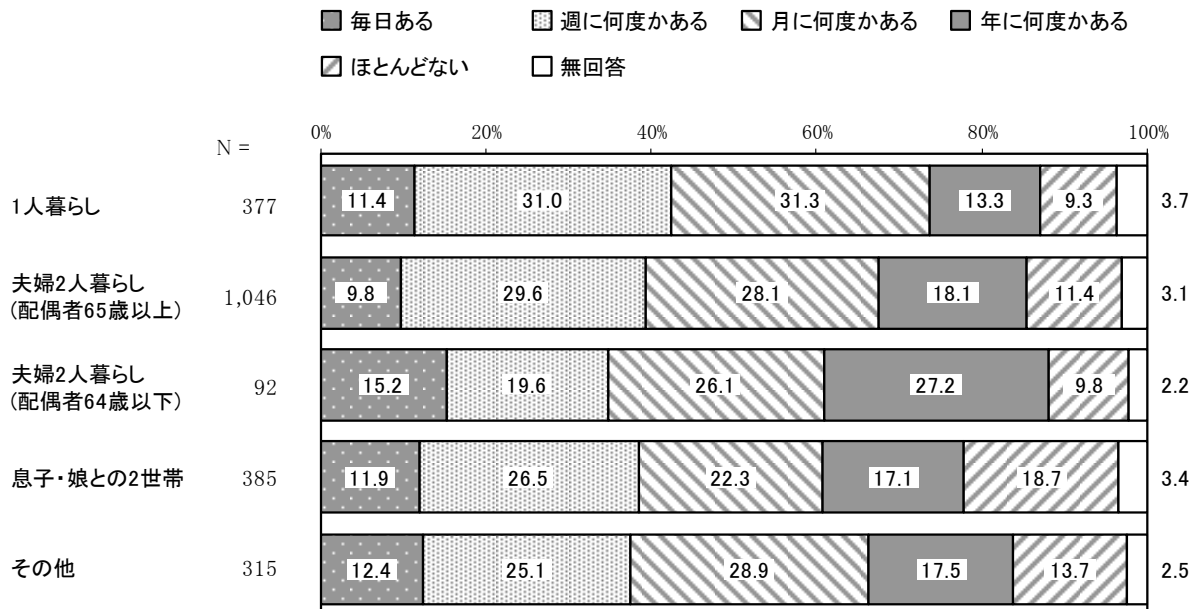
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、他に比べ、男性の65～69歳、70～74歳、85歳以上で「年に何度かある」の割合が、男性の85歳以上で「ほとんどない」の割合が高くなっています。また、女性の70～74歳で「月に何度かある」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

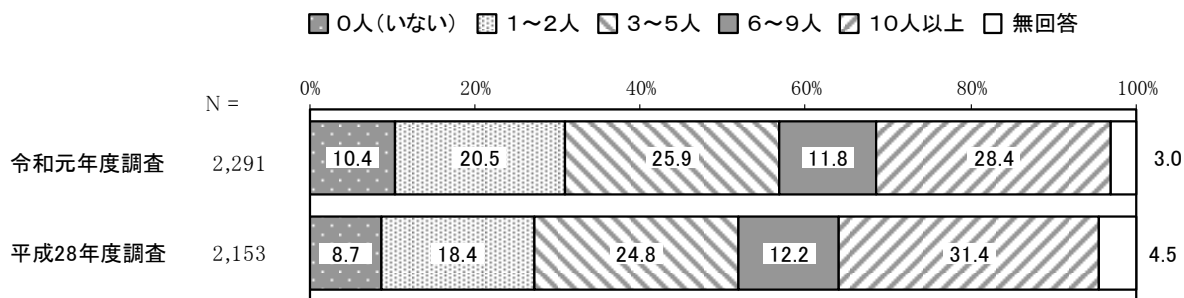
家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「年に何度かある」の割合が高くなっています。また、息子・娘との2世帯で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



問6 (7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

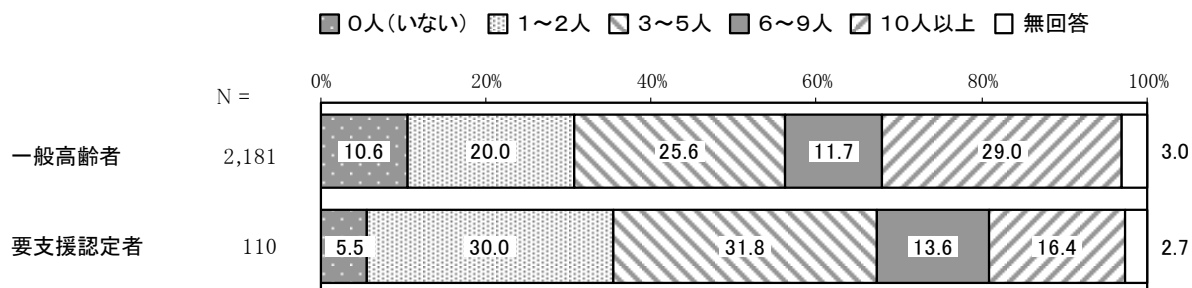
「10人以上」の割合が28.4%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が25.9%、「1～2人」の割合が20.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



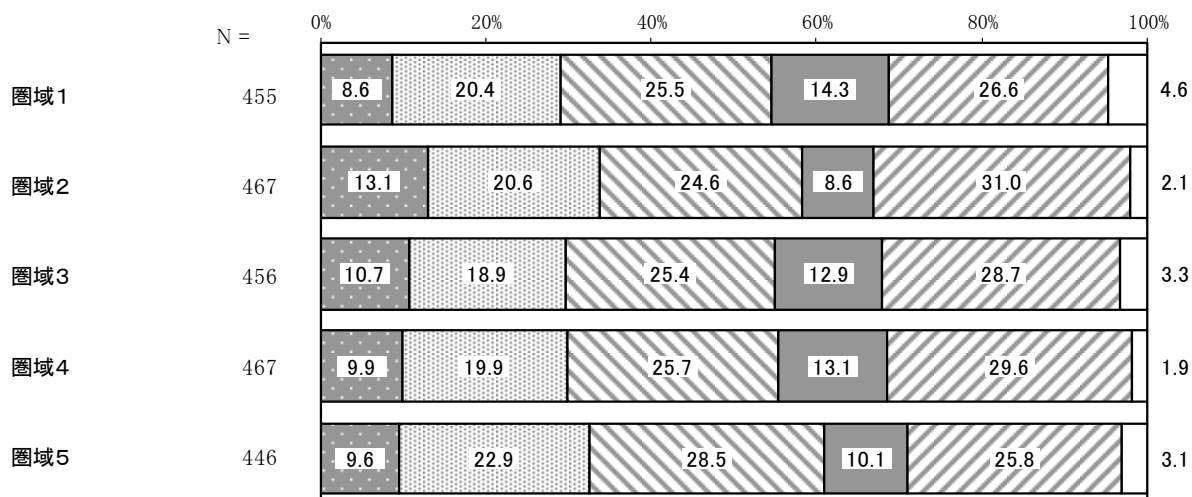
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「0人（いない）」「10人以上」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「1～2人」「3～5人」の割合が高くなっています。



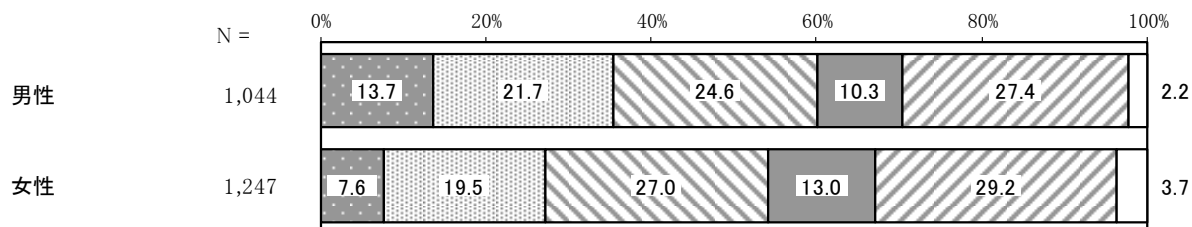
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



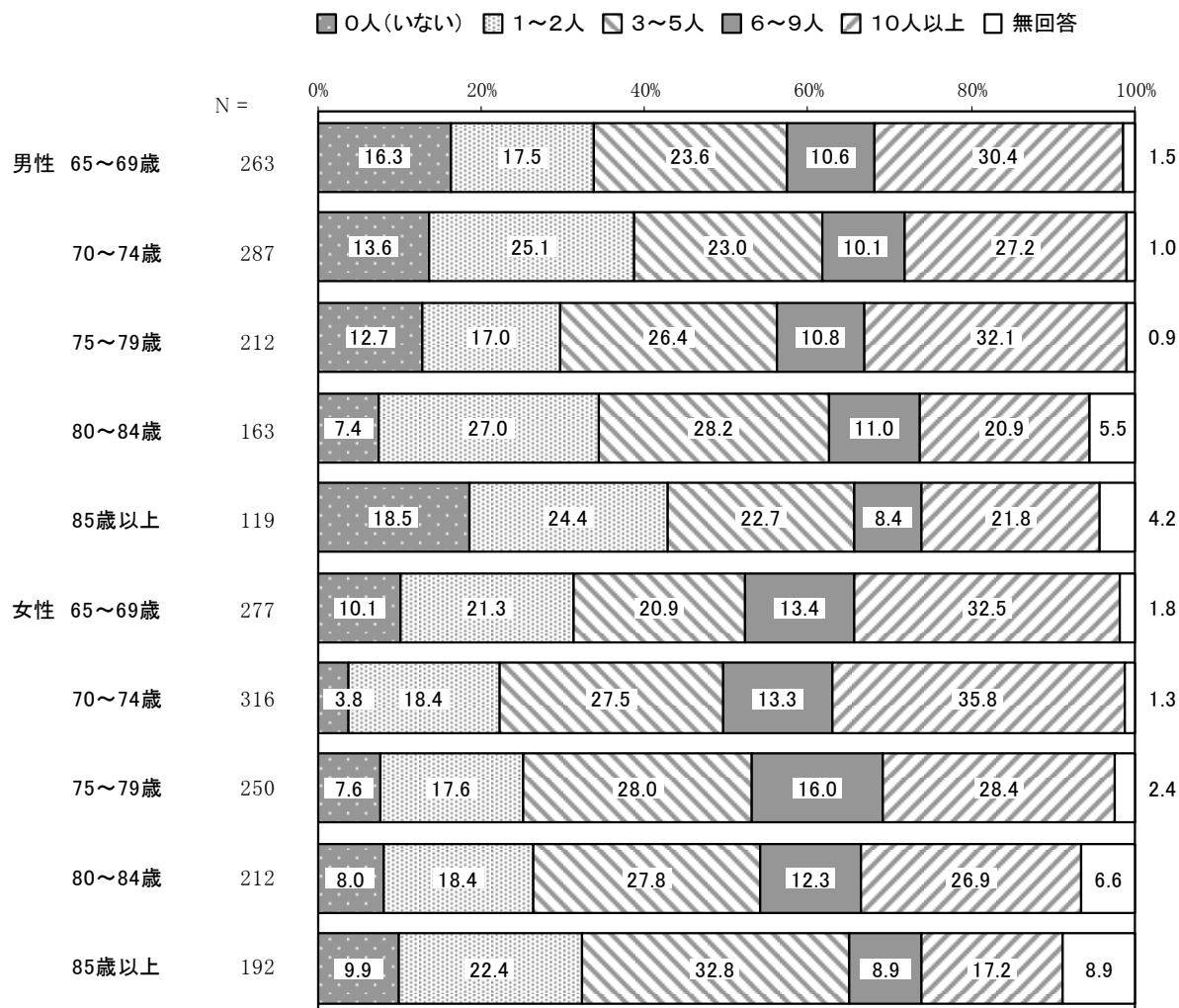
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「0人（いない）」の割合が高くなっています。



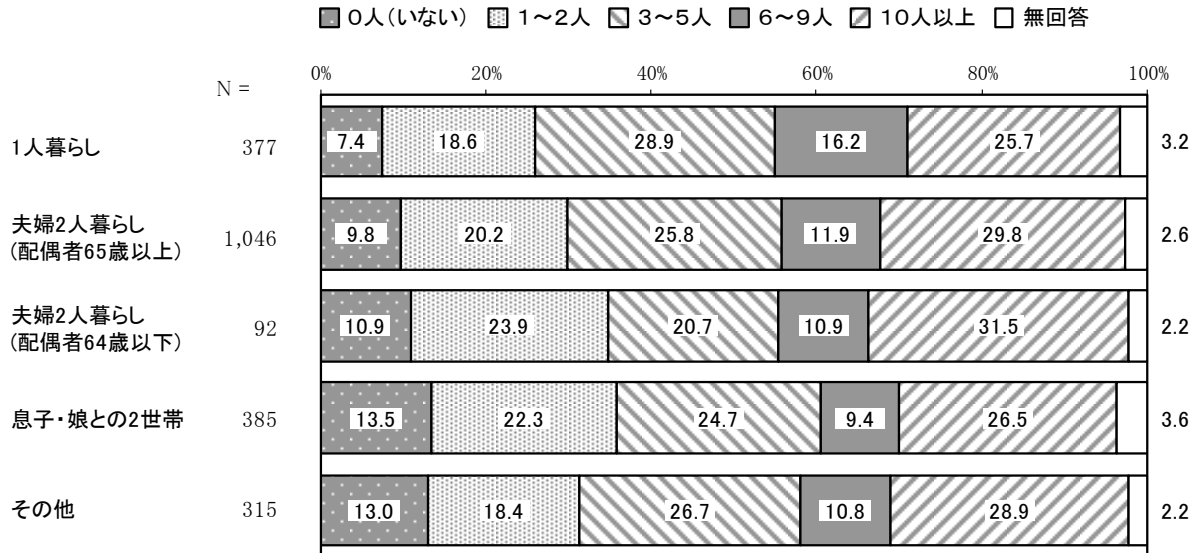
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、他に比べ、男性の65～69歳、75～79歳、女性の65～69歳、70～74歳で「10人以上」の割合が高くなっています。また、男性の65～69歳、85歳以上で「0人(いない)」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

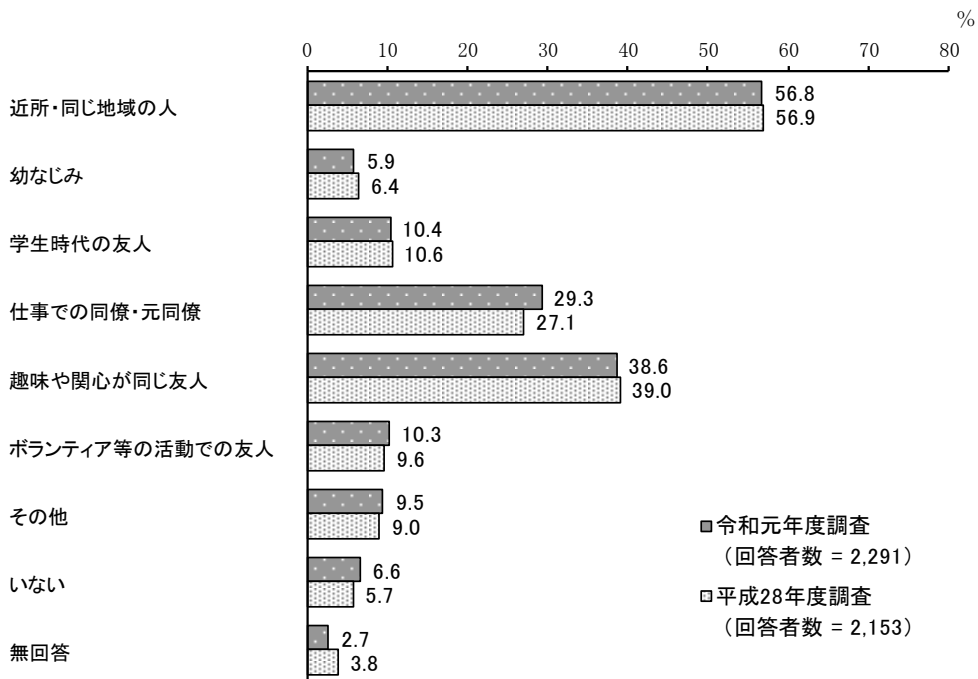
家族構成別で見ると、他に比べ、1人暮らしで「6～9人」の割合が高くなっています。また、息子・娘との2世帯で「0人（いない）」の割合が高くなっています。



問6（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

「近所・同じ地域の人」の割合が56.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が38.6%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が29.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」「ボランティア等の活動での友人」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・ 元同僚	趣味や関心が 同じ友人	ボランティア等の 活動での友人	その他	いない	無回答
一般高齢者	2181	56.5	6.0	10.5	30.2	39.2	10.5	9.2	6.6	2.6
要支援認定者	110	62.7	4.5	7.3	11.8	25.5	5.5	15.5	5.5	4.5

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「学生時代の友人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・ 元同僚	趣味や関心が 同じ友人	ボランティア等の 活動での友人	その他	いない	無回答
圏域1	455	59.3	9.9	14.5	27.7	37.6	11.0	13.0	5.7	2.6
圏域2	467	49.9	5.1	7.9	32.3	39.0	9.2	9.2	8.8	2.8
圏域3	456	53.9	5.0	11.2	28.1	41.7	9.9	6.4	6.8	4.2
圏域4	467	60.8	3.4	6.4	29.8	40.5	12.4	10.1	6.0	0.9
圏域5	446	60.3	6.3	12.1	28.7	34.1	8.7	9.0	5.6	2.9

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事での同僚・元同僚」「いない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・ 元同僚	趣味や関心が 同じ友人	ボランティア等の 活動での友人	その他	いない	無回答
男性	1044	48.3	5.8	11.0	36.6	36.1	10.6	7.7	9.3	2.0
女性	1247	64.0	6.0	9.9	23.3	40.7	9.9	11.1	4.3	3.2

【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて「仕事での同僚・元同僚」の割合が、女性では「趣味や関心が同じ友人」の割合が低くなっています。また、他に比べ、女性の70歳以上で「近所・同じ地域の人」の割合が、男性の85歳以上で「いない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・ 元同僚	趣味や関心が 同じ友人	ボランティア等の 活動での友人	その他	いない	無回答
男性 65～69歳	263	46.8	6.8	16.0	51.7	31.6	9.1	7.6	10.3	1.1
70～74歳	287	46.7	6.6	10.5	41.8	34.8	13.2	9.1	7.7	1.4
75～79歳	212	46.2	3.8	10.4	31.6	46.7	11.3	5.2	8.5	1.9
80～84歳	163	50.9	6.7	9.2	25.2	37.4	9.8	8.0	8.0	4.3
85歳以上	119	55.5	4.2	5.0	15.1	28.6	7.6	8.4	14.3	2.5
女性 65～69歳	277	57.8	5.8	13.0	40.8	44.8	11.6	14.8	4.0	1.1
70～74歳	316	65.8	5.1	11.1	30.4	44.6	14.6	8.5	1.9	1.3
75～79歳	250	68.0	6.8	10.8	18.8	44.4	9.6	8.8	4.8	2.0
80～84歳	212	66.0	7.5	5.2	11.8	37.3	9.4	11.3	5.7	6.1
85歳以上	192	62.5	5.2	7.3	4.7	27.1	1.0	12.5	6.8	7.8

【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)で「趣味や関心が同じ友人」の割合が、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「仕事での同僚・元同僚」の割合が高くなっています。

単位：％

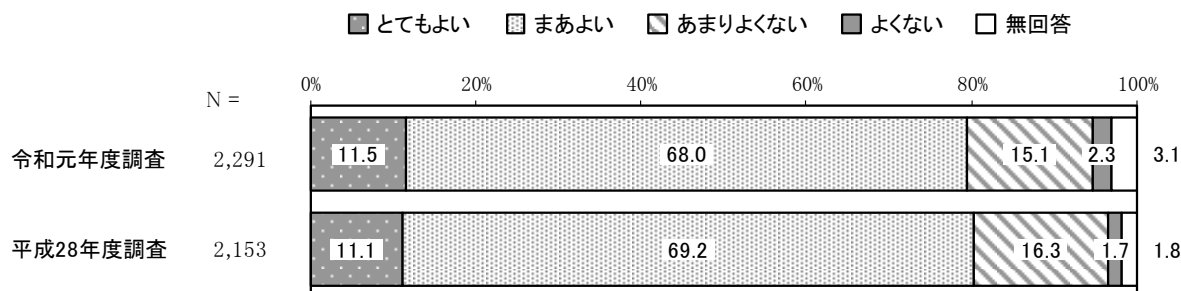
区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・ 元同僚	趣味や関心が 同じ友人	ボランティア等の 活動での友人	その他	いない	無回答
1人暮らし	377	59.7	5.0	12.2	23.9	39.8	10.1	10.6	4.5	2.9
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1046	57.9	5.6	10.4	30.9	42.8	11.7	7.3	5.9	2.7
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	92	46.7	6.5	13.0	45.7	29.3	12.0	4.3	8.7	1.1
息子・娘との2世帯	385	57.7	7.5	8.3	27.8	34.3	8.1	11.4	8.8	2.9
その他	315	53.3	5.4	10.5	29.5	33.7	9.5	14.0	7.6	1.9

7 健康について

問7（1）現在のあなたの健康状態はいかがですか

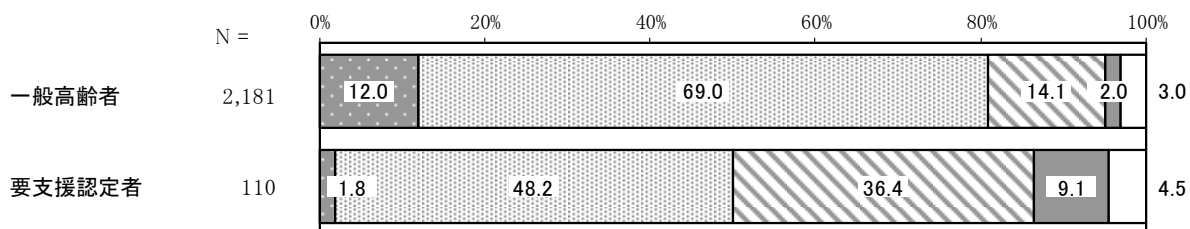
「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”の割合が79.5%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”の割合が17.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



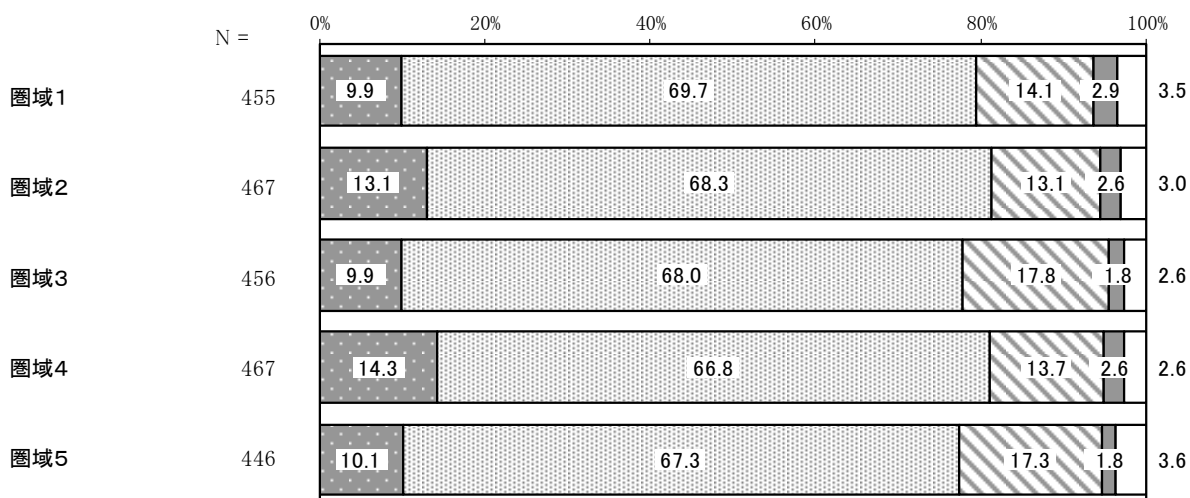
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で“よい”の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で“よくない”の割合が高くなっています。



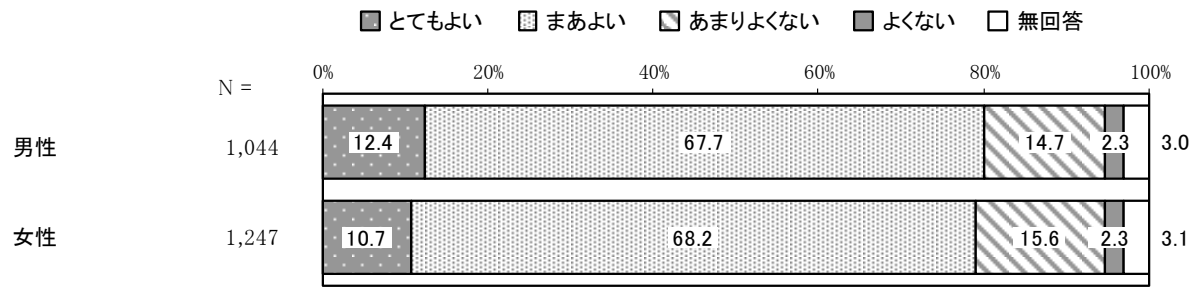
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



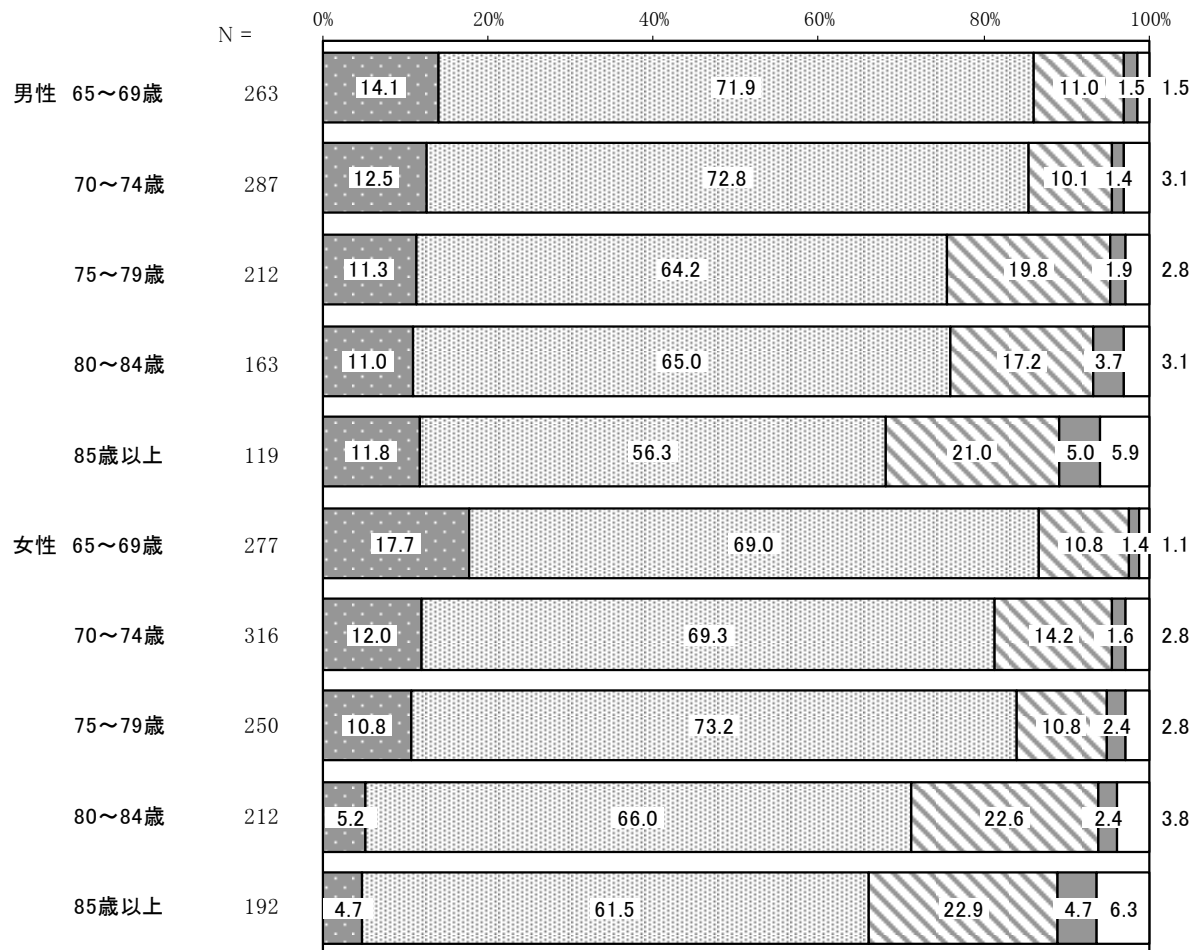
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



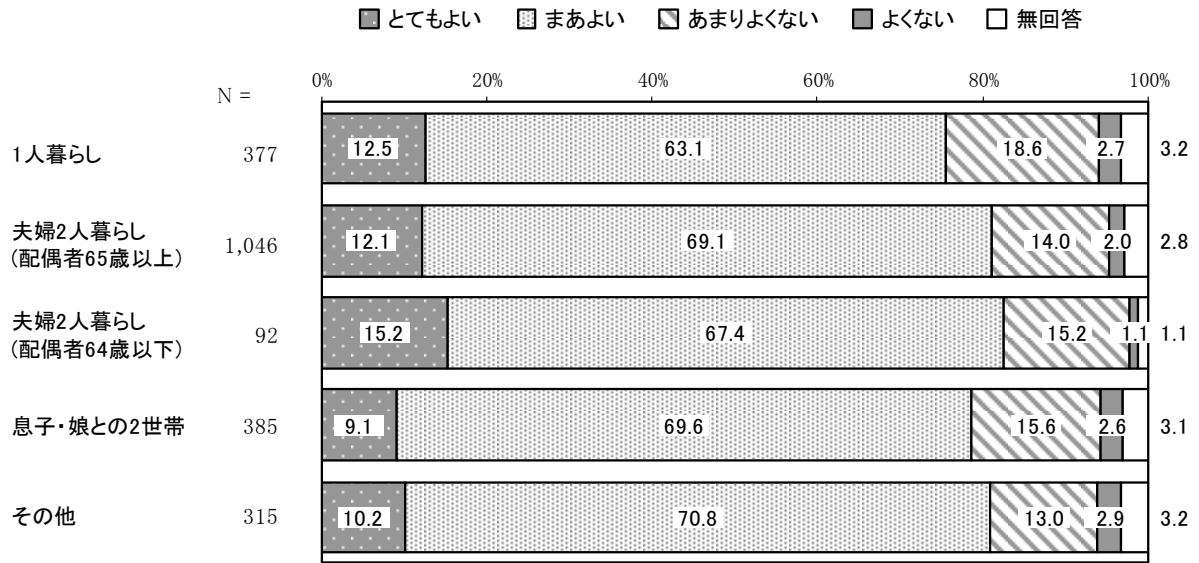
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて“よくない”の割合が高くなり、健康に不調をきたす傾向がみられます。



【家族構成別】

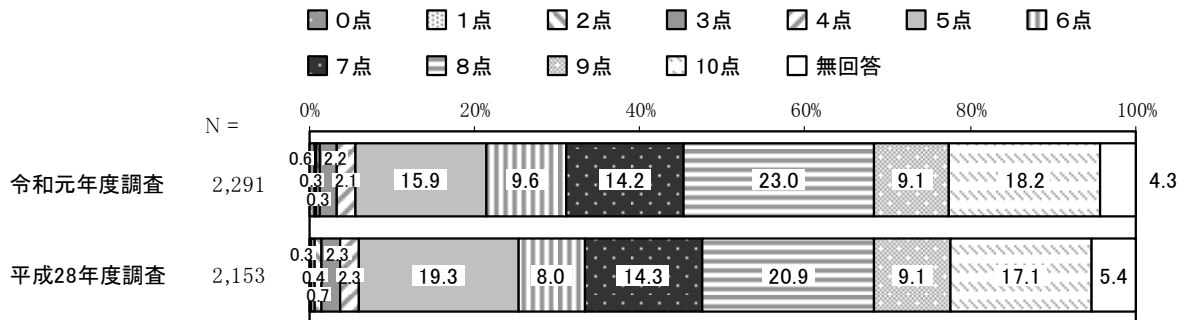
家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



問7(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

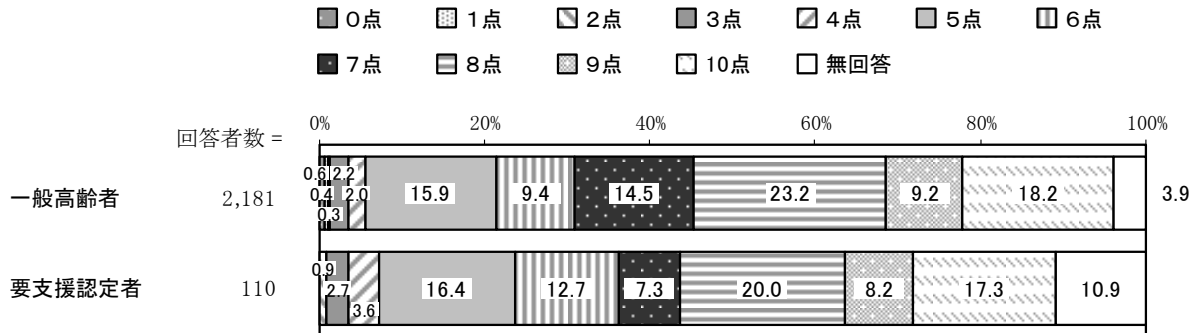
「8点」の割合が23.0%と最も高く、次いで「10点」の割合が18.2%、「5点」の割合が15.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



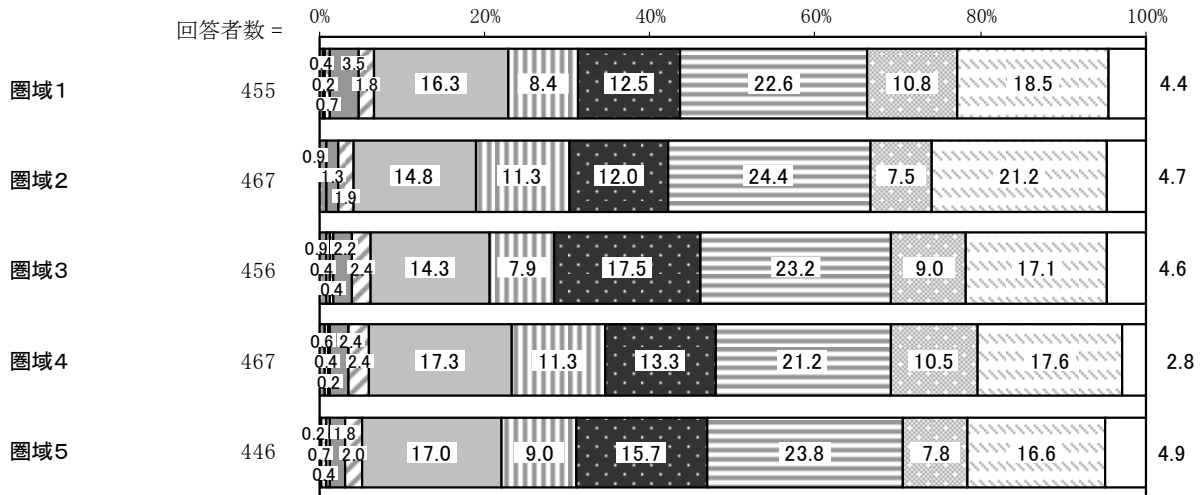
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「7点」の割合が高くなっています。



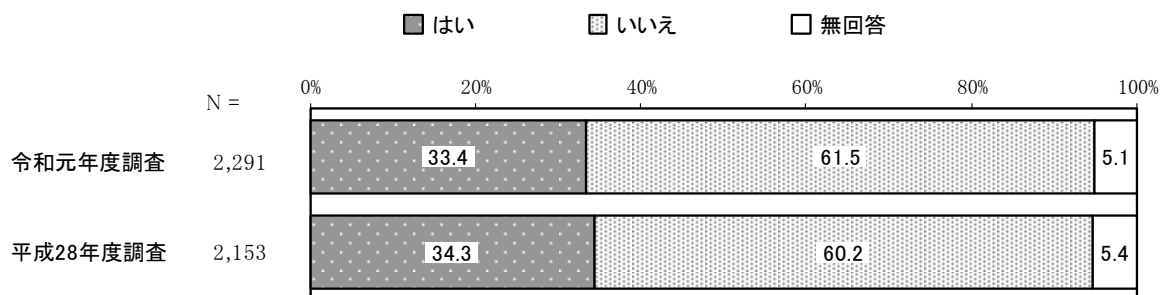
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域2で「10点」の割合が高くなっています。



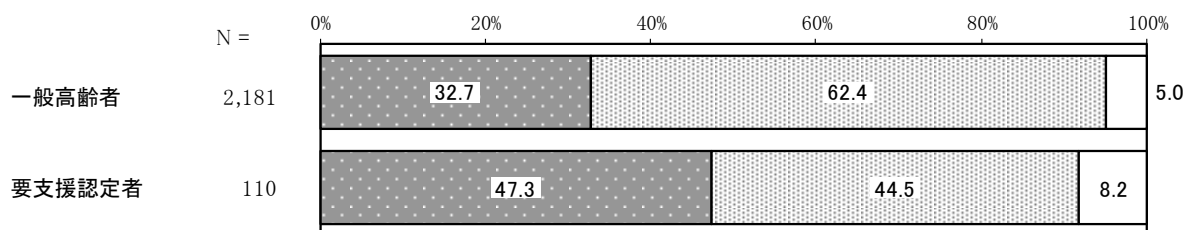
問7 (3) この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が33.4%、「いいえ」の割合が61.5%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



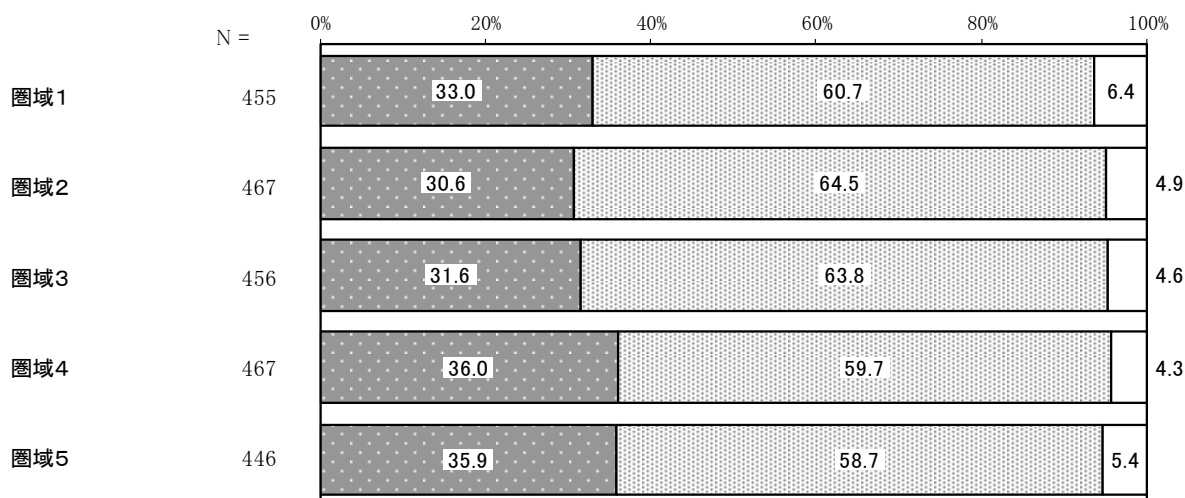
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



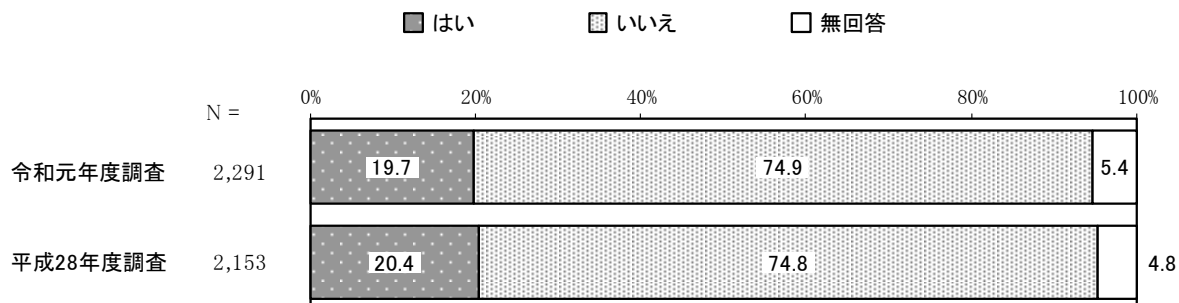
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4、圏域5で「はい」の割合が高くなっています。



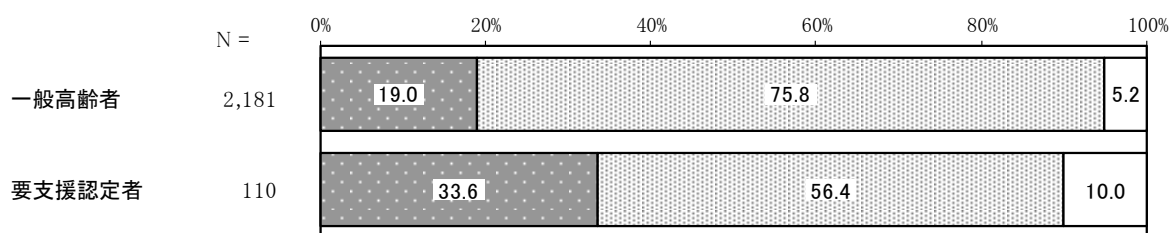
問7（4）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が19.7%、「いいえ」の割合が74.9%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



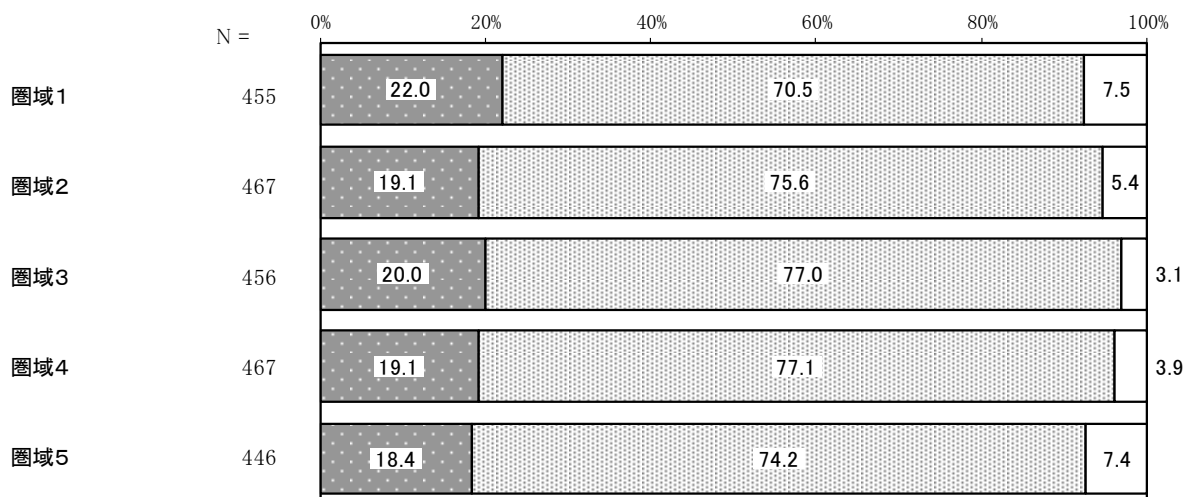
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「はい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

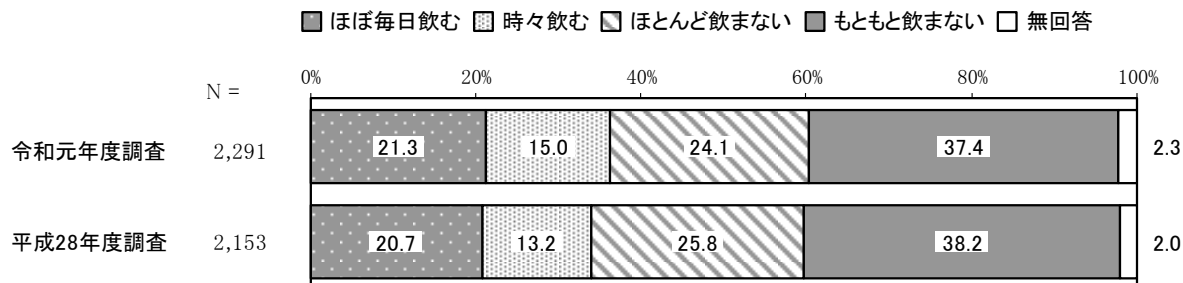
日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



問7 (5) お酒は飲みますか

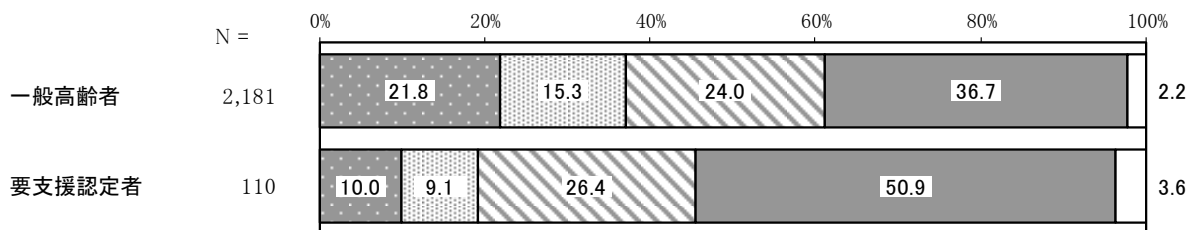
「もともと飲まない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が24.1%、「ほぼ毎日飲む」の割合が21.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



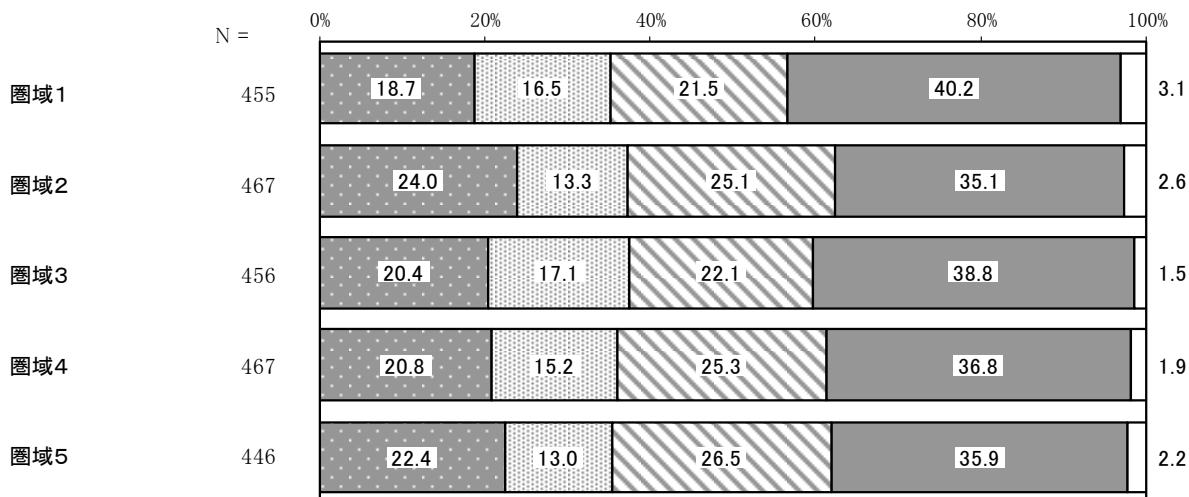
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



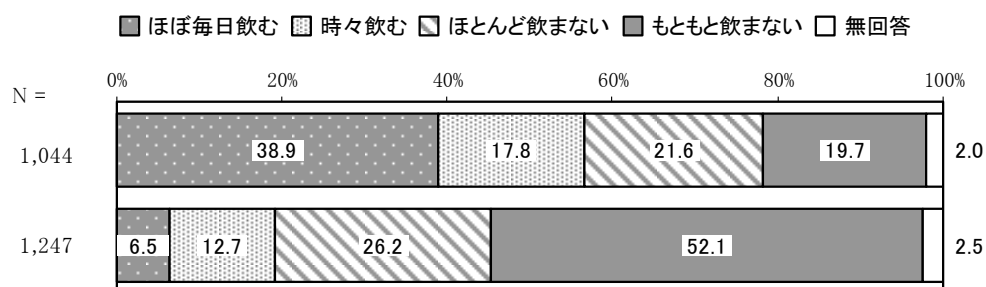
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域2で「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなっています。



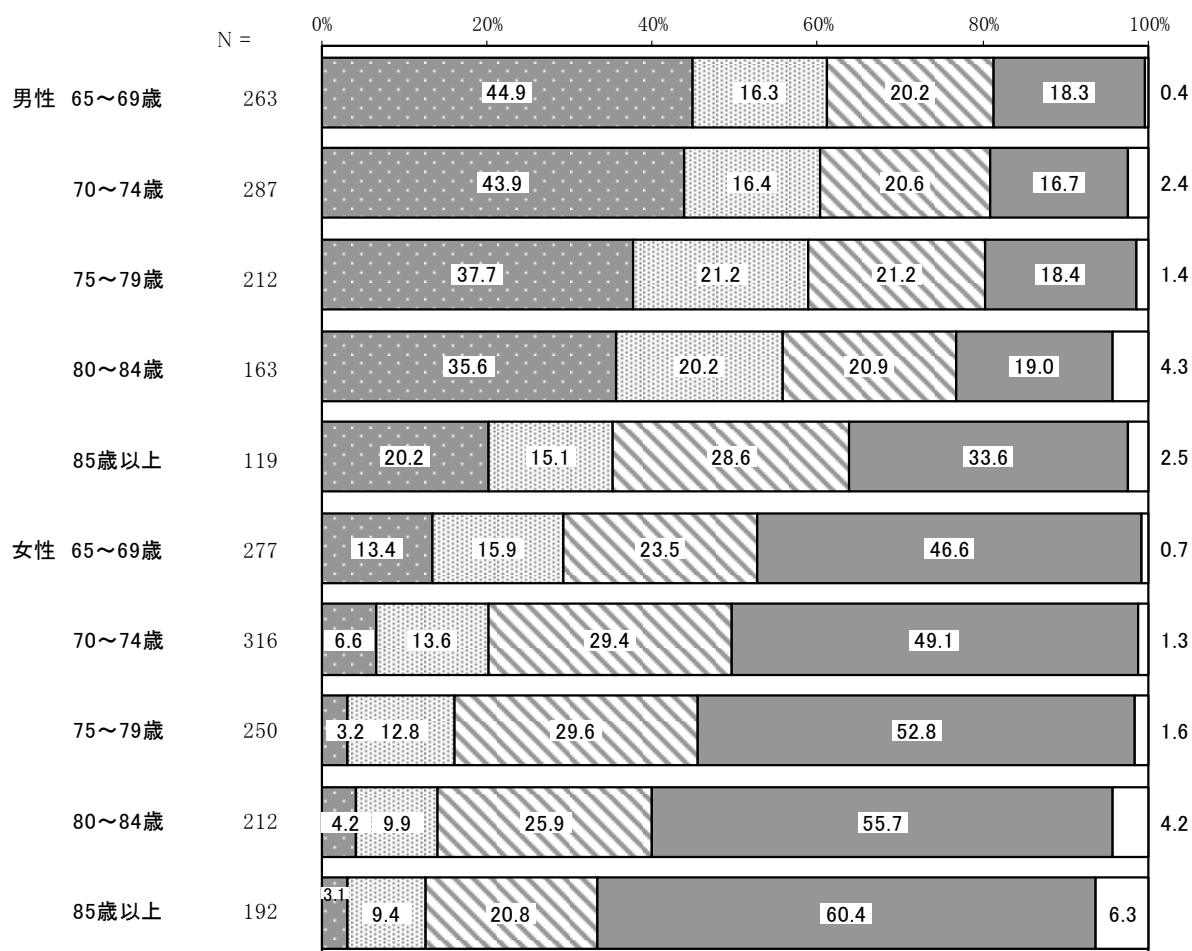
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



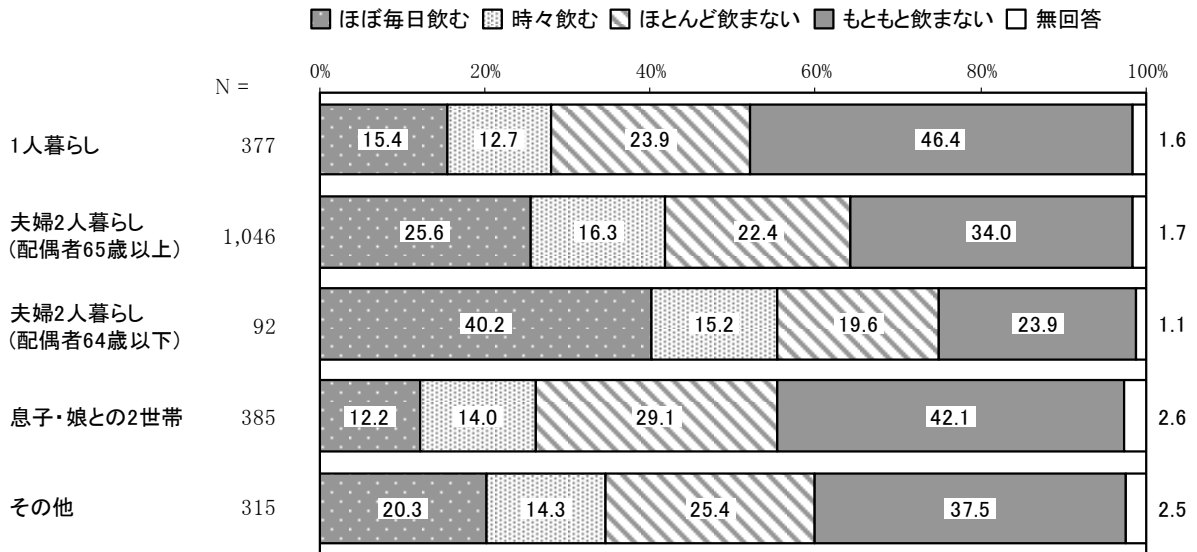
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに年齢階級が下がるにつれて「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなる傾向がみられます。



【家族構成別】

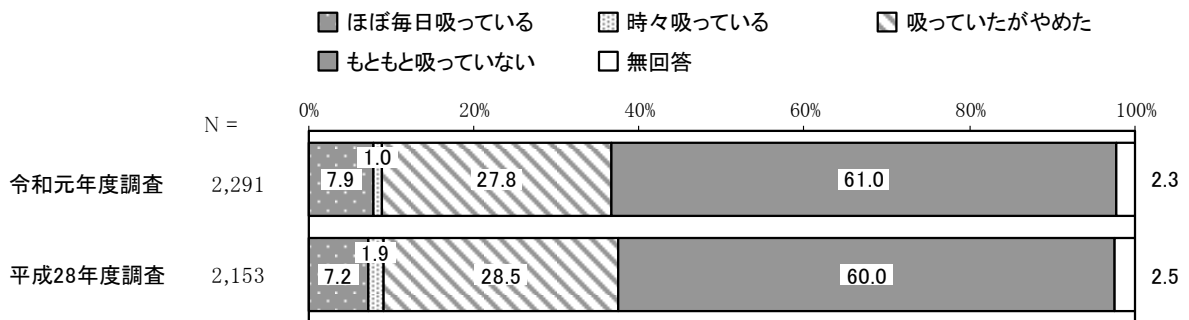
家族構成別で見ると、他に比べ、1人暮らしで「もともと飲まない」の割合が高くなっています。また、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「ほぼ毎日飲む」の割合が高くなっています。



問7(6) タバコは吸っていますか

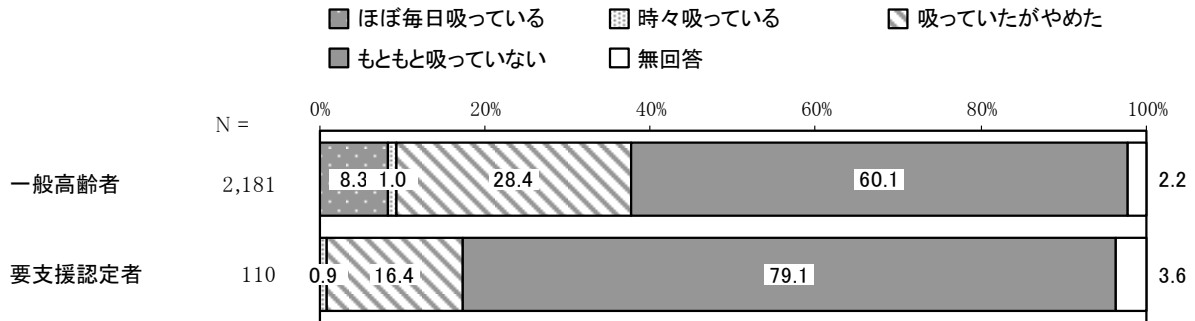
「もともと吸っていない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が27.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



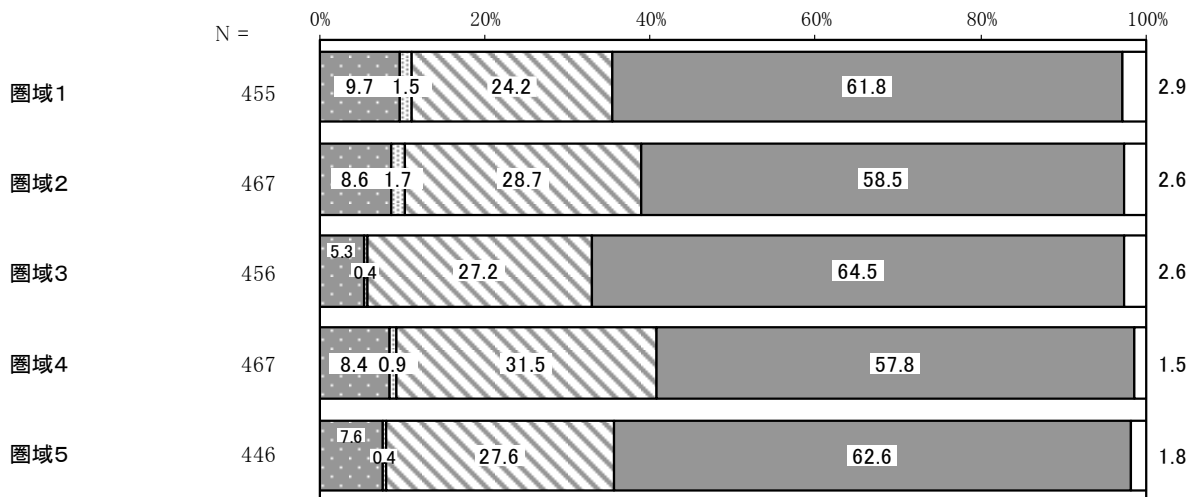
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



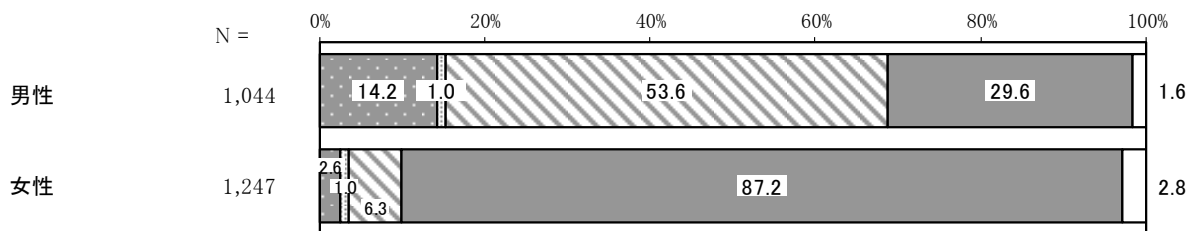
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域3で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



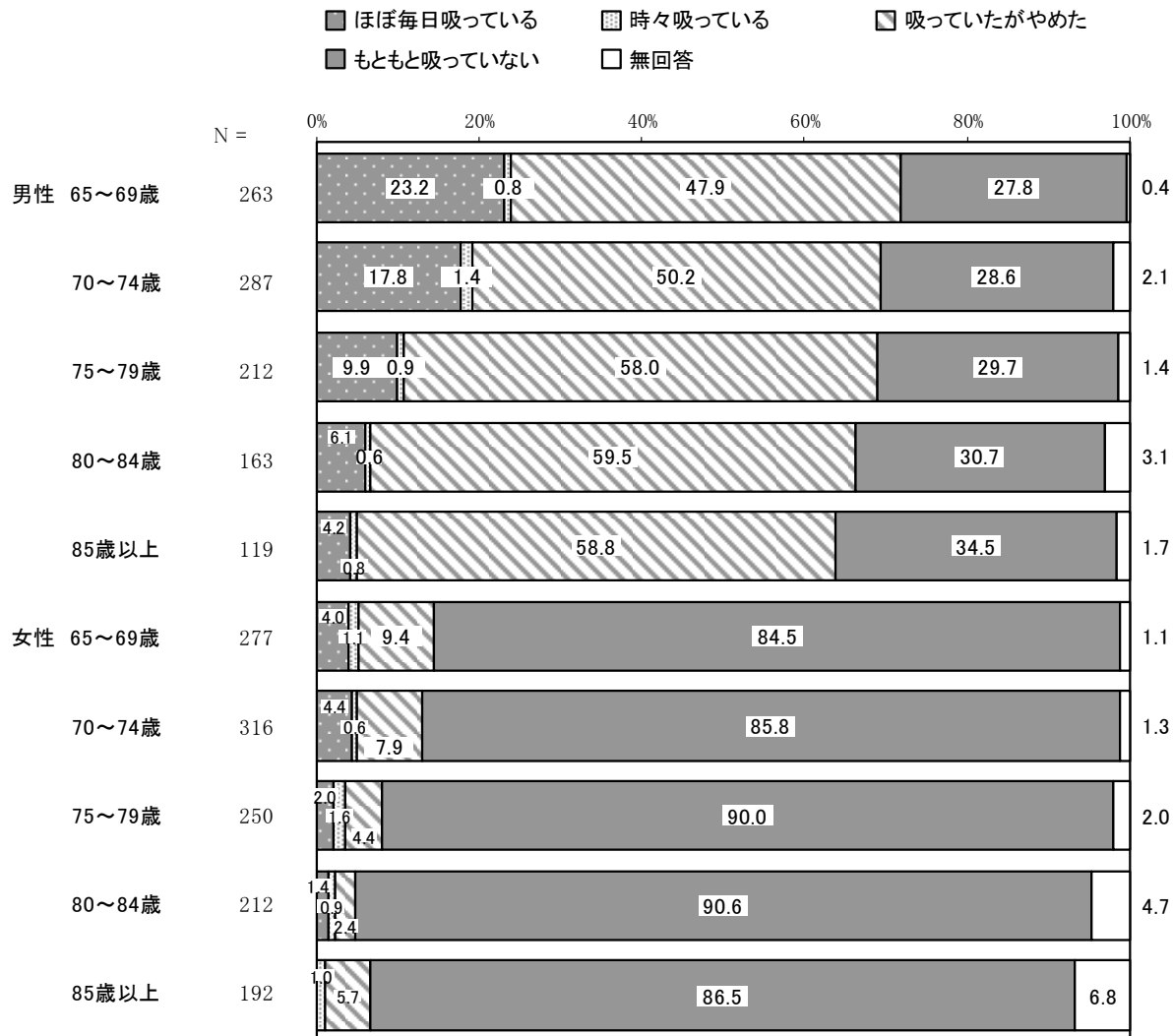
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



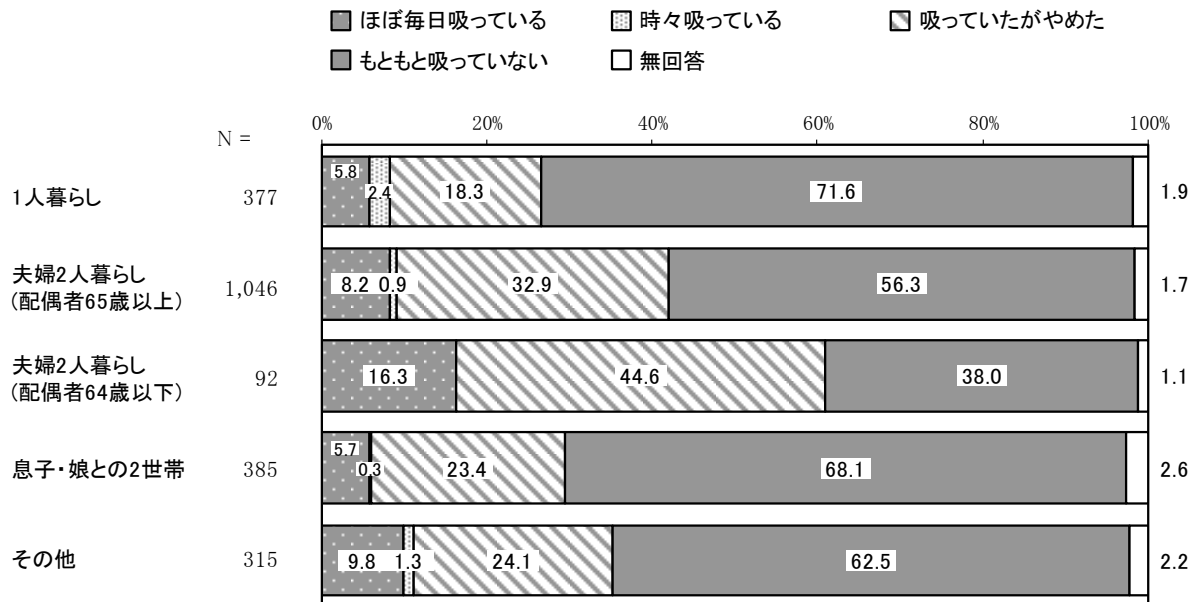
【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別でみると、男性で年齢階級が下がるにつれて「ほぼ毎日吸っている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、男性の75～79歳、80～84歳、85歳以上で「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

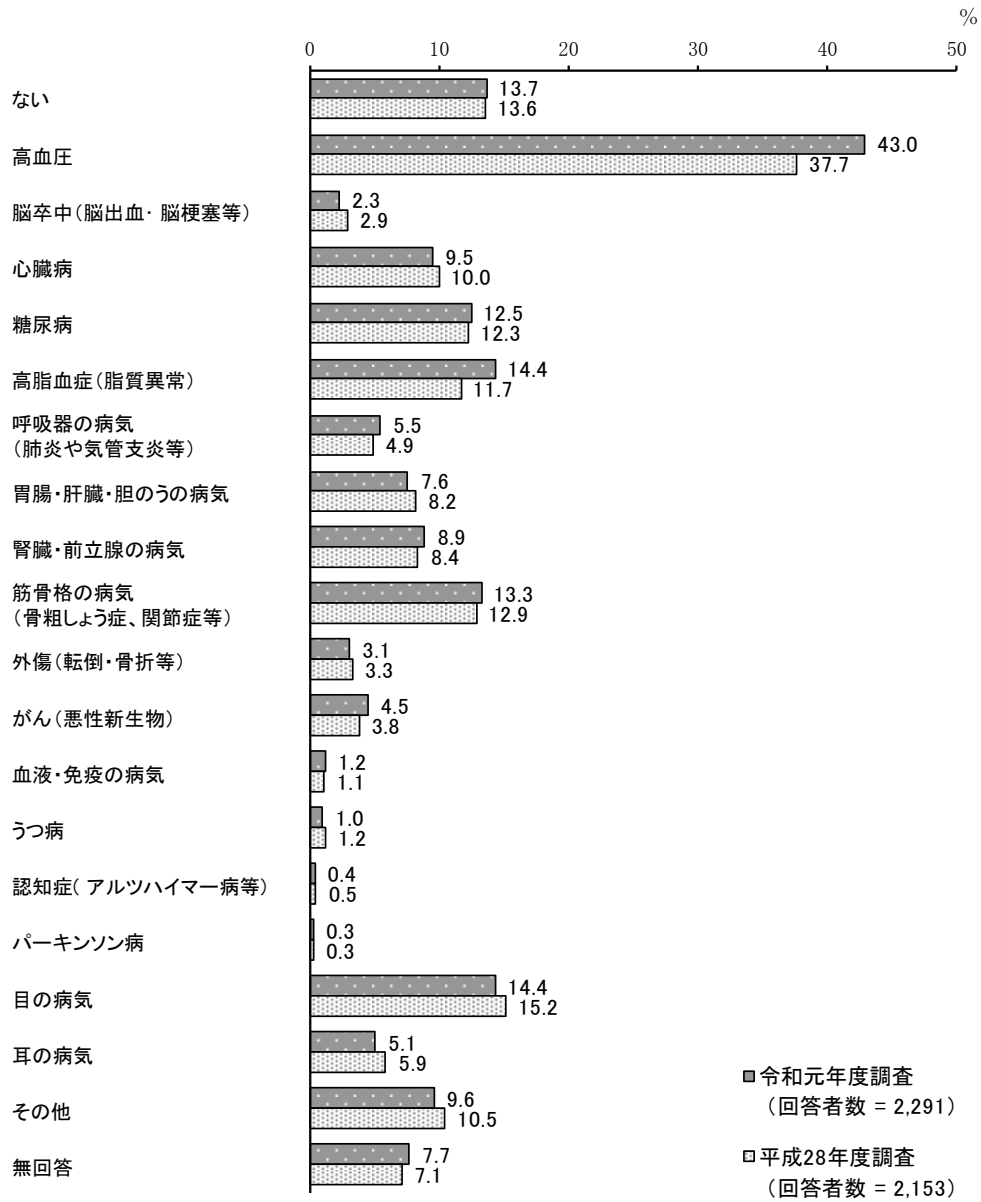
家族構成別で見ると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で「ほぼ毎日吸っている」「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。また、1人暮らしで「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

「高血圧」の割合が43.0%と最も高く、次いで「高脂血症 (脂質異常)」「目の病気」の割合が14.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「高血圧」の割合が増加しています。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「心臓病」「胃腸・肝臓・胆のうの病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」「耳の病気」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
一般高齢者	2,181	14.3	43.0	2.2	8.8	12.6	14.5	5.4	7.3	9.0	12.2
要支援認定者	110	2.7	43.6	4.5	21.8	10.9	11.8	7.3	12.7	8.2	34.5

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
一般高齢者	2.6	4.4	1.1	1.0	0.4	0.2	14.0	4.9	9.4	7.8
要支援認定者	12.7	5.5	2.7	0.9	1.8	2.7	21.8	10.0	13.6	5.5

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
圏域1	455	12.3	41.3	2.0	11.9	11.0	13.4	5.1	8.4	8.1	17.1
圏域2	467	15.0	43.7	2.6	8.4	13.3	15.4	3.6	7.9	7.5	10.5
圏域3	456	13.6	41.2	1.8	9.6	12.1	16.9	5.9	7.9	10.1	14.3
圏域4	467	13.9	45.0	2.1	8.4	11.1	13.7	6.4	6.9	10.9	12.2
圏域5	446	13.9	43.7	2.9	9.2	15.0	12.3	6.3	7.0	8.1	12.6

区分	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
圏域1	4.0	3.7	1.5	0.4	0.4	—	14.7	5.9	8.1	9.5
圏域2	3.2	4.7	1.3	0.6	0.2	0.4	15.6	4.7	9.2	6.4
圏域3	2.4	4.4	0.4	1.8	0.2	0.4	15.1	5.7	11.0	7.2
圏域4	3.0	4.5	1.1	1.3	0.9	0.4	12.2	4.9	9.4	9.0
圏域5	2.9	4.9	1.6	0.7	0.4	0.2	14.3	4.3	10.1	6.3

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
男性	1,044	14.3	45.1	2.8	11.4	16.2	12.8	6.8	8.2	17.4	4.9
女性	1,247	13.3	41.2	1.8	7.9	9.4	15.6	4.3	7.1	1.8	20.4

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
男性	2.1	5.3	1.1	0.8	0.6	0.2	14.9	4.8	8.9	5.9
女性	3.9	3.8	1.2	1.1	0.3	0.4	14.0	5.4	10.1	9.1

【性別・年齢階級別】

性別・年齢階級別で見ると、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて「ない」の割合が低くなり、何らかの病気にかかっている傾向がみられます。

単位：％

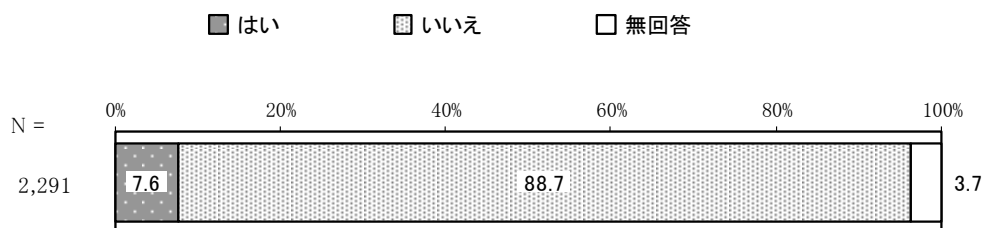
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
男性 65～69 歳	263	19.8	44.5	2.7	6.1	16.0	16.3	4.9	4.9	10.3	5.3
70～74 歳	287	15.3	43.6	2.8	12.5	18.5	14.3	4.9	7.0	13.9	3.8
75～79 歳	212	12.3	47.2	0.9	12.7	16.0	11.3	9.9	10.4	23.6	5.7
80～84 歳	163	9.8	45.4	4.3	11.7	16.6	11.0	11.0	9.2	23.9	4.3
85 歳以上	119	9.2	46.2	4.2	17.6	10.9	6.7	4.2	13.4	21.8	5.9
女性 65～69 歳	277	22.4	30.3	—	1.1	9.0	17.7	3.2	5.1	1.1	13.0
70～74 歳	316	16.1	38.9	2.2	5.1	9.5	18.4	4.1	5.7	2.2	19.3
75～79 歳	250	12.8	45.2	2.8	10.0	11.2	17.6	4.4	6.8	0.4	16.4
80～84 歳	212	4.7	46.7	2.8	12.7	9.9	14.6	5.2	9.0	2.8	29.2
85 歳以上	192	5.7	49.5	1.6	14.1	6.8	6.8	5.2	10.4	3.1	28.1

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
男性 65～69 歳	0.8	4.2	0.8	1.1	0.4	—	11.4	3.8	8.4	4.9
70～74 歳	2.4	5.9	1.4	0.7	—	—	12.2	2.4	13.2	6.6
75～79 歳	0.5	7.5	0.9	0.5	—	—	17.5	7.1	7.5	5.2
80～84 歳	3.1	5.5	0.6	1.2	2.5	0.6	20.9	5.5	7.4	6.7
85 歳以上	5.9	1.7	2.5	—	0.8	0.8	16.8	7.6	4.2	6.7
女性 65～69 歳	1.1	4.7	0.7	3.2	—	0.4	10.1	4.7	13.7	7.2
70～74 歳	2.5	3.2	2.2	0.9	0.3	—	11.7	3.2	10.1	10.4
75～79 歳	3.2	3.6	1.2	0.4	—	0.8	14.0	4.8	6.8	8.4
80～84 歳	7.5	2.8	0.9	0.5	0.5	0.9	17.5	6.6	9.9	9.9
85 歳以上	7.3	4.7	0.5	—	1.0	—	19.3	9.4	9.4	9.9

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

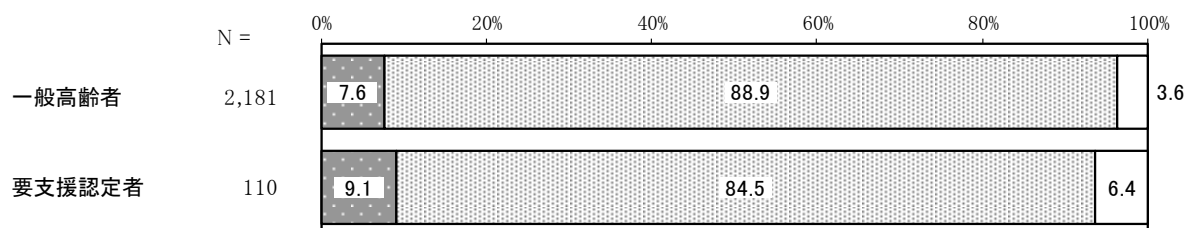
問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」の割合が7.6%、「いいえ」の割合が88.7%となっています。



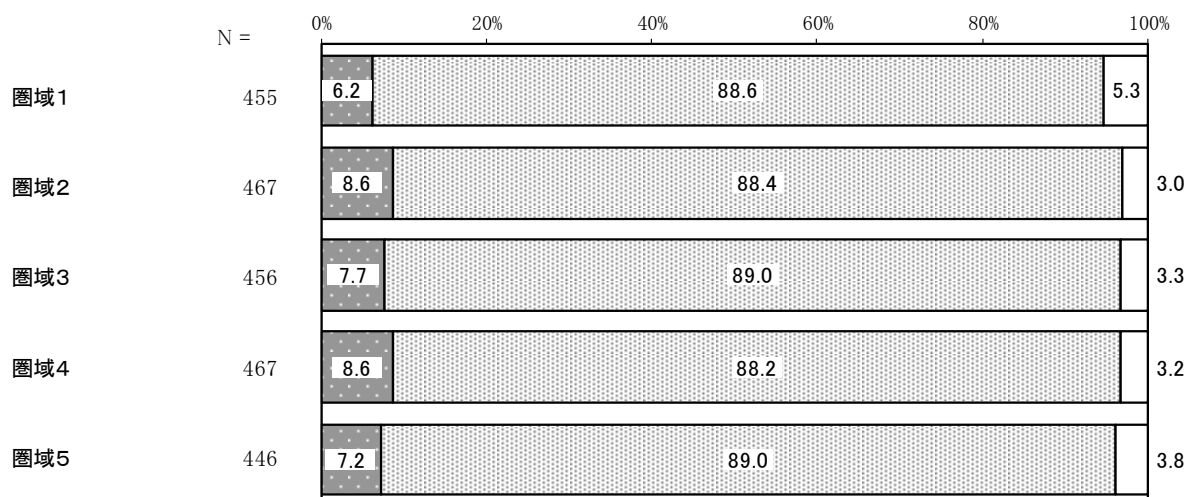
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



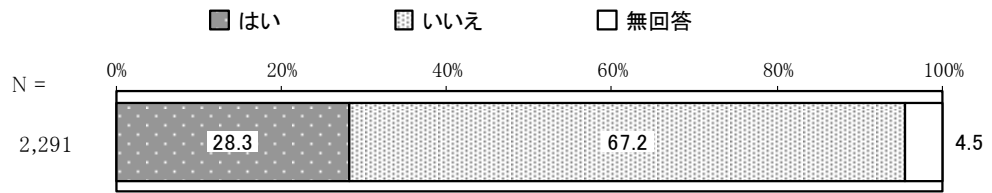
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



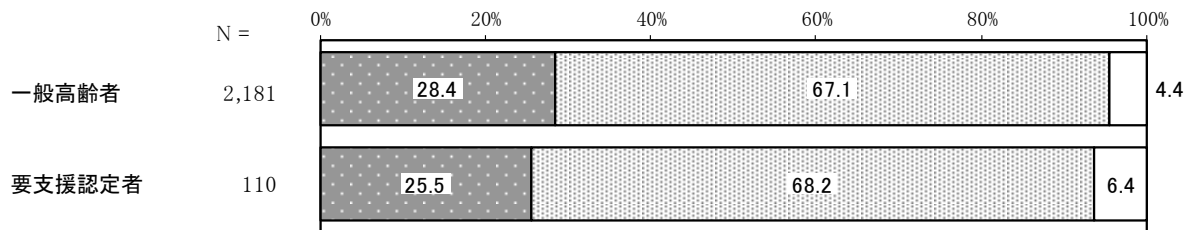
問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が28.3%、「いいえ」の割合が67.2%となっています。



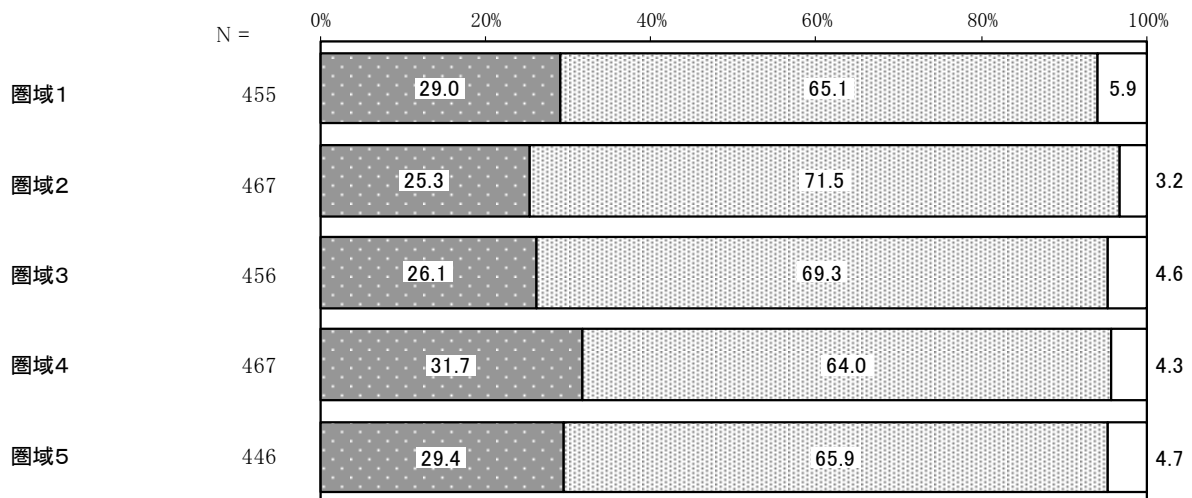
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



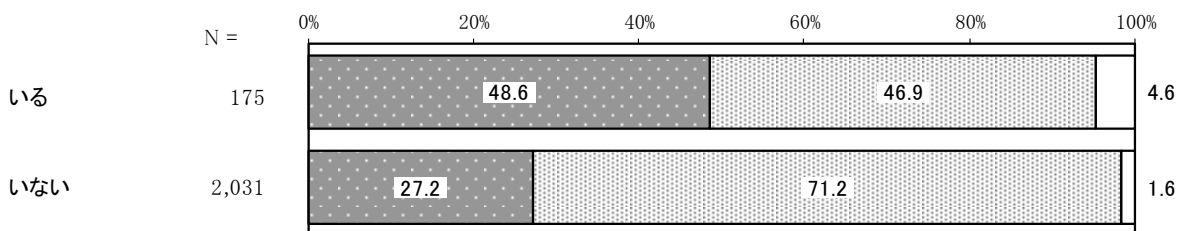
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域2、圏域3で「いいえ」の割合が高くなっています。



【自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別】

自身又は家族に認知症の症状がある人の有無別でみると、いるに比べ、いないで「いいえ」の割合が高くなっています。

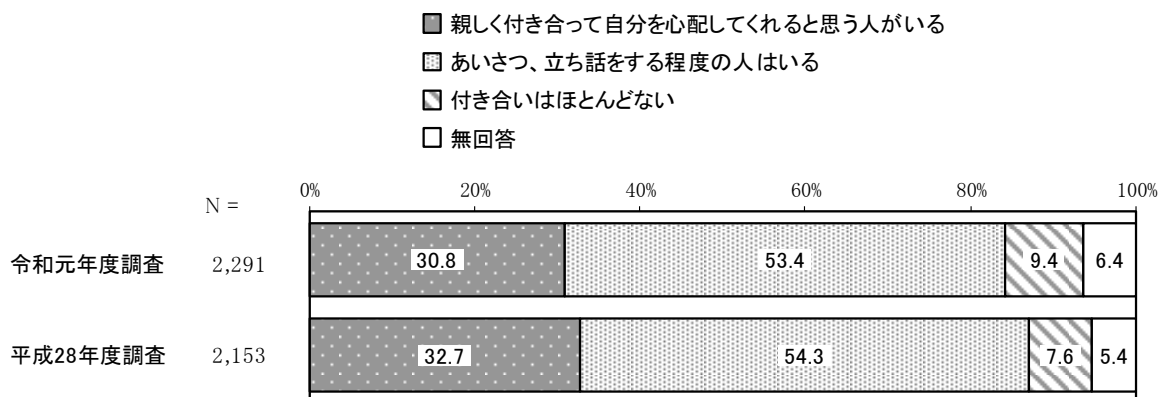


9 介護等について

問9（1）ご近所とのお付き合いはどの程度ですか

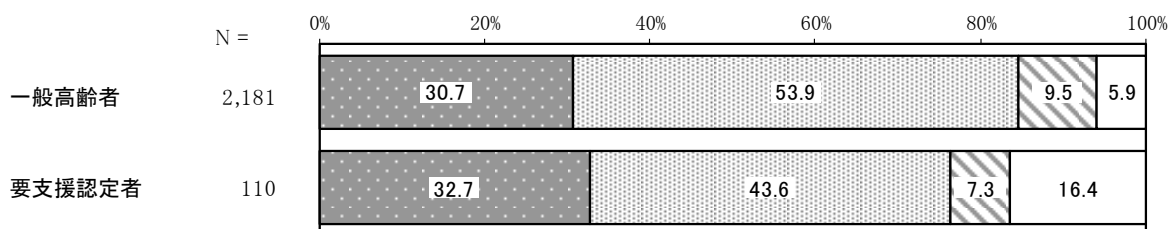
「あいさつ、立ち話をする程度の人はいる」の割合が53.4%と最も高く、次いで「親しく付き合っ
合って自分を心配してくれると思う人がある」の割合が30.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



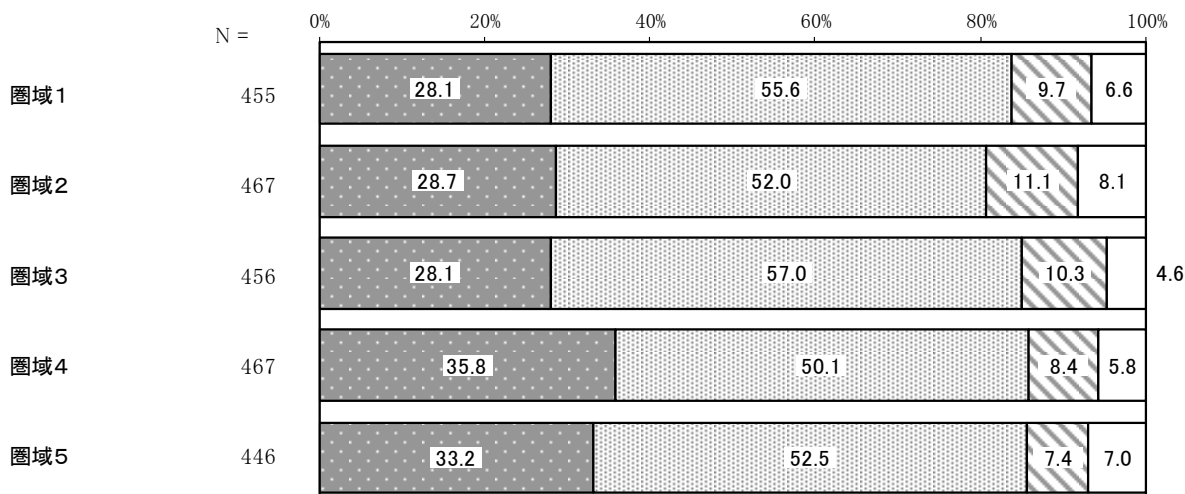
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「あいさつ、立ち話をする程度の人
はいる」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

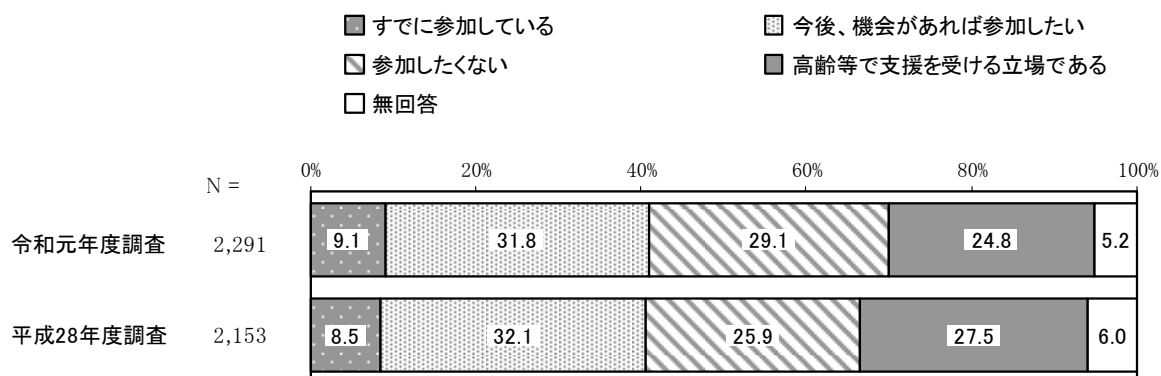
日常生活圏域別で見ると、他に比べ、圏域4、圏域5で「親しく付き合っ合って自分を心配してく
れると思う人がある」の割合が高くなっています。



問9 (2) 地域内での生活支援活動、配食やサロン事業等の取組が広がっていますが、地域の支え合い活動へのボランティア等としての参加についてお聞きします

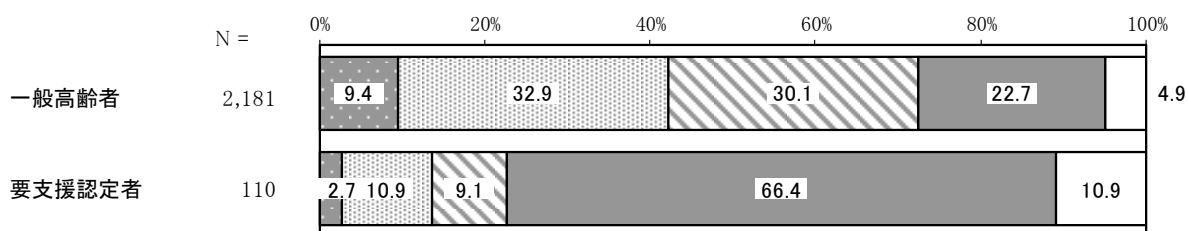
「今後、機会があれば参加したい」の割合が31.8%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が29.1%、「高齢等で支援を受ける立場である」の割合が24.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



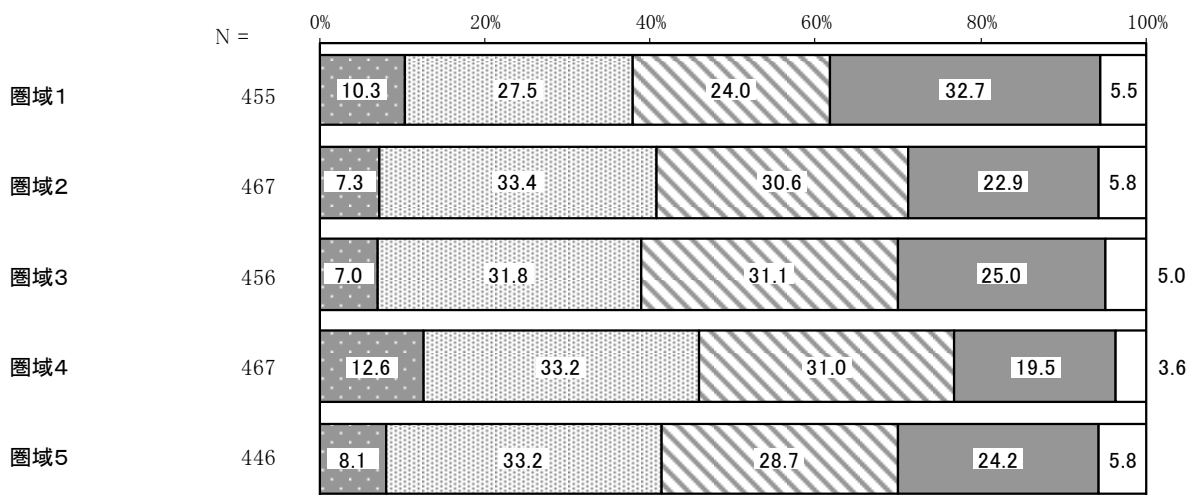
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「すでに参加している」「今後、機会があれば参加したい」「参加したくない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「高齢等で支援を受ける立場である」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「高齢等で支援を受ける立場である」の割合が高くなっています。また、圏域4で「すでに参加している」の割合が高くなっています。

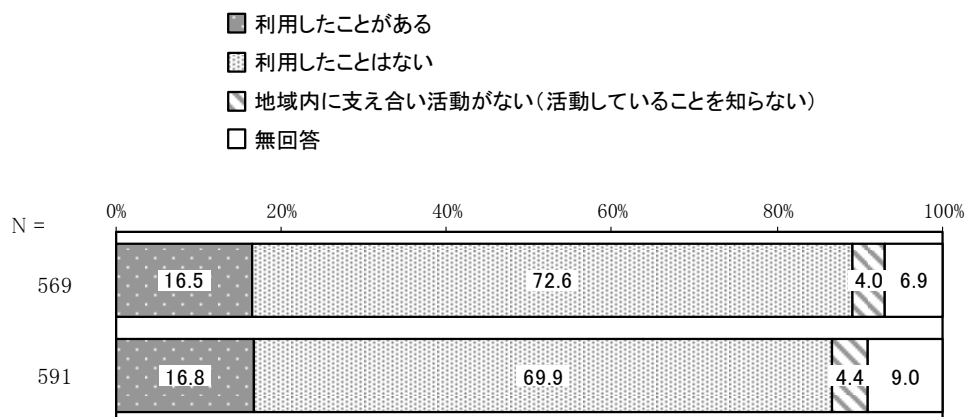


問9 【(2)で「4. 高齢等で支援を受ける立場である」の方のみ】

①地域内での生活支援活動、配食やサロン事業を利用したことはありますか

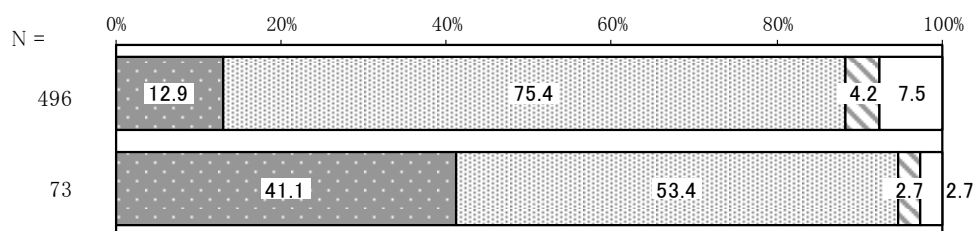
「利用したことはない」の割合が72.6%と最も高く、次いで「利用したことがある」の割合が16.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



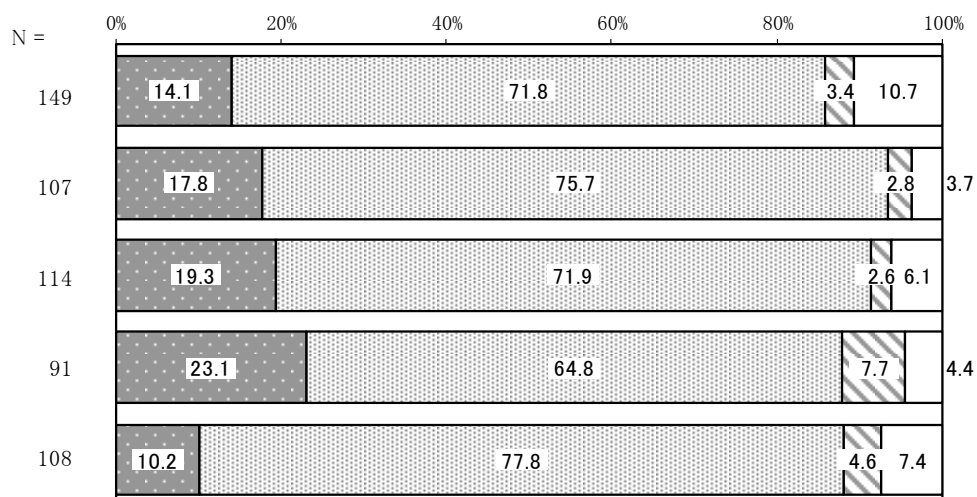
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「利用したことはない」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

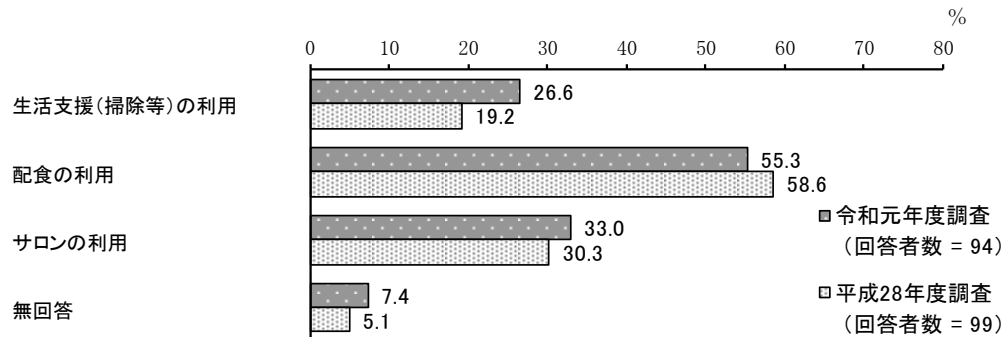
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



◆利用したサービス

「配食の利用」の割合が55.3%と最も高く、次いで「サロンの利用」の割合が33.0%、「生活支援（掃除等）の利用」の割合が26.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「生活支援（掃除等）の利用」の割合が増加しています。



【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「サロンの利用」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「生活支援（掃除等）の利用」「配食の利用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	生活支援 (掃除等) の利用	配食の利用	サロンの利用	無回答
一般高齢者	64	18.8	51.6	35.9	10.9
要支援認定者	30	43.3	63.3	26.7	—

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域3で「配食の利用」の割合が、圏域4で「生活支援（掃除等）の利用」「サロンの利用」の割合が高くなっています。

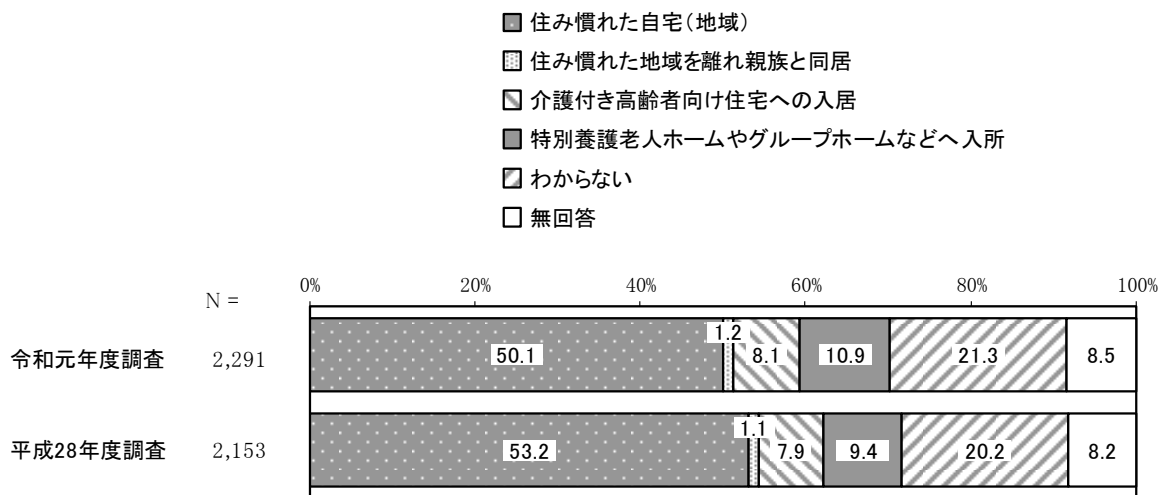
単位：%

区分	回答者数 (件)	生活支援 (掃除等) の利用	配食の利用	サロンの利用	無回答
圏域1	21	23.8	47.6	14.3	14.3
圏域2	19	21.1	47.4	42.1	10.5
圏域3	22	22.7	72.7	22.7	4.5
圏域4	21	38.1	47.6	52.4	4.8
圏域5	11	27.3	63.6	36.4	—

問9 (3) ご自身に介護が必要になったとき、どこで生活したいですか

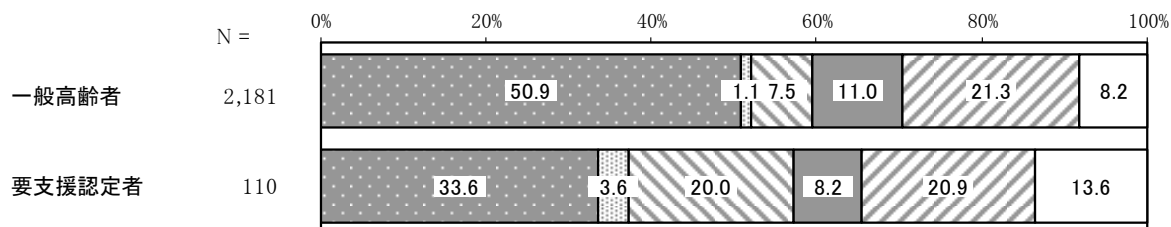
「住み慣れた自宅(地域)」の割合が50.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.3%、「特別養護老人ホームやグループホームなどへ入所」の割合が10.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



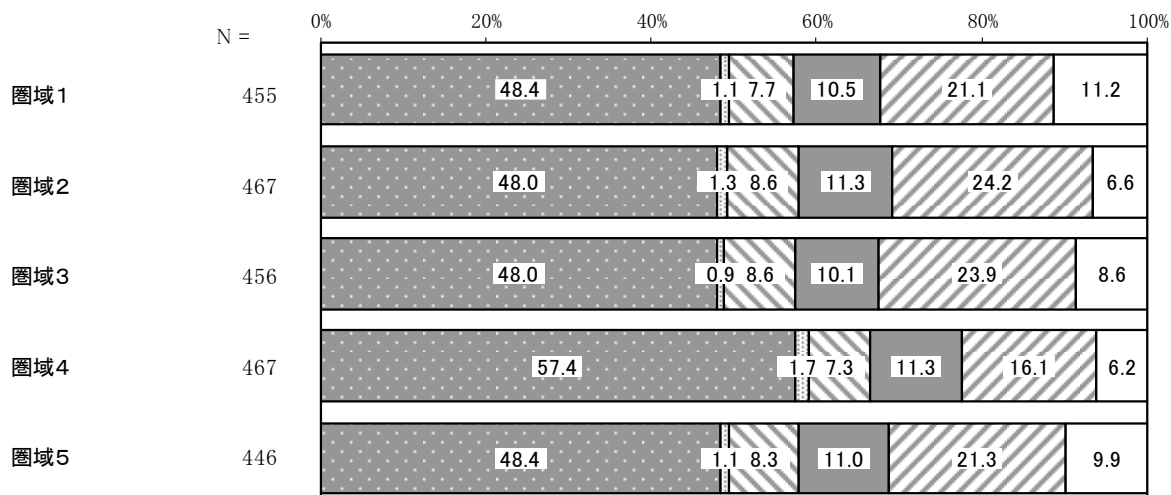
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「住み慣れた自宅(地域)」の割合が高くなっています。また、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「介護付き高齢者向け住宅への入居」の割合が高くなっています。



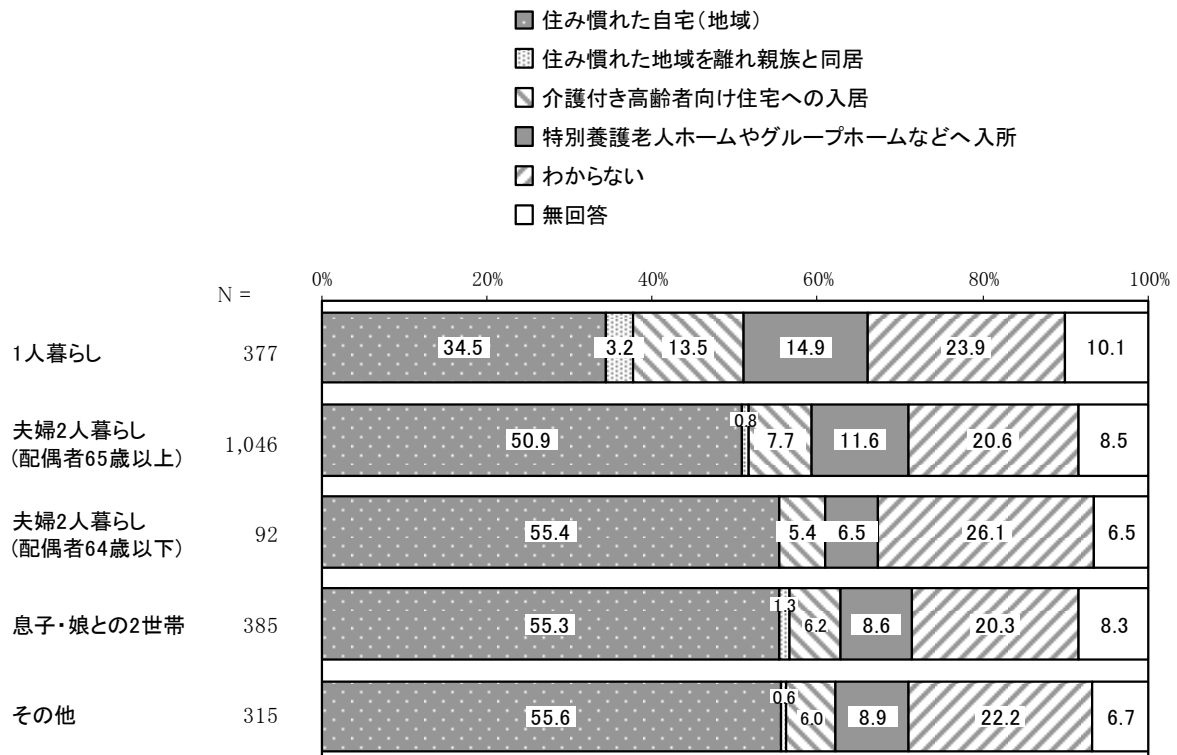
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「住み慣れた自宅(地域)」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

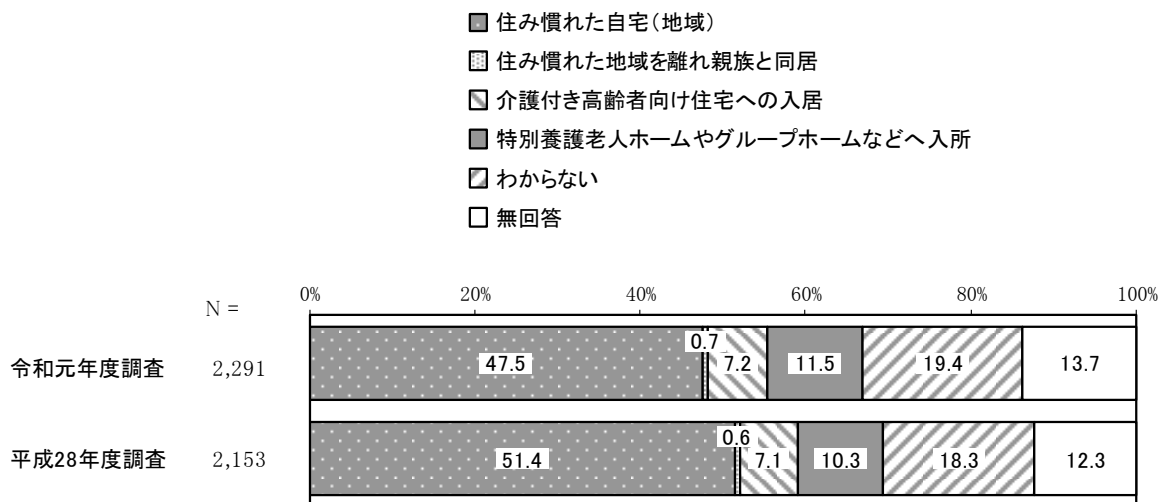
家族構成別でみると、他に比べ、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)、息子・娘との2世帯で「住み慣れた自宅(地域)」の割合が、1人暮らしで「介護付き高齢者向け住宅への入居」「特別養護老人ホームやグループホームなどへ入所」の割合が高くなっています。



問9 (4) 家族に介護が必要になったとき、どこで生活させたいですか

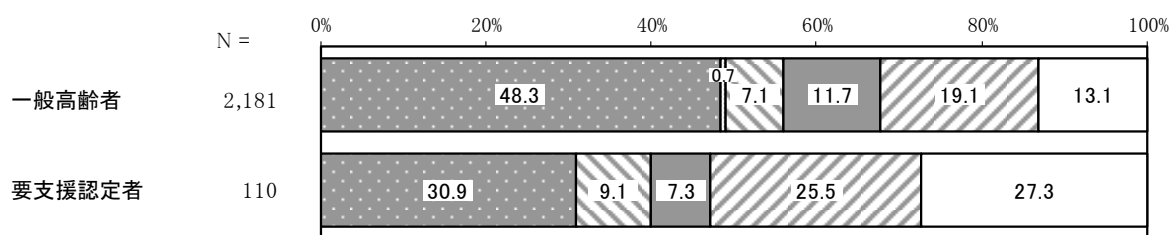
「住み慣れた自宅(地域)」の割合が47.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.4%、「特別養護老人ホームやグループホームなどへ入所」の割合が11.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



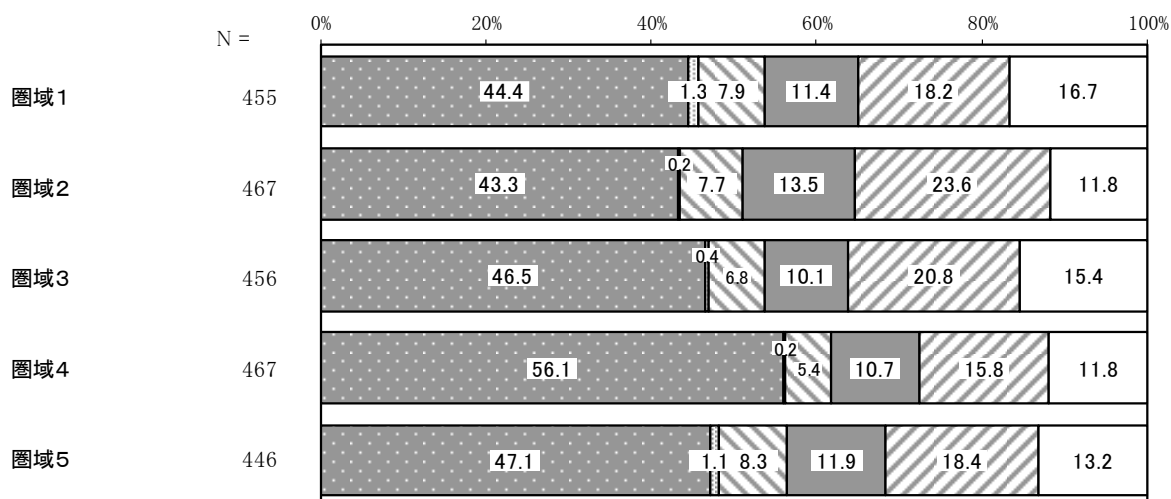
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「住み慣れた自宅(地域)」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

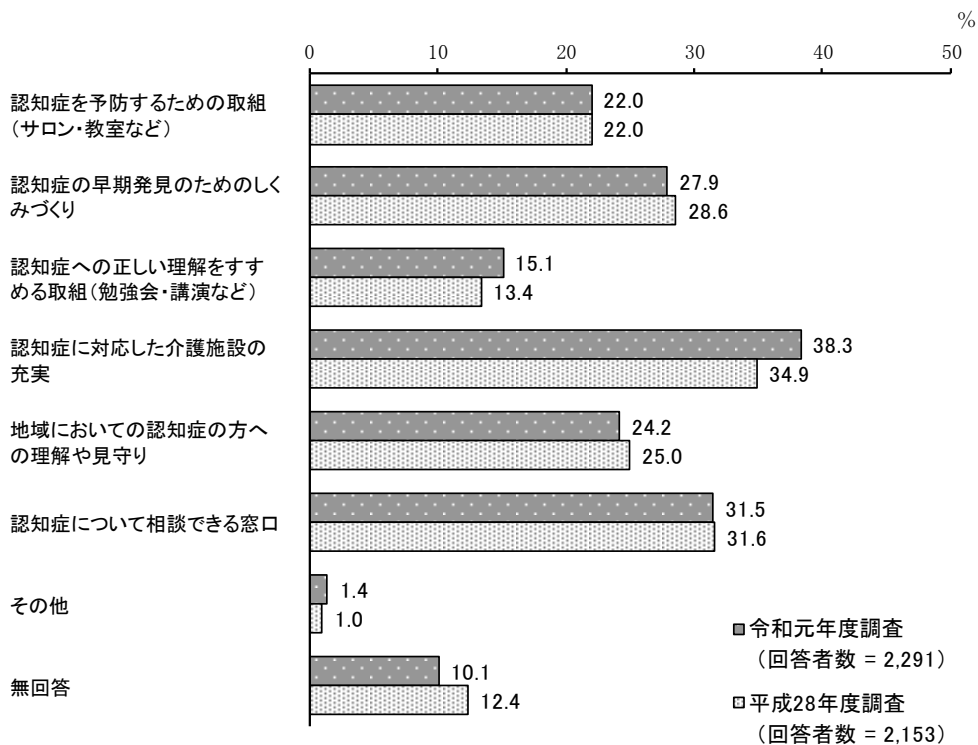
日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4で「住み慣れた自宅(地域)」の割合が高くなっています。



問9 (5) 認知症の人が住み慣れた地域で生活するために必要なことはどれだと考えますか (2つまで)

「認知症に対応した介護施設の充実」の割合が38.3%と最も高く、次いで「認知症について相談できる窓口」の割合が31.5%、「認知症の早期発見のためのしくみづくり」の割合が27.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「認知症の早期発見のためのしくみづくり」「認知症への正しい理解をすすめる取組（勉強会・講演など）」「認知症に対応した介護施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症を予防するための取組（サロン・教室など）	認知症の早期発見のためのしくみづくり	認知症への正しい理解をすすめる取組（勉強会・講演など）	認知症に対応した介護施設の充実	地域における認知症の方への理解や見守り	認知症について相談できる窓口	その他	無回答
一般高齢者	2,181	21.8	28.4	15.4	38.7	24.4	31.4	1.2	9.6
要支援認定者	110	25.5	19.1	9.1	30.9	20.0	33.6	4.5	20.9

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域3で「認知症に対応した介護施設の充実」の割合が高くなっています。

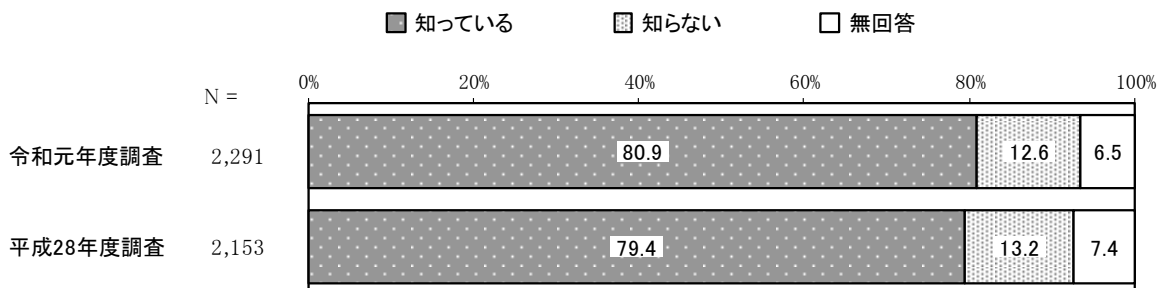
単位：％

区分	回答者数（件）	認知症を予防するための取組（サロン・教室など）	認知症の早期発見のためのしくみづくり	認知症への正しい理解をすすめる取組（勉強会・講演など）	認知症に対応した介護施設の充実	地域における認知症の方への理解や見守り	認知症について相談できる窓口	その他	無回答
圏域1	455	21.1	27.0	14.9	33.2	25.9	30.3	2.6	12.3
圏域2	467	23.6	29.6	17.3	38.1	24.0	29.3	1.5	9.2
圏域3	456	21.7	27.6	14.0	43.6	21.5	31.4	0.7	9.4
圏域4	467	21.8	25.7	14.1	38.8	28.3	33.6	1.7	8.8
圏域5	446	21.5	29.8	14.8	37.9	21.3	33.0	0.2	11.0

問9 (6) 介護保険制度について、次のことをご存知ですか

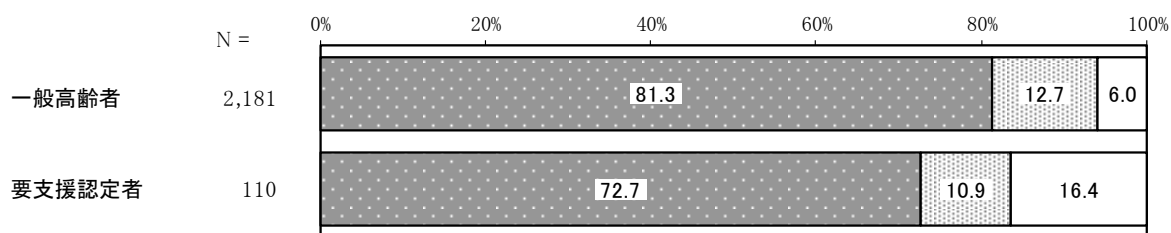
①介護保険制度は、介護を社会で支える仕組みである

「知っている」の割合が80.9%、「知らない」の割合が12.6%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



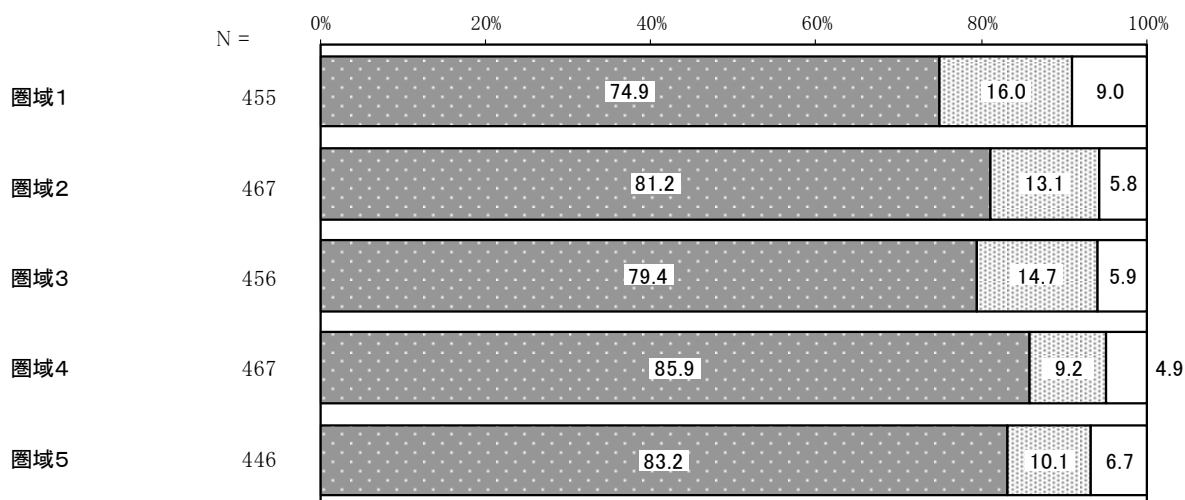
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知っている」の割合が高くなっています。



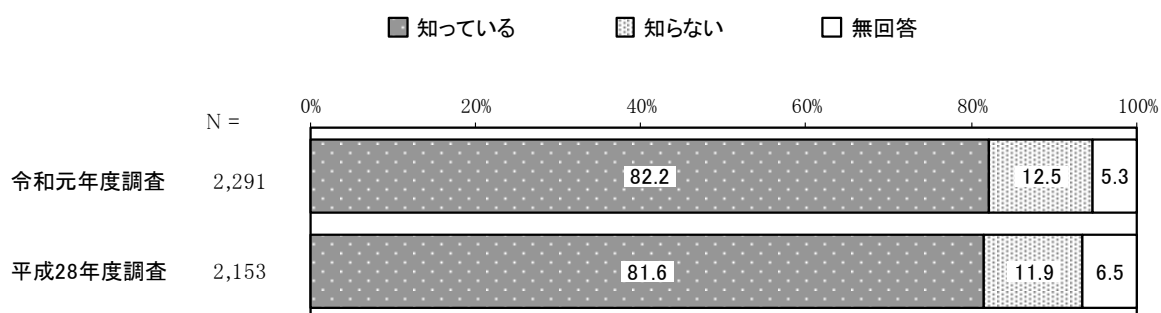
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域4で「知っている」の割合が高くなっています。



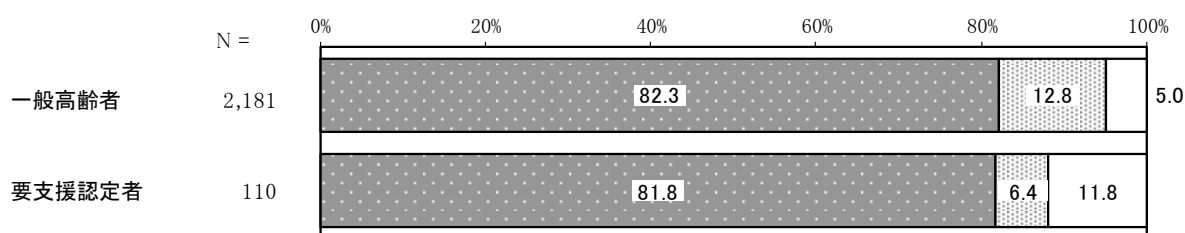
② 「介護保険の利用には、要介護認定を受ける必要がある」の認知度

「知っている」の割合が82.2%、「知らない」の割合が12.5%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



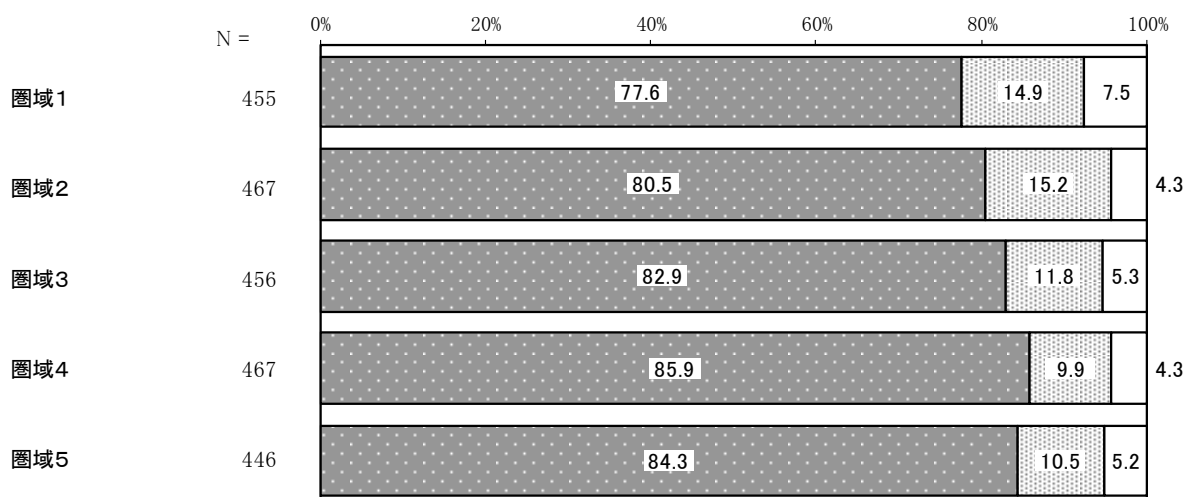
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知らない」の割合が高くなっています。



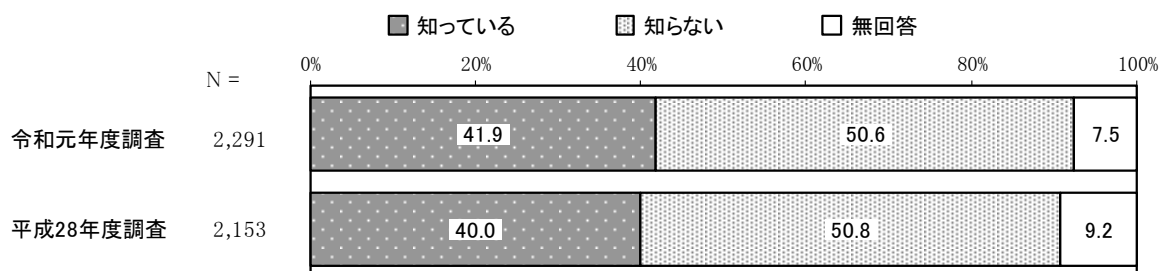
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4、圏域5で「知っている」の割合が高くなっています。



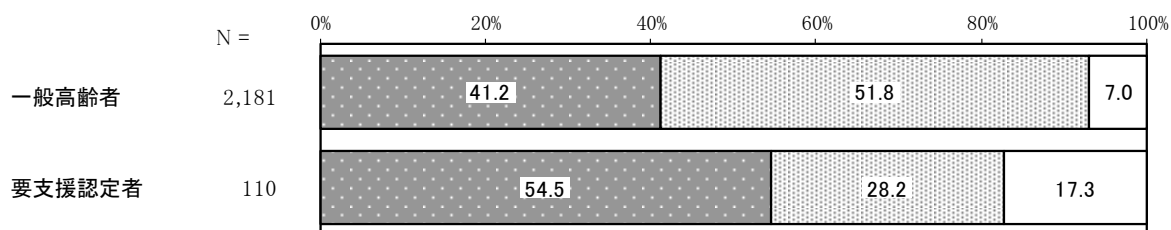
③介護保険のサービス内容の認知度

「知っている」の割合が41.9%、「知らない」の割合が50.6%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



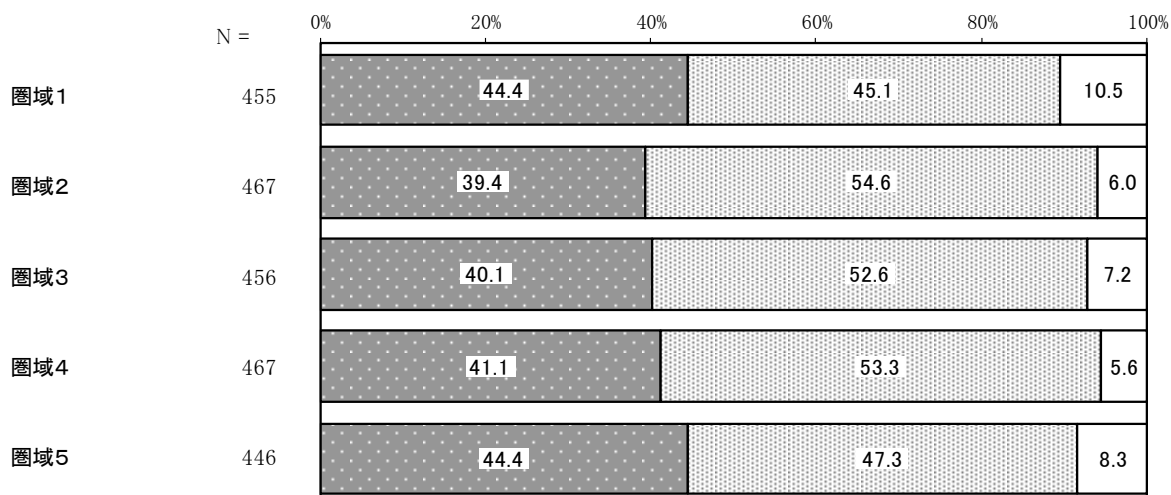
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知っている」の割合が高くなっています。



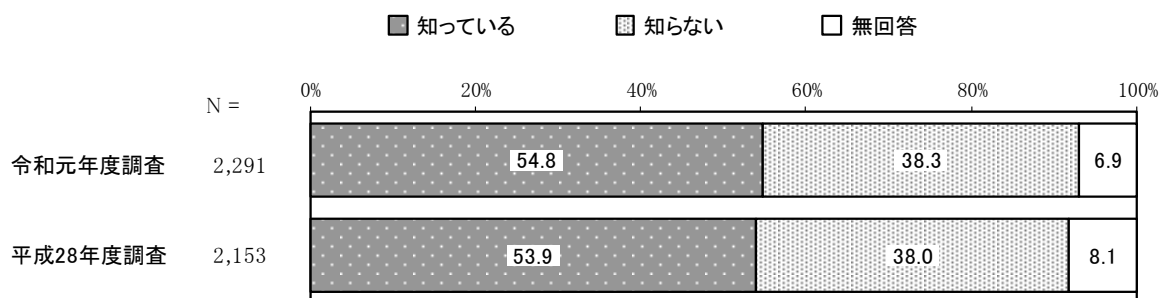
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域1、圏域5で「知っている」の割合が高くなっています。



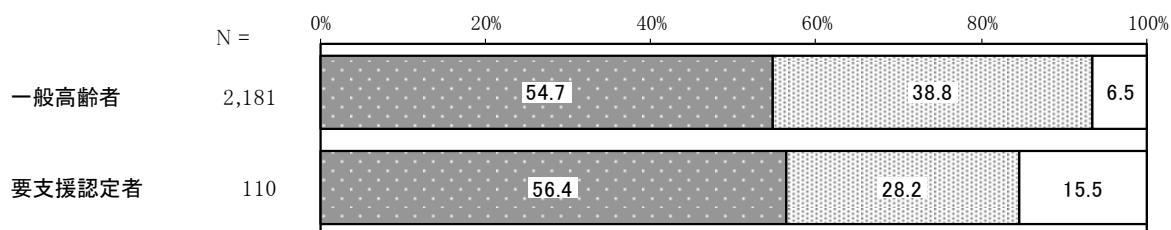
④要介護度に応じて支給限度額が決まっている

「知っている」の割合が54.8%、「知らない」の割合が38.3%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



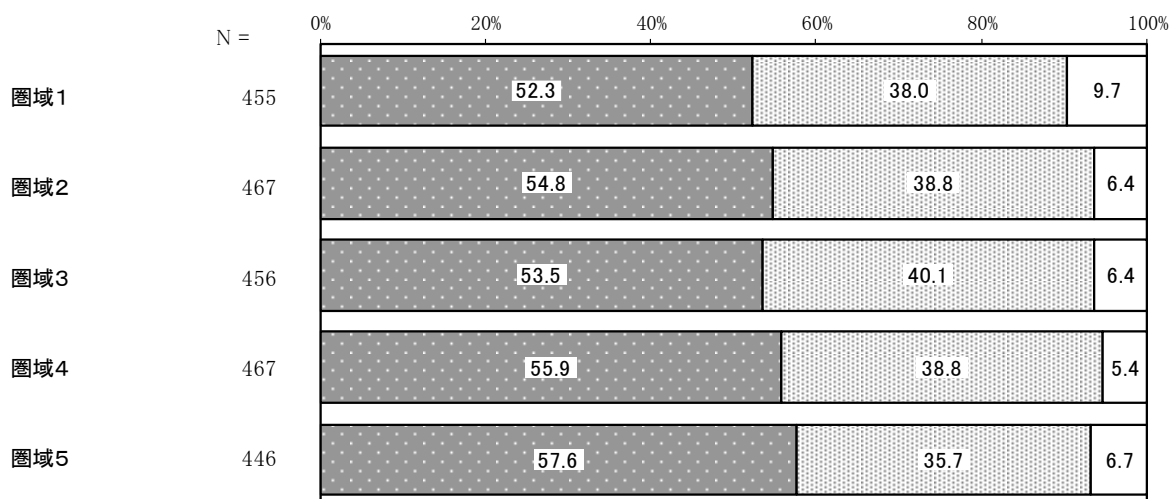
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「知らない」の割合が高くなっています。



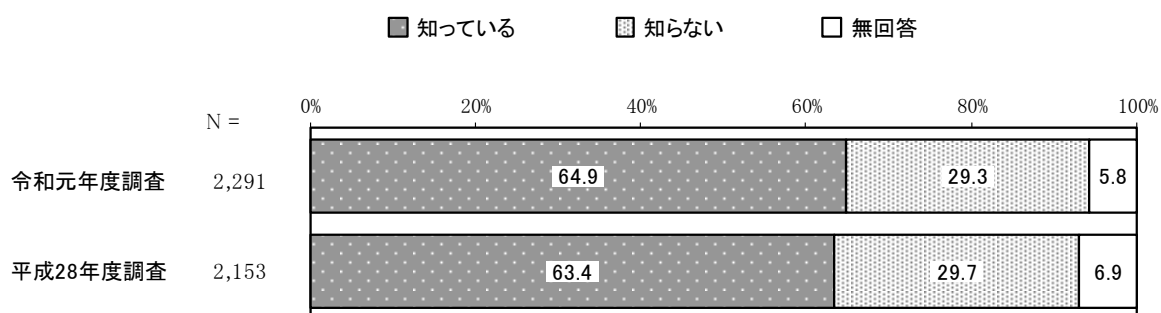
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、大きな差異はみられません。



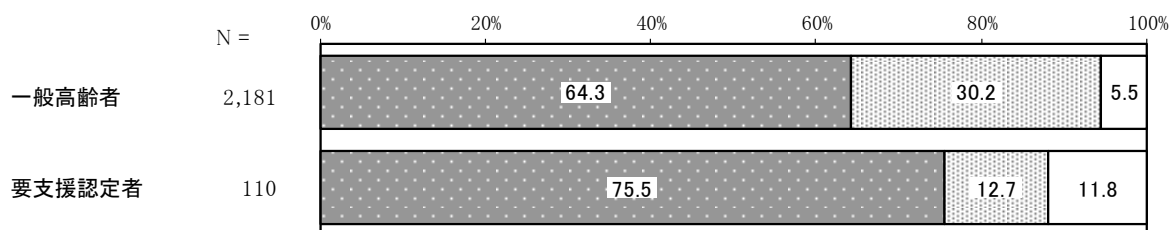
⑤介護保険サービスの利用には自己負担（1割～3割）がある

「知っている」の割合が64.9%、「知らない」の割合が29.3%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



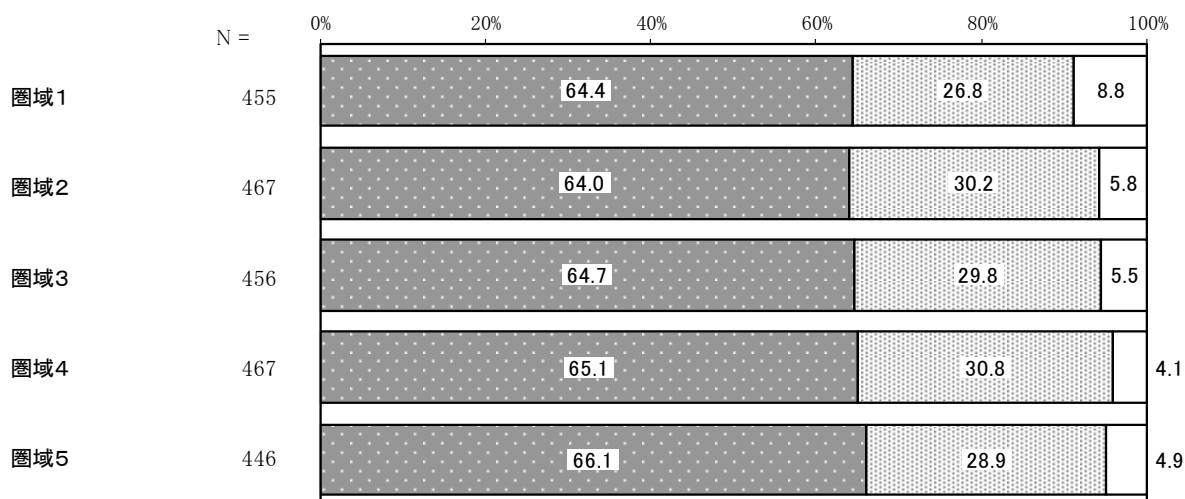
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知っている」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

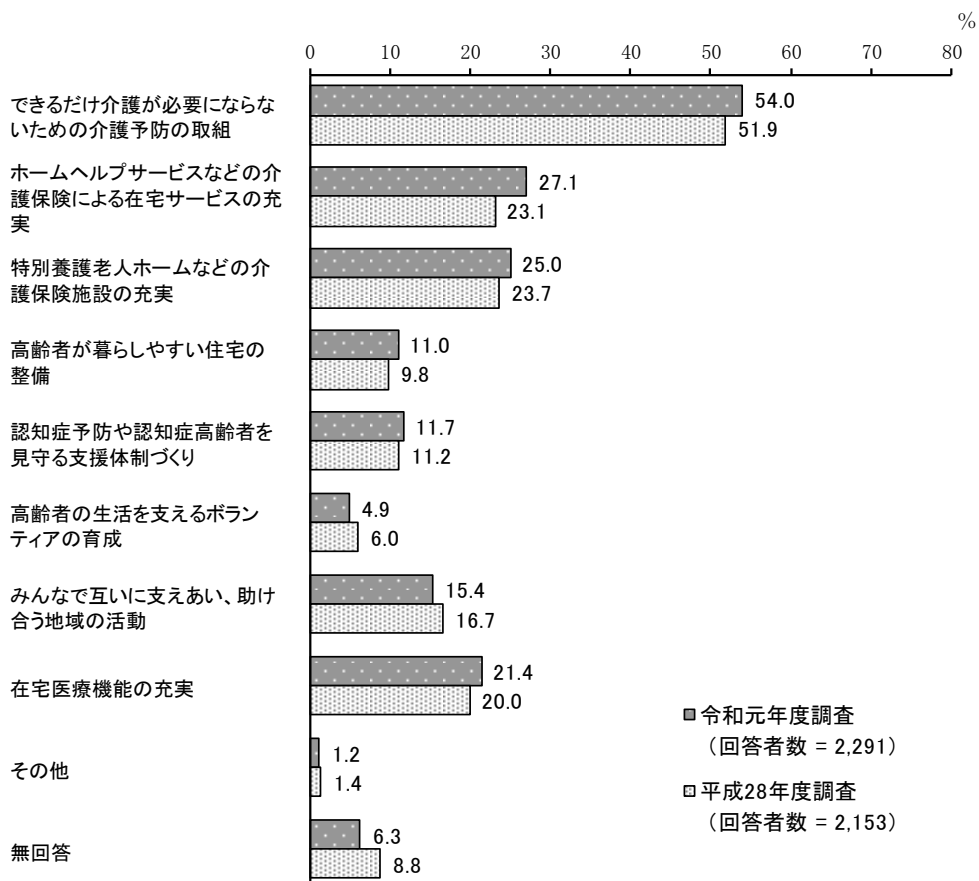
日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



問9 (7) これから超高齢社会を迎えるうえで、重要な取組は次のうちどれだと考えますか (2つまで)

「できるだけ介護が必要にならないための介護予防の取組」の割合が54.0%と最も高く、次いで「ホームヘルプサービスなどの介護保険による在宅サービスの充実」の割合が27.1%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」の割合が25.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるだけ介護が必要にならないための介護予防の取組」「ホームヘルプサービスなどの介護保険による在宅サービスの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	できるだけ介護が必要にならないための介護予防の取組	ホームヘルプサービスなどの介護保険による在宅サービスの充実	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実	高齢者が暮らしやすい住宅の整備	認知症予防や認知症高齢者を見守る支援体制づくり	高齢者の生活を支えるボランティアの育成	みんなで互いに支えあい、助け合う地域の活動	在宅医療機能の充実	その他	無回答
一般高齢者	2181	54.3	27.4	25.0	10.8	11.6	4.8	15.6	21.6	1.2	5.9
要支援認定者	110	47.3	21.8	24.5	14.5	11.8	7.3	10.9	17.3	1.8	13.6

【日常生活圏域別】

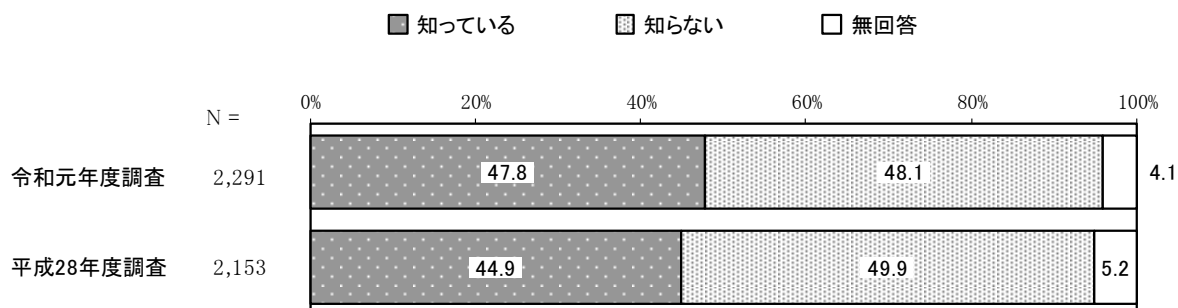
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「できるだけ介護が必要にならないための介護予防の取組」「高齢者が暮らしやすい住宅の整備」の割合が、圏域2、圏域3で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実」の割合が、圏域4で「在宅医療機能の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	できるだけ介護が必要にならないための介護予防の取組	ホームヘルプサービスなどの介護保険による在宅サービスの充実	特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実	高齢者が暮らしやすい住宅の整備	認知症予防や認知症高齢者を見守る支援体制づくり	高齢者の生活を支えるボランティアの育成	みんなで互いに支えあい、助け合う地域の活動	在宅医療機能の充実	その他	無回答
圏域1	455	59.6	20.4	20.2	14.9	11.6	2.9	17.6	18.2	1.8	7.7
圏域2	467	53.5	30.0	28.1	9.6	12.4	4.5	14.1	18.2	0.9	6.9
圏域3	456	55.5	27.4	27.2	10.5	12.9	4.4	12.3	22.8	0.9	4.6
圏域4	467	49.0	29.8	25.3	10.7	9.9	6.2	19.1	25.1	1.3	5.6
圏域5	446	52.2	28.0	24.0	9.0	11.4	6.7	13.9	22.6	1.3	6.7

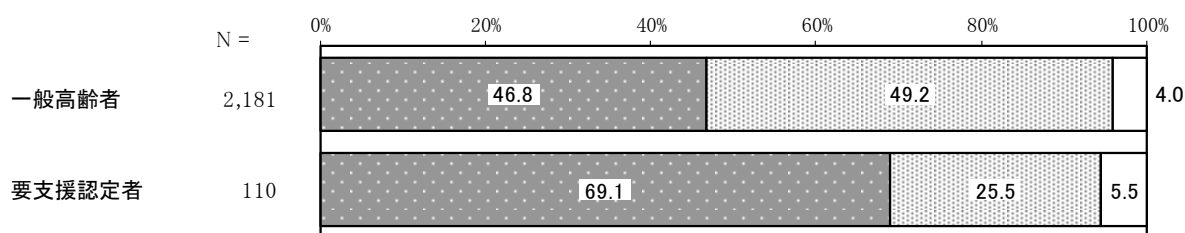
問9 (8) 介護・福祉・健康・医療に関する相談、健康づくりや介護予防に取り組んでいる「地域包括支援センター」(名張市役所内)についてご存知ですか

「知っている」の割合が47.8%、「知らない」の割合が48.1%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



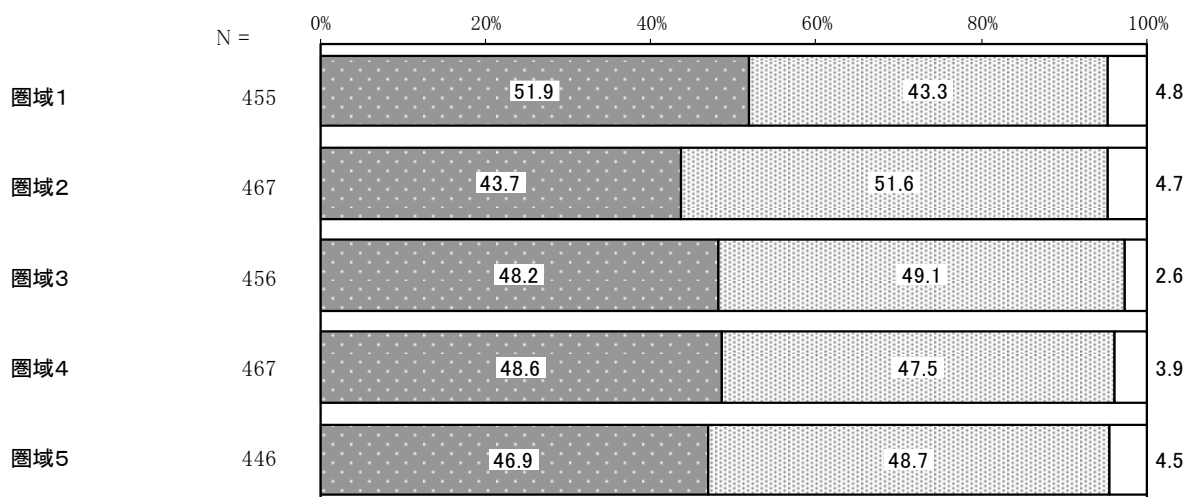
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知っている」の割合が高くなっています。



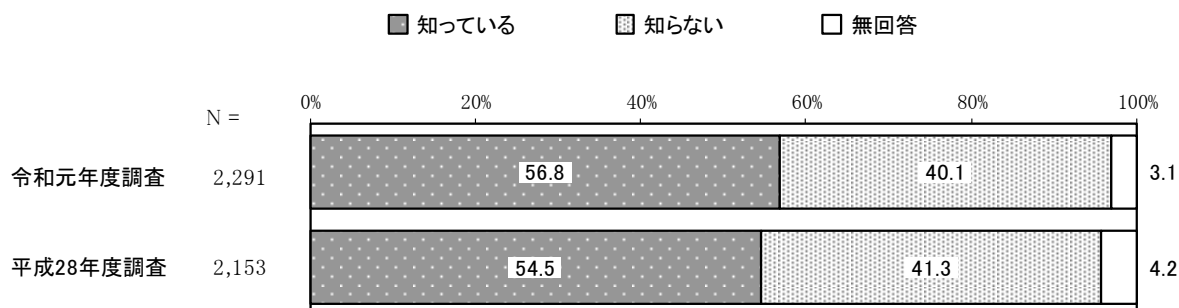
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「知っている」の割合が高くなっています。



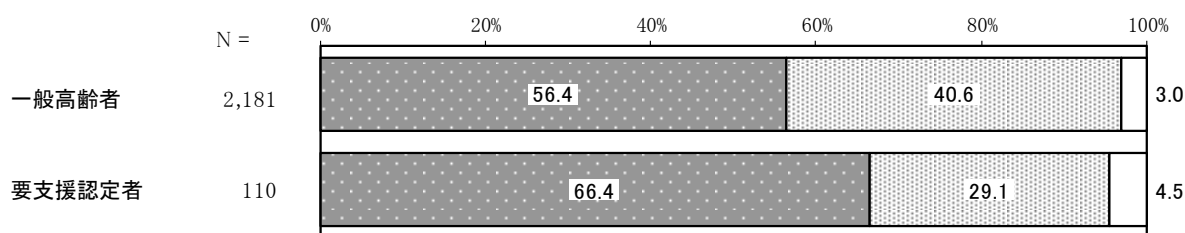
問9 (9) 介護や子育ての初期相談、介護予防教室の開催、サロン活動等の支援を行っている「まちの保健室」(市内15箇所)についてご存知ですか

「知っている」の割合が56.8%、「知らない」の割合が40.1%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



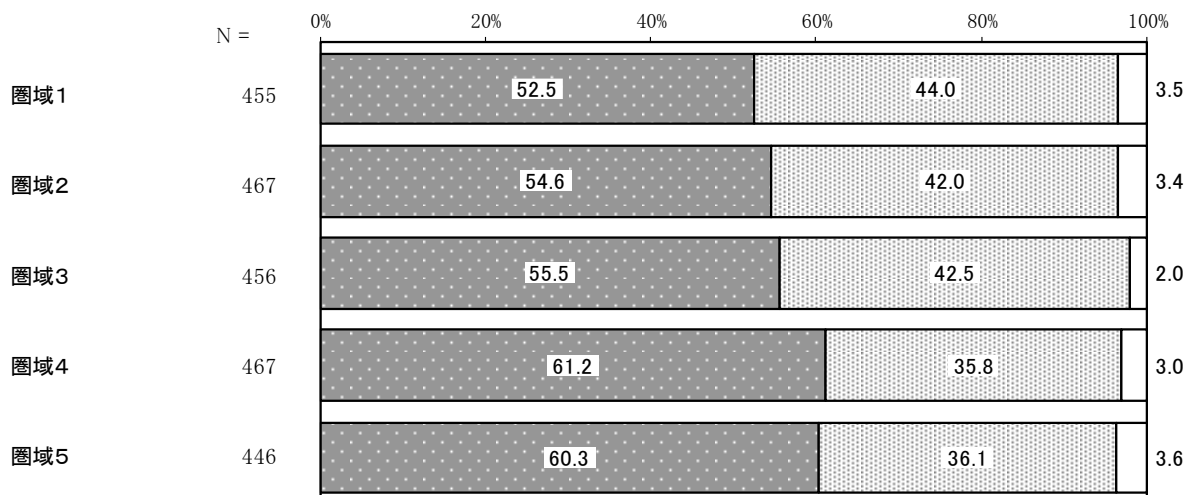
【認定の有無別】

認定の有無別で見ると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知っている」の割合が高くなっています。



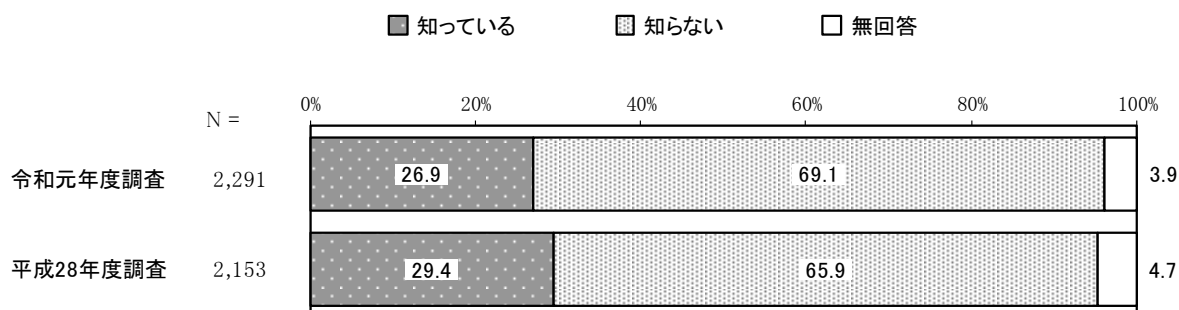
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別で見ると、他の圏域に比べ、圏域4、圏域5で「知っている」の割合が高くなっています。



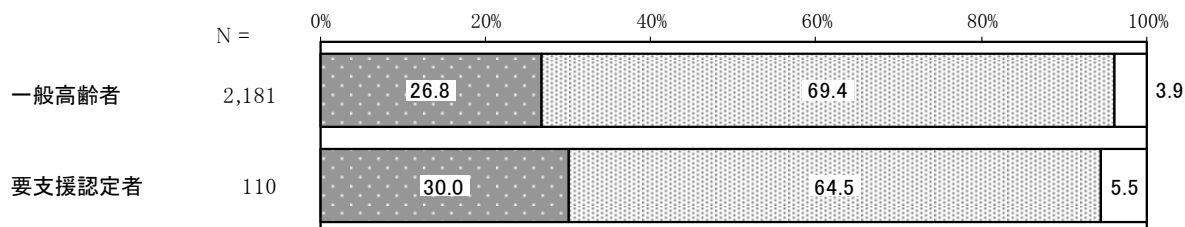
問9（10）在宅での療養を希望する患者や家族の不安や悩みを解消するための相談窓口である「名張市在宅医療支援センター」についてご存知ですか

「知っている」の割合が26.9%、「知らない」の割合が69.1%となっています。
平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【認定の有無別】

認定の有無別でみると、大きな差異はみられません。



【日常生活圏域別】

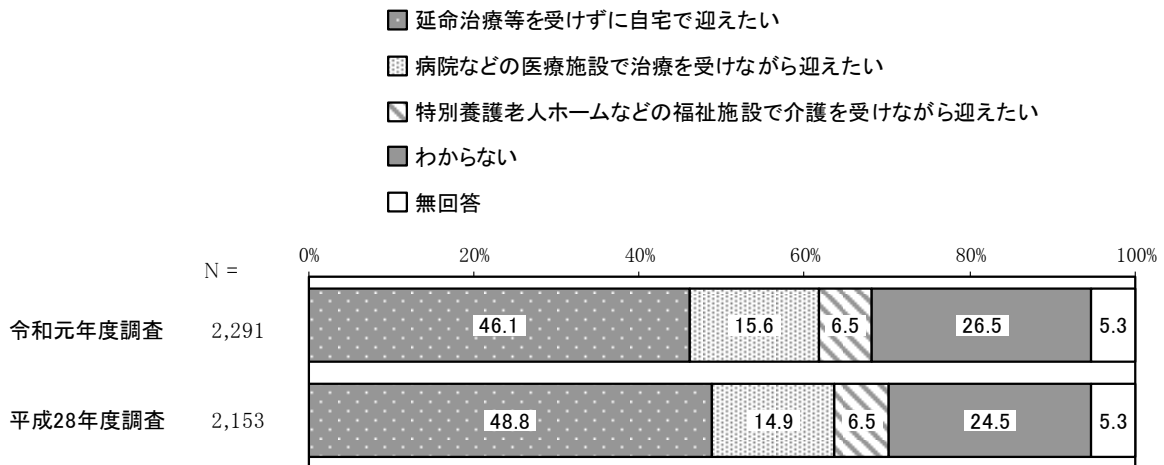
日常生活圏域別でみると、他の圏域に比べ、圏域1で「知っている」の割合が高くなっています。



問9（11）終末期（人生の最期）についてどのようにお考えですか

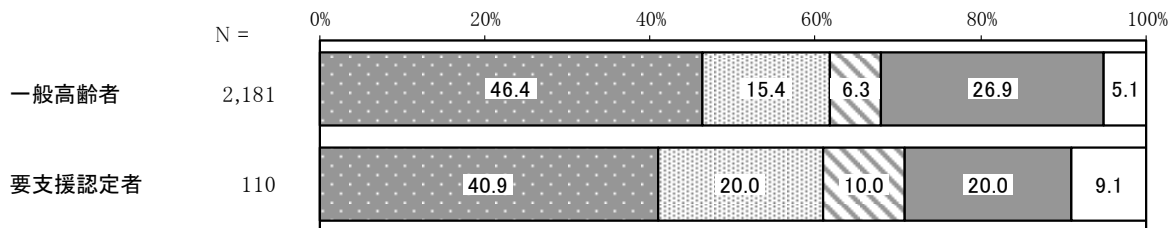
「延命治療等を受けずに自宅で迎えたい」の割合が46.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.5%、「病院などの医療施設で治療を受けながら迎えたい」の割合が15.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



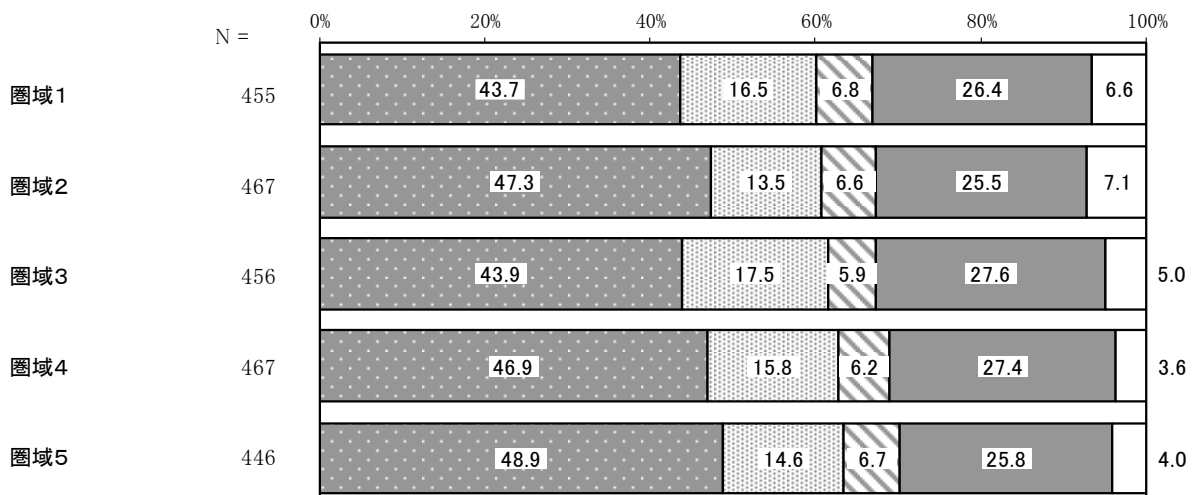
【認定の有無別】

認定の有無別でみると、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「延命治療等を受けずに自宅で迎えたい」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

日常生活圏域別でみると、大きな差異はみられません。



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

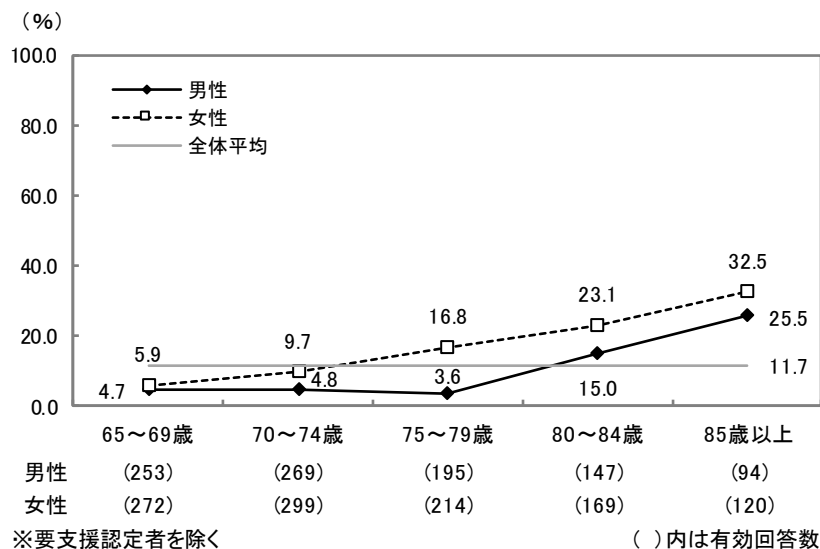
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2 (3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問2 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2 (5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

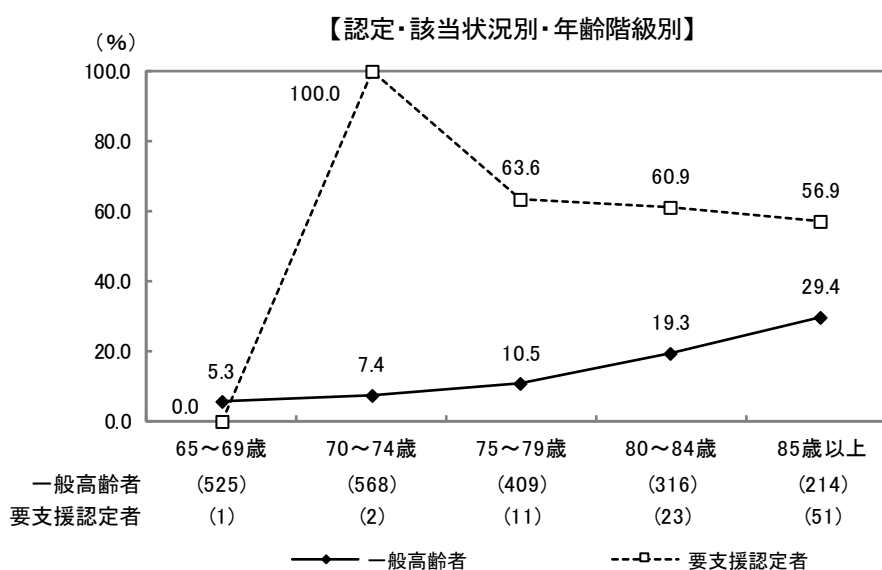
国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で11.7%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で該当者割合が高くなっています。また、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。

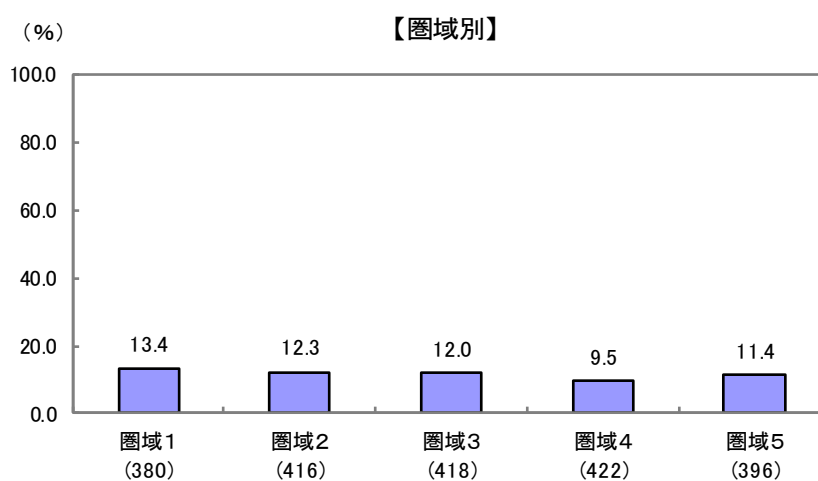
【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっています。



圏域別にみると、圏域1、圏域2、圏域3で該当者割合が全体平均の11.7%を超えています。また、最も高い圏域は圏域1で13.4%、最も低い圏域は圏域4で9.5%となっており、3.9ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

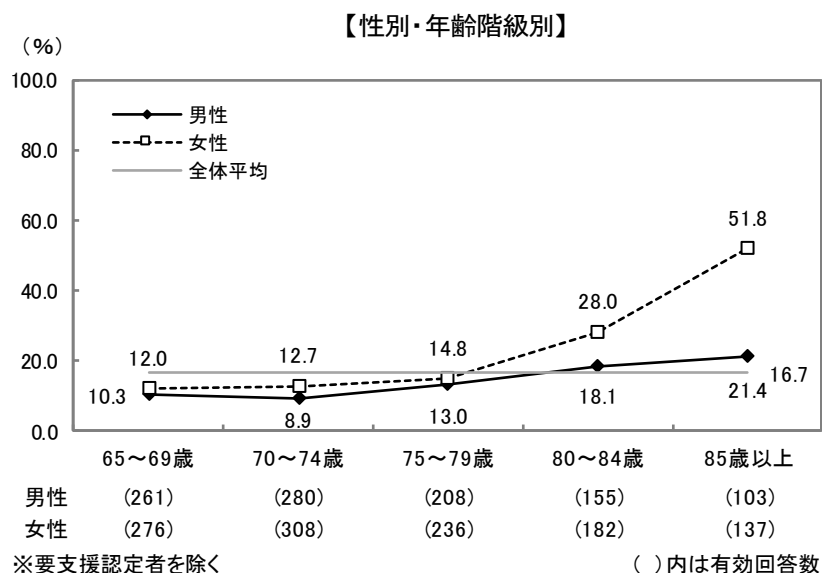
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

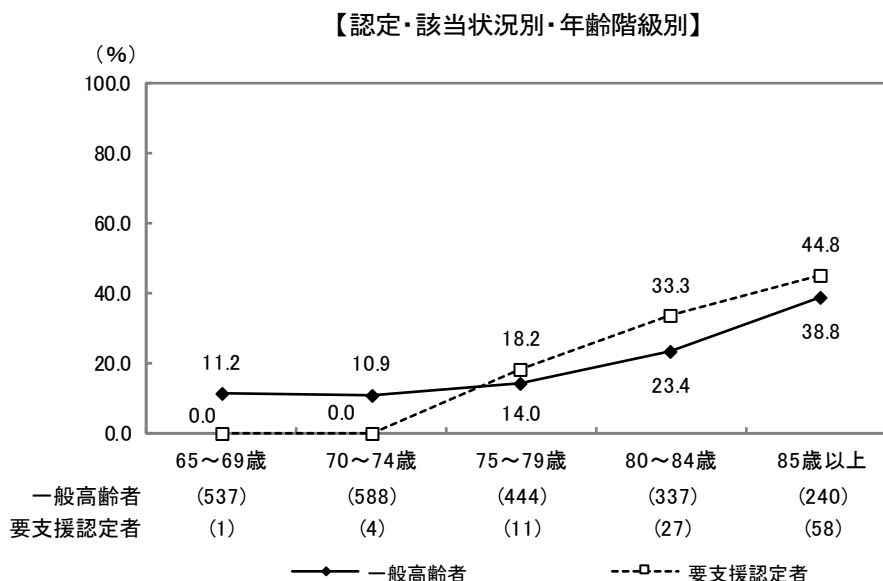
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で16.7%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

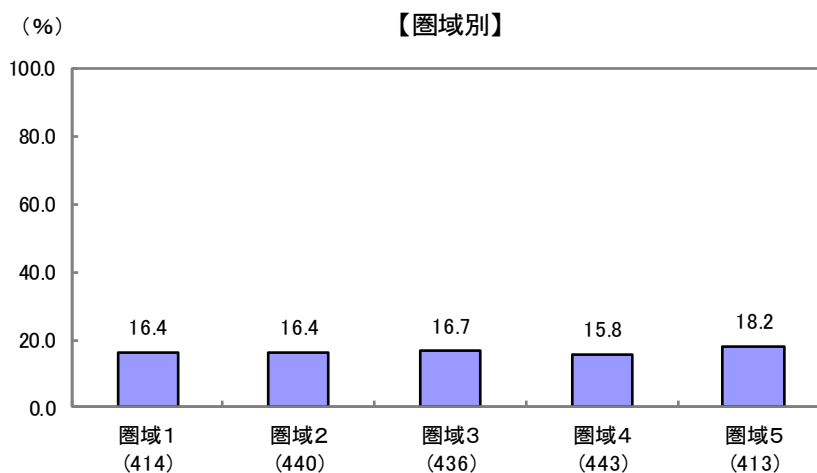
性別・年齢階級別にみると、女性では、80歳以上で急激に該当者割合が高くなり、85歳以上で51.8%と男性に比べ30.4ポイントの差となっています。また、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者では75歳以上で該当者割合が高くなっています。また、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっています。



圏域別にみると、圏域5で該当者割合が全体平均の16.7%を超えています。また、最も高い圏域は圏域5で18.2%、最も低い圏域は圏域4で15.8%となっており、2.4ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(3) 転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

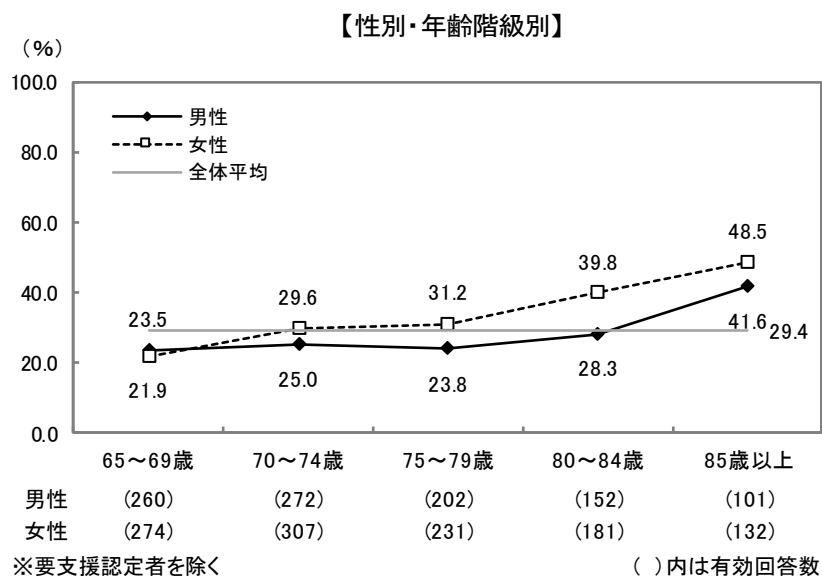
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

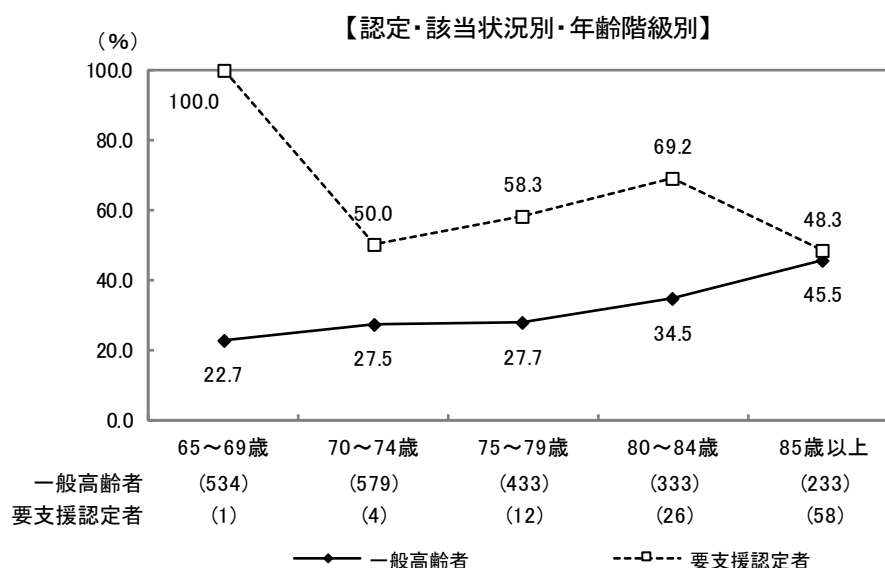
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で29.4%が転倒リスクの該当者となっています。

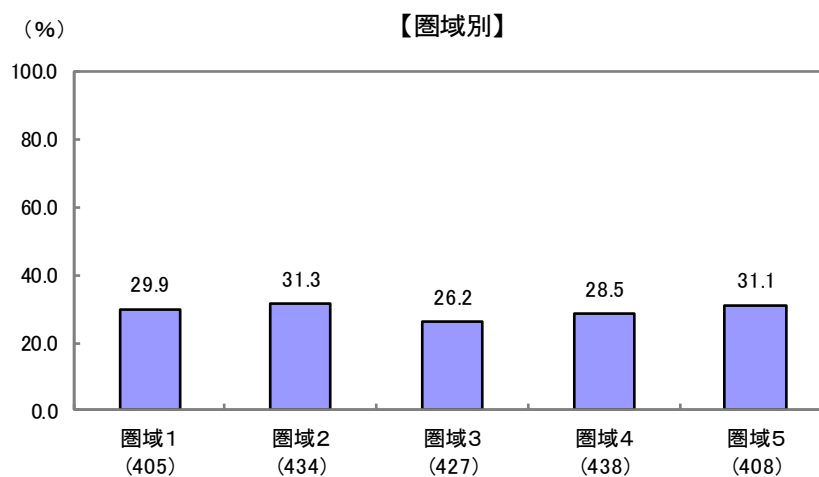
性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっています。



圏域別にみると、圏域1、圏域2、圏域5で該当者割合が全体平均の29.4%を超えています。また、最も高い圏域は圏域2で31.3%、最も低い圏域は圏域3で26.2%となっており、5.1ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(4) 栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

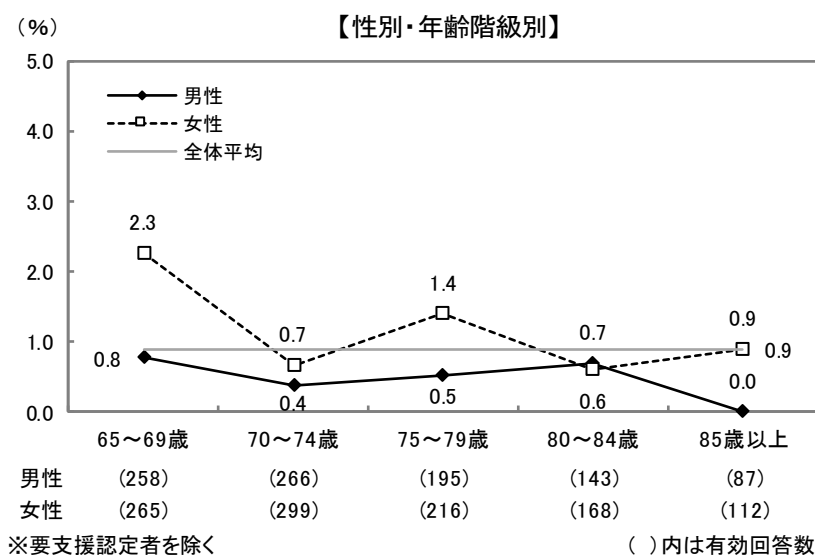
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

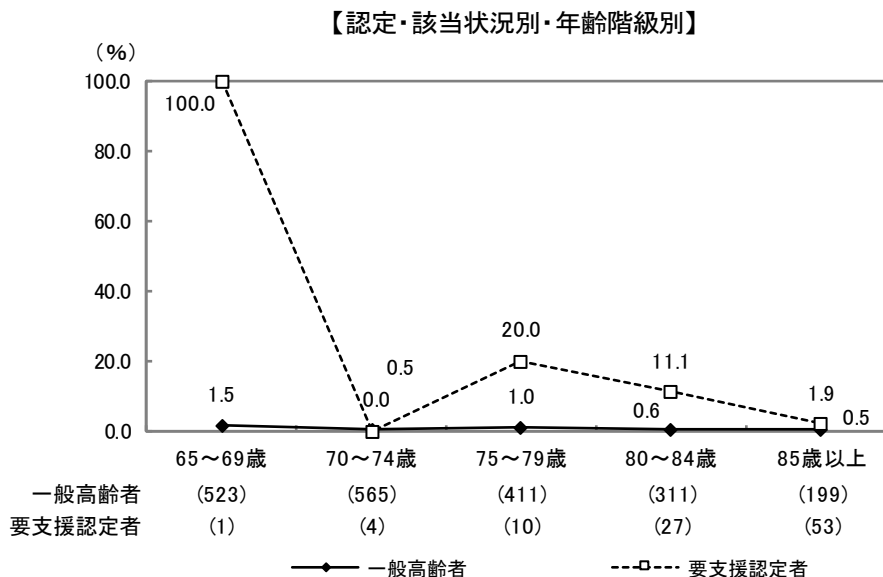
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で0.9%が低栄養リスクの該当者となっています。

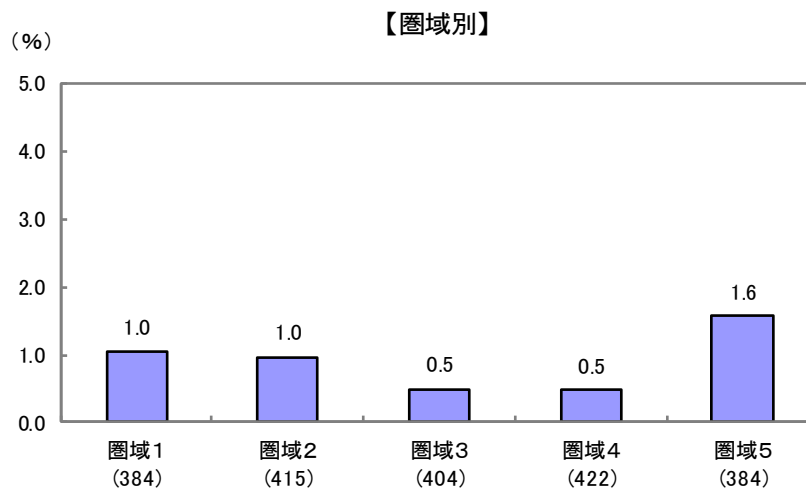
性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、年齢階級での大きな変化はありません。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなっています。他のリスクに比べ、加齢に伴うリスクへの影響が少ないことがうかがえます。



圏域別にみると、圏域1、圏域2、圏域5で該当者割合が全体平均の0.9%を超えています。また、最も高い圏域は圏域5で1.6%、最も低い圏域は圏域3、圏域4で0.5%となっており、1.1ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(5) 口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

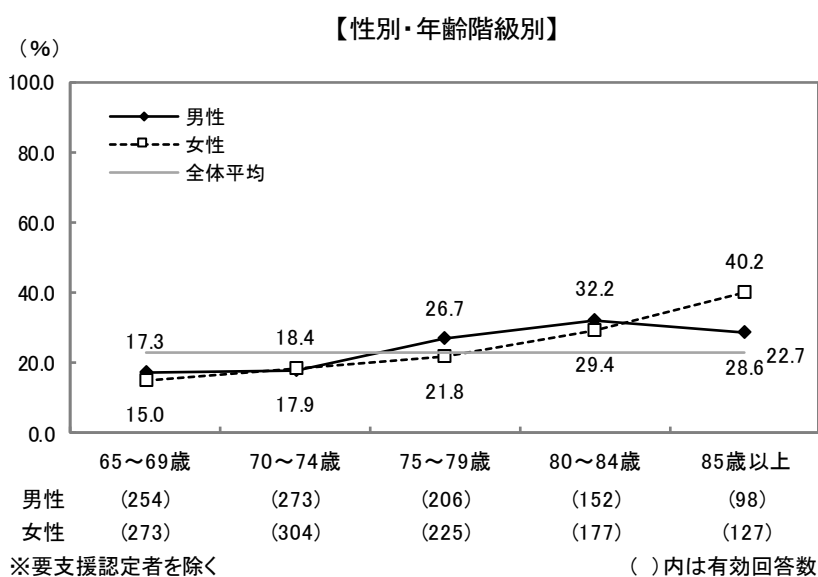
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい

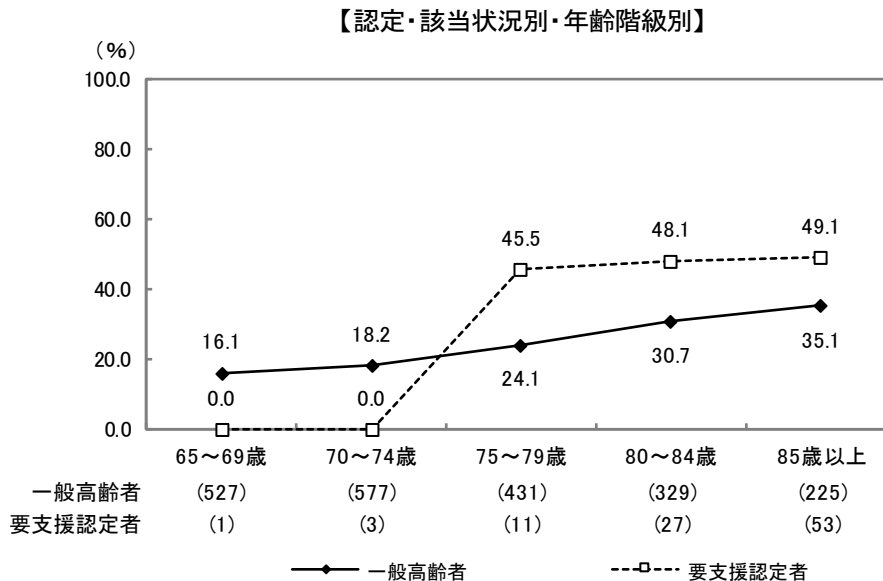
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で22.7%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

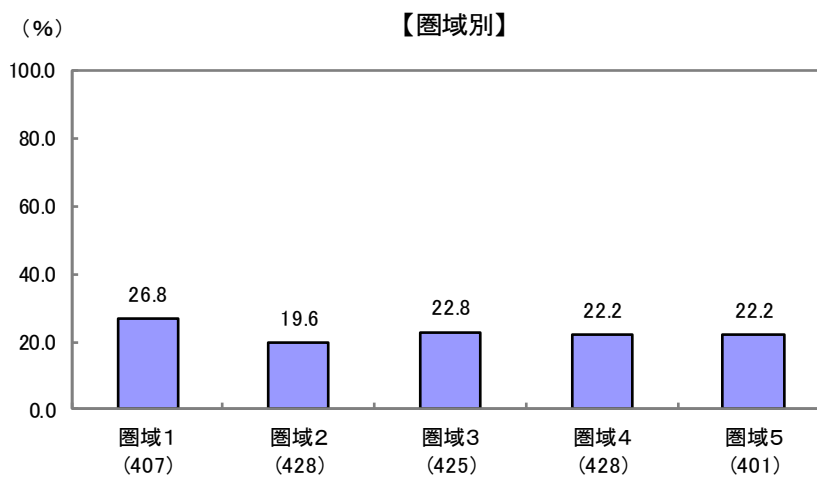
性別・年齢階級別にみると、女性では、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる一方、男性では、85歳以上で該当者割合が低くなっており、22.7%と女性に比べ11.6ポイントの差となっています。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者では75歳以上で該当者割合が高くなっています。また、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっています。



圏域別にみると、圏域1、圏域3で該当者割合が全体平均の22.7%を超えています。また、最も高い圏域は圏域1で26.8%、最も低い圏域は圏域2で19.6%となっており、7.2ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(6) 認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

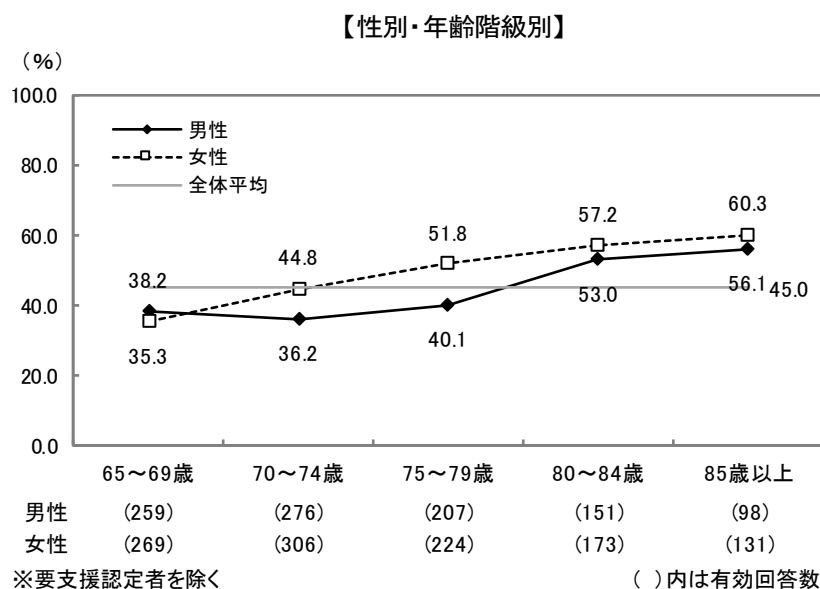
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい

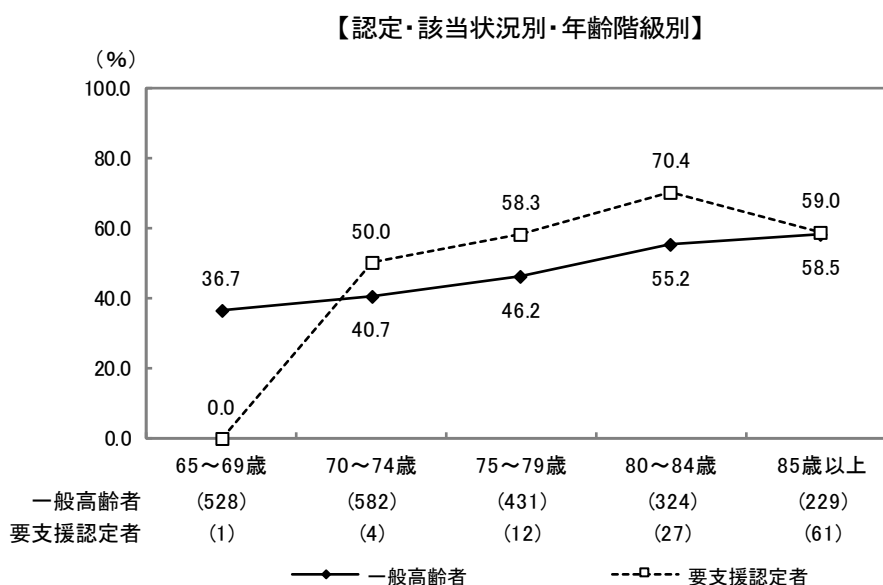
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で45.0%が該当者となっています。

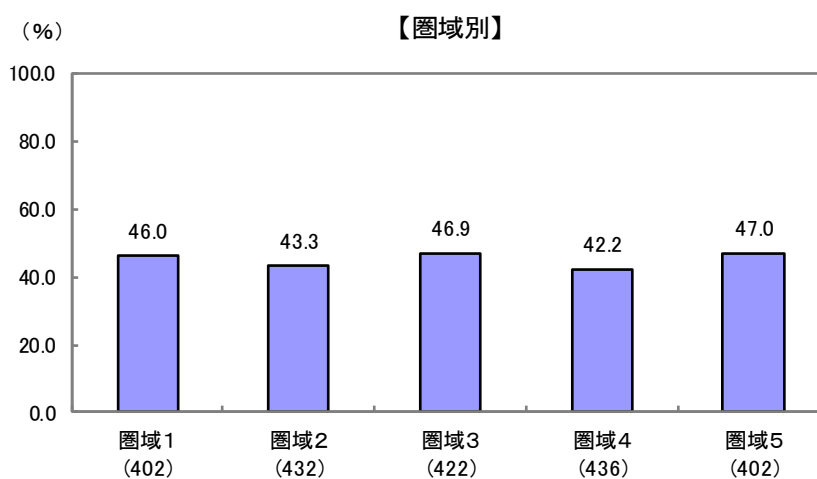
性別・年齢階級別にみると、男性に比べ、女性で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなっています。



圏域別にみると、圏域1、圏域3、圏域5で該当者割合が全体平均の45.0%を超えています。また、最も高い圏域は圏域5で47.0%、最も低い圏域は圏域4で42.2%となっており、4.8ポイントの差となっています。



※要支援認定者を除く

(7) うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

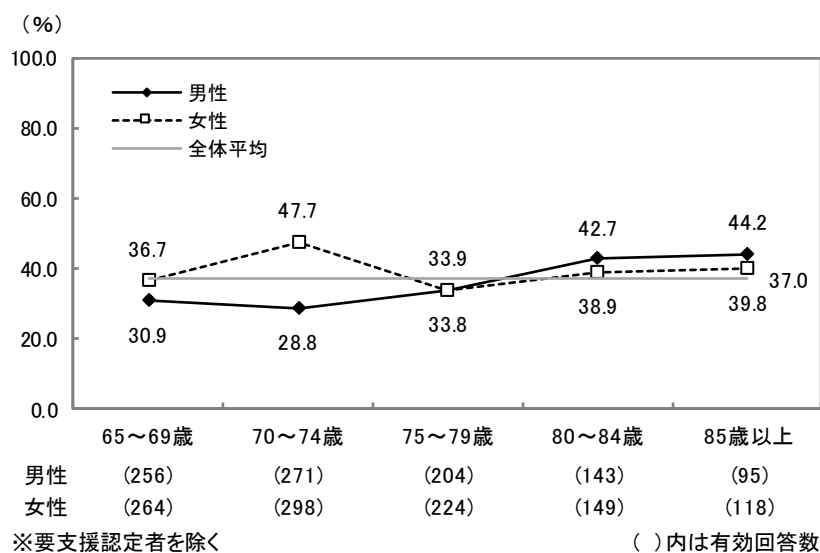
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

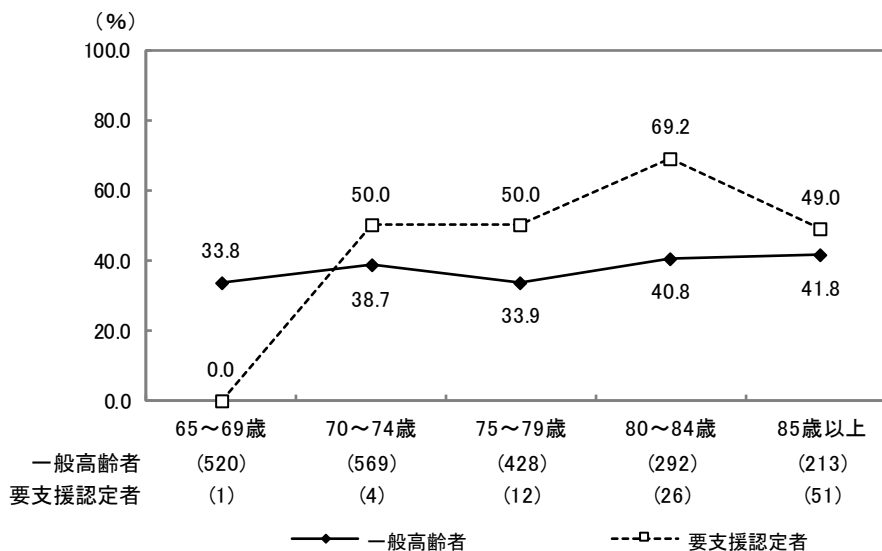
国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で37.0%が該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、男性、女性ともに大きな差異や変化はありません。

【性別・年齢階級別】



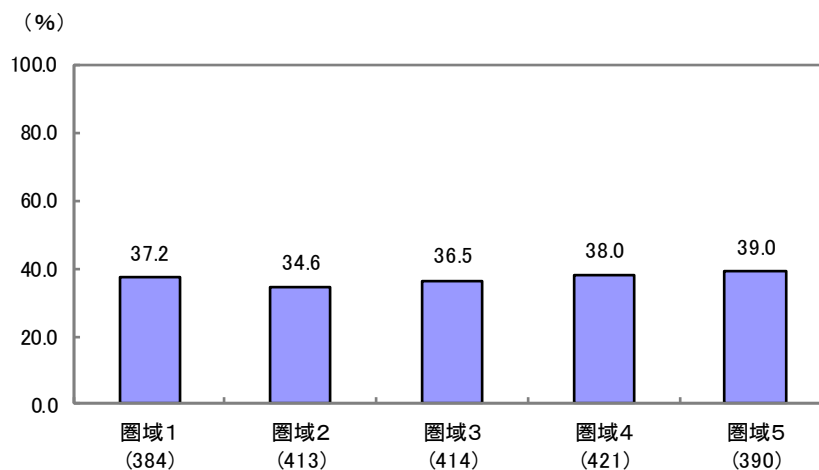
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、要支援認定者では80～84歳で、該当者割合が69.2%と最も高くなっています。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、圏域1、圏域4、圏域5で該当者割合が全体平均の37.0%を超えています。また、最も高い圏域は圏域5で39.0%、最も低い圏域は圏域2で34.6%となっており、4.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

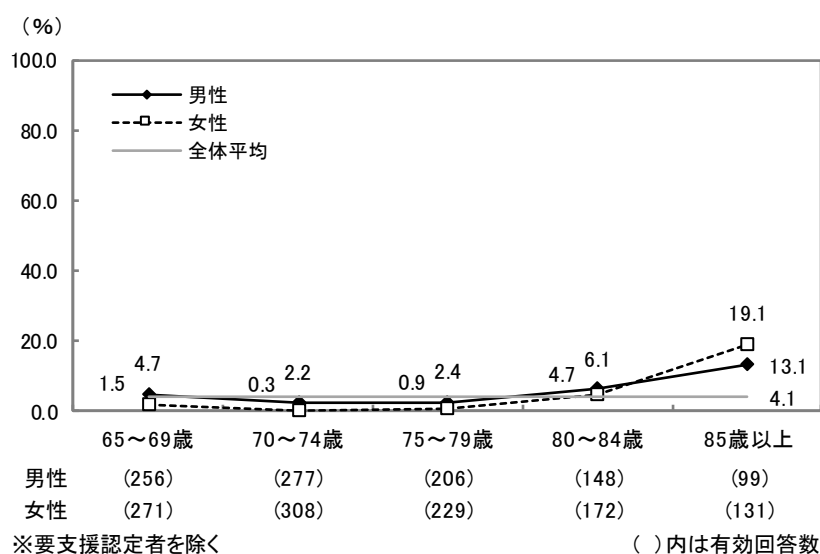
問番号	設問	該当する選択肢
問4 (4)	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (6)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (7)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問4 (8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【該当状況】

全体平均では4.1%が手段的自立度の低下者となっています。

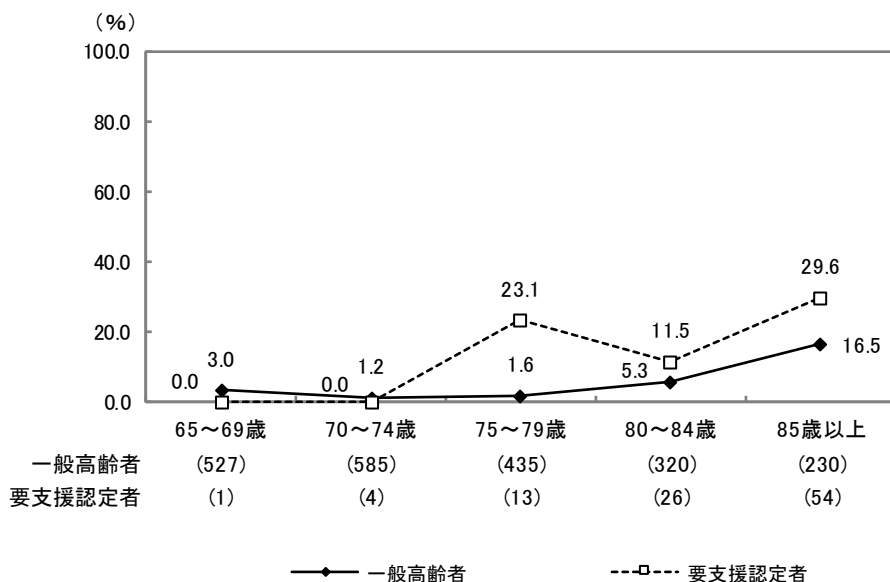
性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに、80歳以上で急激に該当者割合が高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなる傾向にあります。また、一般高齢者、要支援認定者ともに、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。

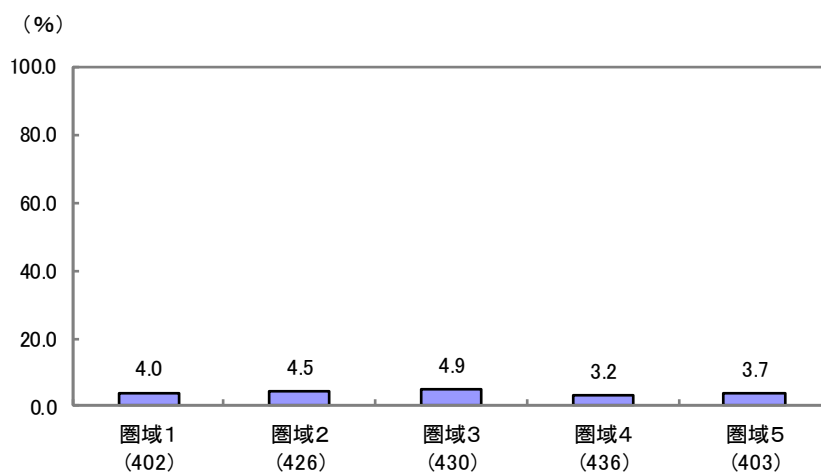
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、圏域2、圏域3で該当者割合が全体平均の4.1%を超えています。

また、最も高い圏域は圏域3で4.9%、最も低い圏域は圏域4で3.2%となっており、1.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

3 社会参加

(1) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

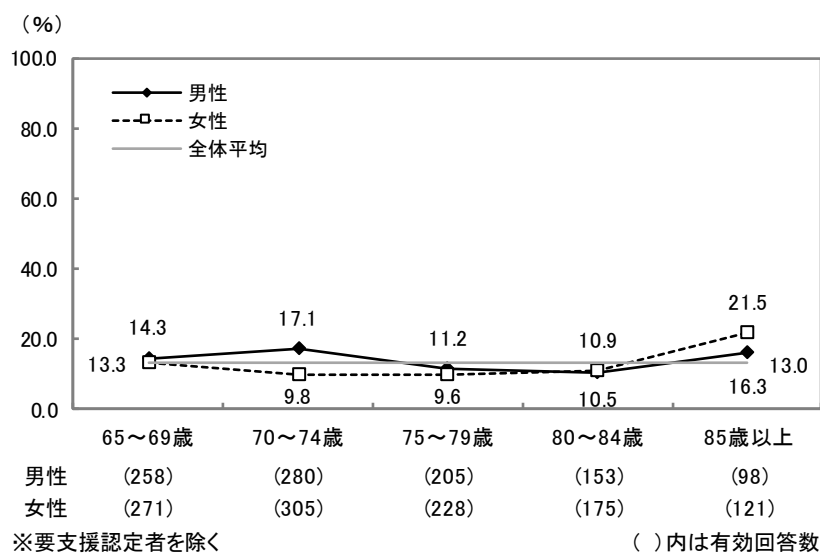
問番号	設問	該当する選択肢
問4(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい：1点
問4(10)	新聞を読んでいますか	1. はい：1点
問4(11)	本や雑誌を読んでいますか	1. はい：1点
問4(12)	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい：1点

【該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では13.0%となっています。

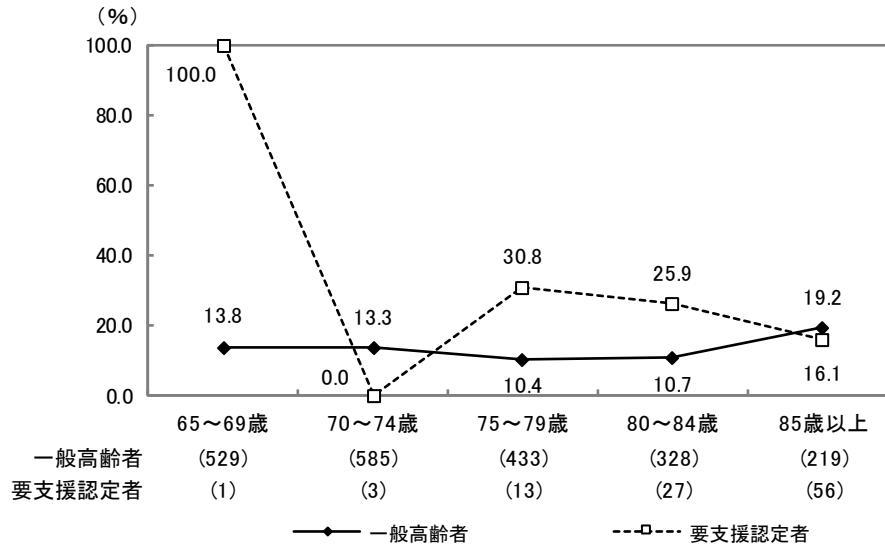
性別・年齢階級別でみると、男性、女性ともに大きな差異や変化はありません。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者では75歳以上で年齢階級が上がるにつれて該当者割合が低くなる一方、一般高齢者では高くなり、85歳以上で一般高齢者が19.2%と要支援認定者に比べ3.1ポイントの差となっています。

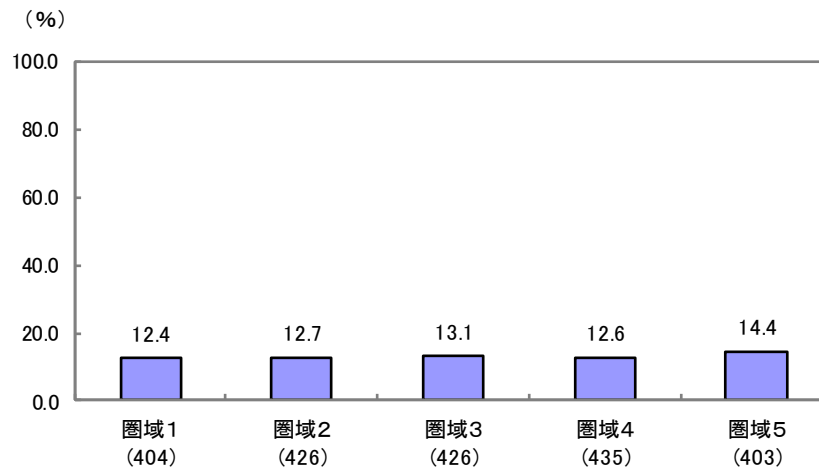
【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、圏域3、圏域5で該当者割合が全体平均の13.0%を超えています。

また、最も高い圏域は圏域5で14.4%、最も低い圏域は圏域1で12.4%となっており、2.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(2) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

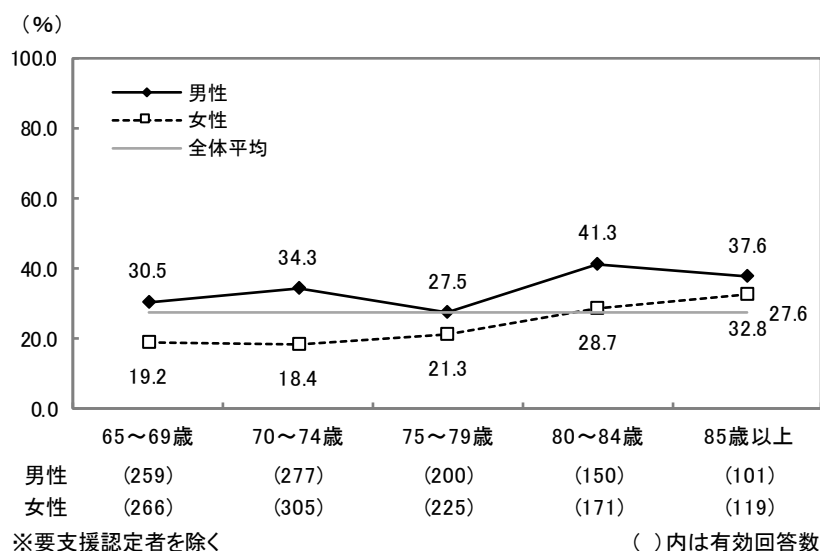
問番号	設問	該当する選択肢
問4(13)	友人の家を訪ねていますか	1. はい：1点
問4(14)	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい：1点
問4(15)	病人を見舞うことができますか	1. はい：1点
問4(16)	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい：1点

【該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では27.6%となっています。

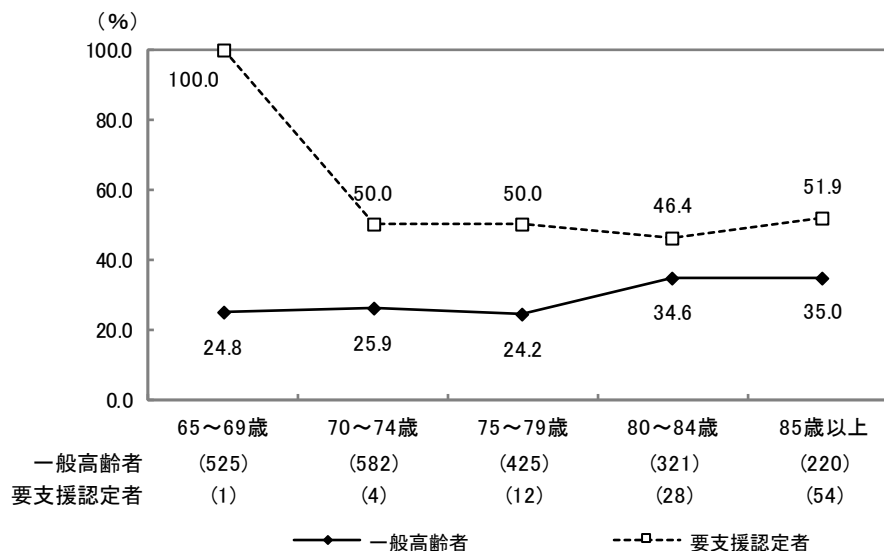
性別・年齢階級別にみると、女性に比べ、男性で該当者割合が高くなっています。また、男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。

【性別・年齢階級別】



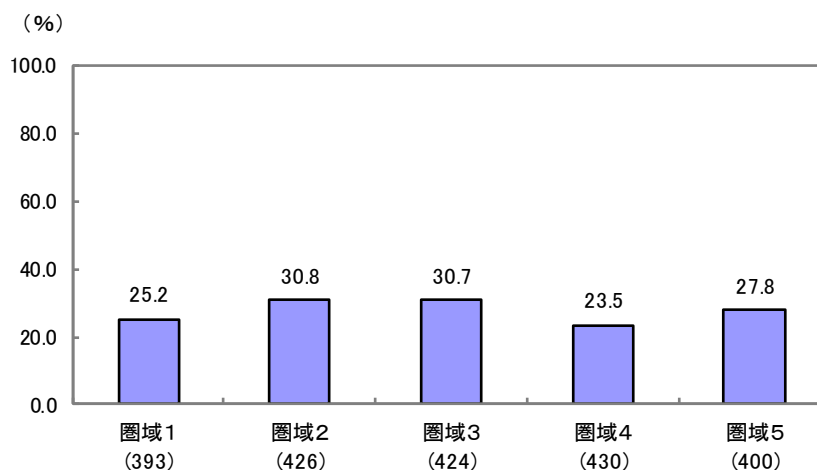
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で該当者割合が高くなっています。一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて該当者割合が高くなる傾向にあります。

【認定・該当状況別・年齢階級別】



圏域別にみると、圏域2、圏域3、圏域5で該当者割合が全体平均の27.6%を超えています。また、最も高い圏域は圏域2で30.8%、最も低い圏域は圏域4で23.5%となっており、7.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く